

務所留置場ヲ改築スルノ必要ナキハ論ヲ竣タサル所ニシテ且關係書類ニ徴スルニ前掲各出張所ノ雜居房二棟ヲ取毀テ古材ヲ利用シ川内及加治木警察署構内ニ本費ヲ以テ改築ヲ計畫シ之カ設計及工事監督ハ鹿兒島縣ヲシテ當ラシメ竣功後警察留置場ノ用途ニ供シタルモノニシテ答辯ハ之ヲ事實ト認メ難シ要スルニ本件ハ名ヲ刑務所附屬留置場ノ改築ニ藉リ其ノ實縣費支辨ニ屬スヘキ警察留置場ヲ増築シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件鹿兒島刑務所管内川内、加治木兩留置場新營ハ行政整理ニ伴ヒ兩出張所ヲ閉鎖シタル結果警察署留置場ヲ代用スルコトトナリタルニ留置場狹隘ニシテ收容上支障ヲ來シタルタメ出張所建物ノ一部ヲ以テ警察署構内ニ新營シタルモノナリ而シテ該建物ノ讓與ニ付テハ竣功後ニ至リ將來ニ於テ修理維持保存ノ關係上縣ニ讓與スルノ得策ナルヲ認メ國有財産法第五條第一號ニ依リ縣へ讓與シタルモノニシテ當初ヨリ移管ノ目的ヲ以テ新營シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○國有財産法(大正十年四月八日法律第四十三號)

第五條 雜種財産ハ左ニ掲クル場合ニ限り之ヲ讓與スルコトヲ得

一 帝室用又ハ公共團體ニ於テ公共用者ハ公用ニ供スル爲必要アルトキ

第六款 震災復舊諸費 第二項 刑務所復舊費

【報告】 (110) 本項ニ於テ小菅刑務所ノ支出ニ係ル

一八、三三二、七五〇

第十款震災復舊費第一項小菅刑務所其他震災復舊費ニ於テ同所ノ支出ニ係ル

三五、三九九、九九〇

ハ群馬縣勢多郡東村多和某ヨリ購入シタル川砂利及川砂千八百立坪ノ代價並東武鐵道株式會社ニ支拂ヒタル運搬賃ナリ抑本品ハ震災復舊建築工費用トシテ購入契約ヲ締結シ現品ハ孰モ大正十三年五月ヨリ十四年一月ニ至ル間ニ於テ東武鐵田沼及足利驛構内貨車積渡ヲ以テ受領シ之カ運搬ハ別途一噸ニ付壹圓八拾五錢ノ割合ヲ以テ東武鐵道株式會社ニ請負ハシメタルモノナリ十四年二月之カ實地ヲ検査スルニ納入現品中合格ト見ルヘキモノハ僅ニ其ノ幾部分ニ過キサルノミナラス川砂利ノ如キハ其ノ大部分所定ノ見本ニ適合セサル不良品ニシテ洗滌若ハ篩通ヲ爲スニ非サレハ其ノ儘使用スルコト能ハス

之カ代價トシテ不良品ヲ多量ニ納入セシメタルモノニシテ檢收其ノ宜シキヲ得サルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

所定ノ標本ニ適合セサル不良品ニ對シテハ夫夫値引又ハ歩引等ノ方法ヲ以テ檢收ヲ行ヒタルモノニシテ即チ川砂利中土砂ノ混入多キ爲其ノ儘使用ニ堪ヘサル不合格品ハ官ニ於テ洗滌篩通ヲ行ヒ之ニ要スル經費ハ供給者ニ負擔セシムルコトトシ又品質粗惡ナルモノハ全然納入數量ヨリ控除シ或ハ歩引若ハ値引ヲ行フ等孰モ請負人ト協定ノ上其ノ代價トシテ現品ヲ増加納入セシメタルモノナルヲ以テ特ニ不合格品トシテ引替ヲ命スルノ必要ナク又歩引値引等ノ結果其ノ代價トシテ納入セシメタル現品ニ對スル鐵道運搬賃ハ請負人ニ負擔セシメサルモノナラト思料セラルルノミナラス右ハ其ノ取扱煩雜ニ互リ且計算頗ル面倒ナリシヲ以テ洗滌又ハ篩通等ノ爲要セシ經費ヲ單ニ川砂利購入單價ヲ基準トシ各現品ニ換算ノ上數量ヲ決定シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件砂利及川砂ハ孰モ一定ノ標本ニ基キ購入契約ヲ締結シタルモノナルヲ以テ若所定ノ標本ニ適合セサル不良品ヲ納入セル場合ハ契約書ニ依リ之カ引替ヲ爲サシメ得ヘキニ多量ノ不合格品ヲ受領シ自ラ多數ノ人夫ヲ使役シテ之カ洗滌及篩通ヲ爲スカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス當局者ハ洗滌篩通ノ結果搬入數量ノ歩引ニ對シ増加納入セシメタル運搬賃ハ請負人ニ負擔セシメサルモノナリト謂フモ土砂混入多キ爲洗滌篩通ヲ要スヘキモノ又ハ品質粗惡ナルモノ等約千二百立坪ニ上リ之カ爲増加納入セシムルニ至リタル砂利及川砂百五十六立坪餘ニ對スル鐵道運搬賃貳千參百餘圓ハ當然請負人ノ負擔ト爲スヘキモノト認メサルヲ得ス加之實地檢査ノ際當局者ノ説明スル所ニ依レハ精選ノ結果ハ單ニ契約數量ヲ檢收シタルニ過キサルヲ以テ右精選費貳千六百餘圓及前記運搬賃貳千參百餘圓計五千餘圓ハ官損ニ歸シタルモノナリ要スルニ本件ハ物品ノ檢收其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ニ關シ請負人ヨリ納入セル砂利ハ一般市場ノモノニ比較シ遜色ナキ品ナルモ所定ノ標本ニ比シ砂ノ混有幾分多量ナリシヲ以テ請負人ト協定ノ上刑務所ニ於テ洗滌又ハ篩通ヲ行ヒ其ノ精選費ハ供給者ノ負擔トシ一面契約數量外ニ砂利ノ必要ヲ生シタルニ依リ之ニ代ルベキ

良品ヲ納入セシメタルモノナリ而シテ引換ヲ爲サシメサリシハ當時鐵道貨車ノ配給圓滑ナラザリシ狀況ナリシヲ以テ納期遅延シ工事施行上支障ヲ來タシ且經濟上不利ヲ招ク虞アリタルヲ以テ便宜ノ處置ヲ取リタルモノナリ而シテ會計検査院ハ精選費及增加納入セシメタル運搬費ハ官損ニ歸シタルモノナリト謂フモ精選費ハ貨車渡シノ契約單價ヲ基準トシ現品ニ換算ノ上増加納入セシメタルモノナルヲ以テ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニアラスト認ム

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

第八款 衆議院議員臨時總選舉檢察費

第一項 衆議院議員臨時總選舉檢察費

【報告】

(111) 本項ニ於テ司法省ノ支出ニ係ル

第九款恩赦執行費第一項恩赦執行費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

五、〇〇〇、〇〇〇
二、九七〇、〇〇〇

ハ衆議院議員臨時總選舉及恩赦執行事務ニ關シ第二豫備金ノ支出ヲ仰キ購入セル郵便切手類ノ代價ナリ大正十四年六月之カ實地ヲ検査スルニ歲出經常部司法本省事務費ヲ以テ購入セル郵便切手類ハ僅ニ五拾餘圓ニ過キササルヲ以テ本件購入數量中經常部支辨ノ用途ニ充當シタルモノト認メラルモノアルノミナラス四千七百餘圓ノ殘品ヲ生シ其ノ購入數量過大ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ經常費ヲ以テ購入ノモノ僅少ナリシハ前年度ヨリノ繰越品ヲ充當經理シタルカ爲ニシテ繰越品ノ多額ナリシハ前年ノ選舉ニ比シ競争一層激烈ナル見込ナリシヲ以テ從來ノ實績ヲ勘案シ相當多額ノ郵便切手類ヲ購入準備セシニ競争意外ニ烈シカラス隨テ通信費モ豫期ノ如ク必要ナラザリシト恩赦執行事務ハ本年度ニ於テ完了セザリシトニ因ルモノナリト謂フニ在リ然レトモ前年度ニ於テハ經常部豫算額六千九百餘圓ニ對シ貳千八百餘圓ヲ又臨時部衆議院議員臨時總選舉檢察費其ノ他ヲ以テ六千貳百餘圓ヲ購入シ參千五百餘圓ノ繰越ヲ爲シタルニ本年度ニ於テ經常部豫算額六千餘圓ニ對シ僅ニ五拾餘圓ヲ購入シテ其ノ剩餘額ハ他ニ流用シ本項豫算ヲ以テ前掲多額ノ購入ヲ爲シ年度内ノ所要ヲ充タシタルノ外尙四千七百餘圓ノ繰越品ヲ生セシメタルカ如キハ第二豫備金ノ支出ヲ仰キタル本費ヲ以テ經常費ヲ補足スルノ結果ヲ來スモノニシテ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス而シテ恩赦執行事務ハ本年度ニ於テ完了セサルカ爲多數ノ繰越品ヲ見ルニ至リタルモノナリト答辯スト雖恩赦執行費ハ十四年度豫算ニ計上ナキヲ以テ該事

務ハ本年度ニ於テ大體完了シタルモノト認メサルヲ得ス元來郵便切手類ノ如キハ其ノ必要ニ應ジ隨時之ヲ購入シ得ヘク隨テ豫メ多額ノ數量ヲ購入準備シ置クノ必要ナキニ此ノ如ク著シク所要數量ヲ超過シテ購入ヲ爲シ多額ノ殘品ヲ生セシメタルハ措置其ノ當ヲ得タルモノト認メ難シ要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 司法本省ニ於テ大正十三年度中衆議院議員臨時總選舉及恩赦執行事務ニ關スル經費ヲ以テ多額ノ郵便切手類ヲ購入シ經常費ニ於テハ僅ニ五拾餘圓ヲ購入シタルノミニテ年度内所要ヲ充タシタル外尙多量ノ繰越品ヲ生セシメタルカ如キハ臨時費ヲ以テ經常費ヲ補足スルノ結果ヲ來スモノニシテ失當ノ措置ナリト謂フモ本年度ニ於テ經常費ヲ以テ購入シタル額僅少ナリシハ前年度ヨリノ繰越品ヲ充當經理シ得タル爲ニ外ナラス又恩赦執行費ハ大正十四年度豫算ニ計上ナキモ該事務ハ完了ニ至ラス今尙繼續セル爲相當繰越品ヲ生スルニ至リタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第十款 震災復興費

第一項 小菅刑務所其他震災復興費

【報告】

(112) 小菅刑務所ノ支出ニ係ル

九〇、九二二、〇〇〇

ハ大正十三年五月日本「トラスコン」鋼材株式會社ヨリ購入シタル「トラスコン、スタンダード、ビルディング」組立材料ノ代價ニシテ外ニ材料壹萬千四百八拾壹圓八拾八錢及受刑者七千二百餘人ヲ使用シ工場二棟ヲ直營建設シタルモノナリ右建物ハ刑務所ニ於ケル恒久的工場トシテハ保健、衛生並經濟上適當ナラサルモノト認メ特ニ之ヲ選定シタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ震災後ニ於テ應急建設ニ係ル工場其ノ他ノ假建物ハ孰モ構造脆弱ニシテ警備上慮ニ堪ヘス加之外圍塀ハ倒壊後僅ニ數條ノ鐵條網ヲ以テ圍ミタルニ過キササルノ状態ナリシニ依リ一日モ速ニ完全ナル建物ヲ設クルノ必要ニ迫ラレタルヲ以テ本件建物ハ保健、衛生並經濟上ニ於テハ多少研究ノ餘地ナシトセザリシモ其ノ構造堅牢ニシテ耐震耐火ニ適シ且迅速ニ施行シ得ルモノナルニ鑑ミ購入ノ決定ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ元來「トラスコン、スタンダード、ビルディング」ハ其ノ構造全部組立式ナルヲ以テ解體、組立共ニ容易ナルト其ノ材料ハ全部鐵製ナルヲ以テ隨時其ノ位置ヲ移動セシムヘキ假設建物又ハ火災誘發ノ虞アル倉庫等ニハ適當ナリトスルモ其ノ屋根並壁體ハ單ニ鐵板ニテ被覆セルニ過キササルヲ以テ寒暑ノ影響ヲ受クルト激シク隨テ多數ノ囚徒ヲ收容スヘキ刑務所工場トシテハ其ノ構造當ヲ得

タルモノト認ムルヲ得サルノミナラス之カ工費モ本件建物ニ隣接シ同時ニ施行セル床、腰「コンクリート」木造平家建二棟坪當工費豫定額約九拾圓ナルニ比シ本件建物坪當百拾六圓餘ニ當リ高價ヲ示セリ又當局者ハ警備上急速完全ナル建物ヲ設クルノ必要アリケル爲施行最易ナル建物ヲ選定セシモノナリト謂フモ該建物ハ契約締結後新ニ海外ヨリ輸入セシメタルモノナルヲ以テ運搬其ノ他ニ多數ノ日子ヲ要シ短期間ニ其ノ目的ヲ達成シ得サルハ豫測シ得ヘク現ニ購入決定後一箇年餘ヲ經過シタル十四年二月實地検査當時未ク工場トシテ利用スルニ至ラサルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ工事實施ニ當リ周到ノ注意ヲ缺キ作業上不適當ナル工場ヲ建設シ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件工場トシテ「トラスコン、スタンダード、ビルディング」ヲ撰定セルハ當時應急的假建物ハ孰レモ脆弱ニシテ加之外圍全倒潰跡ハ僅カニ數條ノ鐵條網ヲ圍ラシタルニ過キサル狀態ニシテ警備上安全ナル建造物ヲ可及的多數ニ建設スルノ急ニ迫ラレタル特別ノ事情ヨリ熟慮研究ノ結果耐震耐火耐久ノ諸特點ヲ具備スル此ノ建物ヲ最モ適當ト認メ採用シタルモノナリ又保健上遺憾ノ點アリト謂フモ一箇年餘假居房トシテ收容シ居レル實績ニ徴セハ保健上何等障害ヲ認メサルヲ以テ工場トシテ使用スル場合寧ろ一般工場ニ比シテ優ルトモ缺クル所ナシト信スルモノナリ又經濟上ヨリ見ルモ耐久耐火震ノ特色ヲ有シ現ニ當時著手セル木造平家建二棟ハ未タ竣功ヲ告ケサル狀態ナルヲ以テ若シ本組立家屋ニ代フルニ木造建物ヲ直營シタリトセハ竣功著シク遅延ヲ免カレサルコトハ明ニシテ「トラスコン、スタンダード、ビルディング」ニ棟ノ新築ニ依リ實ニ收容上多大ノ便宜ヲ得復舊工事ノ進行ヲ速カナラシメタル利益夥シトセス依テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(二三三) 豊多摩刑務所ノ支出ニ係ル

二一〇、一三二、二六六〇

ハ大正十三年二月山梨縣中巨摩郡藤田村深澤某ニ請負ハシメタル鐵筋「コンクリート」外圍塀築造工事費貳萬千貳百九拾壹圓四拾五錢ノ内ニシテ千五百拾八圓七拾九錢ハ十二年度ニ屬シ外ニ本件請負工事及之ニ關聯セル直營工事ノ爲價格七萬貳千七百餘圓ノ工事材料並器具機械及受刑者九千二百餘人ヲ使用セリ右ハ大正十二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク工事施行ニ當リ契約上請負人ノ負擔ニ屬スヘキ丸太、板割、礎、運搬車等ヲ官ニ於テ供給シタルノミナラス足場並水盛遺形用トシテ官給シタル諸材料ハ其ノ數過大ニ失シ且之カ使用後ノ返還數量全ク判明ヲ缺キ又請負人ノ負擔タルヘキ工事ヲ官ニ於テ施行シタルモノニシテ措置其ノ宜シキヲ得サルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正十二年度(二六)一八二頁參看)

【辨明】

豊多摩刑務所外圍塀材料及出役人員ノ多カリシハ十二年度検査報告ニ對シ辯明シタル如ク工事ノ進捗ヲ計ル爲ノ足場ヲ餘分ニ架設シタルト直營施行ニ係ル壁上塗工事等ニ使用セル受刑者ノ不熟練ナリシ爲メ手直加工等ノ箇所多カリシニ因リ豫想外ニ要シタルモノナリ其ノ材料使用上ニ付テハ相當整理ヲ爲シタルモノナリ又請負人ノ負擔タルヘキ通用門基礎工事ハ直營ニ係ル通用門工事ニ關聯スルモノナルヲ以テ官ニ於テ同時ニ施行スルヲ便宜ト認メ且之カ費用ハ僅少ナル勞力費ニ過キサルヲ以テ官給ニ係ル出役人員ニ於テ按配シタルモノニシテ官損ニ歸シタル事實ナキモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

文部省所管

津算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ十二件(二四)(二五)

八五一、四六七、五五〇

物品完納前代價ノ支拂ヲ爲シタルモノ一件(二六)

二一〇、一〇〇〇〇

計十三件

八五三、四七七、五五〇

歳出臨時部

第二款 高等諸學校創設及擴張費 第二項 新營及設備費

【報告】

(二四) 京都帝國大學ノ支出ニ係ル

四八〇、七三七、八八〇

ハ同大學本部所屬建築工事費、運動場、土地買収及整地費、電話交換所新設、瓦斯發生裝置工事並武術道場新營費其ノ他理學部植物園ノ造成、文學部、工學部並理學部所屬ノ教室及研究室等ノ新營、増築並附帶工事費百參萬四千參百四拾八圓九拾七錢ノ内ニシテ五拾五萬參千六百拾壹圓九錢ハ大正十二年度以前ニ屬シ外ニ特別會計京都帝國大學歳出臨時部第一款營繕費第二項特別講義室新營費ニ於テ參萬六千八百參拾圓參拾九錢ヲ支出セリ右ハ大正十一、十二兩年度検査報告ニ詳悉セシ如ク畢竟法學部擴張、農學部創設並工學部擴張等特定ノ目的ヲ有スル經費ヲ以テ本大學全般ニ互ル規模ノ擴張改革ヲ行ヒ若ハ他學部ノ施設ヲ爲シタルモノニシテ豫算ノ目的ニ背馳スルモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事施行上之カ經費豊裕

【辨明】

ナルニ乗シ豫算ニ積算ナキ新規ノ施設ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス(大正十一年度(四)五五頁及十二年度(二七)一八三頁參看) 京都帝國大學ノ支出ニ係ル四八〇、七三七圓八八〇ハ同大學本部所屬建築工事及其ノ他ノ工事費ニシテ本費ニ積算ナキ新規ノ施設ナリトノ 批難ナルモ之カ豫算執行ニ關シテハ大正十一、十二兩年度検査報告ニ對シ辯明シタル通特別講義室新營費及法學部擴張費ヲ以テ建築シタル 講義室等ニ附帶シテ貴賓室、休憩室等ノ必要ヲ認メ之ニ伴ヒ總長室、面接室等ヲ設ケタルト法學部擴張ニ基因シ著シク學生ノ増加ト事務ノ 繁劇トナリタルトニ依リ建物ノ一部ヲ事務室ニ使用シタル次第ニシテ之ヲ以テ直チニ豫算ノ目的ニ違反シタルモノトハ認メ難ク其ノ他教 室、研究室、武術道場、運動場、電話交換室及瓦斯發生裝置等ハ主トシテ各學部相互間ニ於テ他ノ學部ノ設備等ヲ利用シテ授業及研究上ノ重 複ヲ避ケ且其ノ効果ヲ全カラシムル爲メ經濟的施設ヲ爲シタルト農學部ノ創設、法學部其ノ他ノ學部擴張ニ依リ學生ノ増加ニ伴ヒタル諸 施設ヲ考慮シタルトニ依リ豫算ノ運用上其ノ成績ヲシテ最モ有効ナラシメンカ爲メ最善ノ方法ヲ講シタルモノニシテ豫算ノ目的ニ背馳セ ル新規ノ施設ヲ爲シタルモノニアラス

【貴決】 措置適當ヲ關ク

【衆決】 不當

【報告】

(二二五) 浦和高等學校外十校ノ支出ニ係ル

三七〇、七二九 六七〇

ハ校長、教授、備外國人等ノ官舎五十三棟延千八百八十一坪餘ノ建築費其ノ他ノ附帶工事費ナリ右ハ本項豫算ニ計上ナキモ ノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ高等諸學校創設及擴張ノ計畫ニ屬スル新設學校ハ所在地方住 宅拂底ノ爲職員住宅ヲ得ルコト困難ヲ極メ殊ニ外國人教師ノ住宅ノ如キハ之ヲ求ムルコト能ハサルノ状態ナリ故ニ校舎ノ 新營ヲ爲スニ當リテハ學校經營上教職員ノ住宅ヲ準備スルコト緊要ニシテ學校創設ト不可分ノ關係ヲ有スルヲ以テ本件學 校創設ニ關スル豫算各目明細書ニ官舎新營費ヲ明示セザリシノ事由ヲ以テ直ニ豫算ニ見積ナキ工事ナリトハ斷定シ難シ從來 ニ在リテモ該明細書ニハ大體ノ設計ヲ示シ之カ實施ニ當リ適宜構造及坪數等ヲ變更シテ工事ヲ遂行スルハ各省一般通例ト スル所ニシテ若各目明細書ニ掲記シタル内譯ノ範圍内ニ於テノミ工事ヲ施行スヘキモノナリトセハ豫算不成立ノ場合ニ於 ケル實行豫算編成科目ノ新設及流用等ノ如キハ想像シ能ハサル所ナルヲ以テ苟モ會計法規ニ從ヒ豫算ノ目的ニ反セサル限 リ隨時各目明細書ノ内譯ヲ變更スルハ經理ノ都合上已ムヲ得サル措置ニシテ豫算ノ目的ニ違背シタルモノニ非スト謂フニ

在リ然レトモ官舎ノ如キハ特殊ノ施設ニ屬シ之カ建設ヲ必要トスル場合ハ從來豫算編成上特ニ其ノ名稱ヲ表示シ數地其ノ 他之ニ要スル經費ヲ計上スルヲ例トスルモノナルヲ以テ縱ヒ答辯ノ如キ事情アリトスルモ此等工事施行ノ要アリトセハ之 カ經費ハ別途豫算ノ要求ニ俟ツヘキモノトス當局者ハ豫算不成立ノ場合ニ於ケル實行豫算編成科目ノ新設流用等ヲ以テ理 由ト爲スモ右ハ本件ノ場合ト同視スヘキモノニ非ス要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタル モノトス

【辨明】

浦和高等學校外十校ノ支出ニ係ル三七〇、七二九圓六七〇ハ校長、教授、備外國人等ノ官舎五十三棟延千八百八十一坪餘ノ建築費其ノ他ノ附 帶工事費ニシテ豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノナリトノ批難ナルモ高等諸學校創設及擴張計畫ニ係ル新設學校ノ新 營設備ハ其ノ内容多種多樣ナルヲ以テ是等ノ細目ヲ豫算各目明細書ニ悉ク列記スルコトハ事實上不可能ニシテ大體ノ設計見積ヲ示シアル ニ過キス依テ之カ實施ニ當リテ豫算目的ノ範圍内ニ於テ必要適切ナル施設ヲ遂行スルハ獨リ本省ノミナラス各省ニ於テモ從來實行シツツ アル所ニシテ何等豫算ノ目的ニ違背スルモノニアラス會計検査院ハ豫算各目明細書ノ内譯ニ官舎ナル名稱カ表示シアラサル事由ヲ以テ豫 算ニ經費ヲ計上シアラサル施設ナリト謂フモ其ノ當ラサルコトハ上述セル理由ニ依リテ明カナリ而シテ新設諸學校ニアリテハ其ノ所在地 方ニ於テ住宅拂底ノ爲メ之ヲ得ルコト困難ヲ極メ外國人教師官舎ノ如キハ到底之ヲ求ムルコト能ハス其ノ結果外國人ヲ備聘スルコト不可 能ナリシ實情ナリ又生徒ノ訓育指導上生徒監タル教官ノ住宅モ拂底ノ爲メ適當ナル住宅ヲ得ルコト非常ニ困難ナリシノミナラス生徒監ハ 學校ノ授業時間外ニ於テモ常ニ生徒ヲ自宅ニ引見シ之カ訓育指導ノ重任ニ當ルモノニシテ生徒監官舎ノ新營ハ學校創設ニ伴ヒ絕對必要ナ ル事項ニ屬ス故ニ學校創設費豫算ヲ以テ學校ノ開校生徒ノ授業訓育上必要已ムヲ得サル如上ノ工事ヲ施行スルモ何等豫算ノ目的ニ反スル モノニアラサルノミナラス寧ロ始メヨリ如斯事ハ豫想セラレ居ル所ナリ

【貴決】 措置適當ヲ關ク

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(二八七頁參看)

第十四款 震災復舊諸費 第二項 東京帝國大學復舊諸費

【報告】

(二二六) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

一、一〇一、〇〇〇 円

ハ醫學部附屬醫院ニ於テ三共株式會社ヨリ購入セル糖衣器外二點ノ代價ナリ右ハ大正十四年三月納入シタルモノトシテ代

價ノ支拂ヲ爲シタルモノナルモ同年六月之カ實地ヲ検査スルニ現品ハ孰モ古品ニシテ毀損又ハ磨滅ノ箇所アリ完全ナルモノト認メ難キヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ藥局製劑掛員ヲシテ機械ノ取扱方ヲ至急練習セシムルノ必要上取敢ヘス代品ヲ納入セシメタルモ其ノ後現品ノ到着ヲ確メスシテ代價ノ支拂ヲ爲シタルモノナリ而シテ糖衣器及錠劑器械ハ同年七月散藥分包器械ハ八月ニ於テ完納ニ至リタルヲ以テ前記代品ハ之ヲ返付セリト謂フニ在リ然レトモ右物品ハ孰モ古品ニシテ實地検査當時製煉室内ニ白布ヲ覆ヒ保管シアルノミニシテ之ヲ使用シタル形跡ナク殊ニ糖衣器ノ如キハ未タ据附ヲモ了セサルノ狀況ナルヲ以テ觀レハ畢竟検査ニ際シ一時代品ヲ撥入セシメタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物品完納前ニ代價ヲ支拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二七)

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ三件(二八)

計四件

一〇〇,〇〇〇.〇〇

三,四三七.〇〇

一〇,三四三七.〇〇

歳出臨時部

第一款 産業獎勵費 第十七項 漁港修築獎勵費

【報告】 (二七) 農商務省ノ支出ニ係ル

一〇〇,〇〇〇.〇〇

ヘ青森縣鮫漁港修築工事費補助金ニシテ外ニ大正十二年度迄ニ參拾七萬九千四百拾壹圓ヲ支出セリ右ハ大正十二年度検査報告ニ掲載セシ如ク八年度以降本年度ニ至ル繼續事業ニシテ總工費百貳拾萬圓ヲ以テ修築ヲ企テタルモノニ對シ六拾萬圓ヲ國庫ヨリ補助スルモノナリ而シテ補助金交付總額ハ本年度末迄ニ補助指令額ノ七割九分ヲ超エタルニ工事甚シク進捗セシ防波堤延長五百五十間ノ内竣功シタルハ僅ニ七十四間拾石三萬千餘立坪ノ内之カ施行済ニ係ルモノ八千五十餘立坪ニ過

キス當初ノ計畫ヲ完成セムニハ尙多額ノ經費追加ヲ要スルモノニシテ繼續年限ヲ一箇年延長シタルモ工事完成ニ對スル善後策未タ確立スルニ至ラサルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス〔大正十二年度(三〇)一九一頁參看〕

【辨明】

大正十二年度検査報告ニ對シ辯明セル如ク物價及勞銀ノ暴騰並工事中屢々災害ヲ蒙リタル等ノ爲當初豫算ニ影響スル處アルヲ以テ之カ善後策確立ニハ相當時日ヲ要シタリシカ大正十四年度中ニ於テ愈確定セルヲ以テ第五十一回帝國議會ニ於テ既定計畫ニ引續キ大正十七年度ヨリ向フ十年間豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ締結セムコトノ協賛ヲ求ムルコトナレリ依テ本件ハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第五款 家畜傳染病及害蟲豫防費 第一項 家畜傳染病費

【報告】 (二八) 静岡縣ノ支出ニ係ル

埼玉縣ノ支出ニ係ル

栃木縣ノ支出ニ係ル

一,八九七.〇〇

一,〇四〇.〇〇

五〇〇.〇〇

計參千四百參拾七圓ハ静岡縣書記官辛島某外百四十三名ニ給與シタル家畜防疫委員手當並賞與金ナリ右ハ本項豫算ノ範圍外ニ屬スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件ハ孰モ縣下各郡ニ互リ狂犬ノ發生多ク或ハ豚傳染病發生シ勢ヒ頗ル猖獗ヲ極メタルヲ以テ徹底的豫防撲滅ノ必要ヲ認メ家畜防疫委員ヲ任命シ防疫事務ニ從事セシメタルモノニシテ其ノ結果漸ク病疫ノ終熄ヲ告グルニ至リ茲ニ其ノ精勵ヲ認メテ給與シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本項豫算中ニハ此ノ如キ手當及賞與ヲ包含セサルノミナラス家畜傳染病豫防費用ノ内、國ニ於テ負擔スヘキモノハ家畜傳染病豫防法第二十三條並大正十二年勅令第九號ニ依リテ限定セラレ本件一般防疫委員並縣費支辨ノ獸醫ニ對スル手當及賞與ノ如キハ之カ制限外ナルニ補充科目タル本費ヨリ之ヲ支出シタルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十四條違背

(參照) ○會計法第十四條第二項(二八七頁參看)

○家畜傳染病豫防法(大正十一年四月十日)

第二十三條 傳染病豫防ニ關スル費用ハ國、北海道地方費、府縣、市町村又ハ箇人ノ負擔トス其ノ負擔區分ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○家畜傳染病及畜牛結核病豫防ニ關スル費用負擔區分ノ件(大正十二年一月十九日)

家畜傳染病豫防法第二十三條及畜牛結核病豫防法第十六條ノ規定ニ依リ家畜傳染病及畜牛結核病豫防ニ關スル費用負擔區分左ノ通定ム

- 第一 左ニ掲クル費用ハ國ノ負擔トス
- 一 市町村吏員タル家畜防疫委員以外ノ家畜防疫委員ノ旅費
- 二 傳染病豫防ノ爲臨時備入レタル獸醫ノ手當及旅費
- 三 評價人ノ手當及旅費
- 四 家畜傳染病豫防法第二十四條第一項及畜牛結核病豫防法第十三條第一項ノ規定ニ依ル手當金
- 五 牛疫免疫血清ノ購入及配送並「ツベルクリン」ノ製造及配送ニ要スル費用
- 六 第四ニ掲クルモノヲ除クノ外傳染病及結核病ノ豫防ニ要スル消毒藥品費
- 七 第三ニ掲クルモノヲ除クノ外家畜傳染病豫防法第二十條ノ檢疫及畜牛結核病豫防法第七條ノ規定ニ依ル検査ニ要スル費用

遞信省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二九)
 六四一、九七九、四三〇
 物件ノ購買ニ當リ檢收其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三〇)
 一〇、七四四、〇〇〇
 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三一)
 五一、九七一、七五〇
 計三件
 七〇四、六九五、一八〇

歳出經常部

第二款 遞信費 第一項 俸給

【報告】

(二九) 遞信省經理局ノ支出ニ係ル

六四一、九七九、四三〇

ハ遞信本省事務ニ從事セシムル本費所屬官吏ニ對シ俸給及賞與トシテ支給シタル金額ナリ右ハ殆ト恒久的ニ本省事務ニ從事セシムルモノナルヲ以テ地方遞信官署官制ノ趣旨ニ反シ豫算ノ使用其ノ當ヲ得サルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

通信事業ノ發展ニ伴ヒ本省事務亦逐年増加セル爲既定人員ニテハ手不足ト爲リ事務ヲ阻滯スルコト甚シキヲ以テ之カ定員ノ増加ヲ要求セルコト一再ナラサルモ國家財政ノ都合上未タ實現ニ至ラス加フルニ近年通信事業ノ遂行ニ關シ經費節約上並事務改善上地方部局ニ屬スル事務ヲ本省ニ於テ處理スル必要ヲ生シタルモノ尠カラサルノミナラス臨時ニ審議計畫スヘキ事項續發シ既定定員ニテハ到底之ヲ處辨スルコト能ハサルヲ以テ已ムヲ得ス地方遞信官署官制ノ規定ニ基キ地方所屬ノ定員ヲ差繰リ臨時通信ニ關スル本省ノ事務ヲ補助セシメ居ル次第ニシテ恒久的ニ之ヲ配屬スル趣意ニ非ス隨テ今後ハ本省豫算ノ増額ニ付尙一層ノ努力ヲ爲シ所要ノ増員ヲ得タル曉ニ於テハ之ヲ地方ニ還元スル方針ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ官制上臨時本省ノ事務ヲ輔クトアルヲ理由トシ殆ト恒久的ニ本省事務ニ從事セシムルカ如キハ實質上定員ヲ増加シタルト何等異ル所ナク其ノ措置當ヲ得サルノミナラス大正十四年三月ニ於ケル現員四百六十餘名中地方遞信官署官制ニ據ル人員ハ百七十餘名ニ達シ本省事務ノ約四割ハ地方部局ノ官吏ニ依リテ遂行セラレ且本省ニ於ケル給與中俸給ハ遞信本省五拾貳萬九千餘圓遞信費參拾五萬九千餘圓賞與ハ遞信本省八萬八千餘圓遞信費貳拾八萬貳千餘圓ニシテ本省ニ於ケル所要俸給等ノ殆ト半ハ遞信費ヨリ補足セラレ殊ニ本省官吏ニ對スル賞與ノ大部分ハ遞信費ニ於テ負擔セララルノ狀況ナルカ如キハ畢竟官制ノ趣旨ニ悖リ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件地方遞信官署官制ニ依ル職員ヲシテ遞信省ノ事務ニ從事セシメタル所以ハ検査報告中所掲當該官吏答辯ノ通ニシテ即チ官制上ノ根據ハ地方遞信官署官制中ニ地方遞信官署ノ職員ハ臨時命ヲ承ケ通信ニ關スル遞信省ノ事務ヲ助クル旨ノ規定ニ基クモノナルヲ以テ官制正面ノ解釋トシテハ不法ナリト謂フコトヲ得ス又會計検査院ノ批難ノ要點モ此點ニ存スルニアラスシテ唯其ノ配置セル人員ノ多數ナルコト及

繼續的ニ使用セルカ如キ觀ヲ呈セル點ニ存スルモノト認ム固ヨリ本件地方逓信官署職員ノ配置ハ當初ヨリ繼續的ニ使用スルノ趣旨ニ出テタルモノニアラサルコトハ勿論ナルモ年々増進スル通信事業ニ對シ本省ニ於テ處理ヲ要スル事項増嵩スルニ拘ラス所謂本省職員ノ増加ハ他各省トノ關係等ニ依リ容易ニ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサル實狀ニアルカ爲之ヲ地方逓信官署ニ還元スルコト困難ニシテ之カ爲結果ヨリ見レハ全部最初ヨリ常置員トシテ配置使用セルカ如キ觀ヲ呈スルニ至リタルハ實ニ已ムコトヲ得サリシ事情ニ出ツ然レトモ斯ノ如キハ官制正面ノ解釋ハ兎モ角制定ノ精神ニハ幾分副ハサル點アリト認メラルルヲ以テ將來豫算編成等ノ機會ニ於テ定員ノ増員又ハ組替等ヲ行フ方針ノ下ニ目下各般ノ關係ヲ考慮シ對策ノ講究中ニ在リ

尙検査報告ニハ大正十四年三月ニ於ケル現員四百六十餘名中地方逓信官署官制ニ依ル人員ハ百七十餘名ニシテ現員ノ約四割ニ相當シ又逓信省經理局ノ取扱ニ係ル逓信費ノ款俸給ノ項ニ屬スル支出額六拾四萬壹千餘圓ハ全部本省事務ニ從事スル地方逓信官署所屬職員ノ俸給、賞與ナルカ如ク掲記シアルモ大正十四年三月ノ本省現在員ハ六百三十八名ニシテ右ノ内百六十七名カ地方逓信官署官制ニ依ル人員ナルカ故ニ其ノ割合ハ總員ノ二割六分ニ過キス又右俸給ノ項ニ計上シアル支出額中ニハ豫算上逓信費支辨ニ屬スルモ官制上本省ニ配置スヘキ職員(逓信事務官、逓信技師、逓信事務員、逓信技手)ノ俸給、賞與並經理事務統一上逓信省經理局ノ取扱ニ屬セシメアル高等海員審判所、在外電信局所屬職員ノ俸給、賞與概計貳拾萬壹千餘圓ヲ包含スルヲ以テ之ヲ除算スレハ本省ニ配置セル地方逓信官署所屬職員ノ俸給、賞與ハ四拾四萬餘圓ニ過キスシテ前記貳拾萬壹千餘圓ニ對シテハ毫モ批難ヲ受クヘキ理由ナキモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第二項 逓信事業費

【報告】 (三〇) 東京逓信局ノ支出ニ係ル

一〇、七四四、〇〇〇

ハ關本製氷株式會社ヨリ購入シタル氷柱六千三百二十本ノ代價ナリ右ハ東京中央電信局外七局ニ於テ夏期室内冷却用トシテ大正十三年七月ヨリ九月ニ至ル間ニ於テ使用セルモノナルモ檢收其ノ宜シキヲ得サルノミナラス納入數量以上ニ代金ノ支拂ヲ爲シタルモノアルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ檢收ニ當リ當務者ノ不注意ニ依リ仕様書ニ反スル處理ヲ爲シタルモノニシテ之ニ氣付カス證明數量ニ依リ代金ノ支拂ヲ爲シタルモノニ付不足斤量ニ對スル五百七拾四圓六拾錢及納入ナキ數量ニ對スル過拂額參拾五圓七拾錢ハ之ヲ別途歲入ニ徵收ノ手續ヲ了セルモノナリト謂フニ在

リ然レトモ本件ハ三ツ切氷柱一本當壹圓七拾錢重量約十貫及ト契約セルニ東京中央電信局ニ於テ受入レタル三千五十九本ハ七月迄ハ四ツ切ト爲シアルニ拘ラス單ニ本數ノミニ依リ檢收シ八、九ノ兩月ハ本數ニ拘ラス斤量ニ依リ檢收シタル結果三百三十八本ノ不足ヲ生シ又中央電話局及同牛込分局ノ分ニ對シテハ實際ノ持込數量以上ノ數ヲ掲上シタル代金請求書ヲ提出セルニ何等調査スルコトナク其ノ全額ヲ支拂ヒタル結果過拂ト爲リタルモノナリ要スルニ本件ハ購入物品ノ檢收其ノ宜シキヲ得ス且納入セサルモノニ對シ代金ノ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ當務者カ仕様書ノ要項ヲ誤解シ又ハ取扱上注意ノ周到ヲ缺キタルニ基因スルモノニシテ洵ニ遺憾トスル次第ナリ仍テ過誤拂金六百拾圓參拾錢ハ大正十四年九月二十六日及同年十月二十八日ノ兩度ニ於テ歲入ニ徵收ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○地方逓信官署官制(大正二年六月十三日勅令第二百十號)

第二十一條 逓信局事務官、逓信局技師、逓信局書記、逓信局技手、通信事務官、通信技師、通信書記及通信技手ハ臨時命ヲ承ケ通信ニ關スル逓信省ノ事務ヲ助ク

歳出臨時部

第十九款 震災復舊及新營費

第二項 郵便局舎其他新營費

【報告】 (三一) 逓信省經理局ノ支出ニ係ル

五一、九七一、七五〇

ハ大正十四年三月新築セル逓信次官官舎ノ建築費ナリ右ハ本項豫算ニ積算ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ次官ノ私宅カ郊外遠隔ノ地ニ在ル場合ハ平素ニ於テモ退廳後又ハ休日ニ於ケル緊急事務ノ處理上不便尠カラス殊ニ帝國議會ノ開會中又ハ豫算概算編成期ノ如キ其ノ不便更ニ一層甚シキヲ以テ餘儀ナク既定豫算ヲ差繰リ之ヲ復舊セルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本項豫算中官舎復舊ニ要スル經費トシテ計上セル貳拾壹萬圓ハ大臣官舎ノ復舊費ニシテ該官舎用土地建物ノ購入並補足工事ノ爲參拾貳萬六千餘圓ヲ要シ既ニ拾壹萬六千餘圓ノ不足ヲ來セルニ本項中東京市内二等局其他郵便局所新營ノ目ヨリ拾六萬八千餘圓ヲ流用シ豫算ノ不足ヲ補フト共ニ更ニ豫算ニ計上ナキ本件官舎ヲ新

築シタルモノニシテ其ノ措置當ヲ得サルノミナラス該官舎ハ建設以來今日ニ至ルモ次官ノ居住ナク唯時會議等ノ場合ニ使用スルニ過キサル狀況ナリ要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件遞信次官舎復舊費用ヲ本項豫算ヲ以テ支辨セルハ次官官舎カ震災ニ因リ燒失セシ以來歷代ノ次官ハ孰レモ私邸ヨリ通勤セサルヲ得サル狀況ナリシ爲省務ノ進捗上不便尠カラサルノミナラス現行官舎法規上特ニ遞信次官ニ對シ官舎ニ居住スヘキ義務ヲ負擔セシムル趣旨ニ徴スルモ急速官舎ヲ復舊シ此ノ不便ヲ除却スル必要ヲ痛感セシモ經費節約上姑ク之ヲ犧牲ニシ不便ヲ忍ブノ餘儀ナカリシカ震災復舊事業及新規事業等日ヲ逐フテ増加シ省務著シク繁劇ヲ加フルニ至レル爲其ノ私邸ノ郊外遠隔ノ地ニ在ル場合ニ於テハ緊急事務ノ處理ニモ支障ヲ來タシ豫算概算編成期又ハ帝國議會開期中ノ如キ更ニ一層其ノ甚シキモノアリシニヨリ官舎復舊ノ必要切實ナリシトコロ偶々本項豫算ノ内容タル東京市内二等局其他郵便局所新營ノ目ニ於テ本年度豫算年割額ヲ以テ買收計畫ヲ立テシ横濱郵便局復舊用敷地カ土地區劃整理事業ノ關係等ニ依リ選定上意外ノ日子ヲ費シ結局在來敷地ヲ使用スルコトニ決定セシ爲該敷地購買費六拾萬圓ハ不用トナリシヲ以テ其ノ一部ヲ流用シ大臣官舎復舊費用ノ不足ヲ補フト共ニ次官官舎ヲ復舊シテ事務處理上ノ利便ヲ圖リタルニ外ナラス然リ而シテ官舎建築後次官ハ都合ニ依リ一時官舎ニ居住セサリシコトアルモ客年十一月ヨリ專ラ之ニ居住セリ

會計検査院ハ本項豫算ノ内容ニ豫算シナキ本件官舎復舊費用ヲ本項豫算ヨリ支辨セルハ其ノ措置當ヲ得スト謂フモ元來豫算ニ掲記シアル項ノ内容ハ之カ算出根據ヲ示セルモノニ過キサルカ故ニ豫算ノ範圍内ニ於テ差繰リ支辨シ得ルトキハ狀況ノ變化ニ應シ其ノ目的ニ背馳セサル限度ニ於テ之カ内容タル各種工事ヲ適宜増減變更スルコトハ豫算運用上妨ケナキ次第ニシテ會計法カ特ニ同一項内各目間ニ於ケル豫算ノ流用ヲ許容セル所以亦實ニ茲ニ存スヘシ而シテ本項豫算ノ内容ニハ縱令大臣官舎ノ復舊費ニ充ツル見込ナリシトハ言ヘ單ニ官舎トシテ復舊工事費ヲ計上シアルカ故ニ本項豫算ノ範圍内ニ於テ大臣官舎ノ復舊ト其必要ノ程度近似スル次官官舎ヲ復舊シタリトテ敢テ之ヲ各ムヘキニアラス

要スルニ本件ハ必要已ムヘカラサル施設ニシテ本項豫算ノ目的内ニ屬シ會計法第十四條ニ違背スルモノニアラスト信シ之ヲ實行シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(二八七頁參看)

特別會計

大藏省所管

專賣局

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三三二) 111,111,111 円 五〇〇
競争入札ニ付スヘキ工事ヲ隨意契約ニ依リ施行シタルモノ一件(三三三) 111,111,111 円 〇〇〇
計二件 222,222,222 円 五〇〇

第一款 專賣局作業費 第二項 專業費

【報告】 (三三二) 廣島地方專賣局ノ支出ニ係ル

111,111,111 円 五〇〇

ハ兩切紙巻煙草製造工場蒸汽配管新設外二廉ノ工事費並「ボンサツク」式兩切紙巻煙草製造機二臺ノ代價ナリ右ハ大正十二年度検査報告特別會計大藏省所管專賣局歳出第一款專賣局作業費第二項專業費ニ於テ詳悉セシト等シク兩切紙巻煙草製造工場ノ擴張ニ伴フ設備ニシテ既設設備ノ補充ト認メ難ク之カ經費ハ本費ノ支辨ニ屬セシムヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス(大正十二年度三九二〇二頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度検査報告ニ對シ辯明シタル如ク同工場本來ノ目的タル刻煙草製造用ノ設備ニ要シタルモノニアラス兩切煙草ノ需要激増ノ爲メ應急増製ノ必要上工場利用ノ止ムナキニ至リ之レニ要スル機械類ノ補充ヲナシタルモノナルヲ以テ本費ノ支辨トナシタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(二八七頁參看)

【報告】

(三三三) 宇都宮地方專賣局ノ支出ニ係ル

111,111,111 円 〇〇〇

ハ同局茂木出張所第二十三號收容所模様替第十五號收容所移轉模様替及同局大田原出張所第十一號、第十二號貯藏所庇補足、貯水池新設其ノ他工事費ナリ右ハ各工事毎ニ隨意契約ニ依リ施行シタルモノナルモ茂木出張所ニ於ケル工事ハ其ノ契約

大正十三年度 專賣局 (三三三)(三三三)

月日、工事施行期間及請負人全ク同一ニシテ工費六千八百八拾參圓大田原出張所ニ於ケル工事ハ僅ニ數日ヲ隔テ施行セラレ請負人亦同一人ニシテ工費六千百貳拾圓ナルヲ以テ夫夫一括シ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ當局工事ノ設計ニ從事セシムヘキ技術員ハ一名ニシテ一廉毎ニ設計ヲ整ヘ專賣本局ノ許可ヲ受クルノ已ムナキ状態ニ在リタルト葉煙草ノ收納最盛期ニシテ貯藏力ニ不足ヲ來シ一日モ早ク工事ヲ竣功セシムル必要ニ迫ラレタルトニ依リ許可ト同時ニ隨意契約ヲ以テ施行シタル次第ナリト謂フニ在リ然レトモ大正十四年十一月會計實地検査ノ際調査スル所ニ依レハ同一出張所ニ於ケル工事ノ設計ハ成ルヘク同時ニ爲スヲ常トシ本件ノ場合亦同時ニ大體ノ設計ヲ了セルモノニシテ唯專賣本局ニ對スル稟申手續ヲ數日間隔テタルニ過キササルノミナラス本件ノ如キ簡單ナル工事ニ在リテハ設計技術ノ關係上之ヲ一括シ得サルモノト認ムルコトヲ得ス殊ニ大田原出張所ニ於ケル貯水池新設其ノ他工事ノ如キハ曩ニ當該地方專賣局限施行シ得ヘキ通牒ニ接シタルモノニ係リ且現ニ孰モ同時ニ工事ヲ施行シタル事實ニ徴シ此等工事ヲ各別ニ請負ニ付セサルヘカラサルノ事由ト爲シ難シ依テ本件ハ會計法第三十一條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

地方專賣局ニ於ケル工事ハ事業ノ關係及設計技術員配置ノ關係等ニ依リ工事ノ緩急又ハ其ノ性質等ニ考ヘ一廉毎ニ設計ヲ整ヘ本局ノ認可ヲ經テ施工スルヲ例トシ數日內ニ數廉ノ請負契約ヲ締結スルカ如キコトノ偶發スルハ亦已ムヲ得サル事ニ屬ス併シ此ノ如キ場合ニ於テハ努メテ一括請負契約ヲ爲スヲ事宜ニ適スルモノト認ムルニヨリ將來相當注意ヲ爲スヘシ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

(參照) ○會計法(大正十年四月八日法律第四十二號)

第三十一條 政府ニ於テ寶買貸借請負其ノ他ノ契約ヲ爲サムトスルトキハ勅令ヲ以テ定メタル場合ヲ除クノ外總テ公告シテ競争ニ付スヘシ

國務大臣前項ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムル場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ不動産賣拂ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

國債整理基金

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三四)

一〇二、四〇三、五〇〇

第一款 國債整理基金支出 第一項 國債整理基金支出

【報告】

(三四) 大藏省ノ支出ニ係ル

一〇二、四〇三、五〇〇

ハ慰勞金トシテ大藏省職員百三十餘名及外務省、逓信省、橫濱正金銀行等省外職員ニ對シ支給シタル金額ナリ右ハ本年度豫算額ニ比シ著シク過大ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ英、米兩國ニ於テ發行シタル外債ニ關シ盡力シタル者ニ對シ給與ノ必要アリシカ爲例年ニ比シ多額ト爲リタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本項豫算ハ殆ト國債又ハ借入金ノ償還其ノ利子、手数料、證券製造費等發行償還ニ關スル直接的經費ニ限ラレ人件費ハ僅ニ諸給與千圓ヲ見積レルニ過キス之ニ對シ縱ヒ答辯ニ謂フカ如キ事情アリトスルモ前掲ノ如キ多額ノ慰勞金ヲ支出スルハ豫算使用上失當ノ措置ト認ムヘク從來年々多額ノ慰勞金ヲ支出シ來リ其ノ不當ナルハ大正九年度検査報告ニ詳悉セシ如クナルニ本年度ニ至リテハ益其ノ額ヲ増加シ豫算ノ使用放漫ニ失スルモノアルハ甚ク遺憾トスル所ナリ右ノ外臨時國庫證券收入金ニ於テモ豫算上諸給與トシテ見積レルモノ僅ニ千圓ニ過キササルニ慰勞金トシテ大藏省職員九十餘名ニ對シ壹萬四千六百餘圓ヲ支給セルモノアリ要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス(大正九年度五二參者)

【辨明】

大正十三年度國債整理基金ニ於テ慰勞金トシテ支出シタル金額カ例年ニ比較シ多額ナリシ事由ハ検査報告掲載當該官吏答辯ノ如ク英米兩國ニ於テ發行セル六分利付英貨公債及六分半利付米貨公債ノ發行ニ關シ盡力セル者ニ對シ給與シタル慰勞金四萬八千餘圓ヲ包含セルヲ以テナリ故ニ該金額ヲ控除スルトキハ五萬參千餘圓ニシテ決シテ例年ニ比較シ多額ナリト謂フヘカラス元來國債整理基金ニ於テハ國債ノ發行償還並之カ事務取扱者ニ給與スヘキ慰勞手當及諸謝金トシテ使用スル目的ヲ以テ國債雜費ノ目内ニ於テ之カ給與金額ヲ積算シアルヲ以テ國債ノ發行ニ關シ給與スル慰勞金ヲ本項ヨリ支出スルハ當然ニシテ單ニ支出金額カ多額ナリシ事由ヲ以テ之ヲ不當ナリト斷定シ得サルコト大正九年度検査報告ニ對スル辯明書ニ於テ述ヘタル處ノ如シ但シ之カ豫算額ハ寡少ニ失シ實情ニ適セサルヲ以テ大正十四年度ヨリ相當増額ヲ爲セリ又臨時國庫證券收入金ニ於テ壹萬四千餘圓ノ慰勞金ヲ支出セシハ大正六年度臨時國庫證券收入金特別會計設置以來臨時國

庫證券收入金ノ資金運用ニ關シ盡力シタル者ニ對シ臨時國庫證券收入金特別會計廢止ニ際シ慰勞金ヲ給與シタルモノナリ而シテ臨時國庫證券收入金ニ於テハ資金ノ運用事務取扱者ニ給與スヘキ慰勞手當及諸謝金トシテ使用スヘキ目的ヲ以テ運用諸費ノ目内ニ給與金額ヲ積算シアルヲ以テ之カ支出ハ豫算ノ目的ニ從フ當然ノ措置ニシテ其支出金額カ豫算ニ於ケル積算金額ニ比較シ多額ナル事由ヲ以テ之ヲ不當ナリト斷定シ得サルコト前掲國債整理基金支出ニ關シ述ヘタル處ノ如ク大正十三年度ニ於テハ特殊ナル慰勞金ノ支出ヲ要シタルヲ以テ多額ニ上リシモ之レ實際ノ所要已ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ檢査報告ニ謂フカ如ク豫算ノ使用放漫ニ失セシモノニアラス依テ不當ニアラス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 注意

朝鮮總督府

歳入

寄附金ヲ歳入ニ編入セサルモノ一件(三五)

七二、八八七、三八〇

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三六)

四、〇〇〇、〇〇〇

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(三七)

二、〇三二、四七〇

繼續費豫算年割額改訂ノ趣旨ヲ没却シ年度區分ヲ紊リタルモノ二件(三八)

二、七九九、五七九、四五〇

計四件

二、八〇五、六一〇、九二〇

歳入經常部

第一款 朝鮮歳入 第四項 官業及官有財産收入

【報告】

(三五) 本項決算額ノ外朝鮮總督府逓信局ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

七二、八八七、三八〇

アリ右ハ大正十三年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク電信電話創設其ノ他工費用トシテ本年度内寄附ヲ受ケタルモノニ係リ名ヲ物品勞力ノ寄附ニ藉ルト雖寄附者ハ單ニ現金ノ提供ヲ爲スニ止リ物品ノ購入及勞力ノ使用等一切官ニ於テ直接之ヲ實行シ殘餘ヲ生セサル様經理スルモノナルヲ以テ事實上現金ノ寄附ヲ受ケタルモノト謂フヘク隨テ此等ノ收入ハ總テ歳入ニ整理

【報告】

シ工事ハ歳出豫算ヲ以テ施行スヘキモノナルニ之ヲ歳入歳出ノ外ニ置キ特別ノ整理ヲ爲シ之ニ依リ別途ニ工事ヲ施行シ若ハ其ノ一部ヲ國費豫算ニ合同使用シ收支ヲ移用シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス〔大正十二年度四三三〇六頁參看〕

【辨明】

本件ハ大正十二年度檢査報告ニ對シ詳細辨明セシ如ク朝鮮ニ於ケル電信電話普及ノ程度ハ内地又ハ臺灣、關東州ニ比シ甚シキ軒輊アルヲ以テ未タ電信電話ノ開設ナキ地方ニ於テハ之カ急速設備ヲ要望シテ止マス然ルニ限リアル歳出豫算ノ施設ヲ待ツトキハ幾年後ニ其ノ完成ヲ見ルヤ豫測シ難キヲ以テ速ニ希望ノ設備ヲ達成スル爲メ其ノ所要物品勞力ヲ寄附シ特急施設ヲ請願セルモノニシテ現金ノ寄附ヲ受ケタルモノニアラス故ニ政府ハ右物品勞力ノ寄附ヲ受理シ願意ニ依ル工事ヲ施行セシモノニ付寄附ノ本旨ヨリスルモ將タ事實上ヨリ見ルモ之ヲ歳入ニ編入シ得サルモノトス而シテ右寄附物品ノ購入及勞力ノ供出ハ品質ノ選擇工事施行順序等ノ關係上寄附者ニ於テ調達スルコト困難ナルヲ以テ之ヲ政府ニ委託セルハ朝鮮トシテハ事情已ムヲ得サル次第ナリ其ノ委託購入物品及勞力費ノ支拂ニ充當スヘキ現金ハ會計法規上政府保管金トシテ取扱フコトヲ得サルニ依リ已ムナク職員中ヨリ選定セル個人ニ於テ出納保管ノ委託ヲ受ケ整理シ居レルモノニ付委託金精算上ノ過不足額ハ委託者ニ返還シ又ハ追納セシムルハ勿論ニシテ過不足ヲ生セサル様經理スルモノニアラス故ニ本件ハ歳入歳出ニ編入スヘキ筋合ノモノニアラス又寄附物件ヲ以テ請願ニ依ル工事ヲ施行セルハ朝鮮ノ現狀ニ鑑ミ最モ適切ナル措置ニシテ不當ニ非スト認ム

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

歳出經常部

第二款 總督府 第五項 衛生費

【報告】

(三六) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

四、〇〇〇、〇〇〇

ハ警務局長丸山某外六十餘名ニ對シ傳染病豫防事務手當トシテ支給シタル金額ナリ右ハ大正十二年度檢査報告特別會計大藏省所管朝鮮總督府歳出經常部第二款總督府第五項衛生費ニ於テ詳悉セシ如ク傳染病豫防費豫算中ニハ人件費トシテ囑託醫手當及備人料ヲ見積リアルノミニシテ判任官以上ニ對スル手當ノ如キハ其ノ積算ナキノミナラス血清及豫防液類製造費ハ豫算不足ノ爲第一豫備金ヨリ補充ヲ受ケタルモノナルニ貳千五百餘圓檢査費ヨリ貳千貳百餘圓獸疫豫防費ヨリ貳百餘圓ヲ傳染病豫防費ニ流用シ本件手當ヲ支給シタルモノニシテ其ノ措置當ヲ得タルモノト認ムルヲ得ヌ要スルニ本件ハ本項豫

【辨明】

算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス〔大正十二年度四三二〇八頁參看〕
大正十三年度總督府、衛生費ニ於テ判任官以上六十三名ニ對シ傳染病豫防事務手當トシテ四、〇〇〇圓ヲ支出シタルハ同年ハ賜チフス、赤痢、猩紅熱等ノ急性傳染病各地ニ流行シタルノミナラス上海、營口、大連等ニハコレラ患者發生シタルヲ以テ極力之カ防疫ニ從事シ又内地ニ發生シタル嗜眠性腦炎ハ極力豫防ニ努メタルモ遂ニ鮮内ニ入り五十餘名ノ患者發生シ之カ豫防事務ニ從事シタル判任官以上ノ勤勞ハ囑託以下ニ比シ遙ニ大ナルモノアルニ依リ大正十二年度決算検査報告ニ對スル辯明書(三)ノ通り從來判任以上ニ對シテモ支給シ來リタルヲ以テ同年度ニ於テモ之ヲ支給セリ〔大正十二年度四三二〇八頁參看〕

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(二八七頁參看)

歳出臨時部

第七款 土木費 第二項 海關工事費

【報告】

(三七) 朝鮮總督官房土木部元山出張所ノ支出ニ係ル

一、〇三二、四七〇

ハ元山築港背面道路築造外二工事ノ人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實同出張所工場雇高橋某カ人夫賃金計算事務ニ從事中大正十三年四月ヨリ同年十月ニ至ル間ニ於テ關係書類ヲ偽造シ實際使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如ク裝ヒ之ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院報告ノ通り

右犯行ハ十三年十一月五日發見セルヲ以テ直ニ警察官署ニ告發シ同時ニ犯人ノ親戚ヲ呼出シ交渉ノ上同年十一月二十四日被害金全部ヲ辨償セシメタリ而シテ右事件ノ責任者タル技手小中勇作同西澤賢吾ハ譴責處分ニ附シ監督者タル所長技師野口耕一ハ事情酌量スヘキ點アリシヲ以テ戒告ニ附シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第八款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】

(三八) 本項ニ於テ朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

一、二五六三、九四五、五九〇

第二項改良費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル

一、三三五、六三三、八六〇

ハ大正十二年度ニ於テ南滿洲鐵道株式會社カ同社ノ資金ヲ以テ立替支辨ヲ爲シタル鐵道建設及改良工事其ノ他ノ經費ニ對シ本年度ニ於テ支出シタル金額ナリ抑朝鮮ニ於ケル國有鐵道ノ建設改良工事ハ朝鮮總督府ニ於テ計畫ヲ爲シ大正六年以降之カ施行ヲ南滿洲鐵道株式會社ニ委託セルモノニシテ十二年度ニ於ケル建設費豫算額ハ前年度繰越額ヲ併セ千百七拾八萬餘圓改良費參百貳拾貳萬餘圓ナリシニ總督府ハ之ニ超過セル會社ノ實施豫算額ニ對シ認可ヲ與ヘ工事ヲ施行セシメ會社ハ建設費千四百參拾四萬餘圓改良費四百貳萬餘圓ヲ支出シ政府豫算額ニ對スル超過額ハ會社ノ資金ニ依リ立替支辨シタルヲ以テ總督府ハ右立替支辨額ノ内前掲金額ヲ本年度ニ於テ決算シ尙改良費五拾七萬餘圓ハ之ヲ十四年度ニ繰越シタリ而シテ十三年度ニ於テモ同様建設費貳百六拾壹萬餘圓改良費貳拾壹萬餘圓ノ立替支辨ヲ爲セル事實アリ右ハ豫算年割額ヲ超過シ工事ヲ施行セシメタルモノニシテ妥當ノ措置ニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ十、十一兩年度ニ於ケル鐵道建設及改良費豫算ハ年割額貳千萬圓ナリシモ兩政整理ノ結果十二年度千五百萬圓十三年度ハ千萬圓ト爲リ爾後十七年度ニ至リ更ニ貳千萬圓ニ回復スルノ計畫ニ改定セラレ十四年度全通ノ豫定ナル咸鏡線其ノ他ノ事業ハ漸次繰延ヲ爲シタルニ拘ラス會社ニ於ケル工事施行機關ハ貳千萬圓以上ヲ標準トシ組織計畫セルヲ以テ一時的縮小ハ多大ノ不利益ト事實上困難ナル事情アリ且咸鏡線ノ敷設ハ一日ヲ爭フ喫緊ノ事業ナルヲ以テ會社ノ提議ニ應ジ幾分ノ工事ヲ進ムルコトヲ容認シ之ニ對シテハ翌年度豫算ノ公布ヲ竣チテ決算シタリト謂フニ在リ然レトモ繼續費豫算ノ年割額ハ各年度ニ於ケル事業ノ遂行ヲ目的トスルモノナルヲ以テ之カ工事ノ施行ハ當該年割額ノ範圍内ニ限ルヘキハ當然ナルニ本件ハ後年度ニ於ケル豫算ヲ引當テ會社ニ於テ立替支辨ヲ爲スヘキ工事費ヲ包含セル實施豫算ニ對シ認可ヲ與ヘ之ヲ施行セシメタルモノニシテ畢竟豫算年割額ヲ無視シテ工事ヲ遂行シタルモノト謂ハサルヲ得ス縱ヒ答辯ニ謂フカ如ク兩政整理ニ基ク工事ノ一時的縮小ハ不利ノ事情存シ且咸鏡線ノ敷設ハ要急ノ事業ナリトスルモ會社ノ立替支辨ニ依リ當該年度ノ豫算年割額ヲ超過スル工事ヲ施行シ負擔ヲ後年度ニ移スカ如キハ豫算ヲ無視シ所屬年度ヲ紊ルモノニシテ妥當ノ措置ト認メ難シ要スルニ本

件へ繼續費豫算年割額改訂ノ趣旨ヲ没却シ年度區分ヲ紊リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ工事施行ノ委託ヲ受ケタル南滿洲鐵道株式會社ニ於テ其ノ工事ノ都合ト經營上ノ利益トヲ考慮打算シテ自己資金ノ融通範圍内ニ於テ後年度ニ屬スル工事ヲ前年度ニ繰上ケ施行シタルモノニシテ政府ハ當時ニ於ケル周圍ノ事情ヲ考慮シ機宜ニ適シタル措置トシテ之ヲ容認シタルニ止マリ政府ニ於テ豫算年割額ヲ無視シ工事ノ進捗ヲ企圖シタルニアラス又年割額ヲ超過シ支拂義務ヲ負擔シタルモノニモアラサルヲ以テ何等不當ノ措置ニアラスト認ム

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

臺灣總督府

歳出

專賣品ノ補償金高キニ失シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(三九)

四、五一五、〇九二^円二〇〇

歳出經常部

第十五款 專賣局

第四項 專賣品補償及購買費

四、五一五、〇九二^円二〇〇

【報告】

(三九) 臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル

ハ臺灣製腦株式會社ヨリ收納セル臺灣產粗製樟腦百六十五萬四千七百七十三斤及同樟腦油八百三萬二千七百五十一斤ノ代價ナリ右ハ大正十二年檢査報告特別會計大藏省所管臺灣總督府歳出經常部第十五款專賣局第四項專賣品補償及購買費ニテ詳悉セシ如ク現行補償金ハ十年七月改正セラレ其ノ計算ノ基礎ハ樟腦百斤當平均生産費七拾壹圓貳拾四錢餘ニ對シ五分餘ノ利益參圓八拾八錢餘ヲ加ヘ又樟腦油ハ生産費參拾八圓六拾八錢餘ニ對シ同率ノ利益貳圓六錢餘ヲ加ヘ豫定シタルモノナルモ本年度ニ於ケル實績ヲ觀ルニ其ノ生産費ハ樟腦六拾參圓五拾四錢餘樟腦油參拾貳圓九拾四錢餘利益ハ樟腦拾貳圓五拾錢樟腦油七圓五拾八錢餘ニシテ生産費低下シ利益著シク増加セルニ之ヲ斟酌スルコトナク補償金ヲ相當ナリトシテ之カ改定ヲ爲サス收納シタルハ其ノ措置宜シキヲ得タルモノト認メ難シ要スルニ本件ハ補償金高キニ失シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(大正十二年度五〇二二三頁參看)

【辨明】

本件ハ大正十二年度分ニ於テ辨明セル如ク會社利益ヲ大正十年補償金改正當時ノ算出ノ基礎タル生産費ニ對スル五分見當トスルコトハ同意シ得サルトコロナリ又本年度ノ生産費ニ對スル利益歩合及會社總益金ハ何レモ大正十二年度ニ比シ著シク減少シアリ且ツ會社ノ利益配當ヲ無視シ得サルノミナラス生産費ニ對スル利益歩合及總益金ハ漸次減少ノ傾向ニアリシヲ以テ補償金ノ改定ヲ行ハサリシモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

樺太廳

歳入

歳入歳出ヲ混同シタルモノ一件(四〇)

九一、一七〇^円二五〇

官有物拂下代金徵收上ノ措置緩慢ニ失シタルモノ二件(四一)(四四)

二、三三三、二一六^円二二四

官行斫伐材ノ賣拂ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(四二)(四三)

三、六二七、三二六^円九五〇

計五件

三、九五〇、七一三^円四二四

歳入經常部

第一款 樺太歳入

第二項 官業及官有財産收入

九一、一七〇^円二五〇

【報告】

(四〇) 樺太廳鐵道事務所ノ徵收ニ係ル

ハ三井鑛山株式會社ノ經營ニ係ル川上炭山採掘ノ石炭約七萬四千噸ニ對シ規定運賃ノ三割引ヲ以テ貸切扱ニ依リ運送シタル賃金ナリ右ハ大正十一、十二兩年度檢査報告特別會計樺太廳歳入經常部第一款樺太歳入第二項官業及官有財産收入ニ於テ詳悉セシ如ク畢竟運賃割引差額ヲ以テ川上炭山奥川上間鐵道建設費六拾萬圓ヲ償却セムトスルモノニシテ歳入歳出ノ混同ヲ爲スモノト認ムヘク當局者ハ會社ノ出願ニ基キ十四年一月ニ至リ右鐵道及附屬物件ノ寄附ヲ受クルニ至リタルモ運賃ノ割引ハ其ノ儘繼續實施セルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正十一年度五九八二頁及十二年度五三二一七頁參看)

【辨明】

本件ハ大正十二年度批難事項歳入經常部第一款樺太歳入第二項官業及官有財産收入(一)ニ對シ辨明セシ通ナリ(大正十二年度五三二一八頁參看)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

歳入臨時部

大正十三年度 樺太廳 (四〇)

第一款 官有物拂下代 第一項 官有物拂下代

【報告】

(四一) 本項決算額ノ外樺太廳ニ於テ徵收ニ至ラサルモノ

八六、五二八^四九二四

アリ右ハ大正七年度乃至十二年度ニ於テ獲取シタル臘肭獸皮ニ對スル賣拂代金ナルニ十四年十月ニ至リ漸ク徵收シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ當時關係書類ノ整理ニ時日ヲ要シ徵收遲延シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ七、八兩年度分ハ九年十月、九年度分ハ十年十二月、十年度分ハ十一年十二月、十一年度分ハ十二年八月、十二年度分ハ十四年三月販賣受託者大倉商事株式會社外一會社ヨリ精算書ヲ提出セルモノナルニ之カ代金ハ孰モ十四年十月ニ至リ漸ク徵收セルモノニシテ措置緩慢ニ失シタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

大正七、八、九年度臘肭獸皮賣拂代金關係書類ニ不備ノ點アリ整理未済ナリシ爲メ爾後十、十一、十二各年度ノ精算書モ提出ノ遲ヒニ至ラサリシモノナルカ漸ク十四年十月ニ至リ一切完了ヲ見タルモノナリ如此整理ノ遲延セルハ甚ダ遺憾ナリトス

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

第二款 官行斫伐收入 第一項 官行斫伐收入

【報告】

(四二) 本項決算額ノ外樺太廳ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

二、四六四、二五八^四四九〇

アリ右ハ樺太林業株式會社ニ對シ拂下ケタル官行斫伐材賣拂代金參百八拾參萬千七百七拾壹圓四拾八錢ノ内ニシテ同會社ニ對シ概シテ無擔保ヲ以テ賣拂代金ノ延納ヲ許可シタルカ爲此ノ如キ多額ノ未收入ヲ生スルニ至リタルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

會社ノ社長ハ木材ニ相當ノ經驗アリ且各重役ハ孰モ巨萬ノ資産ヲ有シ信用厚キヲ以テ延納ヲ許可シタルモノナリ而シテ大正十二年度分ニ在リテハ偶關東震災火災ノ影響ニ依リ金融梗塞シ納入困難ト爲リタルモ各重役ノ保證ヲ徵シ歳入ノ整理期間中ニハ確實ニ納付セラルヘキ状態ニ在リタルヲ以テ本年度分ニ付再ヒ無擔保延納ノ許可ヲ與ヘタルモノニシテ代金

ハ確實ニ徵收シ得ラルル見込ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ樺太林業株式會社ハ官行斫伐材ノ買受ヲ目的トシ公稱資本貳百萬圓拂込額五拾萬圓ヲ以テ新ニ經營セルモノニシテ事業ノ成績信用ノ程度等之ヲ豫測スルニ困難ナルノ情況ニ在ルノミナラス當時關東震災火災ノ後ヲ受ケ木材市況逆踏シ難ク又官行斫伐材拂受人ニ在リテモ十三年五月中市況不振ヲ事由トシ賣拂單價值引ヲ出願セル等ノ事實アリシヲ以テ本會社ニ對シ代金ノ無擔保延納ヲ許可セムトセハ特ニ慎重ノ考慮ヲ加ヘ後日ニ至リ代金納入上ノ懸念ナキ程度ニ止ムルヲ相當トス加之會社ハ十二年度中無擔保延納ヲ以テ貳百拾九萬餘圓ノ賣拂ヲ受ケ年度末ニ於テ五拾九萬餘圓ノ滯納ヲ生セルノ事實アリ然ルニ社長及重役ニ經驗若ハ信用アルヲ以テ代金ノ收入ニ懸念ナシトシ漫然無擔保ヲ以テ參百六拾九萬餘圓ノ巨額ニ上ル賣拂ヲ爲シ遂ニ貳百四拾餘萬圓ノ滯納ヲ來シ之カ收入困難ナルニ至レルカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ官行斫伐材ヲ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

大正十三年度官行材ヲ樺太林業株式會社ニ對シ無擔保延納ヲ以テ拂下ケタル當時ニアリテハ代金ノ納入ニ懸念ナシト認メタルモノナランモ爾後木材界ノ不況ニ伴ヒ會社ノ業績不良ニシテ十二年度拂下代金貳百拾九萬四千六百五拾餘圓中年度内納入ヲ了シタルモノノ百六拾萬圓年度後納入セルモノノ五拾九萬四千六百五拾餘圓ニシテ全部完納ヲ見タルモノ十三年度拂下代金參百八拾貳萬八千七百七拾餘圓ニ對シテハ年度内納入ヲ了シタルモノノ百參拾六萬餘圓年度後納入セルモノノ五拾參萬餘圓ニシテ尙ホ百九拾貳萬五千參拾餘圓ノ未納アルハ頗ル遺憾トスル所ナリ其ノ回收ニ付テハ嚴重督促中ナリ

【貴決】 措置不當ナリ

【衆決】 不當

【報告】

(四三) 本項決算額ノ外樺太廳ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

一、二六三、〇六八^四四六〇

アリ右ハ株式會社松昌洋行ニ對シ拂下ケタル官行斫伐材賣拂代金百四拾萬七千百貳拾參圓參拾四錢ノ内ニシテ同會社ニ對シ概シテ無擔保ヲ以テ賣拂代金ノ延納ヲ許可シタルカ爲此ノ如キ多額ノ未收入ヲ生スルニ至リタルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ無擔保延納ノ當時ニ在リテハ代金ノ納入ニ付支障ナシト認メタルモ今日ヨリ觀レハ遺憾ノ點少シトセスト謂フニ在リ抑同會社ハ大正十三年三月其ノ本店ヲ東京市ヨリ樺太ニ移轉シ資本金五百萬圓ニ上レ

ルヲ以テ十年樺太廳令第四十五號ニ依リ調査ノ上差支ナシトシ無擔保延納ヲ許可シタルモノナルモ同會社十二年十一月末貸借對照表ニ依レハ前期繰越缺損金五百參拾六萬餘圓ニ上リ當期損失金亦貳萬餘圓ヲ存シ其ノ資産信用確實ナルモノト認ムルヲ得ス然ルニ會社ノ十三年三月樺太廳ニ提出シタル貸借對照表ニ依レハ繰越損失金合計貳萬千餘圓ニ減少シアリ右ハ株主總會ノ決議ヲ經テ其ノ支拂手形ノ内五百參拾六萬餘圓ハ合資會社山本總本店ニ於テ債務ノ引受ヲ爲シ之ニ相當スル繰越損金ヲ切落整理處分シタルモノノ如シト雖債務引受ニ關シ債權者臺灣銀行承認ノ有無ヲ確認スルニ足ルノ書類ナキノ狀況ナルノミナラス假ニ其ノ債務ヲ免レタルモノナリトスルモ尙支拂手形及借入金參百七拾壹萬餘圓山本總本店ヨリノ負債貳百貳拾壹萬餘圓ニ上リ又資産中帝國炭業株式會社株式六百八萬餘圓ノ如キモ已ニ債權ノ擔保ニ提供セラレアルノ狀況ニシテ會社ノ資産信用確實ナルモノト認ムルヲ得ス而シテ賣拂代金收入ノ狀況ヲ觀ルニ年度内ニ收入シタルハ契約保證並有擔保拂下ノ提供有價證券賣却代等貳拾四萬餘圓ニ過キス殘額百拾六萬餘圓ハ遂ニ收入ニ至ラス年度經過後ニ至リ納入シタルモノ亦僅ニ七萬六千餘圓ニシテ爾餘ノ滯納額ハ其ノ收入困難ナルノ實況ニ在リ此ノ如キハ畢竟無擔保延納ノ處分其ノ當ヲ失セシニ基因スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ官行斫伐材ノ賣拂ニ當リ其ノ措置宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

大正十三年度官行材ヲ株式會社松昌洋行ニ對シ無擔保延納其ノ他ヲ以テ拂下ヲナシタル當時ニ於テハ代金ノ納入ニ付キ支障ナシト認メタルナランモ今日ヨリ觀レハ遺憾ノ點決シテ勢シトセス拂下代金總額百四拾萬七千百貳拾餘圓ニ對シ年度内納入セルモノ貳拾四萬四千五百餘圓年度後ノ納入ニ係ルモノ七萬六千貳拾五圓ニシテ差引百八萬六千八百四拾餘圓ノ未納アリ尙ホ同社ニ對シテハ目下訴訟手續中ナリ

【貴決】 措置不當ナリ

【衆決】 不當

(參照)

○樺太廳ニ屬スル生産物賣拂代金延納ニ關スル件 (大正十年十一月十一日 樺太廳令第四十五號)

樺太廳ニ屬スル鑛產物、水產物及林產物ノ賣拂代金ハ一口五百圓以上ナル場合ニ限り國債ヲ擔保トシテ提供セシメ一年內ノ延納ヲ許可スルコトヲ得但シ左ノ場合ニ限り擔保ヲ免除スルコトヲ得

一 樺太內ニ本店ヲ有シ資本金二百萬圓以上ヲ有スル法人又ハ樺太內ニ本店ヲ有セサルモ資本金千萬圓以上ヲ有スル法人ニ賣

拂フトキ

【報告】

(四四) 本項決算額ノ外樺太廳ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

一四五、六八七、三〇〇

アリ右ハ大正十二年度中豊原町遠藤某ニ對シ賣拂ヒタル官行斫伐材賣拂代金ノ内滯納ニ屬スル金額ナリ十三年八月實地検査ニ際シ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本人ニ對シ數次嚴重督促ヲ加ヘタルモ納入ニ至ラス更ニ嚴談ノ結果十三年十月上旬迄ニハ必ス完納スヘキ旨誓約セルニ付納入確實ノ見込ナリト謂フニ在リ然レトモ本件拂受人ハ樺太內ニ住所ヲ有シ資産百數拾萬圓ニ上リ信用確實ニシテ代金納入上ノ懸念ナシトシ十二年度中無擔保延納ニ依リ賣拂ヒタル官行斫伐材ノ内貳拾參萬九千百貳拾參圓四拾六錢ノ分ハ同年度中ノ代金徵收ニ至ラス十四年三月漸ク九萬參千四百參拾六圓拾六錢ヲ納入シタルモ前掲金額ハ爾後最近ニ至ル迄尙收入ヲ了セサルモノナリ要スルニ本件ハ歲入徵收上ノ措置緩慢ニ失スルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

大正十二年度中無擔保延納ニヨリ遠藤某ニ對シ賣拂ヒタル官行材代金ハ五拾七萬參千貳百餘圓ニシテ年度内收入済ノモノ參拾參萬四千八拾餘圓其ノ後納入セルモノ九萬參千四百參拾餘圓アルモ尙ホ拾四萬五千六百八拾餘圓ノ未納アルハ甚タ遺憾トスル所ナリ其ノ回收方ニ付テハ目下嚴重督促中ナリ

【貴決】 措置適當ヲ關ク

【衆決】 承認

文部省所管

東京帝國大學

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四五)

二一九、〇三五、九八〇

歳出臨時部

第一款 營繕費 第八項 工學部擴張費

【報告】

(四五) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

二一九、〇三五、九八〇

大正十三年度

樺太廳 (四四)

東京帝國大學 (四五)

三二九

【報告】 工學部共同列品室新營並附帶工事費參拾萬五千貳百九圓九拾八錢ノ内ニシテ八萬六千七百七拾四圓ハ大正十二年度ニ屬シ外ニ官給材料四千五百七拾七圓九拾四錢ヲ使用セリ右ハ大正十二年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク物價勞銀騰貴ヲ事由トシテ要求シタル追加豫算ノ大部分ヲ豫定外ノ工事ニ使用シタルモノニシテ不當ナリトス【大正十二年(六五)三三三頁參看】

【辨明】 東京帝國大學ノ支出ニ係ル二一九〇三五圓九八〇ハ工學部共同列品室新營並附帶工事費ニシテ豫定外ノ工事ニ使用シタルハ不當ナリトノ批難ナルモ大正十二年度檢査報告ニ對シ辨明シタル通豫算編成ニ際シテハ大體ノ設計ヲ示シタルモノナルカ故ニ實施ニ當リテハ豫算各目明細書内譯ノ構造其ノ他ノ設計ヲ變更シテ適切ナル工事ヲ遂行スルハ豫算ノ運用ヲシテ最モ有利ナラシムル措置ナリトス故ニ本費ノ豫定計畫内ナル教室及實驗室ニ要スル標本其ノ他各種ノ參考品ヲ一定ノ箇所ニ收納シテ適當ニ排列シ以テ授業及研究上ノ利用價值ヲ増進セシムル等ノ爲メ其ノ内容ノ設計ヲ變更シ施工シタルモノニシテ決シテ豫定外ノ工事ニ使用シタルモノニアラス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

京都帝國大學

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(四六)

三六、八三〇、三九〇

歳出臨時部

第一款 營繕費 第二款 特別講義室新營費

【報告】 (四六) 京都帝國大學ノ支出ニ係ル

三六、八三〇、三九〇

ハ同大學本部所屬建築工事費、文學部所屬書庫及研究室等ノ新營、増築並附帶工事費ニシテ第四項工學部擴張費及第六項理學部地質礦物學教室新營費ヲ併セ貳拾九萬六千八百參拾五圓四拾錢ノ内ニシテ貳拾六萬五圓壹錢ハ大正十二年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ大正十一、十二兩年度檢査報告ニ於テ詳悉セシ如ク工事施行上之カ經費ノ豐裕ナルニ乘シ豫算ニ積算ナキ新規ノ施設ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス【大正十一年度(七〇)九四頁及十二年度(六六)三三四頁參看】

【辨明】 京都帝國大學ノ支出ニ係ル三六、八三〇圓三九〇ハ同大學本部所屬建築其ノ他ノ工事費ニシテ豫算ニ積算ナキ新規ノ施設ヲ爲シタルモノナリトノ批難ナルモ一般會計第二款高等諸學校創設及擴張費ニ於テ辨明セシ通本費ノ目的ニ隨ヒ講義室等ヲ建設シタルモノニシテ之等建物ノ一部ヲ講義室建設ノ目的ニ附帶シテ總長室、面接室等必要ナル用途ニ使用シタルニ過キス且會計檢査院ニ於テハ工學部擴張費及理學部

地質礦物學教室新營費ヲ以テ文學部所屬書庫及研究室等ノ新營増築並附帶工事ヲ施行シタリト謂フモ本年度ニ於テハ一モ施行シタルモノナシ要スルニ本件ハ豫算ノ趣旨ニ隨ヒ必要ナル施設ヲ爲シタルモノニシテ豫算ニ積算ナキ新規ノ工事ヲ爲シタルモノニアラス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

農商務省所管

製鐵所

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(四七)(四八)

一一二、三八六、七八〇

第一款 製鐵所作業費 第二款 事業費

【報告】 (四七) 製鐵所ノ支出ニ係ル

一〇〇、六一八、二八〇

ハ製鐵所附屬病院本館増築費豫定額八拾壹萬貳千六百拾四圓ノ内敷地四百十九坪餘ノ買收代金並地上物件移轉料及本館基礎工事費ニシテ八萬千四百拾貳圓四拾參錢ハ大正十二年度ニ六拾參萬八百五拾參圓貳拾九錢ハ十四年度以降ニ屬スルモノナリ右ハ大正十二年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク新ニ敷地二千四百餘坪ヲ購入シ十三年十一月起工十六年三月竣功ノ豫定ヲ以テ舊本館ノ二倍餘ニ相當スル延千八百餘坪ノ別箇ノ建物ヲ建設セムトスルモノニシテ維持補充ノ範圍ニ屬スル施設ト認ムヘキモノニ非サルノミナラス作業費豫算ノ餘裕ヲ豫測シ繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年ニ互リ其ノ目的ヲ達成スヘキ工事ヲ施行スルカ如キハ豫算ヲ無視シ且作業會計法第四條ニ違背シタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス【大正十二年度(六七)三三五頁參看】

【辨明】 本件ハ大正十二年度檢査報告ニ對スル辨明書ニ詳悉セル如ク畢竟舊館ノ不備ヲ補足シタルニ過キサルモノノ工事費ナルヲ以テ固定資本ノ維持補充ト認メ作業費支辨ト爲シタルモノニシテ其ノ經費ニ付テハ作業會計ノ本旨ニ鑑ミ緩急ヲ調節シ豫算ニ計上シ居レリ故ニ本件ハ豫算ヲ無視シタルモノニアラサルノミナラス作業會計法第四條ニ違背シタルモノニモアラサルヲ以テ取テ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

大正十三年度 製鐵所 (四七)

(參照) ○作業會計法(明治二十三年三月十八日)

第四條 固定資本ノ維持修理及補充ハ作業所特別會計ノ歳入ヲ以テ支辨スヘシ

【報告】 (四八) 製鐵所ノ支出ニ係ル

一、七六八、五〇〇

ハ公餘俱樂部ニ貸付シタル八幡市高見町第五十六號官舎及門田第四十二號官舎並戸畑作業場ニ於テ同俱樂部ノ使用シタル備人料、備品費、消耗品費等ナリ右ハ大正十二年検査報告特別會計農商務省所管製鐵所歳出第一款製鐵所作業費第二項事業費ニ於テ詳悉セシ如ク同俱樂部ハ製鐵所ノ經營スルモノニ非ス全然別箇ノ系統ニ屬スルモノナルヲ以テ其ノ經營ニ要シタル備人料、備品費、消耗品費等ニ至ル迄之ヲ國費ノ支辨ト爲スカ如キハ其ノ理由ナキノミナラス若來所者等接待ノ爲必要アルモノトセハ本費中別ニ接待費ノ豫算存スルヲ以テ該費ノ支辨ト爲スヲ相當トス依テ本件ハ不當ナリトス(大正十二年度(六八)二三六頁參看)

【辨明】

本件ハ大正十二年度検査報告ニ對スル辨明書ニ詳悉セシ如ク畢竟製鐵所來資及取引先關係來所者接待所設備ノ一部ニ屬スル經費ナルヲ以テ之ヲ國費支辨トナセルハ敢テ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

鐵道省所管

帝國鐵道

歳入

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ三件(五四)(五五)

六三七、〇八〇

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(四九)(五〇)

二、二八三、六九八、四六七

土地買收價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五一)

四二九、六五六、四八〇

物件購入上注意ノ周到ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(五二)

四一〇、〇〇〇、〇〇〇

工事設計上適當ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(五三)

三八〇、一五一、四九〇

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(五七)

一五、一九九、七七〇

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ三件(五八)(五九)(六〇)

四、七五二、一〇〇

其ノ他不當ナルモノ一件(五六)

五〇、〇〇〇、〇〇〇

計十件

三五七三、四五八、三〇七

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第二項 改良費

【報告】

(四九) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一、四〇六、六八七、二二七

ハ鐵道省教習所其ノ他ニ充當ノ目的ヲ以テ買收セル東京府池袋附近成蹊學園跡敷地九千四百四十四坪餘並地上建物延千七百九十九坪餘ノ代價及同構内ニ施設セル寄宿舎新築其ノ他ノ工事費百四拾四萬千貳百七拾五圓四拾五錢七厘ノ内ニシテ參萬四千五百八拾八圓貳拾參錢ハ大正十四年度ニ屬シ外ニ官給材料六千五百五拾五圓ヲ使用セリ右ハ適當ノ施設ト認メ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

從前ノ鐵道省教習所敷地ハ狹隘ニシテ教育上須要ナル設備ノ充實ヲ期スルコトヲ得サル憾アリ一面該地ハ東京驛構内擴張用トシテ必要アリタルヲ以テ過般ノ震火災ニ因リ校舎其ノ他ノ燒失セルヲ機トシ急速之ヲ他ニ求ムル必要ヲ生シ又東京鐵道局教習所ニ付テハ震災直後被服工場ノ復舊ハ被服供給上最急施ヲ要セシニ從來ノ敷地ハ近ク東京市ニ移管スルコトニ決定シ居ルヲ以テ局教習所敷地及建物ヲ右工場ニ充當スルト共ニ省教習所ト局教習所ト同一敷地内ニ建築スルコトトセハ實習設備ノ利用其ノ他教育上ノ便多カルヘク依テ之カ敷地選定中偶成蹊學園ノ移轉ニ依リ該敷地及建物ノ不用ト爲レルモノアリ右ハ教育上最適當ノ場所ニシテ此ノ如キ敷地ハ容易ニ買收シ得サルハ勿論附近一帶ノ土地ハ逐年發展シ隨テ土地價格モ益昂騰スル傾向アルヲ以テ經費多端ノ際ナリシモ急速買收スルヲ得策ト認メ之ヲ購入シタル次第ナリト謂フニ在リ然レトモ之カ施設ノ大體ヲ觀ルニ十三年四月費額五拾五萬圓ヲ以テ成蹊學園跡敷地九千四百餘坪校舎延千三

百五十餘坪住宅十二棟四百七坪餘其ノ他物置浴場炊事場等ノ附屬建物ヲ併セ買收スルト共ニ二千百餘坪ノ借地ヲ爲シ尙參拾四萬六千餘圓ヲ以テ省教習所用四拾六萬九千餘圓ヲ以テ局教習所用ノ各寄宿舎等ヲ新築シタルノ外參萬參千餘圓ヲ投シ品川町所在局教習所校舎ノ一部其ノ他ヲ移轉改増築シ更ニ四萬千六百餘圓ヲ以テ電燈電力通信設備ヲ爲シタルモノニシテ現ニ一萬千六百餘坪ノ敷地ニ新舊建物ヲ併セ校舎並講堂延千四百餘坪寄宿舎延二千三百餘坪諸實驗室並投炭練習所五百餘坪ノ外浴場炊事場食堂劍道場作業室生徒休養所集會所官舎等ヲ有スル狀況ナリ而シテ省教習所ハ過般ノ震災ニ因リ燒失セルヲ以テ之ヲ補充スルノ要アリト雖當時生徒定員四百六十名現員三百五十九名ニ對シ此ノ如キ廣大ナル土地建物ヲ買收スルノ必要ヲ認メ難ク殊ニ同教習所ハ十四年三月限之ヲ廢止シ其ノ一部ヲ局教習所ニ併合スルニ至リシモノナリ又局教習所ニ至リテハ十二年三月ノ新築ニ係リ震災ニ因ル被害ヲ免レタルモノナルニ新築後幾クモナク之カ移轉ヲ決行スルニ至リタルハ畢竟省教習所ノ施設トシテ適當ノ買收ヲ爲シタル結果ニ外ナラスシテ當局者ノ辯明ニ所謂被服工場復舊ノ如キハ他ニ相當ノ方法ヲ講スヘキ途ナカリシモノト認メ難シ今ヤ鐵道ノ震災ニ對スル復舊復興ハ最急ヲ告ケ其ノ經費モ巨額ヲ要スル秋ニ於テ右教習所ニ對シ百四拾四萬餘圓ノ多額ヲ投スルカ如キハ其ノ輕重緩急ヲ失シタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

元鐵道省教習所ハ東京驛ノ背後ニ在リタルモ大震災ノ際全部燒失セリ然ルニ其ノ敷地ハ狹隘ニシテ教育上須要ナル設備ノ充實ヲ期スルコト能ハサリシ狀態ニ在リタルノミナラス該地ハ東京驛構内ノ擴張用トシテ必要アルヲ以テ右燒失跡地ニ再築スルコト能ハサルニ至リ又東京鐵道局教習所ハ元汐留驛構内ニ在リタルモ用地ノ關係ニ依リ品川ニ移轉スルコトトシ震災前同地ニ新築シテ其ノ一部移轉ヲ了シタルモ一方等シク震災ニ依リ全燒シタル東京市芝區所在被服工場ハ被服ノ供給上其ノ復舊焦眉ノ急ヲ要セシニ同敷地ハ都市計畫ノ關係上東京市ニ移管スルコトニ決定セシヲ以テ其ノ候補地ヲ物色シタルモ當時適當ナル場所ナク已ムヲ得ス品川ノ局教習所ヲ之ニ充當スルコトト爲シタルニ依リ此ノ機會ヲ利用シ省教習所ト局教習所ト同一敷地内ニ併設スルコトトセハ實習設備ノ利用其ノ他教育上ノ便多カルヘキヲ慮リ之カ敷地ノ選定中偶成蹊學園ノ移轉ニ依リ該敷地及建物ノ不用ト爲レルモノアリタルヲ以テ慎重調査ノ上之ヲ買收セリ此ノ如ク買收當時既ニ省局兩教習所ヲ併設スルノ目的ナリシニ依リ其ノ買收物件ノ廣大ニ失スルカ爲故ラニ局教習所ヲ移轉セシメタルモノニ非ス

而シテ其ノ後省教習所ヲ廢止シタルハ行政整理ノ爲ナルモ其ノ一部ハ之ヲ局教習所ニ移シタルモノニシテ生徒ノ現員ハ當時一定セサルモ最近千名ヲ超過シ尙相當増員スヘキ見込ナルノミナラス鐵道業務ノ性質上專門智識ノ養成ヲ主眼トスルニ依リ各種ノ實習室ヲ要スルモノ多ク又生徒ハ衛生其ノ他ノ關係上總テ寄宿舎ニ收容セシムルヲ以テ當該設備ハ毫モ過當ノモノニ非ス要スルニ前記買收地域ハ教育上最適當ノ場所ニシテ將來得易スカラサルノミナラス附近一帶ノ土地ハ逐年發展シ其ノ價格ハ益昂騰スルノ傾向アリタルヲ以テ經費多端ノ折柄ナリシモ此ノ際買收施設スルヲ得策ト認メタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ニ非ス

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

【報告】

(五〇) 鐵道省ノ支出ニ係ル

八七七、〇一一、二四〇

ハ信濃川發電所新設工事ニ關シ本年度内支拂ヒタル費額ニシテ同發電所ハ大正十年度乃至十七年度ニ完成スルノ計畫ヲ以テ之ニ著手シ本年度迄ニ五百萬餘圓ヲ支出シタルモ未タ準備工事ニ止リ主體工事ニ著手シ能ハサルノミナラス本年度限其ノ工事ヲ中止スルニ至リシモノナリ右ハ大正十二年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク工事施行上用意ノ周到ヲ缺キ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス(大正十二年度(七〇)三三九頁參看)

【辯明】

本件ハ大正九年三月新潟縣知事ヨリ水利權ノ承認ヲ得且當時信越電力株式會社ノ放水口トノ關係アリタル當省取水口モ十年二月解決シタルニ依リ直ニ長年月ヲ要スル其ノ準備工事ニ著手セリ然ルニ其ノ後同會社ニ於テモ實施設計ヲ爲スニ當リ水路中ニ調整池ヲ設置シ水量ノ調節ヲ計ルコトト爲シタル爲當省ノ發電計畫ニ多大ノ影響ヲ受クルコトト爲リタルヲ以テ之カ設計ニ關シ交渉ヲ重ネ來リタルト尙時代ノ進運ニ伴ヒ設計調査ノ必要ヲ生シ且大震災ノ打擊ニ依リ財政ノ都合上一時其ノ工事ヲ中止スルノ已ムナキニ至リタルモノナリ要スルニ本工事ハ其ノ著手當時毫モ豫想スルコト能ハサリシ意外ノ障礙ニ遭遇シタルモノナルヲ以テ事情已ムヲ得サルモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(五一) 鐵道省ノ支出ニ係ル

四二九、六五六、四八〇

ハ東京市街高架線建設ニ伴ヒ鶯谷日暮里間増用地トシテ買收シタル八千六百餘ニ對スル代價七拾六萬餘圓及同地上物件移轉補償料九拾壹萬餘圓ノ内長谷某外四名ヨリ買收シタル下谷區上野櫻木町一、三、四、五、一、六合併ノ十六番地乃至二十番地計千三百六十五坪餘ノ代價及地上物件移轉補償料トシテ支拂ヒタル四拾六萬六千七百六拾參圓六拾參錢ノ内ニシテ參萬七

千百七圓拾五錢ハ大正十四年度ニ屬スルモノナリ右價格ノ内譯ヲ觀ルニ孰モ高價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

用地買收ニ當リテハ任意協議ニ依リ相手方ヲ承諾セシムルヲ主旨トシ居レルヲ以テ調査精密ヲ缺キ粗漏ノ點アルカ又ハ多數營業者ニ對シ補償ノ權衡ヲ失スルカ如キコトアラハ協議紛糾シ買收上支障ヲ來スヲ以テ營業ノ調査ニ就キテハ萬遺漏ナキヲ期シ隨テ右調査ノ結果事實收益アリト認ムルニ足ル材料ノ存スル場合ハ稅務署ノ調査ニ拘ラス之ヲ支拂ヒ居レル次第ナリ而シテ土地買收價格ハ孰モ現場ノ狀況ト時價トニ依リ斟酌決定セルモノニシテ地上權又ハ借地權ノ附着セル場合ハ普通更地賣買價格ヨリ低位ニ在リト認ムルモ其ノ權利ハ料金、契約時期又ハ土地所有者等ノ關係如何ニ依リ區區ナルヲ以テ此等ヲ斟酌セムトセハ勢ヒ隣地間ノ均衡ヲ失シ却テ實際ニ適合セサルカ如キ結果ヲ生シ爲ニ動モスレハ任意買收ノ障礙ト爲ルヲ以テ箇箇契約ノ内容ニ付テハ之カ斟酌ヲ爲サス普通査定シタル價格ヨリ一割乃至二割程度ヲ控除シタルモノヲ買收價格トセリ現ニ上野櫻木町一、三、四、五、一、六合併ノ十六番地八百七十七坪餘ヲ買收セルモノノ内表地ニ相當スル二百六十九坪餘ハ査定價格坪當貳百圓ナルモ實際ノ買收價格ハ坪百六拾圓ト爲シタリ又建物移轉補償料ノ算定ニ關シテハ主トシテ先ツ新築費ヲ査定シ之ニ約六割程度ノ比率ヲ乘シテ得タル高ヲ移轉費ノ標準ト定メ尙實際建物ノ修理費等ヲ斟酌セリ而シテ木造二階建瓦葺移轉補償料坪當七百七拾圓餘又ハ七百貳圓餘ニ及ヘルモノアルハ其ノ純移轉費ヲ坪當前者ハ百四拾圓後者ハ貳百貳拾八圓ト算定セルモノナルモ此ノ外家屋所有者ニ對シテハ借地權及家賃ノ補償又借家人ニ對シテハ休業並得意喪失ノ補償並引越料等ヲ見込ミ此等ヲ總テ家屋移轉料ニ附加積算シタリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件土地ニ關シ日本勸業銀行ノ評價スル所ニ依レハ更地トシテ普通一般ノ賣買價格ハ坪當表地百圓乃至百貳拾圓位裏地八、九拾圓程度ニシテ地上權若ハ借地權ノ附着セル場合ハ其ノ地代、年限、形狀、位置所有者ノ如何等ニ依リ權利ニ増減アルヲ以テ一様ニ之ヲ評定スルコト能ハスト雖普通更地賣買價格ヨリ低位ニアルヲ免レス尤所有者ノ意思ニ反シ買收セムトスル場合ハ右評價價格ヨリ一、二割ノ高價ニ買上クルハ已ムヲ得サルヘシトアリ同行ノ評價ハ大體ニ於テ適當

ト認メラルルニ本件買收坪當價格ハ表地百六拾圓乃至貳百參拾八圓裏地百拾圓五拾錢乃至百拾四圓四拾錢ニシテ孰モ右評價價格ニ對比シ高價ナルノミナラス此等土地ノ賃貸借料ハ坪當月額貳拾參錢四厘乃至四拾錢ナルニ借地權ノ補償トシテ前記買收代價ノ外尙坪當表地六拾六圓乃至百拾貳圓裏地參拾貳圓五拾錢ヲ交付セリ又地上物件ノ移轉補償料ニ關シテハ純移轉費ノ外各種無形ノ補償額ヲ見込ミタリト謂フト雖其ノ内容ヲ調査スルニ營業補償ニ在リテハ料理業朝岡某ニ對スル分ハ一箇月ノ純益四千九百六拾四圓餘ト見積リ其ノ八箇月分並給料九百九拾圓ヲ加算シ計四萬七百九圓旅館業金須某ニ對スル分ハ一箇月ノ純益參千六百六拾貳圓餘ト見積リ其ノ八箇月分並給料六百九拾圓ヲ加算シ計貳萬九千九百八拾八圓ト積算セルモ稅務官署ニ於テ決定シタル最近ノ所得額前者ハ月額平均千圓後者ハ五百圓ニシテ之ニ對比スルトキハ右積算額ハ著シク多額ニ當レリ又家賃ノ補償ニ就キテモ野野山某ニ對シ支拂ヒタル前記朝岡某ノ借家ハ一箇月六百圓金須某ニ對スル分ハ一箇月參百圓トシテ各六箇月分ツツヲ交付セルモ是亦稅務官署ニ於テ營業稅ノ課稅標準トシテ調査セル賃貸價格ハ前者月額參百參拾餘圓後者貳百餘圓ニ對比スルトキハ甚シク高價ト爲レリ固ヨリ本件ノ場合ハ課稅標準額決定ノ場合ト事情ヲ異ニスルヲ以テ相當ノ斟酌ヲ爲スハ已ムヲ得サル所ナルヘシト雖此ノ如キ格段ノ差異アルモノト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ土地買收ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

從來當省ニ於テ土地買收ヲ爲サムトスルトキハ其ノ價格ノ決定ニ關シ慎重ナル調査ヲ爲シツツアルハ勿論殊ニ本件ノ如キ都會地ニ於テハ其ノ價格相當高價ナルニ依リ之カ算定ノ當否ハ彼我當時者間ノ被ル利害極メテ渺カラサルヲ以テ其ノ買收ニ當リテハ周到ナル注意ヲ拂ヒ民間ノ賣買實例及關係官署等ニ就キ精査ヲ遂ケ其ノ價格ト現場ノ狀況トヲ斟酌シテ最公平ニ決定シタルモノナリ元來金融業者ノ評定價格ハ貸金回收ノ安全ヲ確保スルカ爲概ネ低價ニ失スルノ傾向アルヲ免レサルヲ以テ直ニ之ト比較シテ其ノ高低ヲ論スルハ至當ノ處置ト認メ難シ又借地權ノ補償ハ其ノ土地ノ時價ノ二割五分乃至四割ヲ普通トスルモノニシテ本件ハ其ノ借地料ニ比シ補償額高價ナルカ如キモ借地人ハ永年間繼續シテ借入中ノモノナルヲ以テ特ニ之カ料金ハ著シク低廉ナル次第ニシテ當時東京市内ニ於テ或ル特殊ノモノヲ除キ月額坪當貳拾錢以上四拾錢程度ノ借地料ハ殆ント其ノ例ナク從テ本件借地人カ其ノ附近ニ於テ舊借地ト同等ナルモノヲ借入レムトセハ當省交付ノ借地權補償額ニ匹敵スル金額ヲ支拂ハサルヘカラサルノ實狀ニアリタルモノナリ從テ特種ノ借地料ヲ基準トシテ其ノ借地權ノ補償額ヲ

定ムルコトヲ得サルハ當然ナリ尙營業、家賃及其ノ他ノ補償ニ關シテモ若其ノ調査正確ナラサルトキハ多數營業者間ニ權衡ヲ失シ其ノ協議紛糾シテ容易ニ解決セス延ヒテ豫定ノ工事ヲ進捗セシムルコト能ハサルニ至リ其ノ及ホス處ノ影響甚大ナルヲ以テ之カ調査ニ際シテハ單ニ稅務官署ノ調査ノミニ依據セス商業帳簿其ノ他收支ヲ明確ナラシムヘキ一切ノ材料及必要ニ應ジ仕入先商店等ニ就キ調査スル等萬遺漏ナキヲ期シ最嚴密ナル調査ノ結果之カ金額ヲ適當ト認メ決定シタルモノナリ依テ本件ハ不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (五二) 鐵道省ノ支出ニ係ル

四一〇、〇〇〇、〇〇〇

ハ大正十三年四月鐵道大臣官舎ニ充當ノ目的ヲ以テ島津某ヨリ購入セル東京市麴町區永田町所在地千六百六十四坪餘及地上建物延四百六十三坪餘並附屬物一切ノ代價ナリ右購入物件中本家洋風煉瓦造二階建延二百三十七坪餘及倉庫煉瓦造二階建延三十六坪ハ買收後撤去セルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

本家洋風建物及倉庫ノ各二階ハ破損甚シカリシモ階下ハ比較的少カリシヲ以テ二階ヲ取除キ之ヲ平家ニ模様替スルモノトシ延坪當六拾圓ト評價購入シタルモノナリシモ購入後階下利用ノ見込ヲ以テ二階取毀ノ際調査シタルニ破損ノ程度意外ニ甚シク之カ修理ニハ多額ノ工費ヲ要シ却テ不得策ナルヲ以テ已ムヲ得ス之ヲ撤去シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本物件ハ十二年九月ノ震災ニ因リ損害ヲ蒙リ購入當時修理未済ノモノニ係リ辯明ノ如ク果シテ其ノ階下ヲ利用シ得ヘキヤ否ハ技術上十分ノ調査ヲ遂クヘキモノナルニ單ニ見込ヲ以テ買收シ結局撤去スルノ外ナク之カ爲壹萬六千餘圓ノ買收費ヲ無用ニ歸セシメタルノミナラス更ニ六千餘圓ノ撤去費ヲ支出スルノ已ムヲ得サルニ至ラシメタルモノナリ要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 本件建物ハ二階ヲ取除キ平家ニ模様替スルモノトシテ低價ニ見積購入シタルモノナルモ其ノ後二階取毀チノ際調査シタルニ破損ノ程度ハ漸次擴大シ居リタル爲其ノ階下モ亦全然利用スルコト能ハサルニ至リタルヲ以テ已ムヲ得ス之ヲ撤去シタルモノニシテ之カ爲當初ノ目的ニ副ハサリシハ洵ニ遺憾ノ次第ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (五三) 鐵道省ノ支出ニ係ル

三八〇、一五一、四九〇

ハ大正十一年七月關某ニ請負ハシメタルモ小樽第二期埋築第一區埋立地岸壁新設工事費五拾六萬六千九百九拾四圓參拾七錢ノ内ニシテ拾八萬五百四拾貳圓八拾八錢ハ十二年以前ニ屬シ外ニ官給材料八萬四千八百九拾參圓九拾八錢八厘ヲ使用セリ右ハ大正十一、十二兩年度検査報告ニ詳悉セシ如ク本件岸壁ハ激浪ヲ受クルコト甚シキニ拘ラス之ニ對應スルノ設計ヲ爲スコトナク「コンクリート」塊積ノ設計ト爲シ且埋立面ヲ防護スル龜腹ヲ空張ト爲シタルカ爲波浪ノ侵ス所ト爲リ延イテ岸壁ヲ倒壊セラルルニ至リタルモノニシテ畢竟工事ノ設計宜シキヲ得サリシモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事設計上適當ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス〔大正十一年度七七〕一〇八頁及十二年度七七三三四三頁參看〕

【辯明】 本件ハ大正十一、十二兩年度検査報告ニ對シ辯明セシカ如ク其ノ岸壁ノ設計ハ適當ナリシモ滿潮時ニ際シ偶稀有ノ強風アリタル爲激浪岸壁ヲ襲ヒ而モ岸壁ヲ超ヘタル海水ハ更ニ反リ浪ト爲リテ其ノ背部ヲ侵シタル結果遂ニ倒壊スルニ至リタルモノニシテ右ハ當時ニ於ケル風浪カ全ク豫想以上ノ強烈ナリシニ基因セル事故ナルヲ以テ事情洵ニ已ムヲ得サルモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第一項 運輸收入

【報告】 (五四) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

三四一、二四〇

アリ右ハ東京鐵道局管内桐生驛雇大和某カ小荷物事務擔當中大正十四年一月ヨリ五月ニ至ル間ニ於テ關係書類ヲ作爲シ小荷物引換代金及小荷物運賃ヲ横領シタル總額四千八百參拾貳圓參拾六錢ノ内本年度ニ於テ收入ヲ了シタルモ之カ納入ノ手續ヲ爲ササリシモノナリ而シテ其ノ總額中參千六百四拾七圓五拾六錢ハ發覺前同人ニ於テ差繰補填シ千百八拾四圓八拾錢ハ發覺後追納セシメタルモノナリ要スルニ本件ハ歳入ノ徵收ニ當リ監督其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

大正十三年度 帝國鐵道 (五三)(五四)

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ損害金ハ全部徴收済ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(五五) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

二八八^円二四〇

第三項假収入及立替金受入ニ於テ同省ノ歳入ニ編入スヘキモノ

七六〇〇

アリ右ハ東京鐵道局管内上野驛出札掛雇伊藤某カ大正十三年十一月ヨリ十四年五月ニ至ル間ニ於テ出札事務擔當中乗車券發賣上過誤ニ依リ生シタル缺損額ニ充當スル目的ヲ以テ關係書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ横領シタル總額千四百四圓七拾錢ノ内本年度ニ於テ收入ヲ了シタルモ之カ納入ノ手續ヲ爲ササリシモノナリ而シテ其ノ總額中七百拾貳圓六拾四錢ハ發覺前同人ニ於テ差繰補填シ六百九拾貳圓六錢ハ發覺後追納セシメタルモノナリ要スルニ本件ハ歳入ノ徴收ニ當リ監督其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ損害金ハ全部徴收済ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】

(五六) 鐵道省ノ支出ニ係ル

五〇、〇〇〇、〇〇〇

ハ帝國鐵道協會主催鐵道一萬哩祝賀會費用トシテ大正十三年六月同協會ニ對シ寄贈シタルモノナリ然ルニ同會ハ今尙開催ノ事實ナキヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ同會ハ十三年十一月大阪市ニ於テ開催ノ豫定ナリシカ都合ニ依リ延引シ爾後一般財界不況等ノ爲未タ開催ニ至ラス依テ右寄贈金ハ開否決定ノ上相當處分スル見込ナリト謂フ

ニ在リ然レトモ寄贈後現今ニ至ルモ尙開否未定ナルカ如キモノニ對シ本年度ニ於テ前掲多額ノ贈與ヲ爲シタルハ其ノ措置當ヲ得タルモノニ非ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

我國ニ於ケル鐵道及軌道ハ最近長足ノ進歩ヲ示シ今ヤ内地ニ於テハ其ノ延長一萬哩ヲ超過シタルモ尙將來益其ノ普及發達ヲ助長セシムトスル目的ヲ以テ帝國鐵道協會主催ノ下ニ官民一致ノ一萬哩祝賀會ヲ開催セムトシ之カ費用ノ一部ニ對シ寄贈方願出アリタルニ依リ調査ノ上本件金額ヲ寄贈シタリ然ルニ同祝賀會ハ其ノ後經濟界ノ不況ニ鑑ミ已ムヲ得ス其ノ開催ヲ一時延期シタル次第ナルモ右ハ今後全ク開催セサルコトニ決定セハ前記寄贈金ハ相當ノ處置ヲ爲スヘキ見込ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(五七) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一五、一九九^円七七〇

ハ國有鐵道共済組合新橋購買支部ニ設備セル精米機電動機其ノ他送米及電動裝置等ノ購入代金及据附費ナリ右ハ國費支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ本機ハ曩ニ省費支辨ヲ以テ設備セル精米機ノ全部震災災ニ因リ燒失シタル爲之カ復舊施設トシテ特ニ右費用ニ限り省費支辨ト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ共済組合ニ關スル勅令ノ規定ハ鐵道部内ノ職員ヲシテ其ノ事務ニ從事セシムルコトヲ認メタルニ過キサルヲ以テ其ノ他ノ所要經費ハ組合ニ於テ支辨スヘキモノナルコト論ヲ疎クサル所ナリ隨テ當初國費ヲ以テ施設シタル事由トシ本件ノ如キ設備ヲ本費ノ支辨ニ屬セシムルハ其ノ理由ナキモノト認メサルヲ得ス從來共済組合ノ經營ニ係ル購買部所要ノ建造物精米設備人夫賃及消耗品費等之ヲ國費ノ支辨ト爲セルモノ尠カラズ其ノ都度之カ注意ヲ促シ置キタルニ未タ其ノ跡ヲ絶クサルハ遺憾トスル所ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本件ハ當初省費ヲ以テ施設セシモノノ復舊費用ナルヲ以テ之ヲ本費ヨリ支辨スルモ差支ナキモノト認メタル次第ナルモ將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○鐵道部内ノ現業員ノ共済組合ニ關スル件(明治四十年四月十九日勅令第四百二十七號)

第三條 鐵道大臣ハ鐵道部内ノ職員ヲシテ組合ノ事務ニ從事セシムルコトヲ得

【報告】 (五八) 鐵道省ノ支出ニ係ル

二八八二九七〇

ハ門司鐵道局管内鹿兒島保線事務所雇福永某カ騙取シタル總額五千五百參拾圓貳拾七錢ノ内ニシテ貳千六百四拾七圓參拾錢ハ大正十二年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ大正十二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス〔大正十二年度(七六)二四六頁參看〕

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ損害金ノ徵收方ニ關シテハ身元保證人ニ對シ交渉中ノ處一箇月金拾圓宛ノ分納方願出タルニ依リ相當調査ノ上之ヲ承認セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (五九) 鐵道省ノ支出ニ係ル

五一五^四五九〇

ハ列車乗務員ノ給料及旅費トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實仙臺鐵道局管内仙臺驛駐在車掌書記岩淵某及雇高松某カ大正十一年三月ヨリ十三年六月ニ至ル間ニ於テ會計事務擔當中騙取シタル總額四千八百貳拾五圓五拾九錢ノ内ニシテ四千參百拾圓ハ十二年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ大正十二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス〔大正十二年度(七六)二四六頁參看〕

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ損害金ノ内貳千四百貳拾六圓四拾八錢ハ既ニ徵收ヲ了シタルモ其ノ殘額ノ徵收方ハ目下本人及身元保證人ニ對シ交渉中ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 諸拂戻及立替金

【報告】 (六〇) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一三五三^四五四〇

ハ運賃及通行稅拂戻トシテ證明シタルモノナリ右ノ内千五圓六拾五錢ハ門司鐵道局管内長崎驛貨物掛雇福島某カ大正十三年四月ヨリ六月ニ至ル間ニ於テ貨物事務擔當中託送ヲ受ケ輸送中ナル貨物ニ對シ託送取消ヲ爲シタルカ如ク裝ヒ證書ヲ偽造行使シ運賃ヨリ取消手数料ヲ控除シタル差額ヲ騙取シタルモノ及運賃違算ノ過納金並成規ノ手續ニ依リ託送ノ取消ヲ

爲シタル運賃ヲ孰モ債主ニ拂戻ヲ爲スカ如ク裝ヒ横領費消セルモノニシテ貳百八拾八圓九錢ハ神戸鐵道局管内神戸驛駐在客扱專務車掌井川某カ十三年九月ヨリ十一月ニ至ル間ニ於テ乘越乘換乘車券原札及改札掛保管ニ係ル使用濟乘車券ヲ竊取シテ知人ヲ使喚シ病氣ノ爲旅行見合ヲ理由トシ兵庫外十三驛ニ於テ前掲金額ヲ騙取セシメタルモノナリ又五拾九圓八拾錢ハ東京鐵道局管内上野驛改札掛雇金子某カ十三年十月ヨリ十四年一月ニ至ルノ間ニ於テ改札事務擔當中使用濟乘車券ヲ竊取シ誤改札、二重購求、旅行見合等ノ理由ノ下ニ拂戻ヲ受ケ騙取シタルモノナリ右ハ孰モ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ損害金ハ全部徵收済ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

官 金

預金部資金ノ運用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六一)

【報告】 (六一) 大藏省預金部ニ於テ特殊銀行ニ對シ整理救済ノ目的ヲ以テ低利ノ貸付ヲ爲シ資金ノ運用其ノ當ヲ得サルモノアリ

(一) 大正十三年四月以降數回ニ朝鮮銀行ニ對シ日本銀行指定預金ノ形式ニ依リ利率年五分ヲ以テ五千萬圓ヲ貸付ケタリ右ハ同行ノ業務改善滯貸整理ヲ目的トシタルモノニシテ之ニ關シ當局者ノ事由トスル所ハ

戰後經濟界ノ變動ニ際シ朝鮮銀行ニ於テモ營業上重大ナル影響ヲ受ケ尠カラサル滯貸ヲ生シ回收不能ト爲ルヘキ處アルモノ漸ク増加スルノ状態ナリシヲ以テ十一年八月中株主配當ノ減少經費ノ節約ヲ以テ五箇年間ニ缺損ヲ銷却整理スル計畫ヲ立テタルモ爾後一般財界殊ニ滿洲ノ情況ハ甚シク沈衰シ債權ノ回收一層困難ト爲リタル折柄偶大震災ニ因リ營業ノ成績益不良ト爲リ右缺損ノ銷却ニ就キテ觀ルモ相當長期ニ互ルヘク然カモ此ノ間資力ノ不足ハ朝鮮滿洲其ノ他露領沿海洲方面ニ於ケル活動ヲ妨クルニ至ルヘク斯クテハ同行設立ノ本旨ニ鑑ミ誠ニ遺憾ノ次第ナリトシ同行ハ更ニ業務改善ノ

方針ヲ立テ之カ資金トシテ五千萬圓ノ融通ヲ出願シ來レルヲ以テ同行ノ現狀ニ鑑ミ餘儀ナキモノト認メ二十二年末迄五千萬圓ノ範圍内ニ於テ年五分ノ利率ヲ以テ融通シタルモノナリト謂フニ在リ

(二)大正十二年四月中臺灣銀行ニ對シ日本銀行指定預金ノ形式ニ依リ利率年五分ヲ以テ五千萬圓ヲ貸付ケタリ右八十一年十二月月中臺灣銀行ノ窮狀ト年末市場ノ險惡ナル狀況トハ其ノ儘放任スルコトヲ許サス同行ニ對シ一時資金ノ融通ヲ爲スハ已ムヲ得サル所ナリトシ千五百萬圓ハ年利六分ヲ以テ預入ノ方法ニ依リ貳千九百四拾五萬圓ハ年利七分餘ヲ以テ東洋拓殖債券額面千萬圓並勸業債券額面貳千萬圓ヲ買戻條件附買入ノ方法ニ依リ合計四千四百四拾五萬圓ヲ融通シタルニ尋イテ十二年三月ニ至リ同行ハ更ニ滯貨整理ニ關スル方針ヲ立テ低利資金五千萬圓ノ融通ヲ出願シ來レルヲ以テ之ヲ承認シ内前記短期貸付金ヲ之ニ振替ヘタルモノニシテ之ニ關シ當局者ノ事由トスル所ハ

臺灣銀行ハ九年財界反動アリシ以來銳意固定貨ノ回收整理若ハ經費ノ節約ニ努メタルモ尙多額ノ回收懸念債權アリ此ノ際償却ノ方策ヲ立テ置クノ必要アルモ銀行ノ自力ヲ以テシテハ長期ニ互リテ之カ整理ヲ實行セサルヘカラス其ノ間消極的營業ヲ持續スルハ特殊銀行タル立場ニ鑑ミ且銀行カ使命ヲ有スル南支、南洋方面ノ實狀ニ顧ミ洵ニ忍フ能ハサル所ナルヲ以テ整理期間ハ成ルヘク短縮スルヲ要シ又一意整理ノ急速ヲ圖リテ株主ノ利益ヲ顧慮セサルニ於テハ當ニ銀行今後ノ營業上ノミナラス他ニ及ホス影響ノ輕カラサルモノアルヲ以テ極端ナル整理方法ハ之ヲ避ケタリ隨テ償却資源ニ不足ヲ生スルニ至ルヘシ其ノ不足ヲ補ヒ速ニ整理改善セシメ同行本來ノ使命遂行ニ努力セシムルト共ニ一面財界ノ安定恢復ニ資セシムルノ必要切ナルモノアリ之カ爲低利資金ノ融通ヲ爲シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ預金部資金ノ運用ハ本特別會計設置ノ趣旨ニ鑑ミ最公正確實ニシテ國庫ニ不利ヲ來スカ如キ虞ナキヲ期セサルヘカラス右ニ關シテハ大正十一年度檢査報告ニ詳悉セシ所ニシテ本件兩銀行ニ對シ縱ヒ當局者ノ事由トスル所ノ如ク保護救済ヲ爲スノ必要アリトスルモ之カ爲ニハ豫算上須ラク帝國議會ノ協贊ヲ俟ツ等適當ノ方法ヲ講スヘキモノニ

屬シ預金部資金運用ノ手段ニ依リ巨額ノ融通ヲ爲スカ如キハ公正ヲ期スルノ途ニ非ス加之本件ノ如ク特別ノ援助ヲ與フルニ當リテハ最確實ナル整理計畫ヲ立テシメ之カ目的ノ達成ヲ期スルニ非サレハ援助ノ趣旨ヲ沒却シ延イテ累ヲ資金ノ運用ニ及ホシ國庫ニ不利ヲ來スノ虞ナキヲ保セス然ルニ今資金融通ノ基礎ト爲シタル整理案ニ依レハ朝鮮銀行ニ在リテハ每期收入及經費節約額ヲ以テ年六分ノ配當ヲ爲シ擔保處分金運用益並政府及日本銀行融通額利鞘ヲ以テ向フ十箇年間ニ缺損見込額ヲ償却セムトスルモノニシテ又臺灣銀行ニ在リテハ缺損見込額ヲ將來ノ利益金經費節約額擔保處分金運用益並政府及日本銀行融通額利鞘ヲ以テ六箇年間ニ銷却シ毎期年七分ノ配當ヲ爲サムトスルモノナルモ之ヲ兩行ノ營業狀態ニ顧ミ此ノ如キ程度ノ整理案ヲ以テ滯貨金額ノ銷却ヲ爲シ營業ノ基礎ヲ鞏固ニシ使命ノ遂行ニ支障ナカラシムルコトヲ得ルモノト認メ難シ殊ニ朝鮮銀行ニ於テハ本件資金ヲ悉ク市場短資ノ返還ニ充當シ直後尙多額ノ「コールマネー」殘高ヲ存シ一時金繰ヲ便ニシ得タルニ止マリ爾後兩行ノ營業益困難ニ陥リタルヲ以テ更ニ再ヒ之カ根本的整理ノ必要ニ迫ラレ遂ニ十四年八月ニ至リ朝鮮銀行ニ於ケル既往融通ノ分千九百萬圓ト共ニ本件融通資金ヲ兩銀行ニ對シ利率年二分ニ低減シ期限ヲ延長スルノ已ムナキ結果ヲ招來セルノ狀況ナリ右ハ畢竟特定銀行ニ對シ其ノ整理方針確立セサルニ保護救済ノ目的ヲ以テ多額ノ貸付ヲ爲シタルモノニシテ預金部資金ノ運用其ノ宜シキヲ得サルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正十一年度七七、二四七頁參看)

【辨明】

朝鮮銀行及臺灣銀行ニ對シ各五千萬圓ノ業務援助資金ヲ貸付ケタルハ朝鮮銀行ニ付テハ戰後ノ經濟界反動並大震災ノ影響ヲ受ケ又臺灣銀行ニ付テハ戰後ノ財界沈衰ノ爲何レモ資金著シク固定シ之カ整理ノ爲兩行ハ當時ニ於テ最適當ナル整理案ヲ具シテ預金部資金ノ融通ヲ求ムル所アリ當時ノ狀況ヨリ推シ右ノ整理案ハ大體妥當ト認メラレ之ヲ實行セシムルコトハ兩行ノ使命遂行上必要ナルノミナラス之ニ依リ一般財界ノ安定ヲ期スル所以ニシテ且ツ其ノ結果兩行ノ資産狀況モ漸次改善セラレ預金部貸付金ノ元利モ確實ニ回收セラルヘキ見込ナリシヲ以テ之カ貸付ヲ實行シタルモノニシテ當時ノ事情ニ於テハ已ムヲ得サル所ナリト認ムト雖其後兩行ハ依然タル財界ノ不況並臺灣銀行ニ在リテハ大震災ノ影響ニ因リ整理豫期ノ如ク進捗セズ遂ニ兩行ニ對スル融通條件ヲ變シ利率ヲ低下シ期限ヲ延長スルノ已ムヲ得サルニ至リシハ政府ノ遺憾トスル所ナリ而シテ大正十四年度以來預金部制度ニ根本的改正ヲ行ヒ新ニ運用ニ關スル法規ヲ制定シ預金部資金ノ運用ハ運用委員會ニ諮問シテ決定スルコト、ナレルヲ以テ今後ニ於テハ十分運用ノ公正確實ヲ期シ得ヘキモノト認ム

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 警告

(參照) ○預金部預金法(大正十四年三月三十日法律第二十五號)

第四條第一項 預金部預金並大藏省預金部特別會計ノ積立金及支拂上ノ餘裕金ハ之ヲ預金部資金トシ預金部資金運用委員會ニ諮問シ有利且確實ナル方法ヲ以テ國家公共ノ利益ノ爲ニ之ヲ運用スヘシ

官 有 物

名ヲ交換ニ藉リ豫算外ノ工事ヲ施行シ豫算ノ制ヲ紊リタルモノ一件(六二)

土地ノ交換ニ當リ評價其ノ當ヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(六三)

國有未開地ノ貸付及立木ノ交付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六四)

計三件

【報告】

(六二) 朝鮮總督府ニ於テ名ヲ交換ニ藉リ官有財産ヲ交付シ豫算外ニ營繕工事ヲ施行シタルモノアリ即チ大正十二年六月總督府ト京城府トノ間ニ契約ヲ締結シ京城府ハ同府大平通一丁目五十九番地並四十三坪此ノ評價格五千六百拾圓ヲ買收提供ノ上之ト隣接セル同五十四番地及三十一番地ノ官有地ヲ併セテ敷地トシ總督府ノ指揮ニ從ヒ其ノ作成シタル設計書ニ依リ十四年十二月末日迄ニ工費豫算八拾五萬圓ヲ以テ府廳舍ニ充當スヘキ建物ヲ新築スルノ外京城府永樂町所在法制研究會建物官舍本町一丁目所在官舍及附屬建物一切ヲ總督府ノ指定スル場所ニ移築シ且右研究會建物及官舍移轉跡地ニ警察署ニ充當スヘキ建物ヲ十四年三月末日迄ニ工費豫算拾貳萬參千圓ヲ以テ又本町一丁目現京城府廳舍敷地内ニ交番所ニ充當スヘキ建物ヲ十四年十二月末日迄ニ工費豫算貳千圓ヲ以テ新築シ以上孰モ之ヲ總督府ニ提供スヘク總督府ハ之カ代價トシテ京城府本町一丁目五十二番地土地三千七百坪現在府廳舍建物十二棟及本町警察署建物十一棟並各附屬物共此ノ評價格合計九拾參萬七百五拾壹圓ヲ交付スルコトト爲シタルモノアリ而シテ法制研究會建物官舍及附屬建物ノ移築工事ハ既ニ完了シ警察署新築工事ハ竣功ノ上十三年八月引繼ヲ了シ現ニ本町警察署トシテ使用シツツアリ又府廳舍其ノ他ノ建物ハ目下工事中ニ屬シ京城府ニ於テ十四年五月迄ニ支出シタルモノ六拾萬千餘圓ヲ算シ尙將來ニ於テ參拾六萬餘圓ヲ支出スルノ見込ナリ

抑本件ハ京城府ニ於テ現在ノ府廳舍及本町警察署ノ敷地建物並隣接官舍敷地ノ無償讓與ヲ受ケ之ヲ財源トシ前記建物ヲ新築及移築ノ上政府ニ提供シ之カ爲財源ニ不足ヲ生シタル場合ハ府ニ於テ其ノ負擔ヲ爲スヘキ旨陳情シタルニ由來スルモノニシテ名ヲ官有土地建物ノ交換ニ藉ルト雖其ノ實官有財産ヲ財源トシ豫算外ニ營繕工事ヲ施行セムトスルモノニシテ措置當ヲ得サルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ府廳舍及警察署廳舍ハ理事廳時代ノ建物ニシテ京城府ノ發展ニ伴ヒ甚シク狹隘ヲ來シ且設備不完全ニシテ到底執務ニ堪ヘサルノ状態ニ在ルヲ以テ十二年度豫算編成ニ當リ新營費百貳拾萬圓ヲ要求シタルモ政府財政ノ都合上削除セラレタリ然ルニ偶京城府ヨリ右廳舍ヲ建築提供スヘキニ付之ト舊廳舍ト交換方出願アリ事情已ムヲ得サルモノト認メタルニ因ルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件廳舍其ノ他ノ營繕工事ハ數年ニ互ル繼續的事業ニシテ元來總督府ニ於テ直接施行スヘキモノニ係リ同府多年ノ懸案ニ屬セシモノナルコト十二年度豫算ニ於テ之カ新營費ノ要求ヲ爲シタルニ徴スルモ明ナル所ナリ然ルニ豫算ノ成立ヲ見サルニ當リ京城府ヨシテ代價トシテ之ヲ施行セシメ之カ代價トシテ官有財産ヲ交付シ以テ多年ノ懸案ヲ解決スルノ手段ニ供シタルカ如キハ名ヲ交換ニ藉リ豫算外ニ工事ヲ施行スルモノト謂フヘク縱ヒ京城府ヨリ交換方出願アリタリトスルモ豫算ノ制ヲ紊ルモノニシテ失當ノ甚シキモノト認メサルヲ得ス近年政府財政緊縮ノ方針ニ伴ヒ營繕費豫算ノ減縮ヲ見ルヤ總督府ニ於テ此ノ種ノ手段ニ訴ヘ營繕工事ヲ施行シタルノ例ニ乏シカラサルハ甚タ遺憾トスル所ニシテ本件ノ外(一)圖書館建築ノ目的ヲ以テ十一年三月株式會社朝鮮商業銀行ト豫約シ同銀行ヲシテ京城府長谷川町六番地所在官有地上ニ圖書館ニ充當スヘキ建物煉瓦造二階建本館外三棟及附屬物一式此ノ評價格貳拾貳萬五千餘圓ヲ建築セシメ竣功ノ上十三年四月之ヲ官ニ取得シ其ノ代價トシテ同府南大門通一丁目十九番地土地六百十五坪此ノ評價格拾七萬六千餘圓及同地上建物煉瓦造「スレート」葺二階建本館外四棟二百四十餘坪及附屬物一式此ノ評價格四萬八千餘圓計貳拾貳萬五千餘圓ヲ交付シタルモノアリ(二)全羅南道ニ於テ十一年三月黑瀨某外一名ト豫約シ同人等ヲシテ全羅南道光州郡光州面東光山町所在民有地並八百坪ヲ敷地トシ官ノ作成セル設計及仕様ニ從ヒ其ノ監督ノ下ニ郡廳舍倉庫及財務部長官舍其ノ他附屬建物ヲ新築又ハ移築提供セシメ此ノ評價格四萬參千餘圓ナルニ對

シ其ノ代償トシテ同面西光山町所在土地二千二百餘坪及該地上所在郡廳舎、會議室、倉庫、財務部長官舎ノ一部等此ノ評價格四萬貳千餘圓ヲ交付シタルモノアリ(三)京畿道ニ於テ十二年十月中株式會社仁川米豆取引所ノ所有ニ係ル仁川府山手町所在土地五百三十餘坪此ノ評價格壹萬八千餘圓ノ地上ニ工費貳萬貳千餘圓ヲ以テ仁川警察署廳舎附屬家四十四坪倉庫十二坪其ノ他浴室等ノ新營工事ヲ施行ノ上提供セシメ其ノ代償トシテ同府港町所在官有地千三十餘坪等此ノ評價格四萬百餘圓ヲ交付シタルモノアリ(四)監獄移轉ノ目的ヲ以テ十一年五月中義州郡光城面所在民有地二萬二千餘坪此ノ評價格四萬四百餘圓及同地上ニ官ノ設計ニ從ヒ築造セシメタル煉瓦塀三百二十餘間及表門一箇所此ノ評價格四萬五百餘圓計八萬九百餘圓ト新義州府眞砂町五丁目一番地所在新義州監獄敷地三千六百餘坪此ノ評價格八萬四百餘圓ト交換受授ヲ了シタルモノアリ以上ハ孰モ別途豫算ノ要求ニ俟ツヘキ工事ヲ官有財産ヲ交付スルノ方法ニ依リ施行シタルモノニシテ措置其ノ當ヲ失スルモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ名ヲ交換ニ藉リ豫算外ノ工事ヲ施行シ豫算ノ制ヲ紊リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

京城府廳舎及京城府本町警察署廳舎ハ古ク理事廳時代ノ建物ニシテ京城府ノ發展ニ伴ヒ甚シク狹隘ヲ來シ且ツ設備不完全ニシテ到底執務ニ堪ヘサルノ状態ニアルヲ以テ改築ノ必要急ナルヲ認メ居リシ所偶京城府ヨリ其ノ廳舎ヲ新築シ之ト舊廳舎トノ交換方出願アリ且府民ノ要望切ナルモノアリタルヲ以テ審議ノ結果規定ニ基キ交換契約ヲ締結シタルモノニシテ官有財産ノ管理上ニ於テハ寧ろ適當ト認メタルニ由ル

朝鮮總督府圖書館ト交換シタル京城府南大門通一丁目十九番地所在官有土地建物ハ明治四十二年以來貸付シ來リタルモノニシテ借受者ヨリ圖書館建物ト交換方出願アリタルヲ以テ官有財産管理上適當ノ措置ト認メ規定ニ基キ交換ヲ實施シタルモノナリ

光州郡廳舎倉庫財務部長官舎其ノ他附屬物及仁川警察署廳舎附屬家其ノ他並新義州監獄敷地其ノ他ニ關スル官民有土地建物交換ノ件ハ何レモ必要ニ迫ラレ規定ニ基キ交換ヲ實施シタルモノニシテ官有財産管理上適當ト認メタルニ由ル

【貴決】 措置適當ヲ關ク

【衆決】 承認

【報告】

(六三) 朝鮮總督府遞信局ニ於テ大正十三年十月京城府本町一丁目總代高木某外三名ト契約シ同町所在官有地京城郵便局敷地ノ一部百六十坪此ノ評定價格八萬圓ヲ同府瑞麟洞所在民有地五百六十四坪此ノ價格八萬貳千參百貳拾圓ト交換シ尙附

帶條件トシテ讓渡スヘキ官有地上ニ存スル倉庫ノ移轉及境界煉瓦塀並門ノ建設等七千貳百圓ヲ限度トシ施行セシメタルモノアリ右官有地ハ之ヲ本町一丁目四十八番地二百四十九坪ノ土地ニ比準シ其ノ評定價格ヲ坪當五百圓ト爲シタルモノナルモ低價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

京城郵便局敷地ノ評價ハ當局ニ於テ之ヲ坪當五百圓トシ尙京城府ニ之カ評價ヲ依囑シタルニ其ノ總額ニ於テ當局ノ評價ト略ホ同一ナリシヲ以テ之ヲ適當ト認メタルモノニシテ府廳評價ノ比準地トセシ本町一丁目四十八番地ハ一部分道路ニ接セサル所アルモ十二間乃至十五、六間ノ奥行ヲ有シ店舗用地トシテ絶好ノ敷地ナルニ京城郵便局敷地ハ奥行僅ニ五間ナルヲ以テ之ニ家屋ヲ建設セハ商店トシテ利用シ得ヘキ室内奥行ハ三間餘ト爲リ辛ウシテ小賣商店ノ賣場ヲ構成スルニ止リ賣品ノ貯藏及店員ノ居住ニ充ツヘキ餘地ヲ有セス商店敷地トシテ多大ノ缺陷ヲ有シ利用程度ニ著シキ懸隔アリ比準地ハ交換地ヨリモ優ニ數等上位ニ在リト確信ス

ト謂フニ在リ然レトモ本件官有地ハ繁華ナル街衢ニ面シ小賣商店敷地トシテ利用率多ク現ニ交換直後取得者側ニ於テ該土地ヲ賣却セル結果ニ徴スルモ地位優良ナル五十餘坪ヲ留保シ爾餘ノ百餘坪ヲ數口ニ分割シ競賣ニ付シタルニ坪當平均八百九圓餘ト爲リ之ヲ評價五百圓ニ比較スルトキハ六割餘ノ高價ヲ示セリ右ニ關シ當局者ハ該土地競落人ハ孰モ永年町内ニ營業ヲ爲セル者ニシテ高價ナル家賃其ノ他ノ爲常ニ脅威ヲ受ケ居レル關係上殆ト金額ノ如何ニ拘ラス之ヲ獲得セムトスルノ熱望ニ因リ自然高價ト爲リ其ノ賣却方法モ十二、三坪ノ小區劃ト爲シ一區域ツツ糶賣セル結果ナルヲ以テ競賣價格ハ一般ノ時價ト斷スルヲ得スト辯明セルモ此ノ如キハ繁華ナル市街地處分上相當考慮ヲ加フルノ要アルノミナラス十二年中本町一丁目京城府廳敷地交換ニ當リ之ヲ坪當七百五十拾圓ト評價セルニ比スルモ本件評價ハ低廉ナリシモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ土地ノ交換ニ當リ評價其ノ當ヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

京城郵便局敷地ノ一部ヲ民有地ト交換スルニ當リ其ノ評定價格ノ比準地トシタル本町一丁目四十八番地ハ本町通り目抜キノ繁華ナル場所ニシテ且本町ニ面シタル間口十六間五分奥行十二間乃至十五、六間ヲ有シ現ニ店舗櫛比シ絶好ノ商店敷地ナリ然ルニ交換セル官有地ハ奥

行僅カニ五間ナルヲ以テ之ニ家屋ヲ建設セハ商店トシテハ利用シ得ヘキ室内奥行ハ漸ク三間餘トナリ幸シテ小賣商店ノ賣場ヲ構成スルニ止マリ賣品ノ貯蔵及店員ノ居住ニ充ツル餘地ナク商店敷地トシテ多大ノ缺陷ヲ有シ前記比準地ニ比シ數等下位ニアリ斯ノ如ク上位ニアル比準地ノ賣買價格ヲ以テ本件ノ評價トナシタルハ寧ろ高價ノ評定ニシテ低廉ニ非スト信ス偶交換地ノ内百五坪餘カ豫想外ノ高價ヲ以テ處分セラレタルモノアリト雖爾餘ノ五十餘坪ハ評定價格ト殆ト同價ヲ以テ處分セルニ徴スルモ評定價格ノ失當ニ非サルヲ窺知シ得ヘシ其ノ豫想外ノ高價ニ處分セラレタルモノアルハ交換地ヲ十三區域ニ分割シ一區域ヲ十二、三坪ノ小區劃ト爲シ何人ト雖モ買受資金ノ調達ニ便ナラシメ以テ人氣ヲ煽リ一區域ヲ、羅賣セル結果永年町内ニ營業セル借家住居ノ店主カ採算ヲ無視シ只管之ヲ獲得セムトスル爲メ無謀ナル高價ニ買受ケタルモノトス斯ノ如キ事情ノ下ニ賣買セラレタル價格ハ到底是ヲ以テ一般ノ時價ト同一ニ律スヘカラス又檢査報告中京城府廳敷地ノ評價ヲ引用シ本件ノ評價ヲ低廉ナリト斷シアルモ京城府廳敷地ハ朝鮮銀行、朝鮮商業銀行、京城郵便局及青木堂商店等ト相對シ所謂京城ノ表支關口ニ當リ四通八達京城樞軸ノ要所タル特等地域ナルヲ以テ此地ニ對スル評價價格ヲ直ニ本件交換地ノ評價ニ對比スルハ甚ダシク權衡ヲ失シタルモノトス依テ本件ハ不當ノ處置ニ非スト認ム

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

【報告】

(六四) 樺太廳ニ於テ牧場ニ使用スルノ目的ヲ以テ無料貸付ヲ爲シタル國有未開地大正十三年十月末ニ於テ三百五件三萬九千三百四町歩ノ多キニ上レルニ内事業ノ成績稍觀ルニ足ルヘキモノ僅ニ三十八件三千百餘町歩ニ過キス其ノ他ハ事業ノ成績不良ナルモノナリ抑樺太ニ於ケル國有未開地ノ管理處分ニ關シテハ從來其ノ措置頗ル放漫ニ失シ賣拂處分ヲ爲シタルモノニ在リテハ大正十一、十二兩年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク拂下當時ニ於ケル調査杜撰ニシテ拂下後ノ事業成績殆ト觀ルニ足ルヘキモノナク又貸付處分ヲ爲シタルモノニ在リテモ事業ノ遂行極メテ不確實ナルモノ多キノミナラス地上立木ヲ無償ヲ以テ伐採搬出シ殆ト所定ノ用途ニ使用セス他ニ轉賣セルモノアリ此等貸付地中當局者ニ於テ十三年十一月ニ至リ事業成功ノ見込ナシトシ解約シタルモノ百三十五件二萬九百餘町歩ノ多キニ上レルノミナラス十三年度貸付ノモノニ在リテハ姑ク之ヲ措クモ尙事業ノ進行豫定ニ達セス其ノ遂行ノ見込確實ナラサルモノ百四件一萬千六百餘町歩ニ上ルノ狀況ナリ此ノ如キハ畢竟當初貸付處分ニ際シ事業經營上ノ適否ニ關シ調査ノ周到ヲ缺キタルニ因ルモノト認メサルヲ得ス而シテ前記解約ヲ爲シタルモノノ内百七件一萬六千六百餘町歩ノ地上ニ存セシ無償交付立木六十二萬餘石此ノ見積價格貳拾壹萬餘

圓ニ對シテハ概ネ辨償ヲ命スヘキモノナルニ十四年七月實地檢査當時尙決定ノ運ニ至ラス之カ辨償金全部ノ徵收ヲ了スルハ事實困難ナルモノト認メラルルノ狀況ニ在リ要スルニ本件ハ國有未開地ノ貸付及立木ノ交付ニ當リ其ノ措置宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス(大正十一年度(六二)八四頁及十二年度(五五)三二頁參看)

【辨明】

牧場ニ使用スルノ目的ヲ以テ在來無料貸付ヲ爲シタル國有未開地ニ對シテハ其ノ許可ノ當時ニアリテハ資力信用及企業確實ノ有無等ヲ慎重調査シ各種ノ條件ヲ附シ許可シタルモノナルモ爾後事業ノ進捗ヲ見サルモノアルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ然レトモ近來當業者ノ多クハ從來ノ態度ヲ改メ事業遂行ニ努ムルノ傾向アリ尙ホ常ニ督勵ニ努メ事業ノ成功ノ見込ナキモノニ對シテハ已ムヲ得ス之ヲ解約シ伐採ニ係ル立木ニ對スル辨償等ニ關シテハ夫々調査ヲナシ適當ノ措置ヲ講シツツアリ

【貴決】 措置不當ナリ

【衆決】 不當

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	三四三
大正九年度及十年度	三四三
一般會計	三四三
歲入	三四三
大正十二年度	三四四
一般會計	三四四
歲出	三四四
海軍省所管	三四四

既往年度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ徴收ニ於テ

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件

九六二三^円一二六

同歳出ノ使用ニ於テ

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

一〇一、三〇七^円〇四〇

ナリ

大正九年度及十年度

歳入

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(六五)

九、六二三^円一二六

一般會計

歳入經常部

第三款 官業及官有財産收入

第二項 森林收入

九、六二三^円一二六

【報告】

(六五) 本項決算額ノ外東京大林區署ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

アリ右ハ森林主事伊藤某カ東京大林區署管内臼田小林區署川上保護區勤務中大正九年六月ヨリ十一年十月ニ至ル間長野縣南佐久郡川上、南相木兩村所在國有林ニ於ケル枯損木ノ拂下ヲ爲スニ當リ出願者川上某外九名ノ請託ヲ容レ擅ニ拂下極印ヲ使用シ盜伐セシメタル落葉松外六種立木千七百餘本材積六千六十石餘ノ價格ニシテ之カ年度區分判明セス内四千參拾貳圓四拾五錢ハ十二年度ニ於テ辨償ヲ了シタルモノナリ要スルニ本件ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

既往大正九年度及十年度 歳入 (六五)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大正十二年度

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六六)

101,307,040

一般會計

海軍省所管

歳出經常部

第二款 軍事費 第九項 艦費

【報告】

(六六) 海軍省經理局ノ支出ニ係ル

101,307,040

ハ海軍本省構内東京海軍無線電信所用トシテ購入セル乗用自動車七臺ノ代價及燃料其ノ他ノ維持費ニシテ外ニ大正十三年度中同所用トシテ横須賀海軍經理部ニ於テ乗用自動車三臺此ノ代價貳萬六百四拾圓ヲ購入セリ十四年九月海軍本省會計實地検査ノ際調査スル所ニ依レハ艦營需品トシテ同所ニ配屬シアルモノ乗用自動車十三臺自動自轉車四臺貨物自動車二臺消防自動車一臺計二十臺ニシテ此等ハ殆ト本省及軍事費支辨ニ屬スル軍令部艦政本部等ニ於テ使用スルモノナルヲ以テ之カ經費ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ東京無線電信所配屬ノ自動車ハ本來同所用ヲ主トシ餘裕アル場合ニ於テ初テ軍令部其ノ他ニ使用セシムルモノナリ隨テ之カ購入代ハ同所經費支辨科目タル軍事費艦營費トシ維持費ハ使用ノ狀況ヲ考慮シ其ノ他ノ科目ニ於テモ分擔セシメツツアリト謂フニ在リ然レトモ無線電信所ノ現員ハ僅ニ將校二名特務士官以下五十名内外ナルニ前記ノ如ク乗用自動車等二十臺ヲ配屬セシメ之カ維持費ノ全部ヲ本費ノ支辨ト爲シタルノミナラス本省並同構内所在諸官衙ニ對シテハ本省費ヨリ大臣官房ニ乗用自動車一臺ヲ備附クルニ過キササルノ事實ヨリ觀ルトキハ畢竟本項豫算ノ豊裕ナルニ乘シ海軍本省事務費並軍事費艦費及修繕費ノ不足ヲ補

フモノニシテ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 大正十二年大震災ノ當時東京海軍無線電信所カ其ノ送信所タル船橋無線電信所ト相俟ツテ通信上偉大ナル貢獻ヲナシ得タルハ一ニ其ノ間ニ於ケル通信聯絡ニ任シタル自動車及自動自轉車ノ活動ニ因ルモノナリ加之此等自動車ハ其他幾多ノ交通及救護任務ニ活用セラレテ其ノ寄與スル處頗ル多大ナリシカ而モ當時ノ臺數ヲ以テシテハ甚ク不足ナルヲ感シタリ此實蹟ニ鑑ミ天災其ノ他有事ノ際ニ於テ軍用通信ヲ確保シ應急ノ需要ニ萬遺憾ナカラシムル爲必要ナリト認メタル數ヲ以テ東京無線電信所屬兵備品ノ定數ト定メタルモノナリ總テ兵備品ノ定數ヲ決定スルニハ唯單ニ普通ノ狀態ニ於ケル常用ヲ充タセハ足ルト爲スモノニアラスシテ如何ナル狀態ノ變化ニ對シテモ常ニ策應シ得ル數量ヲ以テ標準ト爲スヲ本旨トス即チ本件東京無線電信所屬自動車ノ如キモ普通狀況ノ下ニ勤務シツツアル五十餘名ノ所員ノ用ヲ充タスノミニ必要ナリトシテ現定數ヲ設定セルモノニ非ス痛切ナル事實上ノ教訓ニ基キ有事ノ際軍用通信聯絡ヲ確保スルニ必要ナリト認ムル數ヲ以テ目途トセルモノナリ從テ平時ニ於テハ常ニ相當ノ餘裕ヲ存スルヲ以テ必要ニ應シ本省軍令部其ノ他ニ於テ之ヲ利用シ之カ維持費ハ大正十三年度ヨリ相當額右利用諸官衙ヲシテ分擔セシメツツアル現狀ナルヲ以テ不當ナリトハ思考セサルモ尙右維持費分擔ノ率ニ關シテハ將來一層注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

貴族院決議

貴族院ハ大正十三年度各特別會計歳入歳出決算大藏省所管樺太廳歳入臨時部第二款官行斫伐收入第一項官行斫伐收入中樺太廳ニ於テ樺太林業株式會社並株式會社松昌洋行ニ拂下ケタル官行斫伐材賣拂代金ニ對シ無擔保ニテ其ノ延納ヲ許可シ收入困難ニ至ラシメタルハ官行斫伐材ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリト議決ス

貴族院ハ官有物中樺太廳ニ於テ牧場ニ使用スル目的ヲ以テ無料貸付ヲ爲シタル國有未開地事業成績ノ不良ナルモノ多キハ國有未開地ノ貸付ニ當リ其ノ措置ヲ得サリシモノニシテ不當ナリト議決ス

大正十三年度 貴族院決議

大正十四年度歳入歳出決算検査報告

目録

Table of contents listing page numbers for various sections of the report, including sections for income and expenditure.

大正十四年度歳入歳出決算検査報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	三四七
一般會計	三五〇
歳入	三五〇
歳出	三五五
内務省所管	三五五
陸軍省所管	三六七
海軍省所管	三七〇
司法省所管	三七四
文部省所管	三七九
逓信省所管	三八一
特別會計	三九九
大藏省所管	三九九
專賣局	三九九
歳出	四〇〇
朝鮮總督府	四〇一
歳入	四〇一

歲出	四〇三
臺灣總督府	四〇四
歲入	四〇四
歲出	四〇六
關東廳	四一〇
歲入	四一一
樺太廳	四一四
歲入	四一四
南洋廳	四一五
歲出	四一五
陸軍省所管	四一六
陸軍造兵廠	四一六
歲出	四一六
海軍省所管	四一七
海軍工廠資金	四一七
歲出	四一七
海軍火藥廠	四一九
歲出	四一九
文部省所管	四二一

帝國大學	四二一
歲出	四二一
農林省所管	四二五
米穀需給調節	四二五
歲出	四二五
商工省所管	四二八
製鐵所	四二八
歲入	四二八
歲出	四二九
遞信省所管	四三〇
簡易生命保險	四三〇
歲出	四三〇
鐵道省所管	四三一
帝國鐵道	四三一
資本勘定	四三一
歲入	四三一
歲出	四三四
用品勘定	四四〇
歲出	四四〇

收益勘定

歳入

一般會計及特別會計歳出入共通スル事項

一般會計

- 外務省所管 四四六
- 内務省所管 四四七
- 大藏省所管 四五〇
- 海軍省所管 四五三
- 文部省所管 四五四
- 農林省所管 四五五
- 商工省所管 四五八
- 逓信省所管 四五九
- 特別會計 四六一
- 大藏省所管 四六一
- 造幣局 四六一
- 印刷局 四六二
- 專賣局 四六二
- 大藏省預金部 四六三
- 國債整理基金 四六四

賠償金

文部省所管

帝國大學

學校及圖書館

農林省所管

米穀需給調節

商工省所管

製鐵所

逓信省所管

簡易生命保險

鐵道省所管

帝國鐵道

官有物

既往年度

大正十年度

大正十一年度

大正十二年度

貴族院決議

- 大正十三年度 四八七
- 大正十四年度 四九七
- 賠償金 四六四
- 文部省所管 四六五
- 帝國大學 四六五
- 學校及圖書館 四六五
- 農林省所管 四六六
- 米穀需給調節 四六六
- 商工省所管 四六七
- 製鐵所 四六七
- 逓信省所管 四六七
- 簡易生命保險 四六八
- 鐵道省所管 四六九
- 帝國鐵道 四六九
- 官有物 四七三
- 既往年度 四七七
- 大正十年度 四七七
- 大正十一年度 四七九
- 大正十二年度 四八〇
- 大正十三年度 四八七
- 貴族院決議 四九七

貴族院希望決議 四九七

衆議院希望決議 四九七

大正十四年度歳入歳出決算検査報告

豫算及法律勅令違背ノ事項

大正十四年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用及官有物ノ管理ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ一般會計ニ於テ六十一件參千貳百六拾貳萬參千七百四拾參圓拾七錢參厘特別會計ニ於テ五拾四件參千六百六拾六萬四千八百貳拾參圓六拾貳錢參厘官有物ニ於テ二件合計百十七件ニシテ即チ左ノ如シ

一般會計

歳入ニ於テ

所得額ノ決定ニ當リ調査ノ周到ヲ缺キタルモノ一件

七四、〇六三、六六〇

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十五件

五八、三八一、四七〇

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件

四、七九八、八〇〇

歳入歳出ヲ混同シタルモノ一件

二、九八一、〇四〇

其ノ他不當ナルモノ一件

七、二六一、〇五六

合計十九件

一四七、四八六、〇二六

歳出ニ於テ

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ十九件

一五、五二九、八三四、七六三

土地買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

六、七六八、二二〇、八〇〇

借地權ノ買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件

九一九、九三一、一九〇

大正十四年度

三四七

大正十四年度

工事施行ニ際シ契約ノ方法其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ八件
 年度末ニ際シ不急ノ物件ヲ購入シタルモノ一件
 粗造ノ工事ニ對シ請負代金ノ全部ヲ支拂ヒタルモノ一件
 物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ五件
 監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件
 其ノ他不當ナルモノ三件

合計四十二件

特別會計

歳入ニ於テ

歳入ノ徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ五件
 租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ三件
 租税ノ徵收過ニ屬スルモノ二件
 官有地ノ使用許可ニ當リ料金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 官行斫伐材ノ拂下ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 物件ノ賣拂ニ際シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 用品勘定ノ整理其ノ宜シキヲ得サルモノ一件

合計十四件

歳出ニ於テ

三四八
 二四九、一四〇^円四六〇
 一、二七四、四一四〇三二
 二、四四二、四二八八三〇
 三五、五六〇一二〇
 七、二四六、二三〇一四〇
 三六六、八九一三三三
 六一、六〇五、四九〇
 三、二、四七六、二五七一四七
 五、六二六、五一一
 五、六二六、五一七
 一、三、六一六一四〇
 八、二四四、八八〇
 二、二、二一三〇八〇
 三、四四三、〇六七七九〇
 一、六、〇〇三、六六〇
 二、四四五、二七六、九七八
 五、九五四、〇四九〇四五

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ十四件
 運賃ノ協定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 年度内未竣工ノ工事ニ對シ代金ヲ支拂ヒタルモノ一件
 虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ五件
 不急ノ物件ヲ購入シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件
 工事施行上注意ノ周到ヲ缺キタルモノ三件
 物件ノ運送ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 物件ノ購入ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キタルモノ一件
 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ五件
 競争入札ニ付スヘキ工事ヲ隨意契約ニ依リ施行シタルモノ一件
 代金ノ支拂ニ關シ所屬年度ヲ紊リタルモノ一件
 物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 土地買收價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 其ノ他不當ナルモノ四件

二六、五五〇、七二二^円四五〇
 三七四、三三〇二八〇
 一、三、七三九、五二〇
 六、五七九、八九〇
 一、九三二、〇九五、八七〇
 三〇八、九九五、二四〇
 四、八六五、二二〇
 二、五、四一五、二二〇
 五、六三、六一九、三一〇
 九八、五〇六、九六〇
 九、五三九、八二〇
 四八一、〇〇一、八〇〇
 三七、一〇七、一五〇
 三〇四、二五五、八五八
 三〇、七一〇、七七四、五七八

官有物

國有財産ノ管理其ノ宜シキヲ得サルモノ二件

總計百十七件

ナリ

大正十四年度

一般會計

歳入

所得額ノ決定ニ當リ調査ノ周到ヲ缺キタルモノ一件(一)
 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十五件(二)
 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件(三)
 歳入歳出ヲ混同シタルモノ一件(四)
 其ノ他不當ナルモノ一件(四)
 計十九件

歳入經常部

第一款 租税 第二項 所得税

【報告】 (一) 銚子稅務署ノ徴收ニ係ル

ハ千葉縣銚子町濱口某ノ所得額參拾六萬五千六百四拾貳圓ニ對スル稅額ニシテ所得額ノ内參拾五萬圓ハ醬油釀造業ニ屬スルモノナリ右釀造所得計算ノ内容ニ關シ當局者ノ説明スル所ハ大正十三年中ノ所得實績四拾貳萬五千餘圓ヲ斟酌シ參拾四萬餘圓ヲ本年分所得ト豫算セルモ本人申告額參拾五萬圓ナリシヲ以テ是認セルモノナリト謂フニ在リ然レトモ實查所得收支計算ノ内容ヲ觀ルニ支出ノ部ニ於テ所得稅及同附加稅拾貳萬四千餘圓固定資産償却拾貳萬八千餘圓ヲ掲上シアリテ妥當ナラサルノミナラス諸利息參拾四萬九千餘圓並前記償却額ハ其ノ計算ノ基礎明確ナラス今假ニ經費ニ計上スヘカラサル前記所得稅及附加稅ノミヲ控除シ計算スルトキハ所得實績ハ五拾五萬餘圓ト爲リ若之ヲ稅務署計算ノ如ク斟酌ヲ加フルモ其ノ額四拾四萬餘圓ト爲ルヘキモノニシテ本件所得決定額ハ少額ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ス右ハ所得額ノ決定ニ當リ調査ノ周到ヲ缺キタルモノニシテ不當ナリトス

七四、〇六三、六六〇

【辨明】

本件濱口某ノ大正十四年分所得決定ニ對シ會計検査院ハ「個人所得ノ計算上經費ト爲スヘカラサル所得稅及同附加稅拾貳萬四千餘圓ヲ經費ト爲シタル外計算ノ基礎明確ナラサル諸利息參拾四萬九千餘圓並固定資産償却額拾貳萬八千餘圓ヲモ經費トシタル大正十三年分實蹟所得ヲ基礎ト爲シタルハ不當ナリ」ト謂フモ右ノ内諸利息ニ付テハ本人營業ノ實情ヨリ見テ之ヲ必要經費ト認メタルモノニシテ又所得稅及同附加稅並固定資産償却額ヲ控除シタルハ畢竟斟酌ノ意味ニ外ナラス即チ同人ハ震災ニ因リ相當ノ打擊ヲ受ケタル者ナルノミナラス一般財界ハ震災ノ影響ニ因リ逐年不況ヲ辿リ本人ノ醬油製造業亦前途不振ノ狀況ニアリシカ爲ニ此等ノ點ニ鑑ミ特ニ斟酌ノ必要ヲ認メタルモノナリ故ニ本件決定ハ必スシモ之ヲ不當ナリトハ認メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

【報告】 (二) 明石稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ株式会社五十六銀行 自大正十四年七月 事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ留保所得ニ對スル稅率ノ適用ヲ誤リタル等ニ因ルモノナリ 至同 年十二月

八、三一九、〇五〇

永代橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

六、〇四五、四九〇

川崎稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

五、五一六、三二〇

アリ右ハ東京電氣株式會社 自大正十二年十二月 事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ超過所得算出ノ基礎タル資本金額七百五拾五萬八千五百八拾四圓ヲ七百六拾七萬八千五百七圓ト計算シタルニ因ルモノナリ 至同 十三年五月

五、二六六、〇〇〇

淀橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ
 アリ右ハ東京府澁谷町榎本某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ幸橋稅務署ニ於テ通報ヲ漏シタルカ爲日本土木建築株式會社ヨリ受ケタル貸金利子所得額四萬參千百參拾壹圓ヲ脱漏シタル等ニ因ルモノナリ
 神田橋稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

五、二〇一、一七〇

アリ右ハ三菱造船株式會社自大正十三年五月及自十三年十一月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ十三年七月收入セル社債引受手数料拾參萬圓ヲ當該年度ノ總益金ニ加算セス翌期ニ於テ加算シタルニ因ルモノナリ

藤澤稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 四、九五四〇七〇

アリ右ハ神奈川縣鎌倉町麻生某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ臺灣製腦株式會社ヨリ受ケタル配當金五萬五千貳百七拾貳圓ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 四、二五六四九〇

アリ右ハ東京府澁谷町榎本某ノ大正十三年分所得額ヲ決定スルニ當リ脫漏シタル日本土木建築株式會社ニ對スル貸金利子所得額參萬六千八百貳圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

横須賀稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 三、一九四八八〇

アリ右ハ神奈川縣浦賀町高橋某ノ大正十三年分所得額ヲ決定スルニ當リ脫漏シタル高橋合名會社ニ對スル貸金利子所得額貳萬五千圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

大田原稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 二、八二六一五〇

アリ右ハ株式會社黑羽銀行自大正十四年一月至同 年六月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ留保所得ニ對スル稅率ノ適用ヲ誤リタルニ因ルモノナリ

横濱稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 二、七三四八九〇

アリ右ハ横濱市若尾某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ東京電燈株式會社ヨリ受ケタル配當金貳萬四千參百五拾六圓ヲ四千參百五拾六圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

上京稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 二、五二二三三〇

アリ右ハ京都市上京區山田某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸金利子所得額壹萬九百七拾圓ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

横須賀稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 二、二六二二二〇

アリ右ハ神奈川縣浦賀町高橋某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ高橋合名會社ニ對スル貸金利子所得額貳萬五千圓ヲ脫漏シタルト同社配當金壹萬參千五百圓ヲ貳萬五千圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

福島稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 二、二二五〇八〇〇

アリ右ハ株式會社第七銀行自大正十四年七月至同 年十二月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ配當所得計算上積立金減少額五萬九百八拾四圓ヲ計算外ニ置キタルニ因ルモノナリ

幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 一、四六九一〇〇

アリ右ハ東京市麻布區「ドーラス、エス、ジー、エリオット」ノ所得額ヲ決定スルニ當リ日本電氣株式會社ヨリ受ケタル報酬壹萬六千參百九拾四圓ヲ六千六百圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 一、四六一六四〇

アリ右ハ東京市芝區「エー、ジー、ゼラード」ノ所得額ヲ決定スルニ當リ日本電氣株式會社ヨリ受ケタル報酬壹萬六千參百九拾四圓ヲ六千六百圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

藤澤稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ 四、七九八八〇〇

アリ右ハ所得稅法施行地ニ住所ヲ有セサル岩垂某ニ對シ横濱正金銀行外四會社ヨリ受ケタル配當金貳萬八千四百拾圓ヲ第一三種所得トシテ課稅シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

會計検査院検査報告ノ通 但シ稅法施行地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルニ至リタル爲徵收ノ途ナキモノノ外大正十五年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○所得税法(大正九年七月三十一日法律第十一號)

第二十六條第二項 所得調査委員會閉會後第三種ノ所得ノ決定ニ付脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ決定ヲ爲スヘカリシ年ノ翌年ニ於ケル所得調査委員會ノ調査ニ依リ政府ニ於テ其ノ所得金額ヲ決定スルコトヲ得

第三款 官業及官有財産收入 第九項 官有物貨下料

【報告】

(三) 本項決算額ノ外北海道廳ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一、九八一〇四〇

アリ右ハ太平洋炭礦株式會社ニ使用ヲ許可セル釧路港内防波堤延長二千二百二十三尺ニ對スル本年度使用料ニ相當スルモノナリ抑本件ハ大正九年三月釧路築港事務所ニ於テ東京市芝區木村某ヲシテ構内ニ材料揚突堤ヲ無償ニテ増築セシメ其ノ代償トシテ防波堤延長七百七十餘尺ヲ同港修築工事ノ完成ニ至ル迄無料ニテ使用ヲ許可シ同年六月前記會社ニ於テ之ヲ承繼シ爾來繼續使用シ來リシ所十三年六月ニ至リ更ニ延長千四百四十餘尺ヲ併セ無料使用ヲ許可セルモノナリ右ハ歳入歳出ヲ混同セルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ突堤工事費ハ本件防波堤使用許可期間中ニ於ケル料金ヲ超過シ之ヲ歳出ニ整理スルトキハ北海道拓殖費ノ増加ヲ來シ爲ニ年度割額變更等影響スル所尠カラスト認メ之カ無償使用ヲ許可シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ縱ヒ答辯ニ謂フカ如キ事情アリトスルモ營利會社ヲシテ築港工事費ヲ以テ支辨スヘキ突堤ノ築造ヲ爲サシメ之カ代償トシテ無償ヲ以テ國有財産ヲ使用セシムルカ如キハ歳入歳出ヲ混同スルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不法

第四款 雜收入 第二項 懲罰及沒收金

【報告】

(四) 横濱地方裁判所及横濱名古屋兩區裁判所ノ徵收ニ係ル

七、二六一〇五六

ハ大正十四年六、九兩月及十五年二月ニ收入ノ手續ヲ爲シタル沒收金ナリ十五年三月及四月之カ實地ヲ検査スルニ検査局

事件主任官カ領置物取扱主任官及歳入徵收官ニ沒收通知ヲ爲シタルハ兩三年間前後數十回ニ及ヒ就中前前年度若ハ前年度歳入ニ屬セシムヘキモノアリシニ拘ラス當該年度内歳入測定ノ手續ヲ爲ササリシノミナラス本年度分ノ測定亦著シク遅延セルモノアルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ横濱地方裁判所ニ在リテハ沒收金中六百六圓餘ハ検査局ニ於テ領置票ニ依ラス別ニ作製シタル沒收品通知簿ニ依リ通知シ來リタルモノニシテ該通知簿ハ沒收金品ヲ混記シアリ常ニ検査局ト領置物取扱者トノ間ヲ往復セルヲ以テ年度經過セルモノアルニ氣付カス遂ニ十四年度ニ入り整理ヲ爲シ其ノ他ノ金額ニ付テハ同年度ニ於テ通知ヲ爲シタルニ因リ横濱、名古屋兩區裁判所ニ在リテハ事件主任官ハ領置物取扱主任官及歳入徵收官ニ數十件若ハ數百件ヲ一括シテ十四年度ニ入り沒收ノ通知ヲ爲シタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ事件主任官カ前後數十回ニ互リ本件沒收ノ通知ヲ爲シタルノ事實ハ領置票其ノ他ノ關係書類ニ徵シ明ナルニ其ノ都度之カ測定ヲ爲ササリシカ如キハ怠慢ノ甚シキモノト謂フヘク之カ爲横濱地方裁判所ニ於テハ十二年分拾壹圓餘十三年分五百九拾四圓餘同區裁判所ニ於テハ十三年分千六百七拾九圓餘名古屋區裁判所ニ於テハ十三年分以前ノ分千七拾參圓餘ヲ當該年度ノ歳入ト爲サス本年度ニ至リ漸ク之カ測定ヲ爲スニ至リタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件中横濱地方裁判所及同區裁判所ニ於ケル沒收金測定遅延ハ大正十二年九月ノ大震災ノ爲諸般整理ニ日數ヲ要シタルモノニ基クモノニシテ遺憾トスル所ナリ名古屋區裁判所沒收金測定ハ事件主任官ノ通知ノ都度之ヲ爲シタルモノニシテ事件主任官ヨリ通知ヲ受ケ而モ當該年度内ニ測定セサリシ事實ナキモ一箇年度中僅ニ二回ノミ沒收通知ヲ受ケ處理スル如キハ事務處理上遺憾トスル所ナルヲ以テ將來ハ一層充分ニ注意ヲ加フルコトトスヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

歳出

内務省所管

土地買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五)

六、七六八、二二〇八〇

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ四件(六)(一〇)(一一)(一二)

一三、六三九、六四八、一五〇

大正十四年度 歳入 (四)

三五五

借地權ノ買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(七)(八)
工事施行ニ際シ契約ノ方法其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(九)
計八件

三五六
三九一九、九三二、一九〇
二四九、一四〇、四六〇
二一、五七六、九四〇、六〇〇

歳出臨時部

第三十款 帝都復興事業費 第一項 東京復興費

【報告】(五) 本項ニ於テ復興局ノ支出ニ係ル

第二項横濱復興費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

六、七、一七、三七七、六四〇
五〇、八四三、一六〇

ハ土地區劃整理ノ爲要スル換地トシテ本年度内購入セシ土地九萬三千五百九坪餘ノ代價貳千五百萬八千拾六圓參拾貳錢ノ内ニシテ千參百參拾七萬六千六百貳拾九圓參拾五錢ハ公債ヲ以テ交付シ九拾壹萬參千六百拾六圓拾七錢ハ留保金等トシテ未拂ニ屬スルモノナリ右ハ大正十三年度検査報告一般會計内務省所管(元大藏省所管)歳出臨時部第十八款帝都復興事業費第一項東京復興費ニ於テ詳悉セシト等シク特別都市計畫法ニ於テハ區劃整理ノ施行ニ因リ一定ノ制限ヲ超過スル潰地ヲ生シタル場合ニ在リテハ補償審査會ノ決定スル所ニ依リ補償金ヲ交付スルノ制ナルニ拘ラス單ニ實施上ノ便宜ヲ事由トシ區劃整理施行後ノ宅地面積カ施行前ノ總面積ニ比シ幾クヲ増減スルカ未タ確定セサルノ時ニ當リ急遽巨額ノ買収ヲ實行シ殊ニ其ノ多クハ仲介業者其ノ他仲介者ノ手ヲ經テ隨時隨所ニ購入セルモノニシテ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス且其ノ價格ニ付テモ適切ナラサルモノアリ就中第一高等學校艇庫用地ニ對スル換地トシテ片桐某ヨリ買収ニ係ル東京府尾久町大字上尾久千三百六番地ノ二宅地千二百餘坪ハ坪當百拾八圓ニシテ土地ノ現況其ノ他附近賣買實例ニ徴シ著シク高價ニ當リ又日本橋區佐内町一、二、三、四番地七百八十坪餘ハ坪當千參百圓ヲ以テ購入シタルモノナルモ補償審査會ノ決定ニ係ル指數單價ニ依レハ一番地百五十坪ハ千貳百六拾餘圓二、三、四番地六百三十坪餘ハ九百七拾餘圓ニ相當スルヲ以テ總額ニ於テ貳拾壹萬貳千餘圓ノ高價ニ當リ又下谷區三ノ輪町五十六番地及八十九番地二千二百十餘坪ハ坪當貳百拾壹圓ヲ以テ購入シタルモノ

ナルモ指數單價ニ依レハ百五拾餘圓ニ相當スルヲ以テ總額ニ於テ拾貳萬四千餘圓ノ高價ニ當ルノ計算ナリ元來潰地充當用地ハ補償金ノ交付ニ代ヘ之カ買収ヲ爲シタルモノナルニ土地ヲ補償金ニ換算スルニ當リテハ其ノ買収價格ニ依ラス指數價格ニ依ルノ豫定ナルヲ以テ前記ノ如ク指數價格ヨリ高價ニ買収シタルモノニ在リテハ其ノ超過額ハ結局國庫ノ損失ニ歸スヘキモノニシテ十五年七月復興局ノ調査シタル所ニ依レハ超過總額貳百七拾九萬餘圓ニ達セルノ狀況ナリ之ニ對シ當局者ハ買収地ハ孰モ素地條件ヲ以テ買収シタルヲ以テ區劃整理ニ當リ移轉料ノ支拂ヲ要セス結局國庫ニ損失ヲ來サスト爲スカ如キモ買収地上建物總坪數ハ一萬六千九百餘坪ニシテ從來復興局ノ支拂ヘル移轉料坪當平均約四拾六圓ニ依リ之ヲ計算スルモ總額七拾八萬貳千餘圓ニ過キササルヲ以テ結局國庫ニ多額ノ損失ヲ及ボスヘキモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ土地買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス(大正十三年度(五)二七三頁參看)

【辨明】

本件ニ關シテハ大正十三年度決算検査報告ニ對スル辯明書一般會計内務省所管(元大藏省所管)歳出臨時部第十八款帝都復興事業費第一項東京復興費ニ於テ詳述セシ如ク區劃整理ノ施行ニ因リ地區内宅地ノ總面積ノ一割ヲ超エタル場合ニ於テ民有宅地ノ減歩ヲ少ナカラシムル目的ヲ以テ土地ヲ買収シタルハ宅地ノ減歩緩和カ換地設計及建物關係上極メテ重要ナルノミナラス關係者モ亦補償金ノ交付ヨリモ寧ろ宅地ノ減歩少ナキコトヲ希望セル實狀ニ鑑ミ實施セルモノナリ蓋シ事業遂行上必要已ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ又便宜ノ措置タルヲ信ス

又買収ニ當リテハ換地設計ニ基キ算出シタル各地區ノ宅地減歩一割ヲ超ユル部分ノ面積ヲ標準トシテ實行シタルモノニシテ素ヨリ減歩面積ハ換地處分ノ決定ヲ見ルニ非サレハ確定セサルモノナリト雖各地區ニ於ケル街路、運河、小公園等ノ用地ハ特別都市計畫委員會ノ議ヲ經テ既ニ決定セルモノニシテ換地設計ニ依リ容易ニ變更シ得サルヲ以テ換地處分ノ爲ニ生スル宅地ノ減歩面積ノ移動ハ極メテ少額ナルカ故ニ換地設計ノ審議中ニ於テ土地ノ買収ヲ爲シタル次第ニシテ批難ノ如ク區劃整理施行後ノ宅地面積カ施行前ノ總面積ニ比シ幾何ヲ増減スルカ未タ確定セサルノ時ニ當リ何等目算ナク急遽買収シタルカ如キモノニ非ス尙買収ハ設計ノ必要ニ應シテ必要ナル個所ニ付實行シタルモノニシテ濫ニ必要ナル土地ヲ購入セルモノニ非ス其ノ買収價格ハ常ニ路線價指數ヲ基準トシ尙所轄區役所稅務署ノ評價及賣買實例ヲモ考慮シ又當局評價係員ノ嚴密ナル實査ノ結果ニ基キ極力其ノ適切ナルヲ期シタルヲ以テ買収價格ノ妥當ヲ缺キシカ如キ事實ヲ認メサルナリ

今不當ナル價格トシテ批難セラレタルモノニ付辨明セムニ

(イ) 第一高等學校庭庫用地ノ換地トシテ買収セル東京府尾久町大字上尾久千三百六番地ノ二宅地千二百餘坪ノ坪當價格百拾八圓ヲ高價ナリトセラルルモ所轄稅務署ノ評價八百圓乃至百拾圓ト稱シ本件ノ如ク用途ニ依リ地域ヲ限リ且一切ノ支障物件ヲ收去セシメ更地ヲ條件トシテ買収スル場合ニハ相當割増ヲ要スルモノナルニ前掲價格ヲ以テ買収シ得タルハ決シテ高價ニ非サルナリ

(ロ) 日本橋區佐内町一、二、三、四番地七百八十坪餘ヲ坪當千參百圓ニテ買収シタルハ補償審査會ノ決定ニ係ル指數單價ニ比シ高價ナリト謂フモ本地ハ東京第一位ノ日本橋通一丁目ニ隣接セル優秀ナル地位ニシテ且適當ノ面積ヲ有スル土地ナルヲ以テ右價格ヲ以テ買収シ得タルハ寧ロ低廉ナリシモノニシテ所轄區役所カ坪當千五百圓ト評價セルニ徵スルモ本地土地ノ高價ニ非サルコトハ自明ノコトニ屬ス

(ハ) 下谷區三ノ輪町五十六番地ノ一號及八十九番地宅地二千二百餘坪ヲ坪當金貳百拾壹圓ヲ以テ購入シタルハ指數價百五拾餘圓ニ比シ高價ナリト謂フト雖本買収當時ハ指數未成ナリシヲ以テ達觀評價ニ依リ且所轄稅務署ノ評價ヲモ考慮評定セルモノナリ本地ハ上野停車場方面ヨリ坂本町ヲ經テ南千住ニ至ル電車道ト淺草區菊屋橋方面ヨリ龍泉寺町ヲ經テ三ノ輪ニ至ル電車通ト合スル地點ニ接シ附近ニ於ケル最モ優良ナル土地ニシテ所轄稅務署カ坪當參百圓ト評價セルニ徵スルモ高價ニ失セサルコト明ナリ

而シテ買収土地ヲ補償金ニ充當スルニ當リテハ買収價格ニ依ラスシテ指數價格ニ依リツツアリ之カ爲指數價格ヨリ超過セシ價格ニ付テハ國庫ノ損失ニ歸セルカ如ク論セラルルモノアリト雖本地買収ニ依リ減歩ヲ緩和シタル結果建物移動ヲ少ナカラシメ移轉料ヲ節減シ得タルモノアルノミナラス本件措置ニ依リ區劃整理事業ヲ促進シ得タルコトヲ思ヘハ敢テ不當ノ措置ニアラスト信ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

【報告】 (六) 復興局ノ支出ニ係ル

一、八八九、六四八、一五〇

ハ大正十四年九月材料置場トシテ東京製鋼株式會社ヨリ坪當百拾參圓ヲ以テ購入セル東京市深川區東大工町四十八番地及扇橋町一丁目一番地所在宅地一萬六千七百二十二坪餘ノ代金ナリ右ハ買収以來材料置場トシテ使用シタル事實ナキノミナラス内約二千坪ハ深川區小學校建築敷地ニ充當シ建築工事中ニ屬スルヲ以テ不急ノ土地ヲ購入シタルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件買収地ハ隅田川ニ架設スル橋梁中主トシテ永代、駒形兩橋梁用鋼材約六千五百噸ニ對シ工事進捗ノ狀況ニ應シ使用ノ必要アリト認メ購入シタルモノナルモ工事豫想以上ニ進捗シ製作鋼材ヲ直ニ現場ニ架設シ得タルヲ以テ使用ニ至ラサルモノナリト謂フニ在リ然レトモ永代、駒形兩橋梁用鋼材ノ一時的置場トシテ此ノ如キ巨費ヲ投スルハ妥當ナラサルノミナラス爾後不使用ノ實蹟ニ徵シ特ニ本件土地ヲ購入スルノ要アルモノト認メ難シ而シテ復興局ニ於ケル材料置場買収ノ蹟ヲ觀ルニ當初ヨリ具體的計畫ヲ定メス各局部ニ於テ仲介者等ノ賣込運動ニ依リ要求シ來レルモノヲ漫然調達シ本年度迄ニ購入シタルモノ借地權ヲ併セ十二萬八千餘坪此ノ價格千五百六拾餘萬圓ノ巨額ニ上リ内買収以來使用セサルモノ三萬五千餘坪ニ達セルノ狀況ニシテ本項豫算中雜工雜費ハ千七百七拾餘萬圓ニ過キサルニ一時的使用ニ供スル材料置場ノミニ對シ前記巨額ノ支出ヲ爲スカ如キハ失當ノ甚シキモノト謂ハサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

キ巨費ヲ投スルハ妥當ナラサルノミナラス爾後不使用ノ實蹟ニ徵シ特ニ本件土地ヲ購入スルノ要アルモノト認メ難シ而シテ復興局ニ於ケル材料置場買収ノ蹟ヲ觀ルニ當初ヨリ具體的計畫ヲ定メス各局部ニ於テ仲介者等ノ賣込運動ニ依リ要求シ來レルモノヲ漫然調達シ本年度迄ニ購入シタルモノ借地權ヲ併セ十二萬八千餘坪此ノ價格千五百六拾餘萬圓ノ巨額ニ上リ内買収以來使用セサルモノ三萬五千餘坪ニ達セルノ狀況ニシテ本項豫算中雜工雜費ハ千七百七拾餘萬圓ニ過キサルニ一時的使用ニ供スル材料置場ノミニ對シ前記巨額ノ支出ヲ爲スカ如キハ失當ノ甚シキモノト謂ハサルヲ得ヌ要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

材料置場トシテ東京製鋼株式會社ヨリ買収ニ係ル東京市深川區東大工町四十八番地及扇橋町一丁目一番地所在宅地一萬六千七百二十二坪餘ハ當初隅田川ニ架設スル橋梁中主トシテ永代、駒形兩橋梁用鋼材約六千五百噸ニ對シ工事ノ進捗狀況ニ應シ本件土地使用ノ必要アリト認メ購入シタルモ橋梁現場工事豫想以上ニ進捗シ製作鋼材ヲ直チニ架設シ得ルニ至リタルヲ以テ目下道路、運河及隅田川其ノ他ノ橋梁工事用材料置場トナシ使用中ニ屬スルモノナリ

元來橋桁ノ如キ特殊材料ノ置場トシテハ相當大ナル地積ヲ必要トシ而モ工事現場トノ關係運搬ノ便否等ヲモ考慮セサルヘカラサル爲他ニ適當ノ土地ヲ得ル能ハス不得已本件土地ノ買収ヲ爲シタルモノニシテ不急ノ土地ヲ買収シタルモノニ非ス而テ買収地上ニ深川區小學校ヲ建築セルハ材料置場タル敷地カ區劃整理ニ依ル換地設計ノ必要上減歩ヲ受ケ其ノ部分ニ對シ當該小學校ノ換地豫定ヲ指定セラレタル結果ニ外ナラス

當局ニ於ケル材料置場所要坪數ハ各種事業ニ付調査ヲ遂ケ事業ノ進捗ニ應シ賃借又ハ買収シツツアルモノニシテ之カ經理ニ關シテハ可及的借地ノ方針ニ依リ必要已ムヲ得サルモノノミ買収スルコトトシ以テ材料ノ調達、藏置、配給等ニ關シ遺憾ナカラシムコトヲ期シ居レリ批難ノ如ク仲介者ノ賣込運動ニ依リ慢然買収セルカ如キ事實ナシ要スルニ本件ハ何等不當ナリト謂フヲ得サルモノトス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】 (七) 復興局ノ支出ニ係ル

五九三、四八五、八六〇

ハ材料置場トシテ大正十四年五月東京府大崎町鈴木某外三名ヨリ買収セル東京市芝區月見町二丁目一、三、四番地所在宅地

五千九百二坪餘及同區芝浦町三丁目二番地所在宅地千九百五十八坪ノ借地權ノ代價ナリ右ハ孰モ坪當七拾五圓五拾錢ヲ以テ買收シタルモノナルモ曩ニ同一用途ニ充ツルカ爲田口某ヨリ買收シタル月見町二丁目二番地所在宅地四千二百六十三坪餘ノ借地權坪當六拾五圓ニ比較スルニ孰モ同一埋立區域内ニ在リ地格ニ於テ等差ナシト認メラルルニ拾圓五拾錢ノ高價ニ當ルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ後者ハ十三年末ノ買收ニ屬シ且比較的廣大ナル一團地ニシテ地勢上其ノ利用價值大ナラサルニ反シ本件買收時期ハ約半年ヲ經過シ借地權價格昂騰ノ際ナリシト且孰モ二千坪以下ノ土地ニシテ買收當時ヨリ利用セラレ就中一番地八百四十八坪餘三番地千一坪餘ノ如キハ既ニ街衢ノ態ヲ備ヘ其ノ他地上物件存在セルヲ以テ此等ヲ考慮シ價格ヲ決定シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ材料置場トシテ芝浦埋立地ニ於テ東京市ヨリ三萬三千餘坪ヲ借入レタルノ外借地權ヲ買收セルモノ一萬八千餘坪代價百參拾四萬餘圓ノ多キニ上レルヲ以テ必スシモ本件買收ノ必要アリシモノト認メ難キノミナラス十五年六月ノカ實地ヲ検査スルニ後者ハ芝浦埋立地ノ中央ヲ貫通スル八千代橋通ニ面シ間口奥行共約六十五間ヲ有スル方形ノ土地ニシテ而モ東方ハ海岸ニ臨メルヲ以テ店舗又ハ倉庫敷地トシテ優秀ノ地位ニ在リ之ニ反シ本件買收地ノ内月見町所在ノ分ハ裏通ニ位シ四番地ノ一部ハ將來盛土ヲ要スルノ狀況ナルト又芝浦町所在ノ分ニ在リテモ後者ト等シク八千代橋通ニ面シ相距ルコト約二、三町ニ過キスシテ同一等級ノモノト認メラレ且此等ノ土地ハ孰モ其ノ借地料同一ナルノ事實ニ依テ觀ルモ借地權價格ニ等差アルモノト認メ難キノミナラス別ニ芝浦商事株式會社ヨリ十四年三月芝浦町一丁目一番地五千六百餘坪ヲ更ニ同年五、六兩月同町一丁目二番地及二丁目一番地六千二百餘坪ヲ同一價格ヲ以テ買收シタルノ事實ニ顧ミ此ノ間答辯ニ謂フカ如ク借地權昂騰ノ事實ヲ認ムルコトヲ得ス尙福田某ヨリ買收セル前記芝浦町所在ノ分ハ契約ニ先タツコト僅ニ一箇月ナル十四年四月ニ於テ本件土地所有者中野興業株式會社ト福田某トノ間ニ締結セル土地賃借契約ニ依レハ借地坪數ハ千五百四十九坪餘ニシテ買收坪數ニ於テ四百八坪餘ノ差増アリ之ニ對シ當局者ハ東京市所有道路ヲ加算セルニ因ルコトヲ發見セルニ依リ借地權買收面積ヲ更正シ道路敷面積ニ對シテハ賣渡人ニ對シ該代金及土地所有者ニ對シ借地料ノ返還ヲ請求スルノ外損害利子ノ請求ヲ爲スコトニ協議ヲ遂ケ

目下其ノ手續中ナリト謂フト雖借地權ノ買收ニ當リ土地所有者ト借地權者トノ契約關係ヲ調査セスシテ漫然之ヲ決定シ爲ニ超過坪數ニ對スル代價參萬八百餘圓及買收後十五年三月末日ニ至ル借地料千參百餘圓ノ過誤拂ヲ爲スカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス而シテ本件買收ニ關シ仲介業者高木某之ニ關與シ當局者間ニ疑獄事件ヲ惹起セルハ遺憾トスル所ナリ要スルニ本件ハ借地權ノ買收ニ當リ評價其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

大正十四年四月材料置場トシテ買收ニ係ル東京市芝浦區月見町二丁目一、三、四番地所在宅地五千九百二坪餘及同區芝浦町三丁目二番地所在宅地千九百五十八坪ノ借地權坪當金七拾五圓五拾錢ハ大正十三年十二月買收同區月見町二丁目二番地所在宅地四千二百六十三坪餘ノ借地權價格坪當金六拾五圓ニ比シ拾圓五拾錢ノ高價ニ當レルハ前者ハ後者ヨリモ約半箇年ヲ經テ買收シ借地權價格昂騰ノ際ナリシト且一件二千坪以内ノ土地ニシテ買收當時ヨリ利用セラレ其ノ一部ハ既ニ街衢ノ態ヲ備ヘ其ノ他地上物件ノ存在セルヲ以テ之ヲ考慮決定シタルモノナリトノ説明ニ對シ検査報告ニハ大正十四年三月芝浦町一丁目一番地ノ内宅地五千六百餘坪同年五、六月同町一丁目二番地及二丁目一番地六千二百餘坪ヲ同一價格ヲ以テ買收シタル事實ニ顧ミ借地權昂騰ノ事實ヲ認ムルコトヲ得スト謂フモ震災以來借地權價格ノ昂騰シツツアルハ一般ニ認メラルトコロニシテ偶々當局ノ交渉宜數ヲ得タル結果同一價格ヲ以テ買收シ得タル一事ヲ以テ一般ノ趨勢ヲ否認スルハ當ラサルモノト謂ハサルヘカラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】

(八) 復興局ノ支出ニ係ル

三二六、四四五、三三〇

ハ東海土地興業株式會社ヨリ材料置場トシテ買收シタル東京府品川町北品川步行新宿地先八ツ山下埋立地一萬二千九百五十四坪餘ノ借地權ノ代價ナリ抑本件ハ大正十四年四月右代價請求權ノ讓渡ヲ受ケタル株式會社高菱商店ニ對シ現金ノ支拂ヲ爲シ更ニ前記土地ノ埋立權ヲ有スル品川町ト土地賃借契約ヲ締結セムトシタルモノナルニ同町會ノ反對ヲ受ケ遂ニ契約ヲ締結スルニ至ラサリシヲ以テ同年六月右借地權ノ賣買契約ヲ解除シタルモノナリ右ハ借地權ノ買收其ノ宜シキヲ得サ

大正十四年度 内務省 (八)

リシモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ
 本件ハ當初品川町長ヨリ借地權處分ニ關シ承認ヲ得タル東海土地興業株式會社ヨリ借地權ヲ買收シ該代金ハ之カ債權ヲ
 讓受ケタル高菱商店ニ交付シ同時ニ品川町ト土地賃借契約ヲ締結セムトシタルモ當時同町會及地元ノ情勢ヨリ推シテ該
 契約ノ締結困難ナルヲ認メタルヲ以テ已ムヲ得ス同會社トノ借地權賣買契約ヲ解除シ其ノ代金ノ返還ヲ請求スルト共ニ
 改メテ同會社トノ間ニ轉借契約ヲ締結スルコトトセリ而シテ該代金ハ未タ之カ回收ヲ見ルニ至ラサルモ國庫ニ損失ヲ及
 ホササルヘク最善ノ方策ヲ講シツツアリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件土地ハ七年十二月品川町ニ於テ宅地造成ノ目的ヲ以テ東京府知事ヨリ埋立ノ許可ヲ受ケタルモ
 ノニシテ該許可命令書ニ依レハ竣功ノ上ハ道路溝渠其ノ他公用ニ供スヘキ土地ヲ無償官有トシ其ノ他ハ許可ヲ受ケタル者
 ノ所有トストアリ而シテ同町ハ八年十二月前記會社ノ前身ナル東京食品市場株式會社ヲシテ埋立工事ヲ請負ハシメ竣功後
 ハ埋立地ノ賃貸ヲ爲スヘシトノ契約ヲ締結シタルモノナルモ該工事未タ竣成セサルモノナルヲ以テ同町ノ所有ニ屬スルニ
 至ラス且會社ノ借地權亦完全ニ成立シ居ラサルモノナルニ拘ラス單ニ町長ノ承認ニ依リ會社ニ借地權アリト爲シ直ニ之カ
 買收ヲ爲スカ如キハ失當ノ甚シキモノト謂ハサルヲ得ス而シテ之カ彌縫策トシテ十四年六月解約後更ニ前記會社ト別箇ノ
 契約ヲ爲シ其ノ期日ヲ十四年四月一日迄遡及セシメ同日ヨリ昭和四年三月末日ニ至ル間全面積此ノ借地料一箇月坪當八拾
 八錢月額壹萬千參百餘圓、四箇年分五拾四萬七千餘圓ノ賃借契約ヲ締結シタルモ埋立許可命令ニ背反シタル爲未タ使用ス
 ルニ至ラサルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ借地權ノ買收ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

大正十四年四月東海土地興業株式會社ヨリ東京府在原郡品川町北品川步行新宿地先入ツ山下埋立地一萬二千九百五十四坪餘ノ借地權ヲ該
 埋立工事竣功認可以前ニ於テ買收シタルハ當時竣功認可以前ニ於テモ該會社カ土地使用權ヲ有スルト解シタルト又併テ竣功認可以後ニ於
 テ該會社ノ有スヘキ賃借權ヲ目的トシタルモノナリ尙當局ニ於テハ同年六月當時ノ品川町會及地元ノ情勢ニ鑑ミ該契約ヲ解除シ其ノ代金
 ノ返還ヲ請求スルト共ニ改メテ同會社トノ間ニ轉借契約ヲ締結スルコトトシタルモ該契約ニ對シテモ亦町ノ承認ヲ得ルコト能ハサルモノ
 ナリ而シテ其ノ既ニ支拂ヒタル代金ハ未タ回收ヲ見ルニ至ラサルモ目下方途ヲ講シ可及的國庫ニ損失ヲ及ホササルムコトヲ期シ居レリ

【貴決】 措置不當ナリ

【衆決】 不當

【報告】

(九) 復興局ノ支出ニ係ル

一四九、一四〇、四六〇

ハ幹線第八號路線麴町區永樂町一丁目濠端ヨリ同區元千代田町ニ至ル延長約二百米幅員七十三米街路工事請負總額四拾八
 萬八千七百參拾四圓七拾六錢ノ内ニシテ拾貳萬千參百圓ハ大正十三年度ニ拾壹萬八千貳百九拾四圓參拾錢ハ後年度ニ屬ス
 ルモノナリ抑同局ニ於テハ道路橋梁工事ヲ施行スルニ當リ一工事ヲ數口ニ分割シ第一回ハ一部分ニ付指名入札ニ付セルモ
 第二回以降ハ他ノ者ニ請負ハシムルヲ不利ナリトシ會計法第三十一條第二項ニ依リ同一請負人ト隨意契約ヲ締結セルモノ
 多數アリ本工事亦第一回施行ノ際ハ指名入札ニ付シ請負額拾六萬四千圓ヲ以テ橋本組工業合資會社ト契約ヲ締結シ爾後屢
 設計ヲ變更シ且數回工事ヲ追加シ其ノ最終請負額ハ前掲ノ如ク四拾八萬八千餘圓ニ達セルモノナリ此ノ如ク工事ノ一部ヲ
 指名入札ニ付シ他ノ大部分ヲ隨意契約ニ依ルカ如キハ措置其ノ當ヲ得サルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其
 ノ答辯ノ要旨ハ

濠池内ハ地盤頗ル軟弱ニシテ普通土砂ヲ以テ埋立ツルニ於テハ工事上支障多キヲ以テ煉瓦屑等ヲ必要トセルニ舊警視廳
 廳舍殘骸煉瓦屑無償讓渡ノ承諾ヲ得取急キ之カ搬出ニ著手スルノ必要ニ迫ラレ且泥土深キ爲埋立工事施行ニ伴ヒ種種調
 査ノ上實施設計ヲ立ツル必要アルノミナラス工期ヲ短縮セシムル關係上先ツ埋立ヲ主トスル部分ノ設計完了ト共ニ請負
 ニ付シタリ然ルニ埋立後ノ模様ヲ見ルニ沈下ノ程度少ク引續キ次回工事ニ著手シ得タルヲ以テ順次工事ヲ進メタルモノ
 ニシテ此ノ場合他ノ請負者ニ競落セシムルトキハ工事施行上請負者間ニ紛糾ヲ生スル虞アルト既ニ施工上ノ設備ヲ有セ
 ル前回請負者ヲ利用スルヲ有利ナリトシ隨意契約ニ依リタリ

ト謂フニ在リ然レトモ本工事實施ノ蹟ヲ觀ルニ第一回工事トシテ濠池ノ埋立及擁壁暗渠ノ造成、石垣ノ切取、路面敷砂利等
 ヲ指名入札ニ付シ爾後追加工事トシテ側溝及排水溝、人孔雨水榑造成等ノ爲貳萬貳千餘圓石垣榑型工事ノ爲五萬貳千餘圓
 濠池外取合道路、步車道鋪裝等ノ爲五萬餘圓街路上構作物工事ノ爲拾萬五千餘圓濠池内街路工事ノ爲四萬九千餘圓等ヲ追

加セルノ狀況ニシテ相關聯セル工事ニ對シ單ニ埋立ヲ主トセル一局部ノミヲ指名入札ニ付シ他ノ大部分ヲ隨意契約ニ依ルカ如キハ其ノ當ヲ得タルモノト認ムルヲ得ス其ノ他京橋區築地川ニ架設シタル千代橋ハ下部工事ノミヲ指名入札ニ付シ八萬五千圓ヲ以テ落札シタルモ爾後上部工事、袖石垣工事等ヲ六回ニ分チ隨意契約ヲ締結シ請負總額貳拾參萬千餘圓ニ上リ芝區赤羽橋改築工事亦下部工事ヲ指名入札ニ付シ貳萬參千餘圓ニ落札シタリト雖其ノ後更ニ七回ニ分チ隨意契約ヲ締結シ總額拾貳萬九千餘圓ニ上リ又東京驛東口ヨリ日本橋區城邊河岸ニ架設スル八重洲橋ハ下部工事ノ一部ヲ指名入札ニ付シ拾萬參千餘圓ヲ以テ落札シ其ノ後更ニ其ノ殘部及上部工事等ヲ隨意契約ニ依リ貳拾四萬千餘圓ニ増加シタルモ十五年六月之方實地ヲ検査スルニ城邊河岸ノ地上權者移轉ヲ肯セサルカ爲一時工事中止セルノ狀況ニシテ此等各工事中モ第一回指名入札ノ際ハ豫定價格ト請負額トノ間ニ相當ノ値開アリト雖第二回以降隨意契約ニ際シテハ殆ト設計豫算ヲ以テ契約ヲ締結セルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ工事施行ニ際シ契約ノ方法其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

當局ニ於ケル道路橋梁工事ノ施行ニ當リテハ特種ノ事由ナキ限り一工中ハ分割セサル方針ナルモ事業促進上已ムヲ得サルモノハ之カ分割請負ニ付シタルモノアリ即チ工事實施ニ當リ一道路一橋梁ノ如キモ全部ノ設計ヲ終リタル後實施セムトセハ設計ノミニ多大ノ日子ヲ要シ其ノ間實際ノ工事ヲ進ムルヲ得ス豫定期間内ニ事業ノ完成ヲ期スルヲ得サルヲ以テ相當程度ノ設計完了ニ伴ヒ直ニ工事ノ實施ヲ爲シ其ノ施行中ニ他ノ部分ノ設計ヲ進ムルノ方法ニ依リ事業ノ進捗ヲ期シタリ從テ前工事後工事トハ密接ノ關係ヲ有シ而モ現場同一ニシテ狹隘ナル施行箇所ナルヲ以テ異種ノ請負人ヲシテ同時ニ施行セシメムカ現場混亂ヲ來スハ勿論延イテ復興事業ニ著シク支障ヲ生スルノ虞アルヲ以テ第一回ニ競落シタル請負人ニ順次後工事ヲ施行セシメタルハ全ク實際ノ必要ニ應ジタルモノニシテ又同一人ニ施行セシムルトキハ前工事中ニ後工事ニ著手スルヲ得竣功期ヲ短縮シ得ルノミナラス既設設備ヲ利用シ得ルヲ以テ工費ヲ節約シ得ル等諸種ノ利便アリ不當ナリトシテ批難セラレタル幹線第八號路線外三工事ノ如キモ全ク上述ノ事由ニ基クモノニシテ嚴密ナル調査ヲ遂ケ成規ノ手續ヲ經遂行セルモノナリ

又當局ニ於テ豫定價格ヲ定ムルニ當ツテハ競争入札ニ付スルト隨意契約ニ依ルトラ問ハス常ニ諸般ノ事項ヲ考察シ最モ適切ナル價額ヲ決定シツツアリ第一回競争入札ニ際シテハ豫定價格ト落札額トノ間ニ多額ノ値開アルモ第二回以後隨意契約ニ際シテハ値開キナシト謂フカ如キ事實認メ難ク從テ第二回以後隨意契約ニ依リタルモノアルカ爲國庫ニハ不利ヲ及ホシタルコトナシ要スルニ本件ハ何等不當ノ措置ト謂フコトヲ得ス

【貴決】 異議ナシ。 【衆決】 承認

(參照) ○會計法(大正十年四月八日法律第四十二號) 第三十一條第二項 國務大臣前項ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムル場合ニ於テハ指名競争ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ不動産賣拂ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十一款 復興事業費貸付金 第一項 地方復興事業費貸付金

【報告】 (一〇) 神奈川縣ノ支出ニ係ル 一、二四五、〇〇〇、〇〇〇

ハ横濱市ニ交付シタル貸付金ニシテ内七拾壹萬貳千圓ハ街路費貸付金五拾參萬參千圓ハ土地整理費貸付金ニ係リ前者ハ其ノ豫算額ノ二分ノ一後者ハ其ノ三分ノ一ヲ國庫ヨリ貸付ケ殘額ハ全部國庫ヨリ補助スルモノナリ而シテ大正十二年度以降本年度ニ至ル横濱市ニ於ケル右各事業收支ノ狀況ヲ觀ルニ街路費ニ在リテハ貸付金及補助收入百九拾參萬餘圓ニ對シ支出百貳拾六萬餘圓ニシテ差引六拾六萬五千餘圓ヲ翌年度ニ繰越シ土地整理費ニ在リテハ同上收入百貳拾萬餘圓ニ對シ支出參拾四萬七千餘圓ニシテ八拾五萬六千餘圓ヲ翌年度ニ繰越シ繰越額合計百五拾貳萬餘圓ニ上レルノ狀況ナルヲ以テ本年度ニ於テ本項貸付金ヲ交付スルノ必要ナカリシモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件兩事業費ニ於テハ前年度ヨリ相當繰越アリタルモ當該年度割額ト併セ遂行シ得ル見込ナリシヲ以テ之カ支出ヲ爲シタリト謂フニ在リ然レトモ本項貸付金ハ豫算ニ於テ繰越使用ノ明許ヲ得タル費途ナルヲ以テ事業進捗ノ程度ニ應シ交付スヘキモノニシテ十三年度迄ノ兩費豫算額貳百貳拾七萬圓ニ對シ支出僅ニ拾六萬四千餘圓ニ過キスシテ差引貳百拾萬餘圓ヲ繰越シ更ニ十四年度豫算額參百貳萬餘圓ヲ加算スレハ五百拾貳萬餘圓ノ多キニ上リ豫算年割額ノ二箇年分ニ相當スルヲ以テ從來横濱市復興事業ノ進捗遲延タルニ徴シ本年度内ニ遂行スルノ困難ナルヘキコト明ナルニ之ヲ顧慮セス年度初頭ニ於テ漫然貸付金豫算全額ヲ支出スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 横濱市ニ交付シタル街路土地整理費貸付金百貳拾四萬五千圓ヲ年度初頭ニ於テ支出シタルハ事業進捗ノ程度ヲ顧慮セス交付シタルヲ以

テ不當ナリト謂フニアレトモ當時ニ在リテハ該事業ハ相當進捗ノ見込アリ且之カ促進ヲ計ルノ必要上貸付ケタルモノニシテ事業確定ノ如ク執行シ得サリシハ遺憾トスル處ナレトモ超過貸付ノ部分ニ付テハ^{大正十五年}昭和元年度ニ於テ整理ヲ了シタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第三十二款 復興事業費補助 第一項 地方復興事業費補助

九二〇五、〇〇〇〇〇〇円

【報告】 (一一) 東京府ノ支出ニ係ル

ハ東京市ニ交付シタル補助金ニシテ内五百五拾五萬貳千圓ハ土地整理費補助參百六拾五萬參千圓ハ街路費補助ニ係リ前者ハ其ノ豫算額ノ三分ノ二後者ハ其ノ二分ノ一ヲ補助シ殘額ハ全部國庫ヨリ無利息ヲ以テ貸付クルモノナリ而シテ大正十二年度以降本年度ニ至ル東京市ニ於ケル右各事業收支ノ狀況ヲ觀ルニ土地整理費ニ在リテハ補助及貸付金收入九百拾七萬餘圓ニ對シ支出四百參拾貳萬餘圓ニシテ差引四百八拾五萬餘圓ヲ翌年度ニ繰越シ街路費ニ在リテハ同上收入九百八拾九萬餘圓ニ對シ支出四百八拾貳萬餘圓ニシテ五百六萬餘圓ヲ繰越シ繰越額合計九百九拾貳萬餘圓ニ上レルノ狀況ナルヲ以テ本年度ニ於テハ本件多額ノ補助金ヲ交付スルノ必要ナカリシモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本年度初頭ニ於テ貸付金ノ必要ヲ認メ土地整理費貳百七拾七萬餘圓街路費四百九拾五萬餘圓ヲ支出シ次テ年度末ニ至リ東京市ヨリ本年度支出決定額トシテ土地整理費八百貳拾壹萬餘圓街路費六百九拾五萬餘圓合計千五百拾七萬餘圓ノ調書ヲ添附シ之カ補助ヲ請求シ來リタルニ依リ既往年度支出額ヲ加算シタル總額ニ對スル補助額ヨリ既往ノ補助額ヲ差引キ之ヲ交付シタルモ其ノ後ノ變動ニ依リ同市實際支出額著シク差減ヲ生シタルハ遺憾トスル所ナリト謂フニ在リ然レトモ本件補助金ハ工事進捗ノ程度ニ應ジ交付スヘキモノニシテ縱ヒ東京市ヨリ之カ申告ヲ爲シタリトスルモ補助金ヲ支出シタル十五年三月末ニ於テハ本年度迄ノ同市所要額ハ之ヲ推算スルニ難カラサルニ之カ調査ヲ爲サス漫然申請ニ基キ實際所要額ニ倍スル多額ノ補助金ヲ支出スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

東京市ニ交付シタル土地整理並街路費補助金九百貳拾萬五千圓ハ漫然申請ニ基キ支出シタルモノニシテ失當ノ措置ナリト謂フニアレトモ補助金決定ニ當リテハ相當調査ノ上復興事業ノ促進ヲ計ル必要上不得已多額ニ交付シタルモノニシテ超過拂ニ屬スル分ニ付テハ^{大正十五年}昭和元年度

度ノ補助ニ當リ整理ヲ了シタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第三十六款 震災貸付金 第一項 震災貸付金

一、三〇〇、〇〇〇〇〇円

【報告】

(一一) 神奈川県ノ支出ニ係ル

ハ横濱市ニ對シ同山下町區劃整理費及新横濱驛裏口道路新設費トシテ貸付シタルモノナリ大正十五年十月之カ實地ヲ検査スルニ貸付金交付當時毫モ事業進捗セサルニ拘ラス其ノ全額ヲ一時ニ交付セルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件事業ハ豫定ノ如ク執行シ得ル見込ナリシヲ以テ支出シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件事業ハ十四年末ニ至リ計畫セシモノニシテ山下町ノ地區ハ大部分外國人ノ永代借地ニ屬シ單純ニ整理施行シ難キ事情アリ且其ノ整理施行面積五萬六千餘坪ニ互リ之ニ幅員八米乃至二十二米總延長三千九百餘米ノ道路ヲ新設又ハ擴張スルモノニ屬シ又新横濱驛裏口道路新設工事ニ在リテモ同市復興及復舊事業ノ進捗遲延タルニ鑑ミ孰モ短期間ニ竣成シ難キハ明ナルノミナラス本件貸付金交付當時未タ工事ニ著手セサルモノナルニ此等ノ事情ヲ顧慮セス直ニ其ノ全額ヲ一時ニ交付スルカ如キハ失當ノ措置ナリト謂ハサルヲ得ス今之カ事業進捗ノ程度ヲ觀ルニ山下町區劃整理ハ豫算額百拾萬圓ニ對シ十四年度ニ於テ僅ニ五百餘圓ノ雜費ヲ支出シ尙會計實地検査當時迄潰地充當ノ爲土地三百餘坪價格參萬九千餘圓ノ買收ヲ爲シ新横濱驛裏口道路新設費ハ參萬五千餘圓ヲ支出シタルニ過キササルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ國庫金ノ貸付ニ當リ事業進捗ノ程度ヲ顧慮セス一時ニ多額ノ交付ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

第三十一款復興事業費貸付金第一項地方復興事業費貸付金ニ於テ辨明セシ通り「三六五頁(一〇)參看」

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

陸軍省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(一二)

三六、二九九、〇四〇

大正十四年度 内務省 (一二)

其ノ他不當ナルモノ一件(一四) 計二件

一八、一五三^円八一〇

五四、四五二^円八五〇

歳出臨時部

第十九款 臨時軍事費 第一項 臨時軍事費

【報告】 (一三) 陸軍省經理局ノ支出ニ係ル

三六、二九九^円〇四〇

ハ第四師團經理部ニ於テ大阪市港區船町ニ建築シタル薩哈噠派遣部隊還送船舶整理場輸送材料整理場各一棟及同所前面海底浚渫等ニ要シタル經費ナリ右建物ハ大正十四年三月末日隨意契約ヲ以テ請負ニ付シ又浚渫ハ大阪市港灣部ニ委託施工シタルモノナルモ其ノ出來形ハ單ニ還送品整理ノ爲一時的の使用ニ供スヘキ構築物ト認メ難キノミナラス陸軍運輸部本部又ハ同出張所ニ遠隔セル大阪ノ地ヲ撰定シ且之カ完成ハ六月十三日ニシテ還送品到着後ナルノ事實ニ徴シ本費支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件ハ還送物件ノ整理ニ要スル建物及小蒸汽等ノ陸揚泛水ニ要スル設備ヲ包含スルモノニシテ之カ建設場所ノ撰定ニ關シ候補地トシテハ宇品、金輪島、鯛尾、似島アルモ宇品ニハ小蒸汽船ノ置場ニ乏シク且其ノ泛水揚陸ニ不便ナルト似島、金輪島、鯛尾ハ元來用地狹隘ニシテ建設ノ餘地ナシ然ルニ大阪ハ大工業地ヲ控ヘ勞力、資材ノ調辨ニ便ナルト朝鮮、大連、臺灣方面ノ陸軍運輸部ノ定期航ヲ利用スルトキハ宇品トノ連絡容易ニシテ運搬等ニ經費ヲ要セサルヲ以テ同地ヲ撰定セリ又整理所前面ノ浚渫及斜坂ノ構築ハ還送船ノ入港ニ先チ完了スル豫定ヲ以テ四月下旬大阪市港灣部ニ委囑シタルニ時恰モ浚渫船ハ他ニ作業中ナリシ爲五月上旬ニ至リ漸ク回航ヲ見爾後之カ完成ヲ急キタルモ岩壁ノ近傍ニ多クノ捨石散在シ更ニ特種浚渫船ノ回航ヲ要スル等ノ故障ヲ生シ爲ニ還送船入港前ニ終了スルコト能ハサリシモ入港後一時海中ニ假繋留セシモノノ揚陸又ハ修繕後ノ試運轉若ハ各種船舶ノ交通等浚渫及斜坂ノ構築ハ還送船入港後ニ於テモ整理業務ノ完成上附帶工事トシテ必要缺クヘカラサルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ十四年五月十八日以降還送物件ヲ受領格納シタルハ二十噸級ノ古小蒸汽船二隻及雜船數隻又材料整理場ニハ雨覆天幕臺車軌條等僅少ニ過キスシテ十五年六月實地検査ノ際此等物件ハ其ノ儘收納シ倉庫ノ大半ハ不使用ノ狀況ナルヲ以テ特ニ臨時軍事費特別會計ノ終結ニ臨ミ本費ヲ以テ本件工事ヲ實施スルノ必要アリシモノト認ムル能ハス加之現ニ宇品運輸部本部構内、金輪島、鯛尾等ニハ揚陸泛水倉庫等相當ノ設備ヲ有シ此等僅少ナル還送物件整理ノ爲特ニ之カ設備ヲ爲スノ必要アルモノト認メラレサルニ拘ラス當局者ハ神戸ヲ基點トスル陸軍御用船ヲ利用スルヲ得ヘシト爲シ故ラニ還送物件ノ管理ニ不便ナル大阪ノ地ヲ撰定セルノ事實ニ徴シ本件ハ全ク將來ノ輸送計畫上同地ヲ利用スルノ目的ヲ以テ之カ設備ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ名ヲ還送品整理場ニ藉リ將來ニ於ケル輸送計畫上ノ施設ヲ實施シタルモノニシテ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件設備ハ還送材料ノ種類、數量及既設建物ノ收容力等調査研究ノ結果新ニ設備スルヲ必要トシタルモノトス又大阪ノ地ヲ選ビタルハ材料ノ陸揚、泛水、整理ノ便否並敷地ノ取得、工事ノ難易等比較研究ノ結果ニシテ將來ノ輸送計畫上ノ施設ヲ目的トシテ實施シタルモノニアラサルヲ以テ豫算ノ目的外ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法(大正十年四月八日法律第四十二號)

第十四條第二項 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

【報告】 (一四) 陸軍省經理局ノ支出ニ係ル

一八、一五三^円八一〇

ハ陸軍被服本廠ニ於テ大正十三年十二月及十四年一月高島屋飯田株式會社外四名ニ地質ヲ官給シ製作セシメタル麻帆布製方錐形天幕外三點ノ請負代金拾貳萬六千五百八拾九圓八拾壹錢ノ内ニシテ拾萬八千四百參拾六圓ハ臨時軍事費特別會計ニ屬スルモノナリ右ハ地質ノ交付數量多キニ過クルノミナラス其ノ請負價格ニ於テモ之ニ地質代ヲ加算スルトキハ同時期ニ於ケル既製品購入單價ニ比シ方錐形天幕九圓餘雨覆拾壹圓餘ノ高價ト爲ルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件物品ハ從來製作請負ヲ爲サシメタルコトナキヲ以テ其ノ材料ノ所要量ハ慎重ニ調査決定ヲ要シ相當ノ日時

大正十四年度 陸軍省 (一四)

ヲ要スルニ拘ラス所定期ノ關係上急キ契約スルノ必要ヲ生シ先ツ概算ヲ以テ地質ヲ交付シ實施ニ當リ不足ヲ生スルモノハ追加交付シ又剩餘ヲ生スルモノハ之ヲ返納セシムル等ノ處置ヲ爲シタリ尙本件調辨數ハ大量ニシテ當業者間ニハ全部ニ應スル貯藏品ナキヲ以テ特ニ地質ヲ購入シ請負縫製ヲ爲サシメタルモノ一部ハ製品購入ヲ爲シタル爲競争ノ結果製品購入ノ分低價ト爲リタルモノト思考スト謂フニ在リ然レトモ本件地質ノ交付數量ハ其ノ規格仕様書ニ基キ計算スルトキハ爾後ノ返納數量ヲ差引クモ多量ト認メラルルノミナラス各請負人間其ノ使用量ニ大差アルノ事實ニ徴シ適當ナルモノト認メ難ク且十五年六月會計實地検査ノ結果同年八月ニ至リ始テ剩餘地質未返納ノ分アルヲ發見シ九千二百餘尺ヲ返納セシメタルノ事實アリ又縫製請負賃ニ付之ヲ觀ルニ本件請負單價方錐形天幕一張四拾圓乃至四拾八圓餘ニシテ十四年十一月ノ交ニ於テ請負ハシメタル縫賃ハ貳拾八圓餘乃至參拾參圓餘ナルニ比シ本件單價ハ高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ工料製作請負ニ當リ其ノ措置妥當ナラサルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件價格ハ指名競争入札ノ結果ニ基クモノニシテ當時ニ於ケル價格トシテ高價ニ失スルモノトハ認メ得ス又之カ一張當リ地質ハ規格仕様書ニ基キ算出シタル尺ヲ交付シタルモノナルモ裁斷縫製技術ノ關係等ニ依リ使用量ニ差異又ハ剩餘ヲ生シタルモノニシテ不當ニアラス尙剩餘地質ハ全部返納セシメタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

海軍省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(一五)(一六)
豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(一七)(一八)
計四件

六八六、〇〇〇 二七一
三九二、一四九 九九七
七二五、二一五 二六八

歳出經常部

第二款 軍事費 第五項 造船造兵及修理費

【報告】 (一五) 吳海軍經理部及舞鶴要港部ノ支出ニ係ル

ハ五十口徑三年式十四種砲身十門外六十廉ニ對スル製作費豫定額百八拾參萬七千八百六拾五圓貳錢壹厘ノ内ニシテ七拾壹

六四五、四六七 八三一

萬千六百八拾五圓拾錢五厘ハ大正十三年度ニ四拾八萬七百拾貳圓七錢五厘ハ後年度ニ屬シ外ニ歳出臨時部軍備補充費軍艦製造費ヨリ十二年度迄ニ百拾四萬四千八百貳拾貳圓六拾九錢參厘ヲ支出シタルモノアリ右ハ大正十三年度検査報告ニ詳悉セシ如ク當初新造各艦用トシテ前記軍備補充費ヲ以テ製作中ノ所十三年度中本費ノ支辨ニ移セルモノナルモ之カ用途ハ何等變更シタルモノニ非ス全ク新造各艦用トシテ其ノ製作ヲ續行セルモノナルヲ以テ之カ經費ハ常備兵器ノ補修ヲ目的トスル本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス(大正十三年度(一四)(二八頁參看))

【辨明】 本件ハ大正十三年度決算ニ於テ批難ヲ受ケタル同一事項ノ支出カ兩年度ニ跨レルモノニシテ大正十三年度答辯ニ詳悉セルカ如ク大震火災ニ對スル應急施設及復舊工事ノ爲爾餘ノ諸經費ハ孰モ多大ノ削減若ハ事業繰延ニ會シ軍備補充費大正十三年度以降ノ年割額亦著シキ減少ヲ來シタルニ依リ從來施行中ノ造船造兵ノ諸工事モ亦其ノ一部ヲ中止スルニ非サレハ減少豫算ノ範圍内ニ收ムルヲ得サル狀況トナリタルモ是等諸工事中止ハ整理後減少セル職工ニ對シテモ尙或職種ノ職工ニ多大ノ手隙ヲ生スヘク然リトテ之ヲ解僱セハ是非共維持ヲ要スル工廠ノ基本作業能力ノ維持ヲ不可能ナラシムルコトナルヲ以テ已ムヲ得ス軍備補充費所屬各艦用機備品トシテ同費支辨ヲ以テ製造中ナリシ大砲其ノ他ノ兵器類工事ヲ打切り之ヲ一般補充用兵器ニ振替ヘ軍事費造船造兵及修理費ヲ以テ製造工事ヲ續行スルコトトシ新艦用機備品トシテハ軍備制限ニ依ル建造中止艦用トシテ既成ノ兵器其ノ他在庫品等ヲ充當セルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(三六九頁參看)

四〇、五三二 四四〇

【報告】

(一六) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ吳海軍軍需部新兵器倉庫ニ備裝シタル十五噸梁上起重機一臺及荷物用昇降機二臺ノ代價ナリ右ハ該倉庫ノ初度備附ナルヲ以テ其ノ工事費ト等シク歳出臨時部水陸整備費工作廳設備費ノ支辨ト爲スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ水陸整備費ハ政府ノ財政整理ニ依リ極度ニ緊縮セラレ新兵器倉庫モ大正十四年度ニ於テ漸ク竣功セ

大正十四年度 海軍省 (一六)

三七一

ル状態ニシテ初度調辨機械器具ノ整備ヲ該費目ニ埃タムカ其ノ完成期豫想シ難クテハ新營倉庫ノ全能力ヲ發揮セシメ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルヲ以テ既成兵器ノ保管運搬費目タル本費ヲ以テ支辨シタルモノニシテ蓋シ本設備ヲ爲ササルニ於テハ之ニ代ルヘキ保管運搬ニ要スル勞力及物品費ハ當然本費ヨリ支辨スヘキモノナルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ水陸整備費工作廳設備費中本件新兵器倉庫新營ノ整理科目タル吳工廠設備費ニ於テ八萬五千餘圓ヲ橫須賀工廠設備費ニ流用セルノ事實ニ徴シ同費ヲ以テ之カ機械器具ノ整備ヲ爲シ得サルモノト認メ難キノミナラス倉庫ノ設計圖面等ニ徴スルニ梁上起重機及荷物用昇降機ハ當初ヨリ設備スヘキモノナルヲ以テ之カ經費ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件梁上起重機及荷物用昇降機ノ如キハ總テノ兵器庫ニ附帶スヘキ設備ニ非ス格納スヘキ兵器ノ種類如何ニ依リ其ノ要否ヲ異ニス故ニ必然的ニ水陸整備費ヲ以テ倉庫建築ト同時ニ是等設備ヲ備付ケサル可カラサルモノトハ思考セス而シテ一面水陸整備費ハ大震災以來甚シキ緊縮ト線延ヲ餘義ナクセラレタル結果本倉庫ノ如キモ運搬器具機械等倉庫ト獨立ノ存在ヲ有スル設備ハ最初ヨリ建築工事設計中ニ包含セシメス其ノ後格納兵器ノ種類確定ノ結果本費ヲ以テ本運搬設備ヲ購入セル次第ナリ

元來造船造兵及修理費、雜費ハ兵器ノ保管運搬ニ要スル費用ヲ支辨スル本來ノ豫算目的ヲ有スルモノナルニ依リ之ヲ以テ本件運搬器具機械ヲ購入セルハ何等豫算ノ目的ヲ誤リタルモノニ非スト信ス

尙吳工廠設備費ヨリ橫須賀工廠設備費ニ流用セルハ後者設備ニ於テ本件ノ如キ他費目ヨリ正當ニ支出シ得ヘキ附屬的設備ニ非スシテ是非共水陸整備費ヲ以テ設備セサル可カラサル重要ナル設備アリシカ爲ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(三六九頁參看)

【報告】

(一七) 佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル

一一、七一五〇〇〇

ハ佐世保海軍工廠飛行機工場内ニ施設セル諸管裝置工事ノ内冷却裝置外三廠ノ工事費ニシテ附屬費ヲ以テ整理シ本費ノ負擔ニ歸セシメタルモノナリ右ハ水陸整備費ヲ以テ設備シタル安母尼亞壓搾機ト相關聯シテ飛行機工場内塗刷場ノ換氣並温

濕度ヲ調整セムトスル裝置ナルヲ以テ右壓搾機ト等シク水陸整備費ノ支辨ニ屬セシムヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ安母尼亞壓搾機ハ機械トシテ整理シタルモ本裝置ハ海軍工業用機械整理區分表ニ依リ器具トシテ設備シタルモノナルニ因リ附屬費ノ支辨ト爲シタルモノニシテ各裝置ハ相關聯シテ使用スルコトナキニ非スト雖各分離シタルモノナルヲ以テ此等ヲ一括シ水陸整備費ノ支辨ニ屬セシムヘキモノト思考セスト謂フニ在リ然レトモ本件ハ總テ相關聯シテ所期ノ目的ヲ完全ニ達成スルノ構造ナルハ仕様書並圖面等ニ依リテ明ナルノミナラス本裝置ハ同工廠飛行機工場擴張増築ノ營繕工事ニ隨伴セル初度ノ設備ニ係リ工場間接雜費ノ性質ヲ有スルモノニ非サルヲ以テ當然水陸整備費ノ支辨ニ屬セシムヘキモノニシテ附屬費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

從來海軍ニ於テハ工場内ニ於ケル諸管裝置ノ如キ必要ニ應シ時々其ノ配置ヲ變更スヘキ性質ノモノハ總テ器具扱ト定メ(大正六年官房第一二二六號工業用機械ノ整理區分表備考第三)器具ノ新調ハ附屬費ヲ以テ之ヲ行ヒ得ルコトニ整理一定シアリ(大正十四年連第二十九號海軍工作廳工事費整理規則第三條)永年慣行セル處ニシテ今日新ニ生シタル整理方法ニ非ス本件冷却裝置ノ如キモ前記整理方法ニ從ヒ之ヲ獨立ノ器具トシテ本費ヨリ支出セルモノニシテ何等不當ナル點ナシト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○海軍工作廳工事費整理規則(大正十四年二月二十八日)

海軍工作廳工事費整理規則別冊ノ通定ム

別冊ハ海軍艦政本部ヲシテ之ヲ配布セシム

歳出臨時部

第二十三款 臨時軍事費

第一項 臨時軍事費

【報告】

(一八) 橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

一七、四九九^円九九七

ハ宗谷海軍無線電信所送信機改裝工事費ニシテ外ニ材料價格四萬千七百六拾圓四拾壹錢四厘ヲ使用セリ右ハ大正十四年度

月起工十五年三月竣功シタルモノニシテ在來裝備ノ「マルコニー」式三號電球送信機ヲ撤去シ同式六吉電球送信機一組同式四號送信機一組十二吉電動交流機一基一、五吉電動交流機一基ヲ裝備シタルモノナルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件ハ北方ノ時局尙完了セス日露協商ノ協議續行中ニテ十分ナル通信能力ノ維持ヲ必要トスルニ依リ特別會計臨時軍事費支辨ヲ以テ送信機ノ改装ヲ豫定セシモ外國品購買ノ關係上著手遅延シタル爲所要經費ヲ繰越シ本年度ニ於テ改装セシモノナリト謂フニ在リ然レトモ同所ニ於ケル三號電球送信機ハ十三年十一月之カ裝備ヲ完成シタルモノナルヲ以テ更ニ時局終了ノ際ニ於テ本費ヲ以テ之ヲ改装スルノ必要アルモノト認メ難ク畢竟特別會計臨時軍事費終末ニ際シ豫算ノ餘裕アルニ乘シ將來使用ノ爲之カ改装ヲ施行シタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 宗谷無線電信所ハ時局ノ爲北方ニ行動スル艦船ト内地トノ通信中繼ヲ主目的トシ併テ當時續行中ナリシ日露ノ諸協商ニ關スル内地トノ通信機關トシテ利用スル爲大正十三年M式三號(三キロ)電球送信機ヲ臨時軍事費支辨ヲ以テ据付ケテ行ヘリ本送信機ハ普通ノ狀態ニ於テハ五六百哩通信可能ナルニ實際送信ノ結果同地方ニ於テハ空電頗ル多クシテ狀態不良ノ際ハ二百五十哩ヲ距ツル艦船ヘノ通信スラ不可能ノ場合アルヲ發見セルニ依リ已ムヲ得ス据付後日尙淺キニ拘ラス更ニ強力ナル本件六キロ送信機ヲ換裝スルコトニ決定セル次第ニシテ裝備ノ目的ハ全ク前者ト同一ナルヲ以テ本費支辨トセルモノナリ然ルニ本工事實施ニ當リテハ主要部分タル送信機ヲ外國ニ於テ購入セシ爲入荷豫想外ニ甚シク遅延セル關係上工事著シク遅延シ遂ニ本批難ヲ受クルニ至リタルモノナルモ本裝備ノ目的ハ前述ノ如クナルヲ以テ本費支辨トセルハ不當ニ非スト信ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

司法省所管

- 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(一九) 五、四九三^円五五〇
- 年度末ニ際シ不急ノ物件ヲ購入シタルモノ一件(二〇) 二四、四二八^円八三〇
- 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二一) 一五、六一六^円〇〇〇
- 粗造ノ工事ニ對シ請負代金ノ全部ヲ支拂ヒタルモノ一件(二二) 三五、五六〇^円一一〇

計四件

八一、〇九八^円五〇〇

歳出經常部

第三款 刑務費 第二項 事務費

【報告】

(一九) 巢鴨市谷兩刑務所ノ支出ニ係ル

五、四九三^円五五〇

ハ巢鴨刑務所ニ於テ東京控訴院ヨリ保管轉換ヲ受ケタル「ヴェイック」號自動車一輛及市谷刑務所ニ於テ大正十二年四月購入セル「エセックス」號自動車一輛ニ對スル各運轉手給料、賞與及修繕等ニ要シタル費額ナリ十五年七月之カ實地ヲ検査スルニ右自動車ハ孰モ購入又ハ保管轉換ノ當時ヨリ司法省ニ貸付シアリテ兩刑務所ニ於テハ一回モ之ヲ使用セサルモノナルニ前掲金額ヲ本費ノ支辨ト爲シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件自動車ハ兩刑務所ノ所屬ニ係ルモノナルヲ以テ之ニ要スル經費ハ夫夫所屬豫算ヲ以テ支辨スルノ外ナク該自動車ハ必要ニ應ジ司法省ニ貸與シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ「エセックス」號ハ購入當時ヨリ司法省ニ貸付使用セシメ又「ヴェイック」號ハ十四年四月保管轉換ニ係ルモノナルモ之カ引渡ヲ爲サス單ニ保管廳ノ名義ヲ變更セルニ止リ其ノ儘司法省ニ於テ専用セルノ狀況ナルヲ以テ之カ使用上ニ要スル經費ハ當然司法本省費ノ支辨ニ屬セシムヘク本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件自動車ハ司法省ニ於テ必要ニ應ジ時々使用シタルニ過キスシテ其ノ費用ハ嚴正ニ解スレハ司法本省ニ於テ支辨スルヲ相當トスヘキモ之カ費用ヲ區分スルハ困難ナルヲ以テ各所屬廳ノ支辨ニ屬セシメタル次第ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(三六九頁參看)

第三項 收容費

【報告】

(二〇) 横濱刑務所ノ支出ニ係ル

一四、四二八^円八三〇

大正十四年度 司法省 (一九)(二〇)

【報告】 大正十五年三月中石鹼工業用材料トシテ購入シタル牛脂、松脂、豚油及椰子油計八萬三千七百斤並苛性曹達再製鹽等ノ代價ナリ右ハ年度内購入ノ必要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ石鹼工業ハ十五年一月ヨリ作業開始ノ豫定ヲ以テ企畫セシモ工場ノ建設遅延セシ結果年度内作業開始殆ト不可能ノ狀況ト爲レリ然ルニ當時新聞紙上ニ於テ同年四月ヨリ特種輸入品ニ對シ新ニ關稅ヲ課セラルヘキ旨報道アリシヲ以テ關稅改正前所要求材料ヲ購入スルヲ得策ナリト信セシト且製品大口註文者トシテ豫メ其ノ諒解ヲ得タル各師團經理部ハ多ク四月、八月ノ兩度ニ於テ各半期分ヲ購入スルヲ以テ可及的四月分ノ註文ニ應セムカ爲之カ準備トシテ多量ニ購入セシモノナリト謂フニ在リ然レトモ石鹼工業ハ同刑務所ニ於ケル新規ノ作業ニ屬シ之カ工場其ノ他設備ハ十五年三月會計實地検査當時尙工事中ニ屬セルノ狀況ナルヲ以テ第一豫備金ノ補充ヲ受ケタル本費ニ依リ年度末ニ於テ急遽多量ノ材料ヲ購入スルノ要アリシモノト認メ難シ而シテ購入物品中大部分ヲ占ムル牛脂ハ十四年八月以降其ノ價格漸次下落シ却テ不利ノ結果ヲ來シタルノミナラス該作業ノ實績ヲ觀ルニ主要材料タル牛脂並椰子油ノ如キハ事業開始後既ニ六箇月ヲ經過シ居レルニ拘ラス其ノ使用量僅ニ一萬餘斤ニ過キサルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ年度末ニ際シ不急ノ物件ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件石鹼工業ハ新規作業ニ係リ大正十五年一月ヨリ製作開始ノ豫定ヲ以テ著々其ノ歩ヲ進メ大口注文ヲ取纏メ四月中供給ノ見込ニ依リ所要求材料ヲ購入シタルモ實際製作ニ當リテハ比較的高價ナル牛脂等ヲ主成材料トスル製品ニテハ需用者ノ希望ニ副ハサル實情ニ立至リ已ムナク品質ヲ變更シ牛脂、椰子油ニ代フルニ大豆油等ノ低廉ナルモノヲ使用シタル結果消費數量著シク減シタル次第ニシテ特ニ不急物件ヲ購入シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

歳出臨時部

第三款 警備費

第五項 釧路刑務所建築費

【報告】

(二二) 釧路刑務所ノ支出ニ係ル

一五、六一六〇〇〇

ハ同刑務所建築費豫定總額拾五萬圓ノ内ニシテ拾貳萬五千九百貳拾七圓五拾六錢ハ大正十三年度以前ニ八千四百五拾六圓四

拾四錢ハ後年度ニ屬スルモノナリ十五年八月之カ實地ヲ検査スルニ釧路刑務所擴張工事ノ外本年度迄ニ壹萬七千七百餘圓ヲ支出シ尙囚徒工錢及古材見積價格等貳萬參千餘圓ヲ使用スルノ計畫ニ依リ同刑務所帶廣支所即チ舊十勝監獄ノ改築工事ヲ施行セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ釧路刑務所擴張工事ハ舊十勝監獄附屬建物ヲ解崩シ其ノ古材ヲ利用スルモノニシテ工事ノ進捗ニ伴ヒ漸次監房其ノ他ヲ解崩スル要アリ在監者ヲ收容スル場所ニ差支ヲ生スルヲ以テ監房、工場其ノ他必要ノ建造物ハ假設工事トシテ他ニ移轉スルヲ要スルモ將來帶廣出張所又ハ分監トシテ存置スル計畫ナル爲之ヲ永久的建物トシ之カ工費ハ釧路刑務所擴張工事ニ關聯スルモノナルニ依リ事務費其ノ他ノ經費ヲ節約檢出シ本費ノ支辨ト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本項豫算ハ十勝監獄釧路分監建築ノ目的ヲ以テ要求シ其ノ後名稱ヲ釧路刑務所建築費ト改メタルモノナルニ依リ帶廣支所改築費ノ如キハ當初ヨリ積算ナク縱ヒ釧路刑務所擴張工事ニ關聯シ一時在監者收容ニ支障ヲ生シ之カ施設ノ必要アリトスルモ四萬八百餘圓ヲ以テ永久的建物ヲ建築スルカ如キハ措置其ノ當ヲ得サルノミナラス十勝監獄敷地ノ大部分ハ大藏、内務兩省ニ引繼クコトト爲リタルノ事實ニ徴シ畢竟本件ハ監房、廳舍、官舎等ノ撤去ヲ機トシ之カ解崩材ヲ利用シ出張所又ハ分監ヲ新設スルノ目的ヲ達成セムカ爲改築工事ヲ施行シタルモノニシテ本費ノ支辨ニ屬セシムヘキ工事ト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件工事ハ大正十年年度ヨリ大正十二年度ニ亙ル三箇年度ノ繼續事業トシテ計畫セシモノナルモ大正十二年度行政整理ノ爲年度割額ヲ變更シ大正十五年度迄延長スルノ已ムナキニ至リシモノナリ而シテ本工事ハ舊十勝監獄ノ建物ヲ解崩シ其ノ古材ヲ利用スルモノナルカ故ニ工事ノ進捗ニ伴ヒ漸次居房其他ヲ解崩スル結果一時在監者ノ收容所ヲ假設スルノ必要アリシヲ以テ之カ假設費トシテ五千圓ヲ計上セリ然ルニ一方其ノ敷地ハ内務大藏兩省ヨリ急速引繼方ヲ迫ラレタル爲大正十一、十二兩年度ニ於テ居房工場其ノ他必要ナル建物ノ大部分ヲ假設スルノ必要アリシト年度割延長及工事中途ニ於テ帶廣支所設置セラルコトトナリタルヲ以テ之カ實施ノ際ハ收容上支障ヲ來ササル様敷護檢束ノ關係ヲ考慮シ比較的堅牢ナル工事ヲ施行セシヲ以テ當初計上セシ假設費豫算ニ比シ竣功價格増高セシニ外ナラス要スルニ本件工事ハ釧路刑務所擴張工事ニ伴ヒ在監者收容上必要ノ施設ヲ爲シタルモノナルヲ以テ當然本費支辨ニ屬セシムヘキモノト信ス

【貴決】異議ナシ

【衆決】承認

第五款 震災復舊諸費 第一項 刑務所復舊費

【報告】(二二) 小田原少年刑務所ノ支出ニ係ル

三五、五六〇、一二〇

ハ大正十三年十一月乃至十四年十一月中神奈川縣小田原町松村某外五名ニ請負ヘシメタル事務所、教誨堂、夜間獨居房、醫務所、官舎新築工事費等五萬貳千百參拾五圓拾貳錢ノ内ニシテ壹萬六千五百七拾五圓八十三年度ニ屬シ外ニ本件請負工事及之ニ關聯セル直營工事ノ爲價格五千參百拾六圓餘ノ工事材料並受刑者勞力費四百參拾九圓餘ヲ使用シ孰モ契約期間内ニ竣功ヲ告ケタルモノトシテ請負代金ノ全部ヲ支拂ヒタルモノナリ十五年二月ノカ實地ヲ検査スルニ本件工事ハ設計仕様ニ違背セル部分頗ル多ク殊ニ各建物ニ互リ主要ナル土臺、柱、梁其ノ他小屋組等ニ於テ設計ニ違背シ手抜又ハ粗造ナルモノ數十件ノ多キニ上リ且概シテ出來形不良ナルノミナラス工事中途ニ於テ其ノ設計ヲ變更シ又ハ契約以外ニ官ヨリ勞力ヲ提供セラルモノアルニ拘ラス請負代金ノ増減計算ヲ缺キ若ハ未完成ノ工事ニ對シ請負代金ノ全部ヲ支拂ヒタル等其ノ措置當ヲ得スト認メラルルモノ尠カラサルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ出來形設計仕様ニ相違セルモノ及施行未済ニ屬スル部分ニ對シテハ夫夫補強工事ヲ施シ若ハ費用差引増減ヲ行ヒタリ又契約以外ニ受刑者ヲ出役セシメ又ハ建物構造ヲ變更シタルハ契約締結前當該刑務所長ノ決裁ニ依リタルモノニシテ之カ範圍程度ノ判明セサルハ設計ノ遺漏若ハ誤記ニ因ルモノニシテ請負代金支拂後ニ於テ施行シタル工事ハ孰モ手直ノ程度ニ過キサルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件工事ハ其ノ出來形設計ニ違背シ又ハ粗造ノ部分尠カラサルニ請負代金ノ全部ヲ支拂ヒ或ハ契約外ニ勞力ノ供與ヲ爲シタルカ如キハ其ノ措置當ヲ得サルノミナラス工事設計書ト請負人提出ニ係ル費用内譯書ト工事材料ノ品目、寸度、其ノ他ニ於テ相違シ或ハ設計圖面ノ調製ヲ缺キタル儘請負契約ヲ締結シ出役受刑者人員及工用材料ノ使途ニ關シテハ之ヲ認ムヘキ何等ノ書類ヲ存セサル等殆ト之カ當否ヲ判定シ難キ狀況ニ在リ要スルニ本件ハ工事施行ニ當リ設計仕様ニ相違セル粗造ノ工事ニ對シ請負代金ノ全部ヲ支拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本件工事ニ付テハ契約外ニ受刑者勞力ヲ供與シ設計圖面ノ調製ヲ缺キタル儘契約ヲ締結シタル事實ナシ唯出來形設計仕様ニ違背セル部分多ク又帳簿不整理ノ爲古材利用ノ明瞭ヲ缺クモノアル等成績不良ナリシハ遺憾トスル所ナリ而シテ設計仕様ニ相違セル分ニ對シテハ補強シ得ヘキモノニ付テハ夫々補強工事ヲ施サシメ其ノ不可能ナルモノニ在リテハ請負金ノ差引増減ヲ爲シ以テ整理ヲ完了セルモノナリ

【貴決】異議ナシ

【衆決】注意

文部省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(二三)(二四)

四五九、九九九、六六〇

歳出臨時部

第二款 高等諸學校創設及擴張費

第二項 新營及設備費

【報告】(二三) 大阪高等學校外十一校ノ支出ニ係ル

三四三、七三〇、五一〇

ハ校長、教授、傭外國人等ノ官舎四十八棟延千九百四十餘坪ノ施設費ニシテ大正十三年度検査報告ニ詳悉セシ如ク本項豫算ノ目的外ニ屬スルモノトス之ニ對スル當局者辯明ノ要旨ハ高等諸學校創設及擴張計畫ハ其ノ内容多種多様ニ互リ此等ノ細目ヲ豫定經費要求書各目明細書ニ列記スルハ事實上不可能ナルヲ以テ大體ノ設計見積ヲ示シ實施ニ當リ必要適切ナル施設ヲ遂行シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ官舎ノ如キ校舎ト異リ專ラ職員ノ待遇ニ關スル特殊ノ施設ニ屬スルモノハ豫算上之カ明示ヲ要スヘキモノナルニ校舎ニ付テハ建物其ノ他ノ工作物等比較的少額ノモノモ詳細ニ其ノ内容ヲ示セルニ拘ラス却テ前掲多數官舎ノ建設ニ關シテハ何等之カ明示ナキニ徴シ本件官舎ノ如キハ本項豫算ノ範圍内ニ屬スルモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス(大正十三年度(二五)二九八頁參看)

【辯明】

大阪高等學校外十一校ノ支出ニ係ル
ハ校長、教授、傭外國人等ノ官舎四十八棟延千九百四十餘坪ノ施設費ニシテ本項豫算ノ目的外ニ屬スルモノトノ批難ナルモ高等諸學校創設及擴張計畫ノ新設學校ノ多クハ其ノ所在地方ニ於テ住宅地底ノ爲メ常時生徒ノ訓育指導ノ重任ニ當ル生徒監タル職務ヲ有スル教官ノ住宅トシテ訓育指導上利便ナル位置ニ適當ナル家屋ヲ求ムルコト難ク殊ニ傭外國人教師ノ住宅ノ如キハ到底之ヲ得ルコト能ハサルヲ以テ是等

大正十四年度 文部省 (二三)

官舎ノ設備ハ學校創設上絶対必要ノ事項ニ屬スルカ爲豫算目的ノ範圍内ニ於テ之カ施設ヲ爲シタルニ外ナラス會計検査院ニ於テハ豫算上ニ官舎ナル名稱カ特ニ明示ナキヲ以テ豫算目的外ノ施設ナリト謂フモ大正十三年度ノ検査報告ニ對シ辯明セシ如ク高等諸學校創設及擴張計畫ハ頗ル浩瀚ナル新營設備ニシテ其ノ内容ハ多種多様ニ涉リ是等細目ヲ豫算各目明細書ニ普ク列記スルハ事實上不可能ニシテ大體ノ設計見積ヲ示シアルニ過キサルヲ以テ之カ實施ニ當リ豫算目的ノ範圍ニ於テ各目明細書ノ内譯設計ヲ創設上必要ナル各事項ニ夫々細分シテ適當ナル施設ヲ爲ササル可カラス本件官舎建設モ其ノ實施計畫ニ基キ施行シタルモノニシテ當初豫算各目明細書ノ内譯ニ官舎ナル名稱カ明示シアラサリシモ此レカ實施ニ際シ其ノ内譯設計ニ之ヲ掲上シ創設上必要已ムヲ得サル設備ヲ豫算目的ノ範圍内ニ於テ施シタルモノナルヲ以テ會計法第十四條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(三六九頁參看)

【報告】

(二四) 京都帝國大學ノ支出ニ係ル

一一六、二六九^円一五〇

ハ同大學農學部創設、法學部擴張等ノ費目ヲ以テ施行セル大學本部所屬ノ建物、運動場、理學部所屬ノ教室、研究室等ノ新營、増築並附帶工事費百拾五萬六千八百拾八圓拾貳錢ノ内ニシテ百參萬四千參百四拾八圓九拾七錢ハ大正十三年度以前ニ屬シ外ニ特別會計帝國大學歲出臨時部第二款京都帝國大學第二項特別講義室新營費ニ於テ四萬貳千六百五拾七圓參錢ヲ支出シ本年度ニ於テ新ニ圖書館書庫ヲ建設セルノ外十三年度起工ニ係ル武術道場ノ新營並大學本部ニ屬スル暖房給水其ノ他ノ附帶工事ヲ爲シタルモノナリ右ハ大正十一年度以降検査報告ニ詳悉セシ如ク豫算ノ豊裕ナルニ乘シ農學部創設、法學部擴張等ノ經費ヲ以テ本大學全般ニ互ル規模ノ擴張若ハ他學部ノ施設等ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス(大正十一年度(四四)五五頁、十二年度(二七)一八三頁及十三年度(二四)二九七頁參看)

【辨明】

京都帝國大學支出ニ係ル

一一六、二六九^円一五〇

ハ大學本部ニ屬スル暖房、給水其ノ他ノ附帶工事武術道場並圖書館書庫新營工事費ニシテ豫算ノ豊裕ナルニ乘シ大學全般ニ互ル規模ノ擴張若ハ他學部ノ施設ヲナシタルトノ批難ナルモ之カ豫算施行ニ關シテハ既ニ大正十一年度以降ノ検査報告事項ニ對シ辯明セシ通特別講義室新營費及法學部擴張費ヲ以テ建築セシ建物ノ一部ヲ特別大講義室建設ノ目的ニ附隨シテ貴賓室、總長室等ヲ設置シタルモノニシテ大學本部トシテノ施設ヲナシタルモノニアラサルカ故ニ之ニ件ヲ附帶工事モ豫算ノ目的ニ違背セシモノニアラス

又武術道場ハ農學部創設及法學部擴張ニ依リ學生ノ増加ニ伴ヒタル諸施設ヲ最モ經濟的ニ考慮シ建築セシモノニシテ尙圖書館書庫ハ本學ニ於テハ圖書ハ總テ附屬圖書館ニ之ヲ收藏シ各部局ハ必要ニ應ジ公用借受ノ方法ニ依リ之ヲ利用スルノ制トナレルカ故ニ農學部創設及法學部擴張費ニヨリ新營スヘキ書庫モ當然附屬圖書館ニ屬セシムヘキモノトス依テ圖書館事務執行上最モ便利ナル現在書庫ニ接續建設セシモノニシテ大學全般ニ互ル規模ノ擴張若ハ他學部ノ施設ヲ目的トシテ施行シタルモノニアラス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不法

逓信省所管

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ五件(二五)(二六)(三〇)(三四)(三五)

七、二四六、一三〇^円一四〇

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(二七)

三六六、八九一^円三三三

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(二八)(二九)

二七六、五一九^円二四六

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(三二)(三三)

八六、六二一^円五一〇

其ノ他不當ナルモノ二件(三二)(三六)

四三、四五一^円一六八〇

計十二件

八、〇一九、七二三^円八九九

歳出經常部

第二款 逓信費

第二項 逓信事業費

【報告】 (二五) 東京逓信局ノ支出ニ係ル

八、四二八^円〇〇〇

ハ東京市本所區岩佐某ニ單價九毛八絲ヲ以テ請負ハシメタル封緘鉛八百六十萬箇ノ製造代價ナリ右ハ大正十年三月契約ノ單價ヲ其ノ儘繼續セルモノニシテ甚シク高價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ購買主任更迭等ノ爲調査十分ナラサリシ嫌ナシトセサルモ本品ハ事業上一日モ缺クヘカラサルモノナルニ供給者少キト十四年度ノ物價勞銀ハ舊契約當時ニ比シ高價ナリシ等ニ徴シ本契約ヲ有利ト認メタルニ因ルモノナリト謂フニ在リ然レトモ他ニ多數ノ同一製造業者アルニ拘ラス何等調査スルコトナクシテ舊契約單價ヲ踏襲シタルハ失當ノ措置ニシテ現ニ十五年三月東京府蒲田町刈米某カ七毛餘ニテ供給スヘキ旨申出アリタルヲ以テ茲ニ始テ本契約ノ不利ナリシヲ覺リ之ヲ解除シ豫定價

大正十四年度 逓信省 (二五)

格ヲ七毛三絲トシ一般競争入札ニ付シタルニ入札者六名ノ多キニ達シ六毛ヲ以テ落札シタルノ事實ニ徴シ答辯ハ其ノ事由アリシモノト認メ難シ要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ漫然舊契約單價ヲ踏襲シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件大正十年三月締結シタル封緘鉛改造契約ヲ大正十四年度末迄其ノ儘踏襲シタル事由ハ本品改造費ノ主要部分ヲ占ムル鉛工ノ勞銀力大正十年度以降漸次昂騰シ大正十三年度末ヨリ幾分低下ノ氣配アリタルモ尙本契約締結當時ノ勞銀ニ比シ高價ニシテ本契約ヲ踏襲スル方有利ナリト認メタルニヨルモノナリ

會計検査院ハ本品ニ對シテハ他ニ多數ノ同一製造業者アルニ拘ラス其ノ價格ニ付キ從來何等調査セルコトナシト謂フモ本品ハ民間ニ於ケル一般需用品ニ非ラサル爲供給者少ク而モ供給者中ニハ震災ニヨリ製作設備ヲ焼失シタルモノアルノミナラス之ヲ復舊セル者ト雖其ノ復舊ニ多大ノ費用ヲ投シタルノ理由ノ下ニ低廉ナル價格ヲ以テ納入スルコトヲ肯セス現ニ大正十三年度末ニ於テ本品供給契約者タル岩佐ニ對シ値下方ヲ交渉セシコトアルモ現契約ノ單價以下ニテハ到底之ニ應シ難キ旨申出テ次テ又大正十四年度中期ヨリ物價及勞銀ハ漸次低落ヲ來ス傾向アリシヲ以テ供給者ニ對シ更ニ再度ノ交渉ヲ試ミタルモ同一ノ理由ヲ申立テ絕對ニ應セザリシ事實アリ會計検査院ハ又大正十五年三月刈米某カ單價七毛參系ヲ以テ供給方申立テタルカ爲當該局ニ於テハ俄ニ調査ヲ開始シタル如ク謂ヘルモ同人ハ大正十四年十一月頃低價ニテ供給方申出テタルコトアリ當時調査シタルニ何等工場、機械等ノ設備ヲ有セス信用スルニ足ル商人ニアラサルコト判明シ其ノ後大正十五年三月ニ入り單價七毛參系ヲ以テ再ヒ供給方申出テタルモ尙信頼スルコト能ハサリシモノナリ故上ノ如キ事實アルヲ以テ當該局カ從來本品ノ調達方ニ關シ他ノ同業者ヲ調査セス若ハ價格ノ調査ヲ爲ササリシトスル會計検査院ノ批難ハ多少事實ニ反スル點アリ又會計検査院ハ大正十四年度内ニ購入シタル本品ノ單價九毛八糸カ高價ニ失スト云フモ當該局カ物價、勞銀ノ低落ヲ見越シ大正十四年度末ニ於テ從來ノ契約ヲ解除シ豫定價格七毛參系ヲ以テ一般競争ニ附シタル當時ノ入札價格ヲ見ルニ入札者六名(内一名ノ入札無効)ノ内一番札ハ六毛、二番及三番札ハ七毛、四番札ハ八毛、五番札ハ一厘一毛ニシテ此ノ結果ニ徴スレハ舊契約ノ單價九毛八糸ハ當時ノ市價ニ比スルモ必スシモ高價ナリトハ謂フコトヲ得サルヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(二六) 本項ニ於テ東京逓信局ノ支出ニ係ル

歲出臨時部第五款電話交換擴張費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第六款電信擴張及改良費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

第十四款震災復舊及新營費第一項電信電話施設費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

計八拾四萬貳千六拾參圓貳拾九錢ハ大正十四年四月ヨリ九月ニ至ル間ニ於テ大阪市浪速區久保田某外五名ヨリ單價七圓四拾貳錢乃至七圓五拾貳錢ヲ以テ購入シタル内徑三吋長サ九呎有頭鑄鐵管十萬八千九百三十四本同無頭鑄鐵管三千八百二十四本ノ代價ナリ右ハ高價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ十四年度初頭ニ於テ陸軍造兵廠ヨリ検査設備ノ使用竝之ニ要スル水道及検査後引取迄置場ノ無償提供ヲ條件トシ購入シタルモノヲ豫定價格ノ基礎トシ一般營業者ヨリ購入スルモノニ對シテハ之ニ検査諸費及金利等ヲ加算シ當時ノ物價勞銀ヲモ考慮シテ算定シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ名古屋、熊本兩逓信局ニ於テハ同一物品ヲ六圓七拾錢ヲ以テ購入シ本局ニ於テモ亦爾後六圓七拾錢内外ヲ以テ購入セルノミナラス十五年八月ノカ實地ヲ検査スルニ本件物品ノ購入ニ關シテハ豫定價格ノ調製上何等時價ヲ調査スルコトナク單ニ前年度購入平均單價及前回購入單價ヲ基準ト爲シタルニ過キス而シテ本件物品ニ關シテハ供給者間ニ價格ノ協定アリシモノノ如ク爾後十四年十月五千七百餘本ヲ購入スルニ當リ久保田某カ低價ニ入札シタルカ爲漸次入札價格ノ低落ヲ來シ翌年度ニ至リテハ單價五圓七拾五錢乃至四圓九拾錢ト爲リ著シキ差異ヲ生スルニ至リタルハ畢竟物價勞銀ノ變動ニ基クモノニ非スシテ豫定價格ノ調製ニ當リ價格ノ調査上周到ノ注意ヲ缺キタルニ因ルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ豫定價格ノ調製ニ當リ價格ノ調査注意ヲ缺ケリトノ批難ナルカ本品ハ大正十四年四月單價七圓ヲ以テ陸軍造兵廠ヨリ購入セル實例アリ(大正十四年九月及十一月ニ於テ)陸軍造兵廠ハ營利ヲ目的トスル官署ニアラサルノミナラス同廠供給品ニ對シテハ検査設備ノ使用竝之ニ要ス

一、二六〇四〇〇

一、七二、三七二、七九〇

一、四、八八〇〇〇

六、五二、二〇六、五〇〇

ル水道及検査後引取迄置場使用ノ無償提供ヲ條件トセルヲ以テ同廠ノ賣却價格ハ大體實費ト見ルヲ得ヘシ故ニ大正十四年四月ヨリ九月ニ至ル期間ニ於テ一般民間營業者ヨリ購入ノ際ハ專ラ造兵廠ノ價格ヲ基礎トシ之ニ前述ノ無償提供ヲ條件トセシ物件ニ對スル諸費用ヲ加算シ尙其ノ當時ノ物價勞銀ヲ斟酌シテ豫定價格ヲ七圓五拾錢ト定メタルモノニシテ時價ノ調査上適當ノ措置ヲ講シタルモノナリ

會計検査院ハ久保田某カ大正十四年十月低價ニ入札シタルカ爲漸次入札價格ノ低落ヲ來シ翌年度ニ至リテハ五圓七拾五錢以下トナリ著シキ差異ヲ生スルニ至リタルハ畢竟物價、勞銀ノ變動ニ基クモノニ非スシテ豫定價格ノ調査上周到ノ注意ヲ缺キタルニ因ルト謂フモ大正十四年十月以降民間製造業者ノ供給價格ノ低下セルハ經濟界ノ不況ニ因リ供給者間ニ漸次激烈ナル競争行ハレタルト一般物價、勞銀亦低落セシトノ爲ニシテ當該局ニ於テモ亦以ニ此ノ間ノ事情ヲ調査シ爾後之ニ對應スル豫定價格ヲ作製シ購買ヲ爲シ來レルモノナリ又同院ハ營業者間ニ價格ノ協定アリタルカ如ク謂ヘルモ當該局ニ於テ調査セシニ適確ナル證據ナシ

之ヲ要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サリシモノト認ムルコト能ハス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

第三項 諸拂戻立替及補填金

【報告】

(二七) 貯金局ノ支出ニ係ル

三六六、八九一、三二三

ハ大正十年度乃至十二年度事故金ノ内官吏以下ノ犯罪ニ基因シ缺損ヲ生シタル現金ニ對シ十三年度末迄ニ回收不能ノ爲本年度ニ於テ補填ヲ爲シタル金額ナリ右ハ支那天津郵便局ニ於テ出納官吏通信書記山田某カ單獨又ハ局長通信事務官木村某ト共謀シ九年三月頃ヨリ十二年三月頃ニ至ル間ニ於テ保管ニ係ル現金九萬七千九百餘圓ヲ橫領費消シタルヲ以テ兩者ヨリ回收シタル千八百圓餘ヲ控除シタル九萬六千六百餘圓ニ對シ缺損補填ヲ爲シ德島縣八幡郵便局ニ於テ出納官吏三等郵便局長内田某カ九年六月ヨリ十一年七月ニ至ル間ニ於テ故意ニ貯金ノ預入報告ヲ洩シ又ハ拂戻金受領書ヲ偽造シ總額拾六萬五百餘圓ヲ橫領費消シタルヲ以テ内回收ヲ爲シタル六萬九千五百餘圓ヲ控除シ十三年度ニ於テ貳萬五千五百餘圓本年度ニ於テ六萬五千四百餘圓ニ對シ缺損補填ヲ爲シ北海道栗山郵便局ニ於テ通信手新井某及通信事務員榎某カ九年十一月ヨリ十年二月ニ至ル間ニ於テ爲替證書及貯金拂戻金受領書ヲ偽造シ總額六萬參千圓ヲ騙取又ハ橫領費消シタルヲ以テ犯人ヨリノ回收額及當該局長ノ辨償額合計貳萬九千餘圓ヲ控除シ參萬參千八百餘圓ニ對シ缺損補填ヲ爲シ又東京市牛込區寄町郵便局ニ

於テ通信事務員松田某カ九年三月ヨリ十一年八月ニ至ル間ニ於テ故意ニ貯金ノ預入報告ヲ洩シ總額五萬六千參百餘圓ヲ橫領シタルヲ以テ内回收シタル貳萬五千四百餘圓ヲ控除シ參萬九百餘圓ニ對シ缺損補填ヲ爲シタル等ヲ其ノ主ナルモノトシ五百三十餘件ノ多キニ上レリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ會計検査院検査報告ノ通畢竟監督不周到ニ基因スルモノニシテ洵ニ遺憾トスル次第ナリ

然レトモ本件犯罪行爲ノ防遏方ニ關シテハ平素決シテ監督ヲ等閑ニ附スルモノニ非ス即チ郵便貯金其ノ他ノ現金出納事務ニ從事スル者ハ豫メ身元又ハ性格等ニ關シ充分ナル調査ヲ行ヒテ採用スルハ勿論日常事務取扱ニ際シテハ相當責任者ニ於テ嚴重ナル監査ヲ勵行シ一方監督官廳タル逓信局ニ於テハ日々現業局ヨリ提出ニ係ル現金出納日報其ノ他ノ證書類ニ依リ受拂計算ノ正否ヲ調査スル事トセルノミナラス一箇年二回乃至三回ハ實地ニ就キ監査ヲ爲シ又貯金原簿所管廳ニアリテハ臨機通帳ノ提出ヲ求メ貯金原簿ト對查ヲ爲シ預入額其ノ他ノ吻合ヲ確ムル等極力不正行爲ノ防遏ニ腐心シツツアリ

然ルニ事實往々ニシテ斯ル犯罪行爲ノ發生ヲ見ルハ一面ニ於テ又事情ノ存スルモノアリ即チ現金出納事務取扱局ハ總計八千六百有餘ヲ算シ其ノ一箇年間ニ於ケル取扱總件數約一億五千萬口、受拂總額約百億五百萬圓一局當平均取扱件數一萬七千二百餘件同受拂金額百拾六萬參千四百餘圓ニ達スルノ實況ナルニ之等取扱官署ヲ直接監督スヘキ逓信局ハ全國僅ニ七箇所アルニ過キス其ノ管轄區域廣大ナルニ反シ監督事務從事者ノ定員甚タ少キヲ以テ必シモ充分ナル監督ヲ期シ難キノ憾ナシトセスサレハ監督機關ノ充實ヲ圖リ以テ犯罪行爲ノ絶滅ヲ期シ度キモ如何ニセム理想的ナル防遏策ヲ講セムトセハ巨額ノ經費ヲ要スル事トナリ現下ノ國家財政狀態ヲ以テシテハ到底望ムヘクモ非ス故ニ現時ノ狀態ニアリテハ經費ノ差繰リ可能ナル範圍内ニ於テ監督方法ノ完璧ヲ圖リ以テ犯罪事件ノ可及的防遏ニ努力スルノ外途ナキ次第ナリ

尙會計検査院ハ缺損補填金ノ總額ヲ以テ國庫ノ損失金ナリト斷シタルモ右補填金拂込後現ニ犯人其ノ他ノ責任者ヨリ回收セルモノアルノミナラス納入無資力ナル爲目下回收不能ノ狀態ニ在ル分ト雖之ヲ据置貸ニ編入シ極力徵收ニ努メツ、アルヲ以テ會計検査院カ缺損補填金ノ總額ヲ以テ直ニ之ヲ國庫ノ損失金ナリトスルハ當ラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第五款 電話交換擴張費

第二項 事業費

大正十四年度 逓信省 (二七)

【報告】 (二八) 本項ニ於テ東京遞信局ノ支出ニ係ル

第六款電信擴張及改良費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一三八、二五八、六〇〇
四二、四二七、一一〇

計拾八萬六千八百八拾五圓七拾貳錢ハ橫濱國府津間電信電話地下管路施設工事費五拾四萬參千九百五拾八圓五錢ノ内ニシテ參拾六萬參千貳百七拾貳圓參拾參錢ハ大正十二、十三兩年度ニ屬スルモノナリ右管路ハ電信電話用各一條ヲ施設スルモノニシテ其ノ工事ノ實體ニ鑑ミ兩費目ノ負擔割合妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ橫濱國府津間中戸塚國府津間八十三年三月本省ヨリ電信地下管路施設工事見合方通牒アリタルモ電信工事ニ對シテハ既ニ大部分材料ヲ準備シアリタルト一面地下管路ノ埋設ハ作業上ノ關係ヨリ見レハ其ノ一條タルトニ一條タルトニ於テ掘鑿埋戻、路面復舊等ノ土工費ニ事實上大差アルモノニ非ス之カ爲增加スル經費僅少ニシテ工費ノ節約大ナルカ爲電話工事ノ施行ヲ利用シタルモノナルヲ以テ單ニ電信管路一條ノ埋設ニ依リ増加スル工費ノミヲ電信擴張及改良費ノ負擔ト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件工事ハ電信用及電話用各一條ヲ布設スルモノナルヲ以テ之カ經費ノ負擔割合ハ工事費合計五拾四萬參千餘圓ヨリ人孔等築造費拾五萬參千餘圓ヲ控除シタル管路費參拾九萬餘圓ニ對シ之ヲ電信及電話ニ等分スルヲ相當トスルモノナルニ拘ラス掘鑿埋戻等ノ經費全部ヲ電話交換擴張費ノ負擔ト爲シ結局八萬貳千餘圓ヲ同費ノ支辨ニ移シタルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事施行ニ際シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件批難ノ要旨ハ橫濱、國府津間電信電話地下管路施設工事ハ電信電話各一條ヲ布設スルモノナルヲ以テ之カ經費ノ負擔ハ工事費總額五拾四萬參千餘圓ヨリ人孔築造費等電話ノ專屬施設ニ要スル經費拾五萬參千餘圓ヲ控除シ其ノ殘額參拾九萬餘圓ヲ電信電話ニ等分負擔セシムヘキヲ電信負擔トシテ拾壹萬貳千餘圓ニ止メタルハ豫算ノ使用宜シキヲ得スト謂フニ在リ然レトモ會計検査院ノ批難ハ事實ニ於テ相違セル點アリ即チ本件工事ハ其ノ全區間ニ涉リ電信電話各一條ノ地下管路ヲ布設セルモノニ非スシテ橫濱、戸塚間ハ電信一條ヲ戸塚、國府津間ニ在リテハ一部區間ハ電信電話各一條ヲ一部區間ニ電話一條ノミヲ布設シ電信管路ヲ布設セザリシモノナルヲ以テ工事ノ總延長十七里十町四十三間ノ内譯ハ電信七里七町五十間電話十里二町五十三間トナリ經費ノ負擔割合ハ電信拾六萬貳千餘圓電話貳拾萬七千餘圓トナルヘキモノニシテ結局四萬九千餘圓ヲ餘分ニ電話ノ支辨ニ移シタルノ計算トナルモノナリ

而シテ右四萬九千餘圓ヲ電話交換擴張費ノ支辨ニ移シタルハ本工事中戸塚、國府津間電信地下管路施設工事ハ震災直後一般財政ノ緊縮ニ伴ヒ電信擴張及改良計畫ノ變更ヲナスノ要アリシニ由リ餘儀ナク一旦之カ施工ヲ見合ス事トナリタルモ當時既ニ之ニ要スル工率材料品ノ大部分ハ購入済ニ係リ之ヲ後日ノ施工ニ移ストキハ電話地下管路施設後再ヒ掘鑿埋戻等ヲ爲スヲ要シ二重ニ經費ヲ支出スルノ不經濟トナルノミナラス再ヒ交通阻害ヲ爲ササルヘカラサル等ノ不都合アルヲ以テ電話管路施設ノ序ヲ以テ施工スルヲ國費使用上並經濟上最モ有利ト認メラレシニ依リ之カ工事ヲ續行スル事ト爲シタルモノナリ而シテ地下管路埋設土工費ハ其ノ一條タルトニ一條タルトニ於テ事實上幾何モ差違アルモノニ非ラス又一面電話交換擴張費ニ於テハ電信管路ノ附加布設スルト否トニ關セス之カ經費ヲ要スヘカリシモノナルヲ以テ右ハ同費ノ負擔トナシ電信擴張及改良費ヨリハ主トシテ電信管路ノ材料費ヲ支辨スル事トナシタルニ由ルモノナリ要スルニ本件ハ前般ノ如キ特殊ノ事由ニ基キ全ク經費二重使用ヲ避クルノ趣意ニ出タルモノニシテ之ヲ以テ直ニ豫算使用其ノ宜シキヲ得スト謂フコト能ハス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 承認

【報告】

(二九) 札幌遞信局ノ支出ニ係ル

九五、八三三、五二六

ハ函館小樽札幌間、小樽室蘭間及岩内泊間各電話一回線増設工事並厚別靜内兩局電話通話事務開始工事費大正十四年度迄ノ支出額拾參萬五千六百五拾四圓貳拾六錢五厘ノ内ニシテ參萬九千八百貳拾圓七拾參錢九厘ハ十三年度ニ屬シ外ニ材料拾貳萬六千參百八拾參圓參拾九錢六厘ヲ使用セリ十五年七月之カ實地ヲ検査スルニ右増設工事等ヲ施行シタルノ外函館小樽札幌間ニ在リテハ森八雲間八里八町餘ニ對シ在來二十六尺不注入柱七百三十八本ヲ長サ三十尺ノ丹欏注入柱ニ建替ヘ六線用腕木ヲ八線用腕木ニ變更シ小樽室蘭間ニ在リテハ國縫藏岱間一部ノ線路ヲ變更スルト共ニ四里二十一町餘ニ互リ在來二十六尺柱ヲ三十尺注入柱四百二十一本ニ建替ヘ六線用腕木ヲ八線用腕木ニ變更シ岩内泊間ニ在リテハ既設電信線路ノ一部ヲ變更スルト共ニ三里十三町餘ニ互リ電柱ヲ建替ヘ厚別、靜内兩局工事ニ在リテハ門別靜内間既設電信線路七里三十二町餘ニ互リ殆ト全部ヲ新柱ニ建替ヘ且右改築全區間ニ互リ在來電信電話線路ノ全部ヲ張替ヘタルモノナルニ其ノ經費ノ全額

ヲ本費ノ支辨ト爲シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ前記工事區間ハ孰モ建設後長年月ヲ經過セル爲今回ノ電話線増架ニ對シテハ最早之カ負荷ニ堪ヘサルノミナラス在來架涉電話回線トノ交叉關係等ノ爲現狀ノ儘ニテハ到底工事ノ施行困難ナルヲ以テ已ムナク本増架工事ノ必須條件トシテ本費ヲ以テ此等ノ改築ヲ爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ前記區間ノ電柱及海岸附近ノ線條ハ孰モ經年ノ爲改築ノ時期ニ到達セルハ關係書類ニ徵シ明ニシテ現ニ森八雲間及岩内泊間ノ如キハ曩ニ相當經費ヲ以テ之カ改築工事費ヲ要求シタルノ事實アルニ依テ之ヲ觀レハ畢竟本件ハ電話一回線増架工事等ヲ機トシ電信擴張及改良費、電信電話營業費ニ屬スル工事ヲ併セ施行シ之カ經費ノ全部ヲ本費ノ支辨ト爲シタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件函館、小樽、札幌間、小樽室蘭間、岩内泊間各電話一回線増架工事及厚別靜内兩局電話通話事務開始工事ハ孰モ電話擴張計畫ニ基キ施工シタル工事ナリ而シテ本件工費上敷設ヲ要スル線條ハ成ルヘク在來ノ電柱ニ添架施工スルコト、シ以テ可及的經費ノ節約ヲ計リタルカ新線ノ添架ハ在來柱ニ對シ負擔ノ加重ヲ來スヲ以テ之ニ相當補修ヲ加ヘ場合ニヨリテハ電柱ノ建替及之ニ伴フ線條ノ張替ヲ要スルコトアルハ素ヨリ其ノトコロナリ會計檢査院ハ本件工事ニ伴フ在來柱ノ補修建替ハ電信擴張及改良費又ハ電信電話營業費ヲ以テ支辨スヘキモノニシテ之ヲ本工事ニ託シ電話交換擴張費ヲ以テ施工シタルハ不當ナリト謂フモ元來此等線路ハ其ノ儘存置スルニ於テハ尙相當期間ヲ維持シ得タリシモノナルモ最早新線ノ増架ニ耐フルコト能ハサリシト他面通信施設ノ完備ハ一日モ之ヲ緩ウスルコトヲ許サ、ルヲ以テ本件工事費ヲ以テ一部在來線路ノ改築ヲ爲シ之ニ新線添架ノ方法ヲ採リタルモノニシテ之等ノ改築ハ本件電話擴張工事ノ施工カ其ノ直接ノ原因ヲ成シタルモノナルヲ以テ之カ工事費ヲ其ノ原因ノ屬スル電話交換擴張費ノ負擔トシタルハ事由アリ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト信セサルモ改築ノ範圍ハ必要ノ限度ニ止ムヘキハ當然ニシテ其ノ適正ヲ期スルニ於テ將來一層努ムルコト、スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(三〇) 本項ニ於テ大阪遞信局ノ支出ニ係ル

第六款電信擴張及改良費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

八二、九四〇〇〇
一九、九八〇〇〇

ハ大正十四年十月中阪神間電信並市外電話地下線増設等ノ工費用トシテ大阪市浪速區久保田某及合資會社栗本鐵工所ヨリ

隨意契約ニ依リ購入シタル内徑三吋長サ九呎鑄鐵直管一萬三千九百七十五本ノ代價ナリ右ノ内久保田某ト契約ニ係ル九千九百本ハ單價七圓參拾五錢栗本鐵工所ト契約ニ係ル四千七十五本ハ七圓四拾錢ニシテ同年十一月栗本鐵工所及廣島鐵工所ヨリ購入シタル六圓參拾六錢ニ比シ著シク高價ニ失スルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本品ハ特種ノ物品ニシテ一般商人ヨリ購入スルコト能ハス相當設備ヲ有スル工場ト精練ナル技術ヲ要スルモノナルヲ以テ當時ニ於ケル購入單價ハ相當ト認メ契約シタルモ本品ノ如キ價格當否ノ認定困難ナルモノニ在リテハ相當ノ經驗ト信用ヲ有スルモノヨリ成ルヘク多クノ見積書ヲ徵シ以テ價格ノ低廉ヲ計ルヲ有利ト認メ其ノ後新規ノ見積者ヲ加ヘタル結果競争激甚ト爲リ遂ニ價格ノ低下ヲ來シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ新規見積者タル佐賀市谷口某ハ十四年六月以降熊本遞信局ニ於テ單價六圓七拾錢ヲ以テ供給シ前記十一月ノ購入ニ際シテモ同一價格ヲ以テ見積書ヲ提出シタルノミナラス十四年五月名古屋遞信局ニ對シ本件供給者タル久保田某ハ六圓七拾錢ニテ供給シ栗本鐵工所ハ六圓七拾五錢ヲ以テ入札セルノ事實ニ徵シ十月本件多數ノ購入ヲ爲スニ當リ此等ノ事例ヲ調査シ廣ク見積書ヲ徵スルニ於テハ相當低價ヲ以テ購入シ得タルモノト認メサルヲ得ス殊ニ當時相當數量ノ在庫品ヲ有シ且本品ノ大部分ハ翌年一月以降ニ於テ使用スルモノナルヲ以テ其ノ間十分市價ヲ調査シ購入ヲ爲スモ毫モ支障ナカリシモノナリ要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件大正十四年十一月購入ノ分カ同年十月購入ノ分ニ比シ單價ノ低下シタル所以ハ本鐵管ハ一般物品トハ異ナリ地下ニ埋設シ之ニ電信電話用ケーブルヲ敷込ムモノナル爲鐵管ニ砂敷、氣泡、罅隙、鐵渣等アル場合ニ於テハ地水浸入シテケーブルヲ腐蝕シ種々ノ電氣作用ヲ惹キ起シ通信ヲ不良ナラシムルヲ以テ製品極メテ緊密ヲ要シ完備セル設備ト熟練セル職工トヲ有シ信用スルニ足ル製造業者ヲシテ製作セシムル必要アリ然ルニ現今民間ニ於テ此ノ資格ヲ具有スル重ナル製造業者ハ東北地方ニ釜石鑛山株式會社、關東地方ニ隅田川精鐵所、關西地方ニ藤田組鑛業株式會社、久保田鐵工所、栗本鐵工所、藤永田造船所、山陽地方ニ釜石鑛山株式會社、九州地方ニ谷口鐵工所ノ數箇所アルニ過キス而シテ右ノ内釜石、隅田川、谷口ハ遠隔ノ地ニ在リテ製品ノ運賃ニ相當ノ費用ヲ要シ勢ヒ價格高價トナルヲ免レサルヲ以テ從來大阪遞信局ニ於テハ藤田鑛業株式會社、久保田鐵工所、栗本鐵工所、藤永田造船所、廣島鐵工所ヲ指名シ每回此等ノ製造業者ヨリ見積書ヲ

徴シ最低價者ニ注文シ來リシカ藤永田及藤田ハ需要少ク維持困難ナリトテ鐵管ノ製作ヲ中止シ指名者ノ範圍著シク縮少セラル、ニ至リシヲ以テ此等少數製造業者ニ依リテ價格ノ左右セラル、トキハ經營緊縮ノ折柄一大打撃ヲ蒙ルカ故ニ調査ノ上新ニ谷口鐵工所ヲ指名シタル處當時ノ經濟界不況ト相俟テ製造業者間ノ競争漸次激烈トナリ其ノ結果十一月十二日購入ノ分ハ單價六圓七拾五錢ニテ谷口ニ、同月二十四日購入ノ分(二口アリ)ハ各同六圓參拾六錢ニテ栗本、久保田ニ落札セリ元來本品ノ如キ特殊ノ物品ニシテ而カモ供給者ノ範圍限定セルモノニ在リテハ需要多キトキハ競争ノ要ナキヲ以テ價格ヲ引上ケ値引ノ交渉ヲ爲スモ之ニ應セス之ニ反シ需要少ク工場閑散トナルヤ休業ヲ避クル爲自然價格ノ競争ニ依リ注文ヲ受ケントスルカ故ニ相當價格ノ認定頗ル困難ニシテ此ノ點ニ付購買當局者ハ常ニ關心シ居ル次第ナルカ斯ル場合ニ於テハ餘儀ナク最近ノ購入價格ヲ基本トシテ其ノ當否ヲ認定スル外途ナキモノニシテ本件十月購入ノ分ハ專ラ此ノ方法ニ依リテ之ヲ相當價格ト認メサルヲ得サリシモノナリ而シテ十一月分以降ニ於テハ新規ノ製造業者參加シ競争漸次激烈ノ度ヲ加フルニ至リ久シク維持セル七圓參拾六錢以下ニ低落セルモコハ全ク供給者間ノ競争力導キタル豫期セサル價格ト謂ハサルヲ得ス此ノ事ハ當時ニ於ケル各逓信局ノ鐵管購入平均單價方約七圓ナルコト並十一月購入ノ谷口落札六圓七拾五錢ノ分及同栗本落札六圓參拾六錢ノ分力孰モ契約ノ納期內ニ納入スルコト能ハスシテ前者ハ三十八日間ノ運送料貳千參百八圓七錢、後者ハ十九日間ノ運送料六百七拾六圓六錢ヲ徴收シタルノ事實ニ依リ明白ナリ

會計検査院ハ谷口ハ大正十四年六月以降單價六圓七拾錢ヲ以テ熊本逓信局ニ供給シ又久保田ハ同六圓七拾錢、栗本ハ同六圓七拾五錢ヲ以テ大正十四年五月名古屋逓信局へ入札セル事實アルヲ以テ此等ノ事例ヲ調査スルニ於テハ相當低價ヲ以テ購入シ得タルモノト認メサルヲ得スト謂フモ谷口カ納付場所ノ近キ熊本逓信局ト其ノ距離遠キ大阪逓信局トニ對シ同價ヲ以テ供給セルカ如キハ偶々同人カ採算關係ヲ離レテ競争ヲ試ミタルコトヲ裏書シ久保田、栗本亦大體同様ノ徑路ヲ辿レルモノニシテ即チ久保田カ名古屋逓信局ニ對シ大正十四年五月六圓七拾錢(栗本ハ八拾七錢)ヲ以テ供給シタルニ拘ラス翌六月ニ至リ七圓貳拾錢ヲ以テ供給シタルノ事實ヲ考査スルトキハ明カニ前同ノ價格カ不自然ナリシ爲採算上引合ハサリシコトヲ證スルモノナリ

要之本件購入價格ノ低下ヲ見タルハ製造業者カ經濟界ノ不振ニ遭ヒ激甚ナル競争ヲ行ヒテ注文ヲ引受ケ又ハ貯藏品ヲ手放サムトスル商略ニ基キ當該局トシテ之ヲ知ルノ由ナカリシモノニ屬スルヲ以テ物件ノ購入ニ當リ注意ヲ缺キ國庫ニ不利ヲ及ボシタルモノトハ認メス

【報告】 (三十一) 東京逓信局ノ支出ニ係ル

ハ東京市麹町區宮長某ニ請負ハシメタル長距離電話「ケーブル」負荷線輪用鐵筋混凝土塔十四基ノ代價ニシテ外ニ材料價格

三六、六六〇、〇〇〇

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

貳千九百五拾貳圓ヲ使用セリ右ハ東京岡山間長距離電話「ケーブル」架設工事ニ伴ヒ横濱小田原間ニ建設シタルモノニシテ之カ設計ハ本工事標準工法及名古屋逓信局ニ於テ同一目的ノ爲施設シタルモノニ比シ著シキ差異アルノミナラス請負代金亦高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本工事標準工法ハ大體ノ標準ヲ示スモノニシテ土地ノ狀勢等ニ應シ變更シ得ルモノト考ヘ本件設計ニ當リ實情ヲ調査シタル結果其ノ必要ヲ認メタルト大震災ノ實況ニ鑑ミ斟酌ノ上設計施行シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ塔柱ノ標準工法並名古屋逓信局施設ノモノハ正面側面共十二吋ナルニ本件ハ正面十五吋側面二十吋ト爲シ其ノ他「プラットフォーム」床ノ厚サハ前者十二吋ナルニ後者十八吋ナル等其ノ設計ヲ異ニシ之カ爲本塔十四基中八基ヲ占ムル基礎杭打ナキ高サ十八尺乃至二十三尺ノモノニ付名古屋、東京兩局ノ工事内容ヲ比較スルニ前者ハ一基當平均鐵筋一噸二分餘混凝土一立坪九分餘ナルニ後者ハ鐵筋二噸一分餘混凝土三立坪ニシテ著シキ差異ヲ示シ隨テ價格ニ於テモ一基當前者九百九拾餘圓ニ對シ後者貳千八百八拾圓ト爲リ二倍餘ニ當レリ元來本塔ハ東京岡山間ニ架設スル百八十四對長距離電話用「ケーブル」ノ負荷線輪ヲ裝備スル爲建設スルモノナルヲ以テ前記標準工法ハ同區間ニ於ケル各種ノ狀勢ヲ考慮シ相當安全率ヲ見込ミタルモノト認メラルルニ著シク設計ヲ異ニシ多額ノ經費ヲ投スルカ如キハ措置其ノ當ヲ失シタルモノト認メサルヲ得ス今兩局施行工事費ノ内譯ヲ觀ルニ掘鑿混凝土工等本局施行ノ分ニ於テ低廉ナルモノアリト雖型板及足場ノ一基當ハ名古屋ハ僅ニ九拾圓餘ナルニ東京ハ最低貳百八拾五圓最高四百九拾壹圓ニシテ更ニ諸經費ニ在リテハ名古屋ノ八拾參圓餘ニ對シ東京ハ最低七百六拾四圓餘最高千九拾五圓餘ノ多額ヲ要セルノ實況ナリ依テ本件ハ本當ナリトス

【辨明】

本件横濱小田原間ニ於ケル東京岡山間長距離電話「ケーブル」負荷線輪用鐵筋混凝土塔ヲ特ニ強固ニ設計建設シタルハ本區間ハ本邦中最モ激震多キ地震地帯ニ屬シ而モ本邦中逓信系統ノ經過地ニ當リ近年屢々震災ノ厄ヲ蒙リ其ノ逓信施設ニ及ボシタル被害ハ洵ニ甚大ナルモノアリシ事實ニ鑑ミ本邦電話幹線ノ大動脈トナルヘキ本件重要工事ヲ施工スルニ當リ特ニ堅牢ヲ圖ルノ必要ヲ認メタルニ依リ元來標準工法ハ大體ノ標準ヲ定メタルモノニシテ土地ノ情勢塔高ノ如何等ニ依リ豫算ノ範圍內ニ於テ之ヲ適當ニ變更シ設計ノ完璧ヲ期スヘキハ施工上免レ難キコトニ屬シ此ノ程度ノ變更ハ過大ノモノト認メラレズ

會計検査院ハ本區間塔一基當リ經費ハ大體標準工法ニ依ル名古屋逓信局區内ノモノニ比シ高額ナリト謂フモ右ハ前叙ノ事由ニ基キ特ニ設計ヲ爲スニ當リ堅牢ヲ期シタル當然ノ結果ニシテ其ノ價格ハ相當調査ニ基ク豫定價格ノ下ニ指名競争ニ付シタルモノニシテ正當ノ價格ト信ス尙會計検査院カ批難ノ一理由トシテ本件塔ノ建設費内譯ノ一區分タル諸經費(雜費類ニ該)ヲ抽出シ來リ名古屋ハ八拾參圓餘ナルニ東京ハ最低七百六拾四圓最高千九拾五圓ニ上レリト擧示スルモ名古屋ノ諸經費ハ主トシテ工器用具類ノ損料、田畑踏荒料等ヲ計上セルモノナルニ東京ノ諸經費ハ前掲經費ノ外運搬費、埋戻片附人夫賃、鐵釘シンプル、瓦斯管代等ヲ合算セルモノニシテ兩者其ノ内容ヲ異ニシテ從テ單純ナル兩者ノ比較ハ根本ニ於テ誤リアリ而シテ今一基當リ兩者ノ金額ヲ見ルニ大體工法ノ大小ニ比例シ何等不當ニ高キニ過クルモノアルヲ認メス

要スルニ本件ハ震災ニ因リ得タル經驗ヲ基調トシ篤ト調査研究ノ結果設計シタル工事ニシテ過大ノ施設ニアラサルノミナラス價格亦相當ニシテ其ノ調査上何等措置ヲ誤リタルコトナシ依テ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (三三二) 逓信省ノ支出ニ係ル

一五、八八五^円一四〇

龜山電話中繼所官舎新築工事ニ要シタル經費ナリ右ハ本費豫算ニ見積ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本項豫算中局舎營繕ノ目ハ狹義ニ於ケル局舎ノ營繕費ニ止ラスシテ其ノ附屬舎ハ勿論官舎ト雖電話事業ノ擴張上必要ナルモノハ包含スルモノナリト謂フニ在リ然レトモ豫算ニ計上セル局舎營繕ハ局舎及其ノ附屬建物ニ限ルヘキモノニシテ官舎ノ如キ別箇ノ建物ヲ包含スルモノト認メ難シ要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 龜山電話中繼所官舎新築工事費ヲ本費ヨリ支出シタル所以ハ東京岡山間長距離電話「ケーブル」ノ布設ニ伴ヒ技術上龜山外數箇所ニ中繼所ヲ設置スルノ必要アルヲ以テ先ツ本年度ニ於テ龜山中繼所ヲ設置セシカ是等中繼所ノ電話增幅機ハ兩端局間ノ線條ニ連續的ニ裝置セラレ其ノ一箇所ノ能率減少ト雖通話ヲ不良ナラシムルモノナルヲ以テ常時嚴密ナル監視ヲ要スルハ勿論通話ノ閑散時即チ深夜又ハ早曉ニ於テ線條及機械ノ試験ヲ行ヒ之ヲ調節シ而シテ吏員ヲ更代セシムル仕組ト爲スノ外一旦障碍等ニ因リ通話中絶ノ場合ニ於テハ在勤吏員少キ爲全員ヲ急速出勤セシムル爲中繼所吏員ハ之ヲ其附近(城內)ニ居住セシムルノ必要アリ然レトモ實際上斯カル借家ヲ求ムルコト至難ナルニ依リ之ヲ新築スルコトトシ而シテ其ノ新築ハ電話事業ノ擴張上緊要ノモノナルカ故ニ之カ經費ヲ本費豫算ヨリ支出セシ次第ナリ

然ルニ會計検査院ニ於テハ本費豫算中ニ掲グル局舎營繕ニハ官舎ノ如キ別箇ノ建物ヲ包含スルモノト認メ難シト謂ヘルモ元來本費豫算ハ明治二十九年年度ニ於テ繼續費トシテ成立以來一時短期間中斷セルコトアルモ大體數次ノ更新ヲ經テ永續シ以テ今日ニ至レルモノニシテ本件問題トナレル局舎營繕費ノ如キモ當初ヨリ存シ而シテ特ニ官舎營繕ノ内譯ヲ示サスト雖同費目ニ於テ官舎ヲ新營シタルノ事例ハ過去ニ於テモ存スル處ニシテ從テ同費目カ其ノ目的上電話擴張ニ必要ナル官舎ノ新營ヲモ包含セルモノナルコトハ從前ノ沿革ニ徴スルモ自ラ明カナル所ナルヘク從テ會計検査院ノ謂フカ如ク之ヲ以テ豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背セルモノト爲スヘカラサルモノト信ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(三六九頁參看)

第七款 無線電信施設費 第二項 事業費

【報告】 (三三三) 逓信省ノ支出ニ係ル

七〇、七三六^円三七〇

ハ東京無線電信局檢見川送信所官舎五棟及同局岩槻受信所官舎三棟ノ新築工事費ナリ右ハ本費豫算ニ見積ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本項豫算中局舎營繕豫算中ニ見積アリシモノナリト謂フニ在リ然レトモ右局舎營繕ノ豫算中ニハ單ニ對殖民地局トシテ金額ヲ掲上シアルニ過キササルヲ以テ官舎ノ如キ別箇ノ建物ヲ包含スルモノト認メ難シ要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本項豫算中局舎營繕ノ内譯ニ「對殖民地局」トシテ計上シタル金額ハ對殖民地局ノ建設上必要ナル本廳舎附屬舎及是等ニ附隨スル門塹圍墻等ノ新築費ハ勿論官舎ノ新築費ヲモ併算セルモノナルコトハ豫算要求當時作成セル内譯書ニ據ルモ明瞭ナルトコロナリ而シテ其ノ官舎ノ新築費ヲモ併算セル所以ハ無線電信局在勤吏員ハ夜間ニ於テ交替ヲ要スルコトアルノミナラス其ノ檢見川送信所及岩槻受信所ハ共ニ空中線及機械ノ保守運轉ヲ爲ス所ナルカ故ニ一旦是等ノ機械的設備ニ故障ヲ生セムカ當番吏員ノミニテハ間ニ合ハスシテ非番吏員ノ召集ヲ要ス此ノ場合ニ若シ其ノ被召集吏員カ遠距離ノ地ニ居住スルトキハ(檢見川岩槻共同ノ附近ニ吏員等カ)故障ノ修理ヲ遲延セシメ延テ重要通信ノ中絶ヲ來タスノ虞アルニ依リ從來設置ニ係ル他ノ無線電信局ト同様ニ前記送信所及受信所ニ對シテモ亦官舎ヲ設備スルノ必要ヲ認メタルニ由ルモノナリ然ルニ偶々豫定經費要求書各目明細書上ニ是等ノ内譯ヲ詳記セザリシカ爲會計検査院ニ於テハ本費豫算中ニハ官舎ノ如キ別箇ノ建物ノ建築費ヲ包含スルモノト認メ難シト謂ヘルモ事實ハ前叙ノ通ナルヲ以テ要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的内ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノニアラス

大正十四年度 逓信省 (三三三)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(三六九頁參看)

第十四款 震災復舊及新設費 第一項 電信電話施設費

【報告】 (三四) 逓信省ノ支出ニ係ル

六二五、一八八、八五〇

ハ日本電氣株式會社ヨリ隨意契約ヲ以テ購入セル「ラインスキッチボード」二百六十九臺外十三點代八百貳拾七萬八千七拾六圓拾九錢ノ内ニシテ貳百貳萬六千八百八拾七圓參拾四錢ハ翌年度ニ屬スルモノナリ抑本件ハ大正十二年九月ノ震災ニ因リ燒失セル東京市内各電話交換局ノ復興ニ當リ神田分局外四局ノ電話交換方式ヲ自働式ニ變更スル爲ニ要シタル設備費ノ主ナルモノニシテ十三年五月日本電氣株式會社ト内協議ヲ行ヒ同年十月正式ニ契約ヲ締結シタルモノナリ而シテ其ノ契約額ハ十三年五月一日ノ英貨爲替相場ヲ基本トシ總額ヲ八百拾五萬圓ト定メ爾後納品檢收ノ日ニ於ケル相場ニ依リ還元換算シテ前記金額ヲ支拂ヒタルモノナリ右ニ關シ日本電氣株式會社ノミヨリ見積ヲ徵シタル事由並右價格ヲ相當ト認メタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

日本電氣株式會社ニ對シ製作準備ヲ命シタル際ニ於ケル價格ノ決定ハ自働交換方式カ日本ニ於ケル最初ノ施設ニシテ外國品ナル爲直接比價ノ徵スヘキモノナキト調査設計、監督技術者ノ費用其ノ他ノ考慮ヲ要シ價格決定上相當困難シタルモ豫テ海外ニ派遣セラレタル逓信省官吏ノ調査ニ係ル資料ヲ參考トシ本邦同業者中最信用スルニ足ルヘキ前記會社ヨリ見積ヲ提出セシメ此等ノ資料ニ基キ豫定價格ヲ八百貳萬餘圓ト決定シ本會社ノ外株式會社「ヒーリング」商會及「シーメンス」ニシユツケルト」電氣株式會社ヨリ見積書ヲ徵シタルニ後ノ二者ハ之ヲ辭退シタルモノナリ而シテ唯一ノ見積者タル日本電氣株式會社ノ價格ハ八百拾七萬餘圓ニシテ豫定價格ヲ超過セルヲ以テ減價ノ交渉ニ努メタルモ同會社ハ貳萬餘圓ノ外ハ之ニ應セザリシカ爲結局八百拾五萬圓ヲ以テ購入ノ豫約ヲ爲スニ至リタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ當局者ハ三社ヨリ見積書ヲ徵スルニ當リ「オートマチック、テレフォン、マヌファクチュアリング」會

社ノ交換方式ニテ設計セル仕様ニ依リ見積ラシメタルモノナルヲ以テ他ノ方式ノ裝置ヲ取扱フ「シーメンスシユツケルト」電氣株式會社及株式會社「ヒーリング」商會カ共ニ見積ヲ辭退シタルハ當然ノコトニ屬ス元來三會社ノ方式ハ當局者ノ說明ニ依ルモ其ノ一部ヲ除クノ外ハ大體ニ於テ同様ニシテ互ニ優劣ヲ認メ難ク現ニ橫濱局用自働交換裝置ノ購入ニ於テハ右三會社ノ各方式ニ依リ夫夫見積ヲ徵シタルニ拘ラス本件ニ於テハ前記ノ如ク特定方式ニ限定シ他社ヲシテ見積ノ餘地ヲ與ヘザリシカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス而シテ今之カ價格ヲ觀ルニ其ノ後十三年九月橫濱局用自働交換裝置ヲ購入スルニ際シ當局者ハ曩ニ日本電氣株式會社ニ對シ決定セル價格ヲ基礎トシ關稅ヲ除キ豫定價格ヲ貳百五拾參萬餘圓ト爲シタルニ對シ「シーメンスシユツケルト」會社ハ八百八拾萬餘圓「ヒーリング」商會ハ貳百四萬餘圓日本電氣株式會社ハ貳百拾五萬餘圓ノ見積ヲ爲シタルニ徵スレハ本件價格ハ著シク高價ニ見積ヲ爲スニ至リシモノナルコトヲ認ムルニ難カラス假ニ本件購入ニ際シ橫濱局ト同一ノ方法ニ依リ購入シ三會社亦之カ見積ニ應シタリトシ前記豫定價格トノ比率ニ依リ計算スルトキハ「シーメンスシユツケルト」會社ノ分五百七拾九萬餘圓「ヒーリング」商會ノ分六百五拾六萬餘圓ニシテ三割内外ノ高價ニ當リ日本電氣株式會社ノ分六百九拾四萬餘圓ニ過キサルノ計算ナルヲ以テ一割七分餘ノ増加ヲ示シ之ニ爲替相場ノ變動並運搬費ノ相違等多少ノ斟酌ヲ加フルモ本件契約價格ハ高價ニ失シタルモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ多額ノ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件自働式電話交換機裝置ノ調達ニ關スル會計檢査院非難ノ第一點ハ本品ノ購入ニ際シ見積書ヲ徵スルニ當リ「シーメンスハルスケ」及「シーメンスブラザー」ノ各式ヲ採用セス「ストロージャー」式ニ限定シ購入シタルハ失當ノ措置ナリト謂フニ在ルモ元來自働電話交換方式ハ大震災災ニ因ル被害電話ノ復舊ヲ好機トシテ急ニ其ノ計畫ヲ定ムルニ至レルモノニシテ之ニ關スル復舊豫算ハ當時議會解散ノ爲メ成立ヲ見ルニ至ラザリシモ電話ノ復舊ハ眞ニ一刻モ猶豫シ難キ事情ニアリ一面外國品タル自働交換機ノ製作及之カ裝置ニハ長時日ヲ要スル關係ニアリシヲ以テ當時世界ニ於テ比較的普遍的ニ行ハレテ良好ノ成績ヲ收メツ、アル「ストロージャー」式ヲ採用スルコトニ方針ヲ決定シ且其ノ總代理店タル日本電氣株式會社ハ本邦ニ於テ電話機類ノ製造及ヒ供給ニ最モ深キ經驗ヲ有シ信頼スルニ足ルモノト認メラレタルヲ以テ之ト下協議ヲ遂ゲ大正十三年五月中製作注文ノ豫約ヲ爲シタル次第ニシテ要スルニ本件「ストロージャー」式ノ購入ハ我國最初ノ試ミ

ナル點ニ考慮ヲ拂ヒ採リタル措置ニシテ強チ失當ノ取扱トハ信セス
 次ニ非難ノ第二點ハ橫濱局用購入ノ際ニ於ケル價格ヨリ推算シテ本件購入價格ハ高價ニ失スト謂フニ在ルモ元來自働交換機ハ外國製品
 ニシテ殊ニ特許ノ關係アリ且其ノ機械ノ内容構造極メテ複雑ナルモノナルカ故ニ其ノ價格ノ算定頗ル困難ナルノミナラス之ヲ使用スル都
 市ノ地域ノ廣狹、接續局數ノ多少殊ニ手働局トノ連絡ノ有無及加入者呼數ノ繁閑等ノ異ルニ因リ機械ノ各部分内容ニ複雑ナル差異ヲ生スル
 モノニシテ從テ其ノ部分品ノ數量及價格亦當然相違ヲ來スヘキ筋合ナリ此ノ意味ニ於テ東京ト橫濱トハ大ニ其ノ狀況ヲ異ニシ東京ニ比シ
 或ル程度迄ハ價格モ低廉トナルヘキ理由存スルヲ以テ單純ニ之ヲ比較スルハ當ラス從テ會計檢査院カ橫濱局用ノ豫定價格ヲ貳百五拾參
 萬餘圓(貳百四拾參萬餘圓正當ナリ)トナシ之ヲ基準トシテ假定の推算ヲ爲シ本件ノ場合モ三社ヲシテ競争セシメナハ「シーメンスハルスケ」ノ分ハ五百七
 拾九萬圓「シーメンスブラザー」ノ分ハ六百五拾六萬圓、A、T、M(日本電氣會社ノ代
 理取引ニ係ルモノ)ノ分ハ六百九拾四萬圓ニテ購入シ得タルモノナルヘキ旨
 ノ推斷ヲ爲シタルコトハ其ノ計算餘リニ機械的ニ過クルモノト謂ハサルヲ得ス

然レトモ本件價格ハ橫濱局用品ノ夫ト比較シ大體ニ於テ幾分高價ナリシトノ非難ヲ免レ難シトスルモ素ト自働交換機類ノ如キ複雑機細ノ
 構造ヨリ成ル高級品ニ在リテハ合理的、徹底的ノ價格調査ヲ爲スコトハ頗ル困難ニシテ半ハ供給者ノ誠實ニ信賴スルノ外ナキモノナリ又
 請負者トシテハ斯カル高價ナル高級品ヲ初メテ供給スルニ當リテハ多少ノ危険率ヲ見込ム事情モ存スルナルヘク又最初ノ契約ナル關係ヨ
 リシテ義務履行上製造會社ヨリ技師ノ派遣ヲ求メ設計其ノ他ノ任ニ膺ラシムル等相當經驗ヲ得タル場合ニ比シ事實上幾分營業費ノ嵩ム關
 係モ生スヘク是等諸般ノ點ヲ考慮シ當時相當ナル價格ト認定シタル所以ナリ

然レトモ自働交換機類ノ如キ高價品ノ購入ニ就テハ最モ慎重ナル注意ヲ要スルコト勿論ナルヲ以テ爾後精細ナル調査研究ヲ遂ケ橫濱局用
 以來先ツ其ノ購入手續ニ於テ一式ニ限定スルコトヲ避ケ技術ノ許ス限度ニ於テ各種ノ方式ヲ採用スルコトトシ供給者ノ増加ヲ計リ以テ價
 格ノ決定ニ關シ些ノ遺憾ナキヲ期スル爲實質上ノ競争ヲ爲サシムル方法ニ改メタル結果今日ニ於テハ非常ニ有利ニ購入シ得ルニ至リ經濟
 的ノ效果ヲ擧クルコトニ最善ノ努力ヲ爲シツツアリ

要之本件購入ニ當リ「ストロージヤ」式ニ特定シタルハ當時相當考究ノ下ニ決シタル次第ニシテ我國最初ノ試ミトシテ失當ノ措置ト云フ
 コトヲ得ス從テ其ノ價格ニ付テモ競争ニ因リ購入ノ場合ニ於ケルカ如ク格段ノ廉價ヲ表ハササリシコトハ蓋シ已ムヲ得サリシ所ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

【報告】

(三五) 東京逓信局ノ支出ニ係ル

四一、六三〇、〇〇〇

ハ東京府千住町田邊某ヨリ單價拾參錢餘ヲ以テ購入シタル稀硫酸三十一萬磅ノ代價ナリ右ハ甚シク高價ニ失スルモノト認

メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ大正十二年度上半期迄ニ購入シタルモノハ試驗ノ結果仕様書ニ適合
 セルモノ尠ク事業上支障尠カラサリシモ當時偶見本トシテ提供セル田邊製藥所製品ヲ購入シタルニ優良ノ成績ヲ得タルヲ
 以テ爾後該品ヲ指定シタルモノニシテ他ニ競争者ナク已ムヲ得サルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本品ノ購入ニ當リ仕様
 書ニ田邊製藥所製品タルヘキヲ指定シ競争入札ニ付シタルモノナルヲ以テ隨意契約ト何等異ル所ナク隨テ價格モ亦單價拾
 參錢餘ノ高價ヲ示シ尙其ノ後ノ購入ニ當リ交渉ヲ試ミタルニ拾五錢ニ引上クルニ非サレハ供給セサル旨申出タルヲ以テ當
 局ハ初テ之カ調査ヲ爲シタルニ田邊某ハ硫酸製造業者ニ非ス十數年來東京硫酸株式會社ヨリ買入レ轉賣シ居レルノ事實明
 瞭ト爲リ翌年度ニ至リ從來ノ仕様書ヲ變更シ田邊製藥所製品ニ限ラサルコトトシ見積書ヲ徴シタルニ田邊某ハ之ヲ單價七
 錢餘ニ低下シ契約シタルモノナリ而シテ十四年度中ニ於ケル本品市價ハ五錢餘ナルヲ以テ實ニ二倍餘ノ高價ニ當リ其ノ購
 入價格宜シキヲ得サリシノミナラス該容器ハ契約條項ニ基キ官ノ所得ト爲スヘキモノナルニ拘ラス三千餘本ヲ田邊某ニ無
 償返還シタルノ事實アリ要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當
 ナリトス

【辨明】 本件稀硫酸ノ購入ニ際シ當該局ニ於テ田邊製藥所製品ヲ指定シ及田邊製藥所製品ヲ指定シナカラ猶且之ヲ一般競争ニ付シタル事由ハ(一)從
 來他ノ當業者中ニハ所定ノ規格ニ適合スル良品ヲ供給スルモノ少ク田邊製藥所供給品ハ多ク之ニ適合シタルコト(二)田邊製藥所製品ハ專賣
 品ニアラスシテ他ノ當業者ニ於テモ之ヲ販賣シ居レルカ故ニ公入札ニ付シ汎ク當業者ヲシテ競争セシメタル上購入スル方有利ト認メタル
 コトノ二點ニ存シタルモノニシテ技術上並購買上多少研究ノ透徹セサル點アリシコトハ當該局ニ於テモ既ニ之ヲ認メ大正十五年度初頭ヨ
 リ田邊製藥所製品ノ外ニ新ニ東京硫酸株式會社製品ヲモ指定スルト共ニ豫定價格ノ調査ヲ尙一層嚴密ニシ斯カル批難ヲ招クコトナキ様購
 買方法ヲ改善セリ

唯容器ヲ納入ニ返還シタルハ全ク取扱者カ契約ノ條項ヲ誤解シタル結果ニシテ此ノ點甚遺憾トスル次第ナリ仍テ供給者ニ返還シタル容器
 三千餘本ハ目下當該局ニ於テ回收方手續中ニ屬ス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 承認

【報告】 (三六) 東京逓信局ノ支出ニ係ル

六七九一六八〇

ハ本年度施行ニ係ル大井六郷間電信電話地下管路布設工事ニ使役シタル人夫職工賃並掘鑿等ノ代價ナリ右ハ大正十三年二月東京府代々幡町吉原某ト單價契約ヲ爲シタルモノヲ其ノ儘繼續シタルモノニシテ高價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ同一工事ニ於テ再三入夫ヲ新ニスルハ工事ノ進捗上不利ナルヲ以テ右契約ヲ繼續シタルモノニシテ單價ニ差異アルハ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得サルモノナリト謂フニ在リ然レトモ新ニ人夫使役ノ契約ヲ爲スハ工事ノ施行上不利ナルモノアリトセハ相當單價ヲ改定シ以テ契約ヲ繼續スル等適當ノ方法ヲ講スヘキハ當然ニシテ之ヲ東京府豊多摩郡井荻村、保谷村間電話地下線工事用トシテ十四年二月同一人タル吉原某ト指名競争ノ方法ヲ以テ契約セラル單價ニ比較スルトキハ煉瓦工八拾五錢木工六拾錢人夫四拾九錢ノ高價ニ當リ其ノ他掘鑿請負工費ニ在リテモ十一割餘ノ差異ヲ示セルモノアル等縱ヒ土地ノ狀況ニ依リ多少ノ差異アリトスルモ本件契約單價ハ高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス右ノ外電話交換擴張費並電信擴張及改良費ヲ以テ施行シタル平塚二宮間地下管路布設工事ニ於テモ十二年九月東京市本所區市川某ト契約シタル人夫賃等ノ單價ヲ其ノ儘踏襲シ本年度ニ於テ九千四百餘圓ヲ支出シタルモノアルモ之ヲ二宮國府津間同一工事ノ爲十四年一月指名競争ニ依リ三ツ引商事株式會社ト契約シタル單價ニ比較スルトキハ二割三分餘乃至六割七分餘ノ高價ニ當レリ要スルニ本件ハ契約單價高キニ失シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ大井六郷間電信電話地下管路布設工事(大正十三年二月着手 同十五年三月竣工)ニ當リ大正十三年二月吉原某ト締結セル人夫等供給契約ヲ大正十四年二月同人ト締結セル井荻保谷間地下管路布設工事人夫等供給契約ノ單價ニ比シ高キニ不拘引續キ大正十四年度ニ繼續適用セルハ不當ナリト謂フニ在ルモ右ハ左記理由ニ基ツクモノナリ即チ

- 一、本件單價契約ヲ大正十四年度ニ繼續スルニ當リ當時ノ勞銀ヲ調査セルニ本件契約單價ハ煉瓦工三圓二五、男人夫一圓九二ナルニ東京商業會議所調査ニ依レハ煉瓦工四圓〇〇人夫平均二圓一〇ニシテ本契約ヲ踏襲スルヲ有利ト認メタルコト
- 二、一工事ノ中途ニ於テ單價ヲ更正低減スルトキハ爲ニ人夫等ノ素質ヲ低下シ從テ能率ヲ減退シ工事進捗上面白カラサル影響ヲ來ス處アルコト

三、前掲井荻保谷間工事ニ使役ノ爲ニセル契約單價ハ煉瓦工二圓四〇男人夫一圓四三ニシテ其ノ比較的安カリシハ主トシテ競争劇甚ナリシ結果豫想以下ノ單價ニテ契約シ得タリシ爲ニシテ一般ニ之ヲ期待シ得サル事情アリシコト

四、兩者契約ニ依ル掘鑿費單價カ大井六郷間工事ニ於テハ深サ五尺迄一立坪ニ付四圓二七深サ五尺乃至八尺迄同六圓六〇ナルニ井荻保谷間工事ハ各二圓六七及三圓〇九ニシテ著シキ差異アルカ如キモ右ハ前者ノ工事地カ京濱間國道ニ當リ地盤堅固ニシテ掘鑿ニ困難ナルノミナラス地下管路二條ノ増設ヲ爲スモノニシテ既設管路ノ損傷ヲ及ホササル様施工上特別ノ注意ヲ要シ熟練者ヲ使役スルノ必要アルモ後者ハ路面比較的柔弱ニシテ地下線二條ノ新設ヲ爲スニ止マリ掘鑿上作業容易ナリシニ基因スルモノニシテ直ニ兩者ヲ比較シ高

低ヲ斷シ難キ事情アリシコト

等ニ依ルモノニシテ大井六郷間工事ノ如キ幹線工事ニ當リテハ契約單價カ一般市價ニ比シ高額ナラサル限ハ從來使役セル人夫ヲ引續キ使用スルヲ工事ノ進捗上得策トセルノミナラス熟練セル人夫ヲ使役スルヲ得テ却テ有利ナルヲ以テ之ヲ繼續シタルモノニシテ會計検査院批難ノ如ク漫然之ヲ繼續シタルモノニ非ス而シテ之ヲ結果ヨリ見ルモ井荻保谷間工事使役人夫ハ素質劣レルモノアリシ爲使用上尠カラス困難ヲ感シタル事例アリ要之本件契約ヲ大正十四年度ニ繼續セルハ前叙ノ理由ニ基キタルモノニシテ決シテ不當ノ措置ニ非ス從テ本件賃金ハ之ヲ高價ニ失スルモノト謂フコトヲ得ス次ニ市川某ト締結ニ係ル平塚二ノ宮間電信電話地下管路布設工事ニ使役ノ人夫供給契約ヲ大正十四年度ニ踏襲シタルハ大井六郷間地下管路布設工事ノ場合ニ述ヘタルト同様ノ事由ニ因ルモノニシテ大正十三年度末ニ於ケル前叙一般勞銀ト比較スルニ契約單價即チ煉瓦工三圓四五人夫二圓一五ニシテ其ノ間大差無カリシニ依ル而シテ二ノ宮小田原間同工事ニ使役セル三ツ引商事會社ノ供給ニ係ル賃金カ之ニ比較シ低キハ後者ノ方工事ノ比較的輕易ナルニ因ルモノニシテ之ヲ以テ直ニ前者ノ賃金ヲ不當ナリト謂フハ當ラス

要スルニ會計検査院ハ本件ニ對シ單純ニ前後單價ノ表面上ノ差異ヲ擧ケテ批難ヲ加フルモ事實ハ上叙ノ如ク高價ニ失セルモノニ非ス依テ本件ヲ以テ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノト謂フコト能ハス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 承認

特別會計

大藏省所管

逓信省

大正十四年度 逓信省 (三六)

歳出
運賃ノ協定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三七)

三七四、三三〇、二八〇

第一款 專賣局作業費 第二項 事業費

三七四、三三〇、二八〇

【報告】

(三七) 大阪地方專賣局外十三地方專賣局ノ支出ニ係ル

ハ專賣局ト内國通運株式會社ト締結シタル運送契約ニ依リ大阪地方專賣局管内ヨリ他局ニ又東京外十二地方局ヨリ大阪地方局管内ニ回送シタル葉煙草二百九十八萬餘貫ニ對スル運賃參拾七萬四千八百參拾七圓四拾壹錢ノ内ニシテ五百七圓拾參錢ハ翌年度ニ屬スルモノナリ右運賃ヲ大阪地方局ト内國通運株式會社ト契約ニ係ル管内運賃ニ比較スルニ同一地區ニ於ケル倉庫驛間ノ引取配達及貨車積卸等ノ間接費ニ於テ甚シキ高價ニ當リ葉煙草十貫當參錢餘乃至六錢餘樽詰一箇當拾貳錢餘乃至壹圓餘ノ差アルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

專賣局契約ニ係ル運賃ハ地方一般貨物運賃若ハ勞銀ヲ標準トシ内國通運株式會社ト協定セルモノニシテ其ノ地方ニ於ケル普通若ハ幾分低率ナル運賃ニシテ地方局契約ノ運賃ハ當該地方多數運送業者ヨリ見積書ヲ提出セシメ其ノ最低運賃見積者ヲ選定契約セル關係上年運送業者間ニ競争ヲ重ネタル結果低率ノ運賃ト爲リタルモノニシテ全ク標準ト爲ラサルモノナリ而シテ本局契約ハ其ノ區間各地方局相互間ノ回送ナルヲ以テ全國ニ互リ輸送距離長キモ地方局契約ノ分ハ各局管内短距離ナルカ爲運送ノ責任上經費ト手續トヲ要スルコト地方局契約ノ分ニ比シ多キヲ以テ運賃高率ナリト謂フニ在リ然レトモ大阪地方專賣局ニ於ケル契約單價ハ同局調査ニ係ル豫定價格ト大ナル差異ナキモノニシテ其ノ豫定價格ハ同地方ニ於ケル運搬能率及勞銀等夫夫實地ノ調査ニ基キタルモノナルヲ以テ特ニ低廉ナルモノト爲スヲ得ス而シテ本局契約單價ヲ右豫定價格ニ比較スルトキハ葉煙草ニ在リテ八十貫當壹錢餘乃至五錢ノ差異アリテ六分餘乃至六割四分餘ノ高價ニ樽詰ニ在リテハ一箇當拾貳錢餘乃至壹圓四拾四錢餘ノ差異アリテ二割九分餘乃至十九割八分餘ノ高價ニ當レリ又

【辨明】

當局者ハ本局契約區間ハ輸送距離長キヲ以テ多額ノ經費ヲ要スト謂フト雖運送費中ニハ監理費トシテ運送哩數ニ應シタル金額ヲ別途ニ計上セルヲ以テ更ニ間接費中之ヲ見積レルハ妥當ナルモノニ非ス右ノ外名古屋、廣島、岡山、金澤各地方專賣局ニ於テモ亦本局契約ニ係ル運賃ハ當該地方局契約ニ比シ甚高價ナルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ運賃ノ協定宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【貴決】

將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 承認

朝鮮總督府

歳入
歳入ノ徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(三八)(三九)
歳出
年度内未竣功ノ工事ニ對シ代金ヲ支拂ヒタルモノ一件(四〇)
虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(四一)
計二件
一、六三四、五三〇
一、三、七三九、五二〇
四、五二二、五五〇
一、四、一九二、〇七〇

歳入經常部

第二款 印紙收入 第一項 印紙收入

【報告】

(三八) 平壤地方法院安州支廳ニ於テ登録稅トシテ收入印紙ヲ以テ納付セシメタル

一、二六〇、四六〇

ハ大正十四年五月ヨリ同年七月ノ間ニ於テ白某外十九名申請ニ係ル土地所有權移轉登記並土地所有權保存登記ニ付徵收シタル稅額及登記簿謄本下附申請手數料ニ相當スルモノナリ本件ニ關シテハ同支廳雇金某カ登記事務補助者トシテ勤務中課

稅標準不動產價格九萬千八百貳拾五圓ヲ七萬九千九百九拾五圓ニ低減シ之ニ相當スル登錄稅千貳百五拾八圓貳拾壹錢ヲ七百八拾貳圓參拾六錢ニ變更シ其ノ差額四百七拾五圓八拾五錢ノ未消印收入印紙及手數料收入印紙貳圓貳拾五錢計四百七拾八圓拾錢ヲ騙取シタルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

會計檢査院檢査報告ノ通

一、二六〇四六〇

但シ犯人金榮澤ハ大正十四年十月八日懲役一年六箇月ニ處セラレ關係責任官吏判事岡忠孝ハ年俸月額一箇月間十分ノ一減俸書記北村武雄ハ俸給二箇月間十分ノ一減俸處分ニ附セラレタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第四款 雜收入 第一項 雜收入

【報告】 (三九) 本項決算額ノ外京畿道ニ於テ歲入ニ編入スヘキモノ

三七四〇七〇

アリ右ハ水原警察署道警部補田所某カ司法事務擔當中大正十四年十二月領收シタル科料九拾圓ヲ橫領費消シ尙既納ニ係ル罰金五拾圓ヲ擅ニ被處罰者ニ返還シ又京城本町警察署道巡查具某カ司法事務擔當中同年四月ヨリ十五年四月ニ至ル間ニ於テ領收シタル沒收金百八拾九圓四拾七錢罰金科料五拾圓ヲ橫領費消シタルモノニシテ內五圓四拾錢ハ翌年度ニ屬スルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス歲入ニ編入スルニ至ラサリシモノニシテ不當ナリトス

京畿道ニ於テ歲入ニ編入スヘキモノ

三七四〇七〇

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ犯人水原警察署道警部補田所清海ハ大正十五年五月六日付ヲ以テ懲戒免官橫領金ニ犯人辨償濟ニシテ責任官吏署長中原史郎ハ大正十五年六月三日謹責處分ニ附セラレタルモノナリ

犯人本町警察署巡查具衡煥ハ大正十五年五月二十日免職橫領金ハ本人辨償濟ニシテ大正十五年六月十一日付ヲ以テ責任官吏署長鈴木兵作ハ訓戒道警部手賀常五郎ハ謹責處分ニ附セラレタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歲出經常部

第六款 地方廳 第二項 事務費

【報告】 (四〇) 本項ニ於テ忠清南道ノ支出ニ係ル

一、一四八〇〇〇

歲出臨時部第五款營繕費第七項新營及設備費ニ於テ同道ノ支出ニ係ル

一、二五九一五二〇

ハ忠清南道唐津郡廳舍新築及改築工事費竝公州郡守官舍新築及修繕工事費ニシテ孰モ年度內竣功セルモノトシテ證明シタルモノナルモ其ノ實前者ハ大正十五年六月十日後者ハ同年五月十八日竣功シタルモノニシテ前掲金額ハ四月二十九日小切手ヲ發行シ置キ内唐津郡廳舍工事費壹萬千六百參拾八圓ハ同日請負人ニ對シ四月二十八日迄ノ既濟部分四千九百貳拾貳圓六月十五日殘金六千七百拾六圓ヲ支拂ヒ又公州郡守官舍工事費貳千壹圓五拾貳錢ハ五月十八日請負人ニ對シ其ノ全額ノ支拂ヲ爲シタルモノナリ右ハ年度內竣功セサル工事ニ對シ之カ經費ヲ支出シ年度區分ヲ紊リタルモノニシテ不當ナリトス

忠清南道ノ支出ニ係ル

事務費 一、一四八〇〇〇
營繕費 一、二五九一五二〇

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ將來注意スヘシ尙當該責任官吏ニ對シテハ戒告スヘク目下詮議中ニ屬スルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不法

第十六款 鐵道作業費 第三款 諸拂戻立替金及缺損補填金

【報告】 (四一) 朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

四五二五五〇

ハ荷物引換代金トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實京城驛雇朴某カ會計事務擔當中大正十五年三、四兩月ニ於テ關係書類ヲ偽造シ騙取シタル總額壹萬八千參百五拾參圓五拾五錢ノ内ニシテ壹萬七千九百壹圓ハ翌年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

四五二五五〇

大正十四年度 朝鮮總督府 (四〇)(四一)

會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人朴仁煥ハ大正十五年四月二十九日懲戒免職トナリ同年十一月五日懲役二箇年ニ處セラレ被害金ニ對シテハ私訴提起濟關係責任官吏副參事清水藤吉並主任出納官吏書記渡邊十次郎ハ何レモ譴責分任出納官吏書記長尾正五郎ハ俸給月額一箇月分十分ノ一減俸處分ニ附セラレタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

臺灣總督府

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件(四二)

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件(四二)

官有地ノ使用許可ニ當リ料金ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四三)

計三件

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(四四)

不急ノ物件ヲ購入シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(四五)

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四六)

計三件

歳入經常部

第一款 租税 第七項 所得税

【報告】

(四二) 高雄州ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

六、四六三、七〇〇

アリ右ハ臺灣製糖株式會社 自大正十三年十月至十四年三月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ臺灣總督府交付補助金六萬七百拾圓ヲ益金ニ加算セサリト超過所得計算上所得税引當金中ヨリ納付シタル二萬四千九百九拾四圓餘ヲ損金ニ重複計算シタルニ因ル

モノナリ

臺南州ニ於テ徴收過ニ屬スルモノ

六、七三一、五三〇

アリ右ハ東洋製糖株式會社 自大正十三年七月及自十四年一月並自十四年四月三事業年度分ノ所得額ヲ決定スルニ當リ至同年十月七月事業年度分ニ於テ益金ニ繰入レタル社員賞與引當金參萬參千五百拾參圓餘ヲ益金ヨリ控除セス並社員退職給與金壹萬貳千七百貳拾圓餘ヲ損金ニ計算セサルト至同年三月事業年度分ニ於テ事實支拂ヒタル社員賞與金貳拾八萬貳千四百拾九圓餘ヲ翌期ノ損金ニ掲上シタルト且既往年度ニ於テ損金ニ計算セル贖耕解約賠償金貳萬貳千五百圓及社員退職給與金參千七百拾參圓餘ヲ損金ニ加算シタルト至同年四月事業年度分ニ於テ既往事業年度ノ損金ニ加算シタル贖耕解約賠償金貳萬貳千五百圓及社員退職給與金九千五百四拾七圓餘ヲ損金ニ加算シ更ニ超過所得計算ノ基礎タル資本金計算上夫夫既往事業年度ニ於テ損金ニ計算シタル贖耕解約賠償金第一種所得税社員退職給與金、社員賞與金ニ相當スル積立金ヲ現存セルモノト誤認シ至同年七月事業年度分資本金貳千八百九拾六萬四千七百九拾圓ト計算スヘキヲ貳千九百拾九萬九千九百貳拾五圓ト計算シ至同年二月事業年度分同貳千九百五拾七萬九拾四圓ト計算スヘキヲ貳千九百九拾壹萬六千六百九拾壹圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徴收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

高雄州ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

但シ大正十五年六月一日追徴濟

會計検査院検査報告ノ通

臺南州ニ於テ徴收過ニ屬スルモノ

會計検査院検査報告ノ通

但シ大正十五年十二月二十五日拂戻濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二款 官業及官有財産收入

第十一項 官有物貨下料

四〇五

大正十四年度

臺灣總督府 (四二)

【報告】

(四三) 高雄州ノ徵收ニ係ル

一一二一三〇八〇

ハ高雄市ニ使用許可セル同市苓雅寮外三箇所所在土地百四甲餘ニ對スル大正十四年四月ヨリ翌年十二月迄ノ使用料ナリ抑
 本件土地八十數年前海軍省ニ於テ取得シ同省所管ノ公用財産トシテ整理セルモノニシテ從來財團法人臺灣婦人慈善會ニ使
 用ヲ許可セシカ十四年三月ニ至リ高雄市ニ於テ本地ノ使用許可ヲ受ケ之ヨリ生スル收益金ヲ以テ同市商工業ノ發達助長其
 ノ他ノ經費ニ充當セムトスルノ出願ニ對シ十四年四月ヨリ昭和二年三月ニ至ル間使用料年額千貳百六拾餘圓ヲ以テ其ノ使
 用ヲ許可シタルモノナリ然ルニ同市ハ其ノ一部ヲ小作ニ付シ年額四千四百餘圓ノ小作料ヲ收入セルノ狀況ナルヲ以テ右使
 用料ハ著シク低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本地一帶ハ海岸ニ面シ風波ノ都
 度潮害等時時損害ヲ被リ生産物ノ減耗甚シキ爲築堤護岸等ノ設備ヲ要スルノミナラス一朝風浪ノ甚シキモノアルトキハ尠
 カラサル損害ヲ受ケ豊年ノ收益ハ此等復舊又ハ補充ノ爲餘ス所多カラサルノ實狀ヲ斟酌シ使用料金ヲ評定シタルモノナル
 モ本地小作ノ收益カ照會ノ如キモノアリトセハ將來相當考慮ノ要アリト認ムト謂フニ在リ然レトモ高雄市ハ本件許可地ノ
 内七十八甲餘ヲ小作料年額四千四百餘圓ヲ以テ臺灣製糖株式會社及陳某ノ小作ニ付シ此等ノ小作人ハ其ノ一部ヲ自作ニ依
 リ經營スルノ外三十四甲餘ヲ地元農民ノ小作ニ付シ小作料年額五千貳百餘圓ヲ收入セルノ實狀ナルノミナラス同市ハ轉賃
 地ニ於ケル災害復舊費ハ勿論各種團體ニ對スル負擔金等總テ小作者ノ負擔ニ屬セシメ居ルヲ以テ本件使用料ハ著シク低廉
 ニ失スルモノト認メサルヲ得ス尙高雄市ハ海軍水交社ニ對シ本年度五百圓ノ寄附ヲ爲シ翌年度ニ於テ千圓ノ寄附ヲ爲サム
 トスルノ事實アリ要スルニ本件ハ官有地ノ使用許可ニ當リ料金ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシ
 テ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ將來相當考慮セントス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

歳出經常部

第十二款 交通局 第三項 鐵道事業費

【報告】

(四四) 臺灣總督府交通局鐵道部ノ支出ニ係ル

二四五三三〇〇

ハ臺南州嘉義街高野某ニ支拂ヒタル人夫賃トシテ證明シタル九千六百參拾圓ノ内ニシテ七千七百七拾六圓五拾錢ハ大正十一
 年度乃至十三年度ニ屬スルモノナリ右支拂總額中千九百八拾七圓餘ハ其ノ實交通局書記田中某外二名カ嘉義保線區ニ勤務
 中十一年十一月ヨリ十五年三月頃迄ノ間ニ於テ數十回ニ互リ關係書類ヲ偽造シ實際使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如
 ク裝ヒ騙取シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ損害額一、九八七圓四〇〇ニ對シテハ請負人ニ賠償ヲ命シ大正十五年十月二十六日收入済

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第十三款 專賣局 第四項 專賣品補償及購買費

【報告】

(四五) 臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル

一九三二、〇九五、八七〇

ハ三井物産株式會社外一商會ヨリ購入セル波斯阿片七萬二千二百三十六斤餘及土耳其阿片一萬九千六百七十六斤餘ノ代價ナ
 リ右ハ原料阿片前年度ヨリノ越高及本年度使用高等ニ鑑ミ著シク多量ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシ
 ニ其ノ答辯ノ要旨ハ阿片ハ外國品ナルヲ以テ購入上何時故障ヲ發生スルヤモ計リ難ク而シテ本件波斯阿片ノ購入ハ其ノ所
 要在庫數量及年使用量ニ對シ適當ナルモノト認ム又土耳其阿片ハ阿片煙膏ノ製造上生スル副産物ノ處分問題未決定ナリシ
 爲使用量比較的少ク隨テ繰越高多キカ如キ結果ヲ呈セリト謂フニ在リ然レトモ波斯阿片ハ其ノ使用量最近兩三年間ノ實績
 ニ依レハ多キモ四萬五千斤ヲ出テサルノミナラス本年度ニ於テハ前年度來ノ副産物處分方法未決定ノ爲土耳其阿片ノ使用
 量減少ニ伴ヒ六萬五千餘斤ノ多量ヲ拂出シタルニ拘ラス尙二箇年餘ニ互ル所要量十三萬九千餘斤ヲ翌年度へ繰越シ又土耳
 古阿片ハ當分副産物ノ製造量ヲ減少スルノ必要上努メテ之カ使用ヲ制限シ其ノ本年度拂出量僅ニ四千九百餘斤ニ過キサル

ヲ以テ約四箇年ニ互ル所要量一萬九千餘斤ヲ翌年度へ繰越シタルノ計算ト爲リ島内煙膏吸食者ハ逐年減少シ之カ需要量亦減退シツツアルノ時ニ當リ前記多量ノ繰越ヲ爲スカ如キハ畢竟購入計畫其ノ宜シキヲ得サルニ基因スルモノト認メサルヲ得ス右ノ外印度阿片ニ在リテモ五拾參萬五千餘圓ヲ以テ一萬二千餘斤ヲ購入シ年度内僅ニ八千四百餘斤ヲ使用シ二萬餘斤ヲ翌年度へ繰越シタルモノアリ而シテ右阿片價格ノ狀況ヲ觀ルニ波斯阿片ハ十三年十一月以降斤當專賣局著貳拾貳參圓ナリシモノ十四年三月貳拾七圓臺ニ土耳其阿片ハ十三年度上半年期數箇月ハ拾八圓乃至貳拾參圓臺ナリシモノ其ノ後參拾圓内外ニ騰貴シタルモノ十四年四月ニ至リ兩者共貳拾六圓餘ト爲リ爾後引續キ下落ノ傾向ヲ迎リ十五年一二月ニ至リテハ前者貳拾圓餘後者拾七圓ニ低落セル實況ニシテ且在庫品ハ相當之ヲ保有シ急遽購入ノ必要アルモノト認メ難キニ波斯阿片ハ六月ヨリ十月ニ至ル短期間ニ數回連續シテ又土耳其阿片ハ八月十月及十一月ノ三回ニ之カ買付ヲ了シタルヲ以テ巨額ノ損失ヲ招來シタルノ計算ナリ要スルニ本件ハ不急ノ物件ヲ購入シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

大正十四年度ニ於テ購入セル波斯阿片七一、二三六斤七五及土耳其阿片一九六七六斤五八大正十三年度ヨリノ越高及大正十四年度使用高等ニ比較シ著シク多量ニ失スルモノナリト謂フト雖左表ノ如ク大正十三年度殘高一五四、四二一斤七五ヨリ大正十四年度使用數量七八六六二斤ヲ控除スルトキハ七五、七五九斤七五ヲ殘スモ這ノ中四三、四九〇斤ハ製造途中ノ半製品ナルヲ以テ結局殘高ハ三三、二六九斤二五ニシテ之ヲ大正十四年度使用量ヲ以テ見ルモ僅ニ四箇月分餘ヲ殘スノミナリ斯カル少量ノ原料品ニ安ンセンカ在庫品ハ忽チニ使用シ盡シ又購入ニ五箇月以上ノ日子ヲ要スル本品ニ在リテハ價格ノ暴騰ニ遭遇シ不利ヲ生シ或ハ買付不能ニ陥ルノ虞ナシトセス故ニ相當ノ在庫ヲ有スルハ商機ノ關係及作業ノ安全ヲ期スル上ニ於テ最モ肝要ナルコトニ屬ス唯其ノ購入數量ヲ製造計畫變更後ノ同年度使用量ニ比較スルトキハ幾分ノ増加ヲ示スモ之レ原料阿片ハ總テ外國品ニシテ之カ購入ニハ長日月ヲ要シ殊ニ當時國際間ノ阿片取引ハ國際阿片會議ノ結果其ノ取引益ニ嚴重且ツ複雜トナリ何時如何ナル故障ヲ發生スルヤ殆ソト豫想シ難ク近クハ香港市場ノ阿片取引禁止印度政廳ノ阿片競賣廢止ノ實例並國際阿片會議ニ於ケル英國政府ノ宣言セル印度阿片ノ生産制限米國委員ノ生産額ノ大削減ノ主張等益々注意ヲ要スルモノアリ又印度總督ハ印度政廳ハ嚴正ナル醫藥用阿片ヲ除ク外印度ヨリノ阿片輸出ハ徐々ニ之ヲ減シ或ル一定期間ノ後之ヲ皆無ナラシムルノ計畫ナルヲ聲明セリ斯ル阿片政策ハ必スヤ或ル程度迄波斯土耳其阿片ノ價格ニ非常ナル影響ヲ及ホシ原料購入上自然益々困難ナルヘキヲ豫想セサルヲ得サルナリ如斯複雜ナル國際關係ヲ有スル外國供給品ヲ以テ確立セル臺灣阿片政策ヲ遂行シツツアル當府ハ阿片煙膏ノ製造ニ對シ

テハ最善ノ注意ヲ拂ヒ相當豐富ナル在庫品ヲ保有シ周圍ノ狀況變遷ノ爲ニ政策實行上ノ支障ヲ生セサラシメンカ爲勢ヒ幾分ノ増加購入ヲ爲スモ亦事ノ止ムヲ得サルニ依ルモノナリ

又大正十四年度使用量ノ前年度使用量ニ比シ少量ナリシハ阿片煙膏製造ノ際生スル副產物タル粗製莫兒比濃處分問題カ阿片會議ノ影響ヲ受ケ決定ニ至ラザリシヲ以テ極力其ノ副生ヲ避ケンカ爲副產物ノ含有量渺ク煙膏ノ得量多キ波斯阿片ヲ主要原料トシ土耳其阿片ノ使用ヲ制限シタル關係上自然生阿片全體ノ使用量ヲ著シク減少シ同時ニ土耳其阿片ノ殘高比較的多キ結果ヲ呈シタルモノナリ如斯ハ全ク原料配合ノ關係上生シタルモノニシテ從來ノ場合ト其ノ事情ヲ異ニスルモノナリ之ヲ以テ直ニ其ノ殘高ヲ四箇年ニ互ル所要量ナリト斷スルハ盾ノ半面ヲ見タルノ論ナリト云フヘシ又印度阿片ノ購入モ不當ナラサルハ已ニ前述ノ理由ニ依リ明ナリ

大正十四年度阿片價格ハ下落ノ傾向ヲ迎リ來リシニ拘ラス急遽原料阿片ノ購入ヲ爲シタルハ失當ナリト謂フモ之單ニ事後ニ於ケル結果ノミヲ見テ論スルニ過キス元來阿片相場ハ單ニ爲替相場ノミニ依ルモノニ非スシテ各國阿片收獲ノ豐凶大口買付、不正取引等ニ基因スルコト多ク價格ノ騰落ハ例年平行セサルヲ原則トシ其ノ先行見込豫想ハ最モ困難ナルモノナリ故ニ實際買入ニ付テハ是等ノ情勢ヲ調査シ既往ノ實蹟ニ鑑ミ出來得ル限り豫測ヲ精確ニシ購入スルモノニシテ一時一買付ヲ爲スハ先安ノ場合不利ナルヲ考慮シ普ク全年度ヲ通シ大體平均的ニ時々購入ヲ爲シ最モ安全ナル購入方法ヲ採リタルモノニシテ急遽一時ノ買付ナリト謂フヲ得サルモノナリ又前數箇年間ノ阿片相場ニ徵スル時ハ果年殊ニ十二月以降ハ高騰ノ傾向ヲ示スヲ例トスレトモ大正十四年度ニ於テハ偶々之カ反對現象ヲ示シタリ此レ蓋シ阿片會議ニテ不正取引ヲ嚴重ニ取締ルコトニ協定成立シ生産國ヨリ消費地ヘノ移出ニ多大ノ障害ヲ與ヘラレタル爲産地ニテ後ニ至リ價格下落シタルモノナランカ此ハ豫想外ノ事實ニ外ナラス

要スルニ本件ハ國際政局上阿片ニ關シ如何ナル結果ヲ發生スヘキヤ頗ル困難ナル時期ニ遭遇シ當時ノ現況ニ依リ必要ニシテ機宜ニ適シタル購入ヲ爲シタルモノニシテ斷シテ不當ニ非スト認ム

原料阿片購入使用越高表

年 度 別	購 入 高	使 用 高	越 高	備 考
大 正 八 年 度	二二四、七七一 ^斤 〇〇〇	一三三、五一三 ^斤 〇八五	二〇七、九〇一 ^斤 六九〇	越高中ニハ大正七年度殘高一、一六、六四三斤七七五ヲ含ム
同 九 年 度	二二〇、七三七〇〇〇	一四六、七二二 ^斤 四四〇	二七一、九一六 ^斤 二五〇	

同 十 年度	三六、五〇三	〇〇〇	一一三、一三九	五〇〇	一九五、二七九	七五〇
同 十一年度	一一〇、七三三	〇〇〇	一一一、六八三	〇〇〇	一九四、三二九	七五〇
同 十二年度	九六、三三六	〇〇〇	一二九、七四七	〇〇〇	一六〇、九一八	七五〇
同 十三年度	九七、三三九	〇〇〇	一〇三、八三六	〇〇〇	一五四、四二一	七五〇
同 十四年度	一〇三、四一二	二五〇	七八、六六二	〇〇〇	一七九、一七二	〇〇〇

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

歳出臨時部

第三款 補助費 第六項 土地改良事業補助

一一一、三八〇〇〇

【報告】

(四六) 臺灣總督府ノ支出ニ係ル

ハ宜蘭等ニ水利組合ニ於テ臺北州宜蘭郡壯圍、礁溪、頭圍ノ三庄所在面積三千二百七十八甲ノ土地ニ排水路其ノ他土地改良工事ヲ施行セムトスルノ計畫ニ對シ支給セル補助金ナリ抑本工事ハ本年度以降三箇年度ニ互リ總工費七拾貳萬八千餘圓ヲ以テ施行セムトスルモノニシテ之ニ對シ工事ハ認可ノ事業計畫設計書ニ依リ施行スヘキコト工事ノ設計變更ハ認可ヲ要スルコト其ノ他ノ命令條件ヲ附シ大正十五年三月十七日附ヲ以テ本年度以降三年間拾貳萬千餘圓ツツノ補助金ヲ支給スヘキ旨ヲ指令シ次テ同月二十五日本年度分ノ全額ヲ支給セルモノナルモ右ハ事業計畫未タ確立セサルモノニ對シ補助金ヲ支給セルモノニシテ其ノ措置妥當ナラスト認め之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ工事實施設計ニ再調査ヲ要スル點アリテ施行認可方遅延シ尙當初計畫年割通ノ施行困難ナリト認めタルヲ以テ年度割ノ變更ヲ爲スヘキ條件ヲ附シテ隨テ補助指令亦遅延セリト謂フニ在リ然レトモ施行方ヲ認可セル前記事業計畫ハ其ノ内容ニ關シ尙調査ヲ要スルモノアリ

【報告】

ルト共ニ施行豫定年度割亦變更ノ要アルヲ以テ之カ認可ト同時ニ更ニ調査變更ヲ命シタルモ組合ニ在リテハ其ノ後變更計畫進捗セズ遂ニ年度内之カ認可ヲ受クルノ運ニ至ラサリシモノニシテ補助金支給ニ際シ殆ト工事ノ施行ヲ觀サルハ勿論未タ事業計畫確定セサリシモノナリ然ルニ年度末ニ切迫シ漫然本年度補助金ノ全額ヲ支給シタルハ其ノ措置當ヲ得タルモノト認めムルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件土地改良工事ハ極メテ有利ナル國家的事業ニシテ其ノ竣工ノ遲速ハ直チニ收益ノ如何ニ影響ス然ルニ工事ノ進行程度ニ應シテ補助金ヲ交付スルニ於テハ豫定年限ニ竣工セサルノ虞アリ且被補助者ハ公共團體ニシテ弊害ヲ生スルコトナキヲ認め工事資金ヲ圓滑ナラシメ以テ豫定年限ニ竣工セシメントシタルモノニシテ要スルニ大局ノ上ヨリ利害ヲ考慮シタルニ外ナラス

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

關 東 廳

歳入

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ二件(四七)(四八)

一七、一五二、四四〇

租税ノ徵收過ニ屬スルモノ一件(四九)

一、五一三、三五〇

計三件

一八、六六五、七九〇

歳入經常部

第一款 租 税 第三項 所得稅

【報告】

(四七) 大連民政署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一一、七五七、六八〇

アリ右ハ稅令施行地外人タル株式會社三泰油房ノ大連支店ノ所得額ヲ決定スルニ當リ大正十一年八月乃至十二年七月事業年度純益六萬貳千九百壹圓餘及十二年八月乃至十三年七月事業年度同六萬六千貳百拾圓餘ニ對シ不課稅處分ヲ爲シタルニ因ルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ稅令第二條該當ノ法人所得ハ關東州内ニ於ケル資産又ハ營業ヨリ生スル所得ニ付同第一條該當ノ法人所得ニ準シ計算スヘキ規定ナルヲ以テ大連支店ノ所得計算ニ當リ前

大正十四年度 關東廳 (四七)

四一一

期繰越損アルトキハ之ヲ爾後ノ益金ヨリ控除スルヲ相當トシ課税セサリシモノナリ殊ニ當會社ノ本店ハ營口ニ在ルモ名義ノミニ過キスシテ前期ノ欠損ヲ補填シタル本店ノ別途積立金及前前期繰越金ハ大連支店ノ利益ノ留保ニ外ナラサルヲ以テ留保所得ニ付積立金ヲ減少シタル場合ニ其ノ減少額ヲ補填スルニ至ル迄所得税ヲ課セサル稅令ノ趣旨ニ鑑ミ課税セサルヲ穩當トスト謂フニ在リ然レトモ支店ニ於ケル一事業年度ノ純損益ハ期末決算ニ際シ本店ニ振替ヘ本店ニ於テ各支店ノ損益ヲ綜合シ之ヲ處分スルモノナルヲ以テ支店ニ於テハ翌期ニ繰越サルヘキ損益ヲ存セサルモノトス隨テ大連支店ノ十年八月乃至十一年七月事業年度ニ於ケル損失金拾九萬五千六百壹圓餘モ期末ニ於テ營口本店ニ歸屬シ大連支店トシテ翌期ニ繰越サルヘキ損失金ナキモノト認ムヘキモノナルヲ以テ翌期以降ノ事業年度ニ於テ利益アルトキハ之ニ對シ課税スルヲ相當トス又當局者ノ辯明ニ係ル留保所得ニ關スル填補免稅ノ特典ハ留保所得ヲ課セラルヘキ法人ノ場合ニ限ルヘキモノニシテ本會社ノ如キ稅令施行地内ニ本店ヲ有セサル法人ニ對シテハ留保所得ヲ課セサルヲ以テ全然之カ適用ナキモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

關東州所得稅令第二條該當ノ法人所得ハ關東州内ニ資産又ハ營業ヲ有スルトキ其ノ資産又ハ營業ヨリ生スル所得ニ付稅令第一條ノ州内ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ニ準シ計算スヘキ規定ナルヲ以テ本件株式會社三泰油房大連支店ノ所得計算ニ當リテモ其ノ支店ヲ獨立ノモノト看做シ前期ニ繰越損金アリタル時ハ之ヲ爾後ノ益金ヨリ控除スルヲ相當トシ課税セサリシモノニシテ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○關東州所得稅令(大正九年七月三十一日勅令第二百二十七號)

第一條 關東州ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ハ本法ニ依リ所得稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第二條 前條ノ規定ニ該當セサル法人關東州ニ資産又ハ營業ヲ有スルトキハ其ノ資産又ハ營業ヨリ生スル所得ニ付所得稅ヲ納ムル義務アルモノトス但シ所得稅法施行地朝鮮臺灣又ハ樺太ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

【報告】

(四八) 大連民政署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五、三九四^四七六〇

アリ右ハ外國法人中國銀行ノ大連支店大正九年七月乃至十二年六月ノ六事業年度所得額ヲ決定スルニ當リ九年七月乃至十

年六月及十一年一月乃至十二年六月事業年度ニ於テ本店ニ對スル支拂利息中損金ニ計算スヘカラサル利子壹萬七千四百四拾五圓餘ヲ損金ニ加算シタルト十年七月乃至同年十二月事業年度損失金貳萬貳千五百七拾八圓餘ヲ爾後ノ事業年度益金ヲ以テ補填シタル等ニ因ルモノナリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ前段ニ對シテハ翌年度ニ於テ之カ誤謬訂正ヲ爲シ千八百餘圓ヲ追徵セルモ後段ニ對シテ稅令第二條ノ法人所得ハ關東州内ニ於ケル資産又ハ營業ヨリ生スル所得ニ付同第一條該當ノ法人所得ニ準シ計算スヘキ規定ナルヲ以テ大連支店ノ所得計算ニ付テハ同支店ノ決算上翌期ニ繰越スヘキ損金ニ相當スルモノアルヲ以テ之ヲ爾後ノ益金ヨリ控除スルヲ至當ト認メ課税セサリシモノナリト謂フニ在リ然レトモ支店ニ於ケル一事業年度ノ純損益ハ翌期ニ繰越サルヘキモノニ非サレハ前項ニ於テ詳悉セシト同シク本件大連支店ノ十年七月乃至十二月事業年度損失金ハ期末ニ於テ北京本店ニ歸屬シタリト認ムヘキヲ以テ大連支店トシテ翌期以降ニ利益アルトキハ之ニ對シ課税スルヲ相當トス依テ本件ハ不當ナリトス(四一頁(四七)參看)

【辨明】

本件外國法人中國銀行大連支店ニ對シテモ前項同様前期繰越損金アリタルヲ以テ之ヲ爾後ノ益金ヨリ控除スルヲ相當トシ課税セサリシモノニシテ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○關東州所得稅令第一條及第二條(四一二頁參看)

【報告】

(四九) 大連民政署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、五二二^四三五〇

アリ右ハ株式會社滿洲銀行自大正十四年一月事業年度ノ所得額ヲ決定スルニ當リ前期ヨリ繰越シタル積立金減少填補未済額百參萬千四百拾五圓ヲ存スルニ當期留保金參萬貳百六拾七圓ニ對シ課税シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件所得額決定ニハ當初誤謬アリシヲ以テ大正十五年五月二十四日誤謬訂正ヲ爲シ徵收過トナリタル金千五百拾參圓參拾五錢ハ大正十五年六月十八日還付ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

大正十四年度 關東廳 (四九)

歳入

官行斫伐材ノ拂下ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五〇)

三、四四三、〇六七^円七九〇

歳入臨時部

第二款 官行斫伐收入 第一項 官行斫伐收入

【報告】(五〇) 樺太廳ノ徵收ニ係ル

三、四四三、〇六七^円七九〇

〔日本工業合資會社外五名ニ拂下ケタル官行斫伐材百五十三萬四千十餘石ノ代價ナリ右拂下材ハ材質惡變ヲ事由トシ買受人等ノ情願ヲ容レ大正十五年二月ニ至リ步減ノ半額即チ四分ヲ官ニ於テ負擔シ其ノ値引額貳拾六萬餘圓ニ及ヘルモ材質惡變ニ基キ後日ニ至リ値引ヲ爲スカ如キハ妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ材質ノ惡變低下豫想以上ニ達シ其ノ惡變ノ結果ハ多大ノ減歩ト爲リ其ノ損害尠カラス各買受人ハ爲ニ非常ノ窮境ニ陥リタルニ對シ單ニ契約條項ニ依リ多大ノ損害ヲ願ミサルハ過酷ニ失スルモノト認メ其ノ情願ノ一部ヲ容レ損害ヲ折半シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ契約書ニ依レハ拂下材ハ水中又ハ土場卷立ノ現狀ニ依リ之カ立會引渡ヲ爲シ品質ノ誤認又ハ隠レタル瑕疵アルモ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルモノナルヲ以テ品質ノ惡變ニ因ル損害ノ如キハ官ニ於テ負擔スヘキモノニ非ス隨テ本件ノ如ク後日ニ至リ之カ値引ヲ爲スカ如キハ妥當ノ措置ニ非サルノミナラス其ノ品質惡變ニ因ル減歩率ノ如キモ年度内賣渡材積二百十餘萬石中僅ニ約二十萬石ニ對シ主トシテ十四年六月乃至九月ノ引渡材ニ付十四年十二月末及十五年一月初頭ニ於テ調査シタルモノニ係リ且其ノ減歩率決定ノ如キモ算定ノ基礎不明ナルモノアル等正鵠ヲ得タルモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院批難ノ要旨ハ契約書ニ依レハ品質ノ誤認又ハ隠レタル瑕疵アルモ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルモノナルヲ以テ品質ノ惡變ニヨル損害ノ如キ官ニ於テ負擔スヘキモノニ非ス隨テ本件ノ如ク後日ニ到リ値引ヲ爲スカ如キハ妥當ノ措置ニ非ス云々ト謂フニ在リ然レトモ本件引渡材ハ大正八年以降ノ未曾有ノ大蟲害ニ依ルモノニシテ逐年品質ノ低下惡變ニヨル步減多ク而モ在來其ノ程度ヲ判スヘキ材料ナ

ク一般當業者ノ豫想經驗セル步減率ノ比ニ在ラス依テ單ニ契約條項ノミニ依リ多大ノ損害ヲ願ミサルハ過酷ニ失スルノミナラス之レカ爲ニ代金不納等ノコトアリテハ官廳ノ被ル損害尠カラサルヘキヲ考慮シ慎重調査ノ結果買受人ノ請願ヲ容レ步減ニヨル損害ノ一部ヲ官ニ於テ負擔シタルモノナリ尙亦調査ノ時機並材積等ニ至リテハ引渡後品質惡變ノ結果表ハレ次テ買受人ノ請願トナリ更ニ検査官吏ノ派遣トナリタルモノニシテ検査當時ニ存在セル木材ニ付品質ノ検査ヲ爲スニ止マリタルハ不得已措置ナリト信ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

南洋廳

歳出

工事施行上注意ノ周到ヲ缺キタルモノ一件(五一)

六二、八三三^円〇〇〇

歳出臨時部

第一款 事業費 第一項 土木及營繕費

【報告】

(五一) 南洋廳ノ支出ニ係ル

六二、八三三^円〇〇〇

ハ横須賀市長濱某ニ請負ハシメタル「ヤルト」無線電信所新築其ノ他工事費九萬參千七百圓ノ内ニシテ參萬八百六拾七圓ハ前年度ニ屬スルモノナリ右工事ノ内本館ハ鐵筋混凝土平家建六十一坪餘ナルニ鐵筋ノ所要量ヲ三萬五千貫ト計上セルヲ以テ多量ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ所要豫定數量ハ三千五百貫ト計上セルニ淨書ノ際誤記セルニ基因シ材料検査ニ際シテモ所定箇數ニ依リ調査シ重量ニ重キヲ置カサリシ結果全部ヲ搬入セルモノトシテ検査ヲ了シ調査ヲ作製シタルモノナリト謂フニ在リ即チ本件ハ右過誤ノ爲請負契約工事仕譯書ニ依リ推算スレハ鐵筋價格ニ於テ壹萬四千餘圓運搬費ニ於テ參千餘圓合計壹萬七千餘圓ノ高價ト爲リ又「サイパン」醫院本館建築費坪當約四百五拾圓ナルニ本件工事ノ本館建築費ハ坪當約九百參拾圓ニ上レルノ狀況ニシテ工事及物價等ノ相違ヲ參酌スルモ本件請負價格ハ高價ニ失シタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事施行上調査粗漏ニ基因シ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

大正十四年度 南洋廳 (五一)

【辨明】 本件ヤルト無線電信所本館新營工事仕譯書内容ノ一部ニ誤記アリシハ遺憾トスル所ニシテ將來注意スヘシ
 會計検査院ノ調査ハ本件工事建築費坪當九百參拾圓トアルモ右ハ二階建三十一坪五合ノ部分ヲ平家建トシテ計算セルカ如キモ本建築物總
 延坪八九十三坪ナルニ因リ坪當六百四拾圓トナル
 【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

陸軍省所管

陸軍造兵廠

歳出

物件ノ運送ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五二)

四、八六五、二二〇

第一款 陸軍造兵廠作業費 第二項 事業費

【報告】

(五二) 陸軍造兵廠火工廠ノ支出ニ係ル

四、八六五、二二〇

ハ株式会社宇都宮回漕店ニ請負ハシメタル目黒岩鼻南火藥製造所間切込炭千二百五十噸七百七斤ノ運搬賃ナリ右ハ大正十四
 年三月末日作業廢止ノ爲目黒火藥製造所ニ於テ不用ト爲リタル石炭ヲ岩鼻ニ送致シタル運賃ナルモ同所ニ於ケル火藥製造
 實績ハ逐年減少セル實況ナルニ十三年度中多量ノ石炭ヲ購入シ前記ノ不用炭ヲ生セシメタルノミナラス之ヲ最近距離ナル
 東京工廠ニ輸送セス遠距離ナル岩鼻ニ送致シタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ
 十三年度切込炭ノ所要量ハ前三箇年ノ統計ニ基キ年度初頭ニ購入セルモ火藥註文數量減少ノ結果其ノ消費高亦減退シタ
 ルカ爲前記ノ如ク殘餘ヲ生スルニ至リシモノニシテ東京工廠ニ於ケル上期供給計畫表ニ掲上セラレタル需要數量僅少ナ
 リシノミナラス之カ輸送ノ爲鐵道ニ依ル運送賃積込積卸等適當目黒東京工廠間參圓四拾五錢目黒岩鼻間四圓七拾參錢
 ヲ要スルヲ以テ之ニ同炭ノ購入價格ヲ加算スルトキハ東京貳拾圓五拾四錢岩鼻貳拾圓八拾貳錢ト爲リ之ヲ十四年五月
 東京工廠購入價格拾貳圓九拾五錢十三年五月岩鼻購入價格拾八圓參拾錢ニ比較スルニ前者ノ損失七圓五拾九錢ナルニ後

者ハ參圓五拾貳錢ニ過キササルヲ以テ本件不用炭ハ之ヲ岩鼻ニ運搬スルヲ有利ト認メタリ

ト謂フニ在リ然レトモ目黒火藥製造所ノ作業實績ヲ觀ルニ黑色火藥類ノ製造高ハ十年度千二百餘噸十一年度九百餘噸十二
 年度五百餘噸十三年度三百餘噸ニシテ逐年減少シ且十三年度ニ於テハ作業ノ中心タル賣火藥類ノ製造ハ大部分之ヲ停止セ
 ルニ拘ラス前三箇年度ノ平均ニ基キ之カ購入ヲ爲シタルカ如キハ計畫其ノ宜シキヲ得タルモノニ非ス而シテ目黒東京工廠
 間ニ對シテハ國際運送株式會社ト締結セル輸送契約ニ依ルトキハ僅少ナル經費ヲ以テ運搬シ得ヘキモノナルニ此ノ如キ近
 距離ニ對シ故ラニ鐵道輸送ノ計畫ヲ立テ多額ノ經費ヲ加算シ其ノ得失ヲ比較スルカ如キハ措置當ヲ得サルノミナラス東京
 工廠ニ於ケル十四年度中切込炭ノ購入數量ハ千七百餘噸ニ達スルヲ以テ本件不用炭ヲ消化シ得サルモノト認ムルヲ得ス要
 スルニ本件ハ計畫其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件購入ノ石炭ニ不用量ヲ生スルニ至リタルハ計畫當時注文數量ノ減少又ハ作業閉鎖ヲ豫見シ能ハサル結果ニシテ又之カ運搬費ニ就テモ
 一應ニ付金四圓七錢ノ損失ヲ輕減シ得ルヲ以テ岩鼻火藥製造所ニ運搬實施シタルモノニシテ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

海軍省所管

海軍工廠資金

歳出

物件ノ購入ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キタルモノ一件(五三)

一、五、四一五、二二〇

第一款 材料物品費 第一項 材料物品費

【報告】

(五三) 横須賀海軍工廠ノ支出ニ係ル

一、五、四一五、二二〇

ハ大正十四年五月ヨリ十二月ニ至ル間隨意契約ニ依リ三井鑛山株式會社代理松岡某ヨリ購入シタル三池粉炭九百三十六噸
 餘ノ代價ナリ右ハ應當貳拾六圓五拾錢乃至貳拾八圓拾五錢ニシテ高價ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシ

大正十四年度 海軍工廠資金 (五三)

ニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件ハ前同購入價格ヲ基礎トシ尙市場ノ高低歩合等ヲ參酌シ購入シタルモノニシテ高價ニ非スト謂フニ在リ然レトモ陸軍造兵廠火工廠其ノ他ニ於テ本件ト同一時期ニ其ノ用途ヲ同シクシ同種ノ石炭ヲ購入シタルモノ應當貳拾壹圓餘乃至貳拾參圓餘ニシテ前記購入價格ハ高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ注意ノ周到ヲ缺キ高價ノ物品ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件陸軍造兵廠火工廠ニ於ケル購入價格ト比較シ著シク高價ナリトノ批難ナルモ造兵廠購入噸當貳拾壹圓餘ト云フハ大阪工廠ニ於ケルモノニシテ大阪ハ三池ヨリ帆船ニテ直ニ輸送シ得ルニ反シ東京地方ハ汽船ニテ一度横濱ニ回漕陸揚揚庫納ヲ行ヒ所要ノ際更ニ運荷船ニ積取リタル上曳船ヲ付シテ納入地ニ運送スルモノナレハ全ク其ノ狀態ヲ異ニシ單ニ表面ノ呼値ノミヲ比較シテ其ノ高下ヲ論スヘキモノニ非ス故ニ茲ニハ略地方ヲ同シフスル東京所在火工廠噸當貳拾參圓拾五錢ノモノトヲ比較スルニ之カ値開キノ原因ハ横須賀横濱間ノ運賃カ横濱東京間ノ運賃ニ比シ著シク高價ナルト海軍ニ於ケル購買規格殊ニ秤量方法カ比較ノ嚴重ナル點ニ在リトス横濱横須賀間ノ運送ハ京濱間ノ如ク頻繁ナラス且海上穩カナラスシテ和船ノ曳航不能ナル場合尠ナカラサル爲横濱王子(火工廠所在地)間運賃ノ五割以上高價トナルヲ普通トス殊ニ王子納ハ横濱ニ於テ汽船ヨリ直接沖取東京所在ノ倉庫ニ陸揚シ置キ之ヨリ納入スル場合多キカ如キヲ以テ之等モ多少運賃ヲ低下スル一因トナルカ如シ

今假ニ三池粉炭ノ大體ノ標準相場噸當横濱庫內拾九圓(本價格ハ三池横濱間汽船運賃ノ高下ニ依リ高低アリ)ヲ基礎トシテ計算セハ之ニ京濱間運賃陸揚庫納ニ至ル諸掛合計四圓貳拾錢ヲ加フレハ火工廠噸當貳拾參圓貳拾錢トナルニ對シ横須賀工廠噸當陸揚庫納迄ニ運賃約六圓五拾錢ヲ要シ更ニ軍港ナル爲入港許可ノ手續ヲ要スル爲船料ヲ增加スルト同時ニ港外待泊ノ危險ヲモ見込マザル可カラズ殊ニ海軍ニ於テハ秤量方法一荷毎ニ秤量積算スルモノナルヲ以テ(陸軍ニテハ多クハ山積トシ其ノ容積ニ依リテ計算スルカ如シ)目減比較の大ナルトニ依リ船料ノ增加及保險料ノ爲約壹圓目減約壹圓以上合計貳拾七圓五拾錢トナル加之海軍ニ於ケル購買規格ハ現物ヲ實用シテ鐵類ヲ灼熱シ作業中ノ石炭減耗率及鐵ノ減量等少量ナラサル可カラストノ制限アリ且ツ分析試驗ニ依リ硫黃及磷ヲ檢定スルヲ以テ撰炭ヲ嚴ニセサル可カラサル關係アリ之亦多少高價トナル原因ナリ此ノ如ク分析攻究スレハ横須賀工廠ニ於ケル噸當貳拾六圓五拾錢乃至貳拾八圓拾五錢ハ不當ニ高價ニシテ當該購買官カ注意周到ヲ缺キタルモノトハ認メス但シ横濱横須賀ノ運賃ニ關シテハ之ヲ低廉ナラシムル方法ナキヤニ關シ將來一層努力研究セシムヘシ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

海軍火藥廠

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(五四)

八〇、八六七〇〇〇

第一款 海軍火藥廠作業費 第二項 事業費

(五四) 海軍火藥廠ノ支出ニ係ル

八〇、八六七〇〇〇

ハ「アンモニア」酸化装置一組及同附屬白金網一箇ノ代價ナリ右ハ「アンモニア」ヲ酸化スル硝酸合成装置ノ部分品ニシテ前記酸化装置ハ大正十四年三月末日同附屬白金網ハ同年六月一日購入後十五年九月會計實地檢査當時未タ在庫ノ儘ナルノミナラス翌年度ニ於テモ同部分品タル凝縮塔外五廉ヲ購入セルノ狀況ニシテ之カ計畫ニ依レハ豫定總額四拾五萬七千餘圓ヲ十三年度以降毎年度約八萬圓ノ豫定ヲ以テ數箇年度ニ分割購入セムトスルモノナルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本装置ハ軍事上極メテ緊切ニシテ一日モ忽ニスルヲ得ス殊ニ戰時ニ於ケル火藥自給上缺クヘカラサルノ装置ナルヲ以テ速ニ之カ設置ヲ行ハムト欲シ數年來一般會計ニ於テ之カ裝置ヲ爲サムトセシモ未タ實現スルニ至ラス已ムヲ得ス最小ノ規模ニ依リ先ツ試驗的設備ヲ行フコトトシ作業費ノ許ス程度ニ於テ一部分ツツ施設スルコトトシ本費ノ支辨ト爲セルモノナリ又試驗ハ必スシモ一年ヲ限度ト爲スノ要ナク數年ニ互リ之ヲ施行シ差支ナシト認メタルニ因ルト謂フニ在リ然レトモ本件裝置ハ當局者ノ計畫ニ依レハ多額ノ經費ヲ以テ數年度ニ互リ漸ク其ノ設備ヲ完成セムトスルモノニシテ其ノ硝酸製造能力等ニ徴シ答辯ニ謂フカ如キ最小ノ規模ニ依ル試驗的設備ニ非スシテ新規擴張ノ施設ニ屬シ固定資本ノ維持補充ヲ目的トスル本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス依テ本件ハ作業會計法第四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

火藥製造ノ主要原料タル硝酸ノ製造ハ從來一ニ智利硝石ヲ原料トスル方法ノミニシテ一朝有事ノ際ニ想到セハ智利硝石ノ輸入ハ杜絶スルモノト斷セサル可カラズ從テ戰時多量ノ所要火藥ノ製造ニ應センカ爲ニ平時之ニ適應スルニ足ル巨額ノ硝石ヲ輸入貯藏シ置クノ外ナキモ此ノ如キハ作業資金ノ運轉上ヨリ見ルモ經濟上ノ見地ヨリスルモ到底實行シ能ハサルノミナラス假ニ之ヲ敢行スヘシトスルモ豫測シ難キ長期ノ戰爭ニ對シテハ兵器ノ獨立ヲ確保スルノ途ニ非ス茲ニ於テカ自給自足ノ原料ヲ以テ火藥製造ノ途ヲ開クハ國防上ノ最大急務ニシ

大正十四年度 海軍火藥廠 (五四)

テ之カ試験研究ノ如キハ一日モ忽ニスルヲ得サル所ナリ依テ大正十三年度ヨリ本装置ノ購入ニ著セル次第ナリ
然ルニ本装置所要經費カ相當ノ多額ニ上ルヲ以テ試験ニ非スシテ製造ノ設備ナリトノ直感ヲ與ヘシモノナラント思考スルモ現ニ今日迄成
效セル「アンモニア」酸化装置ニハ英國「ナイトロセンプ」プロダクトエンドカーバイト社ノモノ獨國「バマゲ」社ノ「フランクカ」式及同國
「フリーヒスト」社ノモノノ三種アリ右三者中英國式及「フリーヒスト」式ハ共ニ構造大ニシテ工業的製造設備ノ最小單位二十噸又ハ四十噸ト云
フカ如ク甚大ニシテ火藥廠將來ノ設備トシテ適當ナラサルノミナラス能率ニ於テモ劣ル所アルヲ以テ之ヲ採用スルヲ得ス「フランクカ
ロ」式ノモノハ特徴トシテ白金ノ消耗量最少ク酸化率優秀ニシテ殊ニ最近「ジーベルト」氏ニ依リ改良セラレタルモノハ吸収塔ノ能率最良
ク殊ニ設備ノ工業的的最小單位トシテハ九噸ノモノアリ更ニ工業的製造設備トシテハ最小三噸ノモノヲ製造セルヲ以テ將來設備ノ上ヨリス
ルモ試験ノ目的ヨリスルモ本式ヲ以テ最適當ト認メ之ヲ撰定セリ元來試験ト云ヘハ單ニ實驗室ニ於ケル操作ヲ以テ足ルカ如ク觀ラルル傾
アルモ此ノ如キ製造工業ノ試験トシテハ到底實驗室ニ於ケル試験若ハ模型の設備ヲ以テスル試験ニ依リ單ニ製造工程圓滑ニ進行シ所期ノ
製品ヲ得ヘシトノ結果ヲ知ルノミニテハ頗ル危險ニシテ是非共或程度ノ實際的設備ヲ設ケ本製造工業カ經濟的ニ成立シ得ルヤ否ヤヲモ究
メサル可ラス本設備ヲ將來平時ニ於テモ使用シ以テ火藥原料ノ自給自足ヲ計ラントスルニ於テ殊ニ然リトス
而シテ工業的試験ヲ行フカ爲ニハ前記會社ニ於テ三噸以下ノ試験裝置ヲ製造セサルノミナラス之以下ノ設備ニテハ信賴スルニ足ル經濟的
試験ヲ行フ能ハサルヲ以テ本裝置ノ採用ヲ決定セル次第ニシテ試驗ニ必要ナル限度ヲ超ヘタルモノニ非ス殊ニ本酸化裝置ヲ實際製造ノ用
ニ供スル爲ニハ本計畫ノ外更ニ濃縮裝置(價格約貳拾萬圓)ヲ設備セサレハ火藥原料ト成シ得ル硝酸ヲ得ル能ハサルモコハ單ニ稀硝酸ヲ濃
縮スルニ過キサルヲ以テ試験トシテハ是迄モ實驗スルノ必要ナキヲ以テ本計畫ニハ此ノ濃縮裝置ヲ除外シ稀硝酸ヲ得ル迄ノ設備ニ止メタ
リ此ノ一點ニ觀ルモ本裝置カ純然タル試驗ノ目的ニシテ實際製造ノ爲ニ非サルヲ確知スルヲ得ヘシ
尙數年ニ涉リテ之カ計畫ヲ樹テタルハ試驗ナルモノノ本來ノ性質カ多クハ一年度内ニ完了スルモノニ非ス數年ニ涉リテ之ヲ完成スルモ何
等支障ナシト認メタルト前述セルカ如ク本件ハ焦眉ノ急已ムヲ得サルモノアルヲ以テ豫算關係ニ於テハ年々相當ノ事業費試驗費ヲ認メラ
ル、ハ確實ニシテ萬々一ニモ本費皆無ナル場合ニ於テハ其ノ年度ニ限り本件部分品ノ購買ヲ行ハスシテ更ニ次年度ノ豫算ヲ俟ツノ決心ヲ
以テ各年度限ノ契約トシテ之ヲ遂行シツ、アル次第ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

(參照) ○作業會計法(明治二十三年三月十八日法律第十七號)

第四條 固定資本ノ維持修理及補充ハ作業所特別會計ノ歳入ヲ以テ支辨スヘシ

文部省所管

帝國大學

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(五八)(五八)
競争入札ニ付スヘキ工事ヲ隨意契約ニ依リ施行シタルモノ一件(五九)
代金ノ支拂ニ關シ所屬年度ヲ紊リタルモノ一件(五七)
其ノ他不當ナルモノ一件(五五)
計六件

四五、五三一〇三〇
九八、五〇六九六〇
九、五三九八二〇
六二〇〇〇〇
一五四、一九七八一〇

歳出經常部

第一款 東京帝國大學 第二項 校費

【報告】

(五五) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

六二〇〇〇〇

ハ工學部火藥學科教室設備ニ係ル「ベンチュラム、フリクシオン、マシーン」一臺ノ代價トシテ證明セルモノナリ右ハ大正十
五年三月十七日物品納入済ナリトシ其ノ代價ヲ支拂ヒタルモノナルモ同年四月會計實地検査ノ際提示セル物品ハ其ノ形狀
等見積書ト相違セルヲ以テ之カ調査ヲ求メ置キタルニ其ノ後ニ至リ右購入品ハ本年度内納入ニ至ラザリシニ依リ該注文ヲ
取消スヘキ筈ナリシニ偶別ニ「フリクシオン、マシーン」一臺ヲ翌年度ニ於テ購入ノ見込ヲ以テ試験ノ爲實驗室内ニ搬入セシ
メ置キタル爲物品取扱者ニ於テ本件購入品ト誤認シ支拂手續ヲ爲スニ至リシモノニシテ誤拂ニ付之カ返納ヲ命シ徵收濟ナ
リト説明セリ然レトモ本件ハ事實納入ニ至ラサル物品ニ對シ之カ代價ヲ支拂ヒタルハ不當ナルノミナラス會計實地検査ノ
際代品ヲ以テ購入品ナリト主張セルノ事實アルニ徴シ單純ナル誤拂ト認メ難シ尙本大學ニ於テハ九年度以降連年之ニ類ス
ル事例ヲ見ルハ甚遺憾トスル所ナリ要スルニ本件ハ事實納入ニ至ラサル物品ニ對シ之カ代價ヲ支拂ヒタルモノニシテ不當
ナリトス

【辨明】

東京帝國大學ノ支出ニ係ル
ハ會計検査院検査報告ノ通

六二〇〇〇

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三款 東北帝國大學 第二項 校費

【報告】

(五六) 東北帝國大學ノ支出ニ係ル

二、八七四〇〇〇

ハ工學部機械工學科教室水力實驗用電車車體ノ代價ニシテ外ニ翌年度ニ於テ同附屬電動機一臺價格貳千七百五拾圓ヲ購入シタルモノアリ右經費ハ之ヲ本年度豫算歲出臨時部第三款東北帝國大學第四項新營費中ニ別途計上セルモノナルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件經費ハ新營費支辨ノ豫定ナリシモ本品ハ特殊品ニシテ之カ調査設計ニ尠カラサル日子ヲ費シ到底年度内購入ノ見込立タサリシ爲該豫算ヲ各所新營ニ流用セリ然ルニ其ノ後電車車體ノミ年度内購入可能ト爲リタルヲ以テ已ムナク本費支辨ト爲セルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件經費ハ特ニ歲出臨時部豫算ニ測定用電車及附屬設備トシテ五千八百五拾圓ヲ計上シアルノミナラス電車車體ノ購入狀況ヲ觀ルニ大正十四年十一月契約十五年二月納入済ニ係リ年度内購入ノ見込立タサリシトノ答辯ハ之ヲ事實ト認メ難キヲ以テ當然該費ノ支辨ト爲スヘキ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非ス要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

東北帝國大學ノ支出ニ係ル
ハ會計検査院検査報告ノ通

二、八七四〇〇〇

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十四條違背

(參照) ○會計法第十四條第二項(二六九頁參看)

第五款 北海道帝國大學 第二項 校費

【報告】

(五七) 本項ニ於テ北海道帝國大學ノ支出ニ係ル

四、三二六三〇〇

歲出臨時部第五款北海道帝國大學第一項醫學部創立費ニ於テ同大學ノ支出ニ係ル

五、二一三、五二〇

ハ醫學部附屬醫院用「ラヂウム」其ノ他ノ代價並工學部前中央道路其ノ他ノ修繕工事費等ナリ右ハ大正十五年三月中納入又ハ竣功済ナリトシ證明セルモノナルモ同年七月之カ實地ヲ検査スルニ同年四月ヨリ五月ニ至ル間ニ於テ納入又ハ竣功シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ本件ハ事務繁劇ノ爲手續完了セズ四月ニ至リ整理ヲ爲シタル爲月日ニ相違ヲ來セルモノニシテ購入品ノ内幌馬車ハ東京市三島某ニ注文ヲ爲シ職員上京ノ際全部出來ヲ認メタルニ依リ三月中納入済トシテ整理シ修繕工事ハ積雪ノ爲工事豫定ノ如ク進捗セズ融雪亦豫想外ニ遅延セシヲ以テ完全ニ工事ヲ施行スル能ハス全般ニ互リ手直ヲ命シタル爲時日ヲ要シ年度内竣功セサリシモノナリト謂フニ在リ然レトモ契約書見積書等ノ關係書類ニ依レハ幌馬車ハ十五年四月下旬到著シ「ラヂウム」ノ購入契約締結ハ四月二十四日運動場修繕工事見積書ノ日附ハ同月十三日又工學部前中央道路修繕工事ノ著手ハ同月十六日ニシテ孰モ四月二十七日以降五月十六日ニ至ル間ニ於テ完納又ハ竣功シタルモノナルヲ以テ之カ代金ヲ本年度所屬經費ヨリ支辨シタルハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ經費ノ所屬年度ヲ紊リタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項ニ於テ北海道帝國大學ノ支出ニ係ル

四、三二六三〇〇

歲出臨時部第五款北海道帝國大學第一項醫學部創立費ニ於テ同大學ノ支出ニ係ル

五、二一三、五二〇

ハ會計検査院検査報告ノ通

【衆決】 不法

歲出臨時部

第二款 京都帝國大學 第二項 特別講義室新營費

【報告】

(五八) 京都帝國大學ノ支出ニ係ル

四、二六五七〇三〇

ハ本項並同大學工學部擴張費、理學部地質礦物學教室新營費ヲ以テ施行セル大學本部所屬建築工事費、文學部所屬書庫及研

大正十四年度 帝國大學 (五八)

四三三

研究室ノ新營、増築並附帶工事費參拾參萬九千四百九拾貳圓四拾參錢ノ内ニシテ貳拾九萬六千八百參拾五圓四拾錢ハ大正十二年度以前ニ屬スルモノナリ而シテ本年度ニ於テ新ニ施行シタル工事ハ大學本部其ノ他ノ煖房電燈等前年度施行ノ附帶工事トス右ハ大正十一年度以降檢査報告ニ於テ詳悉セシ如ク工事施行上之カ經費ノ豐裕ナルニ乘シ豫算ニ積算ナキ新規ノ施設ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス〔大正十一年度七〇九四頁、十二年度六六三三四頁及十三年度四六三二〇頁參看〕

【辨明】

京都帝國大學ノ支出ニ係ル

四二、六五七〇三〇

ハ大學本部其ノ他ノ煖房、電燈等ノ附帶工事費ニシテ豫算ナキ新規ノ施設ナリトノ批難ナルモノ一般會計第二款高等諸學校創設及擴張費ニ於テ辨明セシ如ク大學本部トシテノ施設ヲナシタルモノニアラスシテ豫算ノ趣旨ニ隨ヒ特別講義室新營ニ伴ヒ當然施行スヘキ附帶工事ヲナシタルモノニシテ豫算ニ積算ナキ新規ノ工事をナシタルモノニアラス〔三八〇頁、二四番看〕

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不法

第四款 九州帝國大學 第九項 醫學部法醫學教室其他火災應急費

【報告】

(五九) 九州帝國大學ノ支出ニ係ル

九八、五〇六九六〇

ハ數十口ニ分割シ隨意契約ニ依リ合名會社岩崎組外七名ノ請負ニ付シタル同大學醫學部第一内科假試驗室、血清製造室、動物舍其ノ他新營並修繕工事費ナリ右ハ孰モ大正十五年二、三月中殆ト同一時期ニ於テ同一構内ニ於ケル新營若ハ修繕工事を爲シタルモノナルヲ以テ適當ニ取纏メ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ十四年八月火災ノ爲燒失セシ部分ハ醫院建物中央部ナリシ爲醫院事務ニ差支ヘ圖書館ヲ病室ニ模様替ヲ爲ス等應急策ヲ講シタリシモ尙授業、研究並患者收容上多大ノ支障ヲ來スヲ以テ急速之カ施工ノ必要アリ且該工事ノ箇所ハ各所ニ散在スルヲ以テ到底之ヲ取纏メ入札ニ付スル暇ナク已ムヲ得ス部分的ニ設計出來ノ分ヨリ隨意契約ニ依リ施工シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件各工事ハ火災直後ニ於テ施工セシ急迫セル各般ノ工事にハ自ラ其ノ事情ヲ異ニシ試驗室、血清製造室、動物舍新築工事ノミニテモ約壹萬五千圓ニ上レルニ之ヲ數口ニ分割シ其ノ他煖房給水瓦斯裝置ベンキ塗替等ニ在リテモ多數ニ分割シテ請負ハシメ且數般ノ工事を同一人ヲシテ同一日ニ請負ハシメタルモノ尠カラサルノ事實ニ徴シ答辯ノ如ク

競争入札ニ付スルノ追ナカリシモノト認メ難シ要スルニ本件ハ競争入札ニ付スヘキ工事を隨意契約ニ依リタルモノニシテ會計法第三十一條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

九州帝國大學ノ支出ニ係ル

九八、五〇六九六〇

ハ會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】

將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第三十一條違背

(參照) ○會計法(大正十年四月八日法律第四十二號)

第三十一條第一項 政府ニ於テ賣買貸借請負其ノ他ノ契約ヲ爲サムトスルトキハ勅令ヲ以テ定メタル場合ヲ除クノ外總テ公告シテ競争ニ付スヘシ

農林省所管

米穀需給調節

歳出

工事施行ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キタルモノ二件(六〇)(六一)

二四六、一六二二四〇

第一款 米穀需給調節費 第五項 營繕費

【報告】

(六〇) 農林省農務局ノ支出ニ係ル

一三二、九八七二四〇

ハ同局東京米穀事務所所屬第七號乃至第十三號倉庫基礎工事費總額四拾壹萬參百六拾五圓八拾七錢ノ内ニシテ拾六萬八千五百拾參圓參錢ハ大正十三年度ニ壹萬貳百貳拾五圓六拾錢ハ翌年度ニ屬スルモノナリ十五年六月之カ實地ヲ檢査スルニ建物床下約八尺ヲ總掘トシ鐵筋混凝土盤ヲ構成シ柱及束ヲ安定支持セシメ周圍ハ厚サ五寸ノ鐵筋混凝土壁ヲ以テ地盤面上八寸ノ高サニ築造シ其ノ排土ヲ拋棄シ床下ニ砂ヲ撒布シタルモノナルニ更ニ追加工事を以テ之カ埋戻ヲ爲シタルカ爲多額ノ損失ヲ來セルノ狀況ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

大正十四年度 米穀需給調節 (六〇)

埋戻土敷込ハ基礎竣成後直ニ之ヲ爲スヲ通例トスルモ濕潤地ニ在リテハ搗固十分ナルヲ得ス其ノ作業困難ナルト倉庫全體ノ安定ヲ觀測スルノ必要アルヲ以テ埋戻作業ハ各種工事ノ錯綜ヲ避ケ建築完成後之ヲ施行シタルモノナリ而シテ右埋戻作業等ヲ後日別途ニ實施セシムルトキハ工事監督上便利多ク請負人ヲシテ入念施工セシムルノ利益アリ加之排土撤出ハ一見損失ノ如クナルモ當時餘地狹小ナリシニ因ルモノニシテ多額ノ撤出費ヲ要シタルハ事情已ムヲ得サルモノトス又床下砂撤布ヲ爲シタルハ安定ヲ調査スルノ必要上排水ニ便ナルト有機物ノ沈澱ヲ防止シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ床下埋戻ハ關係書類ニ徴シ當初ヨリ之ヲ豫定セシモノト認メ難キノミナラス倉庫全體ノ安定ヲ觀測スルカ如キハ設計當初ニ於テ正確ナル調査ヲ遂クヘキ性質ノモノニ屬シ且第一號乃至第六號倉庫ハ直ニ埋戻ヲ爲シ毫モ支障ヲ生セサルノ狀況ニ徴シ直ニ施行スルノ困難アリシモノト認メ難シ尙排土置場ノ如キハ工程ヲ按排シ適當ニ施行スルニ於テハ全排土撤出ノ要ナク畢竟本件工事ハ當初鐵筋混凝土盤上ニ砂ヲ撤布シテ床下ヲ利用セムト企圖シタルニ雨水等ノ浸入ニ遭遇シ已ムヲ得ス追加工事ヲ以テ埋戻ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス而シテ之カ爲排土撤出費壹萬貳千四百餘圓土敷込費壹萬七千五百餘圓砂購入及敷込費五千九百餘圓計參萬五千八百餘圓ノ損失ヲ來セルノ外各倉庫ニ互リ當初設計上適當ノ注意ヲ缺キタル爲本年度及翌年度ニ於テ工費四萬五千餘圓ヲ以テ外部壁ノ改造工事ヲ施行シタル等ノ爲七千餘圓ノ損失ヲ生シタルノ事實アリ要スルニ本件ハ工事施行ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件床下埋戻作業ハ倉庫工事設計當初ニ於テ之ヲ豫期シタルコト勿論ナリト雖工事地ハ新規ニ埋立テタル濕潤泥土カ爲基礎工事後引續キ埋戻ヲ爲ストキハ床版混凝土打ニ對スル假伴作業ノ受束、支柱等ノ支持繫結ニ支障ヲ生スヘク且之カ埋戻ニ要スル相當期間ハ上部作業ニ著手スルコト能ハサルカ爲工期ノ遷延ヲ來スヲ以テ後日別途施工セシメタルモノニシテ該床下ニ貯藏スヘキ何等目的物ノ存セサルノミナラス設計上全然防水裝置ヲ施サヌ又出入口トシテ階段ノ設ケナキ等何レノ點ヨリ之ヲ觀ルモ床下利用計畫ヲ有シタルモノニアラス排土撤出ニ關シテハ附近ニ於ケル利用餘地既設倉庫工事ノ場合ト異リ著シク狹小トナリタルカ爲將來ノ必要量ノミヲ存置シ大部分ハ場外ニ撤出スルノ外事情之ヲ許ササリシモノナリ

又外部壁ハ原設計通ニテ支障ナキモノト認メ施工シタルモ後日暴風雨ニ遭遇シタルトキ自然浸透スル箇所アリタルヲ以テ倉庫運用上萬全ヲ期スルカ爲表面ニモルタル上塗ヲ施シタルニ止マリ敢テ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

【報告】

(六一) 農林省農務局ノ支出ニ係ル

一四、一七五〇〇

ハ同局大阪米穀事務所所屬第七號乃至第十號倉庫床下埋戻工事費ナリ右ハ倉庫建築ノ際生シタル根伐排土ヲ他ニ運搬投棄シ後日ニ至リ炭殼ヲ以テ床下ニ埋戻ヲ爲シ多額ノ損失ヲ來シタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

床下炭殼敷込ニ關シテハ第一號乃至第六號倉庫ハ床下埋戻作業ヲ基礎工事竣成後直ニ之ヲ施行シタルモ本件倉庫ハ建物ノ施工及工事監督上不利不便ナルヲ以テ之ヲ後日別途ニ施行セシムルコトトシ一面倉庫全體ノ落付ヲ精査シ適當ニ施工セシメタルモノニシテ各棟床下ヘ砂敷込ヲ爲シタルハ倉庫ノ落付安定ヲ調査スル爲其ノ間ニ於ケル透水ノ排除ヲ完全ナラシムルト同時ニ有機物ノ沈澱ヲ防止シタルモノナリ其ノ床下埋戻ニ際シ炭殼ヲ敷込ミタルハ建物ノ重量ヲ増加シタルヲ以テ輕量ノモノヲ必要トセルニ因ル

ト謂フニ在リ然レトモ床下埋戻ニ關シテハ關係書類ニ徴シ當初ヨリ之ヲ豫定セルモノト認メ難ク其ノ基礎竣成後直ニ床下埋戻ヲ爲ササリシハ前項ト同シク畢竟當初鐵筋混凝土盤上ニ砂ヲ撤布シ之ヲ利用セムト企圖シタルニ因ルモノニシテ爾後雨水等ノ浸入ニ遭遇シ已ムヲ得ス追加工事ヲ以テ埋戻ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ當初設計上周到ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 床下埋戻ニ炭殼ヲ敷込タルハ震災後ニ於ケル建築條例改正ノ趣旨ニ鑑ミ補強ニ注意ヲ加ヘ既設倉庫ニ比シ建物主體ノ重量ヲ増加シタルヲ以テ埋戻材料トシテ輕量ノモノヲ必要トセルニ因ル又床下埋戻ヲ後日別途ニ施工シタルハ(一)ニ於ケル理由ト同一ナルカ故ニ敢テ不當ニアラス(四二六頁(六〇)參看)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

商工省所管

製鐵所

【精製】

物件ノ賣拂ニ際シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六二)

歳入

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(六三)

歳入

第一款 製鐵所作業收入 第一項 作業收入

【報告】

(六二) 製鐵所ノ徴收ニ係ル

一六、〇〇三、六六〇

ハ大正十四年六月株式会社安宅商會賣渡シタル山形鋼外二點三百一十一應餘ノ代金ナリ右ハ當初合資會社本商店ニ對シ東京芝浦所在郵船倉庫留置トシテ十二年八月及十二月ノ二回ニ發送セル鋼材四百二十二應餘ノ内ニシテ同商店カ經營困難ニ陥リ代金不納ノ爲十四年三月契約ヲ解除シ安宅商會ニ賣渡シタルモノナリ而シテ其ノ賣拂價格ハ原價格參萬六千參百餘圓ニ比シ著シク低廉ナルノミナラス本商店カ鋼材購入ノ爲提供セル据置擔保ハ五萬圓ナルニ五萬五千參百餘圓ニ相當スル鋼材ノ引渡ヲ爲シタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辭ノ要旨ハ

【詳告】

(六三) 拂フコトトシ郵船倉庫留置トシテ發送シタルモノニシテ同商店ハ永年本所ト取引關係アリ相當信用アリタルノミナラス

震災ニ因リ損害ヲ被リタルモ引續キ營業ヲ繼續シ居リタルヲ以テ之カ引取方交渉中十四年三月遂ニ契約ヲ解除シタルモノナリ而シテ解約品ノ處分價格カ契約當時ニ比シ著シク低下セルハ一般鋼材價格ノ下落セルト貯藏久シキニ互リ腐蝕ヲ來シタルニ因リ又現品ヲ擔保額以上ニ引渡シタルハ最初郵船留置トシテ發送セルモ手續上ノ行違ヨリ誤テ本人ヘ引渡シ

【詳告】

タルニ因ル

ト謂フニ在リ然レトモ現品到達迄ニ代金ノ支拂ヲ爲ス條件ヲ以テ發送セル物品ニ對シ十二年十二月到達以來代金ヲ納付セサルニ拘ラス漫然一箇年餘之ヲ放置シ十四年三月ニ至リ漸ク契約解除ノ上同年六月之ヲ賣却シ前掲ノ如ク賣拂價格壹萬參百餘圓ノ差減ヲ來シタルハ其ノ措置緩慢ナリシニ因ルモノト認メサルヲ得ス尙本商店ニ對スル製品賣渡ノ狀況ヲ觀ルニ十年度以降十三年度迄ニ鋼材ノ引渡ヲ爲シタルモノ二千六百餘應價格參拾萬五千餘圓ニ對シ五萬五千餘圓ハ收入未済ニ屬シ外ニ延滞償金四千七百餘圓アルヲ以テ擔保公債額面五萬圓ヲ處分スルモ尙多額ノ不足ヲ生スルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ物件ノ賣拂ニ際シ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件本商店ハ永年製鐵所ト取引關係アリテ相當信用アル者ナリシカ大正十二年ノ震災ニ因リ損害ヲ蒙リタルモ尙其ノ後引續キ營業ヲ繼續シ居レルヲ以テ既締結ノ契約ヲ履行セシムルコトニ努メタルモ素ト本件カ商取引タルノ關係上急速ニ之ヲ強要スヘキモノニ非ス假スニ多少ノ日子ヲ以テシ圓滿ニ事ヲ解決スルヲ利益ト認メ解約ヲ猶豫シ來レル處同店ハ彌々不振ノ状態ニ陥リタルニ依リ遂ニ大正十四年三月契約ヲ解除シタルモノニシテ漫然之ヲ放置シタルモノニ非スニ一

【貴決】

將來ノ注意ヲ促ス

歳出

第一款 製鐵所作業費 第二項 事業費

【報告】

(六三) 製鐵所ノ支出ニ係ル

三〇七、七〇三、八二〇

ハ製鐵所附屬病院本館其ノ他増築費豫定額八拾壹萬貳千六百拾四圓ノ内ニシテ拾八萬千七百六拾圓七拾壹錢ハ大正十三年度以前ニ參拾貳萬參千四百拾九圓四拾七錢ハ後年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正十二、十三兩年度 検査報告ニ詳悉セシ如ク新ニ敷地二千四百餘坪ヲ購入シ十三年十一月起工昭和二年三月竣工ノ豫定ヲ以テ舊本館ヲ二倍餘ニ相當スル延千八百餘坪ノ本館並延七百七十餘坪ノ皮膚科手術室等ノ建物ヲ新設セムトスルモノニシテ維持補充ノ範圍ニ屬スル施設ト認ムヘキモノニ非ス當局者ハ本件ハ舊館ノ不備ヲ補足スルニ過キサルモノナルヲ以テ固定資本ヲ維持補充ト認メ作業會計ノ本旨ニ鑑ミ

緩急ヲ調節シ作業費豫算ニ計上シ居レリト謂フト雖本年度迄ノ工事費支出ノ成績ヲ觀ルニ總額四拾八萬九千餘圓ノ内建造物補修ヨリ支出シタルモノ拾參萬七千餘圓ニ過キスシテ其ノ他ハ材料費職工人夫給等ノ支辨ニ屬セシメタル狀況ナルヲ以テ當局者辯明ノ事由ハ之ヲ認ムルヲ得サルノミナラス作業費豫算ノ餘裕ヲ豫測シ繼續費ニ非サル本費ヲ以テ數年ニ互リ其ノ目的ヲ達成スヘキ施設ヲ爲スカ如キハ作業會計法第四條ニ違背スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス(大正十二年度(六七)三五頁及十三年度(四七)三二二頁參看)

【辨明】 本件ハ大正十二、十三兩年度検査報告ニ對スル辯明書ニ詳悉セル如ク畢竟舊館ノ不備ヲ補足スル工事費ナルヲ以テ固定資本ノ補充ト認メ作業費ヲ以テ支出シタルモノナリ而シテ本件ノ如ク固定資本ノ維持修理補充ニ關スル經費豫算ハ建造物補修、材料費、職工人夫給等ノ數目ニ分テ之ヲ計上セルモノニシテ本件ノ如キ建造物ニ關スルモノニ在リテハ其ノ數地ノ購入及請負ニ附シテ施行スヘキ部分ノ工事ニ付テハ之ヲ建造物補修ノ目トシ直營施行ノ部分ノ工事ニ付テハ其ノ材料ハ材料費、工費、職工人夫給等ノ如ク各其ノ直接費途ヲ示スヘキ目ト爲スノ例ナリ又製鐵所ノ如ク歳入狀況ノ如何ニ依リテ歳出ヲ調節セサルヘカラサル作業會計ニ在リテハ繼續費トシテ後年度ノ經費迄モ豫メ決定シ置クハ經理上困難ナル事項ニ屬スルノミナラス必スシモ一定ノ繼續的專業ノ性質ニアラサルヲ以テ寧ろ年々ノ歳計ヲ勘案シテ其ノ宜ニ處スルヲ必要ナリトスルノミナラス縱令數年ニ互リテ目的ヲ達成スヘキ施設ナリト雖既ニ其ノ事項カ固定資本ノ補充ニ屬スルモノナル以上ハ之カ經費ハ作業所特別會計ノ歳入ヲ以テ支辨スルヲ適正ナリト信ス依テ本件ハ作業會計法第四條ニ違背セルモノニアラスト認ム

逓信省所管

簡易生命保險

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(六四)

三八八〇八〇

第一款 簡易生命保險費 第二項 事業費

【報告】 (六四) 簡易保險局ノ支出ニ係ル

三八八〇八〇

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

ハ還付金トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實四日市郵便局在勤通信書記補野口某カ同局簡易生命保險事務擔當中大正十四年七月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ足立某外十七名ニ對スル保險契約失效ニ因ル還付金支拂請求書等ヲ偽造シ騙取シタルモノナリ右ノ外保險料並延滞料百貳拾六圓七拾七錢ヲ受入レタルニ拘ラス其ノ手續ヲ爲サスシテ横領シ尙保險契約者ノ氏名ヲ冒用シ簡易保險積立金百參拾圓ヲ騙取シタルモノアリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【衆決】 不當

鐵道省所管

帝國鐵道

歳入

歳入ノ徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ三件(六五)(七六)(七七)

三、九九一 九八七

用品勘定ノ整理其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六六)

二、四四五、二七六 九七八

計四件

二、四四九、二六八 九六五

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ二件(六九)(七三)

三、二八五 七六〇

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(七四)

四八一、〇〇一 八〇〇

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(七〇)

一二九、五一七 四六〇

土地買收價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(七一)

三七、一〇七 一五〇

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(七二)

三四、五八八 二三〇

其ノ他不當ナルモノ三件(六七)(六八)(七五)

三〇三、六三五 八五八

計九件

九八九、一三六 二五八

大正十四年度 簡易生命保險 (六四)

四三一

資本勘定

歳入

第一款 鐵道資金收入 第三項 雜收入

【報告】(六五) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

收益勘定歳入第一款鐵道作業收入第二項雜收入決算額ノ外同省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一、一三八八四七

アリ右ハ神戸鐵道局管内米子倉庫雇山崎某カ會計事務擔當中大正十二年六月ヨリ十四年十二月ニ至ル間ニ於テ用品賣却代金ヲ收受シタルニ正規ノ手續ヲ爲サス横領シタル總額貳千參百七拾九圓六拾錢貳厘ノ内ニシテ千百九拾五圓五錢五厘ハ

十三年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通但シ損害金額中百四拾圓八拾九錢ハ既ニ徵收シタルモ其ノ他ハ本人無資産ノ爲據置貸ニ編入シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(資本勘定ノ分)異議ナシ(收益勘定ノ分) 【衆決】 不當

第二款 用品勘定過剩金繰入 第一項 用品勘定過剩金繰入

【報告】(六六) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

二、四四五、二七六、九七八

アリ右ノ内五千貳百四拾七圓ハ本年度用品勘定受拂計算上ノ過誤ニ基ク繰入不足ニ屬シ貳百四拾四萬貳拾九圓九拾七錢八厘ハ受拂上生スヘキ過剩金ヲ支出未済トシテ整理セルモノナリ抑用品勘定ハ大正十二年度中震火災ニ因ル資金ノ缺陷額ヲ五百萬圓ト推算シ資本勘定ヨリ之カ補足ヲ受ケ同年度決算ニ於テ現金、物品及收入未済等ノ資産總額ヨリ負債ニ屬スル用品資金ヲ控除シタル殘額四百五拾五萬餘圓ヲ支出未済トシテ整理セルモノナルモ其ノ過半ハ每件別債主金額事由等一切不明ニ屬スルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

支出未済ハ確定債務ナルヲ要シ其ノ債主名及事由ノ判明セルモノヲ計上スヘキハ勿論ナルモ震火災ノ爲物品及歳出決算

資本勘定

歳入

第一款 鐵道資金收入 第三項 雜收入

【報告】(六五) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

收益勘定歳入第一款鐵道作業收入第二項雜收入決算額ノ外同省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一、一三八八四七

アリ右ハ神戸鐵道局管内米子倉庫雇山崎某カ會計事務擔當中大正十二年六月ヨリ十四年十二月ニ至ル間ニ於テ用品賣却代金ヲ收受シタルニ正規ノ手續ヲ爲サス横領シタル總額貳千參百七拾九圓六拾錢貳厘ノ内ニシテ千百九拾五圓五錢五厘ハ

十三年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通但シ損害金額中百四拾圓八拾九錢ハ既ニ徵收シタルモ其ノ他ハ本人無資産ノ爲據置貸ニ編入シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(資本勘定ノ分)異議ナシ(收益勘定ノ分) 【衆決】 不當

第二款 用品勘定過剩金繰入 第一項 用品勘定過剩金繰入

【報告】(六六) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

二、四四五、二七六、九七八

アリ右ノ内五千貳百四拾七圓ハ本年度用品勘定受拂計算上ノ過誤ニ基ク繰入不足ニ屬シ貳百四拾四萬貳拾九圓九拾七錢八厘ハ受拂上生スヘキ過剩金ヲ支出未済トシテ整理セルモノナリ抑用品勘定ハ大正十二年度中震火災ニ因ル資金ノ缺陷額ヲ五百萬圓ト推算シ資本勘定ヨリ之カ補足ヲ受ケ同年度決算ニ於テ現金、物品及收入未済等ノ資産總額ヨリ負債ニ屬スル用品資金ヲ控除シタル殘額四百五拾五萬餘圓ヲ支出未済トシテ整理セルモノナルモ其ノ過半ハ每件別債主金額事由等一切不明ニ屬スルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

支出未済ハ確定債務ナルヲ要シ其ノ債主名及事由ノ判明セルモノヲ計上スヘキハ勿論ナルモ震火災ノ爲物品及歳出決算

資本勘定

歳入

第一款 鐵道資金收入 第三項 雜收入

【報告】(六五) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

收益勘定歳入第一款鐵道作業收入第二項雜收入決算額ノ外同省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

一、一三八八四七

アリ右ハ神戸鐵道局管内米子倉庫雇山崎某カ會計事務擔當中大正十二年六月ヨリ十四年十二月ニ至ル間ニ於テ用品賣却代金ヲ收受シタルニ正規ノ手續ヲ爲サス横領シタル總額貳千參百七拾九圓六拾錢貳厘ノ内ニシテ千百九拾五圓五錢五厘ハ

十三年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通但シ損害金額中百四拾圓八拾九錢ハ既ニ徵收シタルモ其ノ他ハ本人無資産ノ爲據置貸ニ編入シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(資本勘定ノ分)異議ナシ(收益勘定ノ分) 【衆決】 不當

第二款 用品勘定過剩金繰入 第一項 用品勘定過剩金繰入

【報告】(六六) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

二、四四五、二七六、九七八

ニ關スル帳簿類焼失ノ爲一部推定額ヲ加算シタルニ依リ每件別債主名及其ノ金額ノ判明ヲ缺ケルモノアリ又支出未済全體ノ金額ハ用品勘定ノ資産負債ノ上ヨリ之ヲ推定シタルモノニシテ即チ資産總額ヨリ負債ニ屬スル用品資金ヲ控除シタルモノヲ以テ支出未済ノ總額ト爲シタルモノナリ蓋シ用品資金ノ缺陷ヲ五百萬圓ト見込ミ之ヲ補填シタル以上受拂計算ニ於テハ過不足ヲ生セサルノ理ナルヲ以テ上記ノ如キ算定方法ニ依ルノ外他ニ整理ノ途ナカリシニ依ル而シテ每件別債主金額及事由ノ判明セサル儘支出未済トシテ計算シタル貳百五拾餘萬圓ハ必スシモ過剩金ニ非スシテ同額中ニハ請求未済物品代及延滞處分未了ノ爲保留シ置キタル物品代ヲ包含シ居ルモノナルニ依リ直ニ之ヲ過剩金トシテ取扱フヘキ性質ノモノニ非スシテ孰モ相當期間内留保シ債主ノ請求ナキ時ニ至リ始テ之ヲ過剩金トシテ資本勘定ニ繰入ヲ要スルモノトスト謂フニ在リ然レトモ資金ノ缺陷額ハ決算上不足ヲ生シタル場合ニ於テ初テ補填スヘキモノナルニ推定額ニ依リタル爲受拂ノ計算ニ當リ却テ過剩ヲ示シ遂ニ之ヲ支出未済トシテ整理スルノ已ムナキニ至レルノミナラス決算上支出未済トシ翌年度ニ繰越シ得ルモノハ債主別金額事由等判明セル確定債務ニ限ルヘキモノナルニ爾後毎年度依然過當ヲ推算額ヲ基礎トシ多額ノ資金ヲ留保スルカ如キハ資金ノ法定額ヲ超過スルノ結果ト爲リ其ノ措置當ヲ得タルモノニ非ス而シテ今右支出未済額整理ノ狀況ヲ觀ルニ債主別金額事由等判明シテ之ヲ支拂フ爲シタルモノ十三年度ニ於テ七萬貳千餘圓十四年度ニ於テ參萬參千餘圓ニ過キス隨テ前掲過剩額ハ之ヲ資本勘定ノ歳入ニ編入シ後日債務ノ存在明瞭ト爲リ支拂ノ必要ヲ生スルニ從ヒ當該年度ノ經費ヨリ支出スルヲ以テ足ルヘク之カ爲豫メ多額ノ留保ヲ爲スノ要アルモノト認メ難シ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

大正十二年關東大震火災ノ際當省ニ於ケル貯藏品及工場半製品其ノ他ノ燒失金額ハ關係書類一部燒失シタル爲的確ナル計數判明セザリシモ極力其ノ調査ヲ爲シタル結果其ノ缺陷額ヲ約五百萬圓ト見込ミ同年度末ニ於テ資本勘定ヨリ右金額ヲ用品資金ニ補足セリ然ルニ用品資金資産ノ部ニ屬スル現金物品及收入未済等ノ總額ヨリ負債ノ部ニ屬スル資金ヲ控除スルニ四百五拾五萬餘圓ノ差額ヲ來シ右ハ結局物品代ノ支出未済額ニ該當スルモノナルヲ以テ其ノ内債主及金額ノ判明セル貳百壹萬餘圓ヲ除キタル殘額貳百五拾四萬餘圓ハ假令債主別金額不明ナリト雖之カ債務ハ存在シ居ルモノト推定セサルヘカラス然ルニ斯ノ如キ多額ノ支拂未済額ヲ會計検査院ノ謂フカ如ク之ヲ過剩金トシ

テ資本勘定ノ歳入ニ編入セムカ後日ニ至リ一時ニ之カ支拂ノ必要ヲ生シ現年度ノ經費ヨリ支出スルトキハ忽チ資金ノ運用ニ不足ヲ來シ延ヒテ事業經營上多大ノ支障ヲ生スヘキハ必然ナルヲ以テ鐵道會計規則第十四條ニ依リ之ヲ遞次型年度ニ繰越シタルモノナリ然レトモ其ノ支拂殘額ハ時効完成シタルヲ以テ昭和十五年年度末ニ於テ本勘定ノ過剩金トシテ資本勘定ニ繰入レヲ爲ス見込ナリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

(參照) ○帝國鐵道會計規則(大正十一年三月二十七日勅令第三十八號)

第十四條 用品勘定所屬歳出ニシテ毎年度内ニ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ毎年度出納ノ完結迄ニ支出済ト爲ラサルモノハ支出未済トシテ遞次型年度ニ繰越シ現ニ支出ヲ爲シタル年度ノ歳出ニ組入ルヘシ

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (六七) 鐵道省ノ支出ニ係ル

二二、〇五二、五二一〇

ハ東京建設事務所職員ノ住居ニ供スル爲奥羽線新庄所在官舎四棟八戸合宿所一棟合計二百四十二坪八勺ヲ東京府杉並町ニ移轉改築シタル工事費ナリ右ニ關シ當局者ノ事由トスル所ハ

新庄建設事務所ノ閉鎖ニ伴ヒ不用ノ官舎ヲ生シタルヲ以テ之カ利用方ニ關シ考究シタルニ東京建設事務所ニ於テハ廣汎ナル工事現場ヲ有シ爲ニ非常事ノ突發スルコトアラムカ急遽關係職員ヲ召集シテ應急事務ニ當ラシメサルヘカラス然ルニ東京ノ如キ大都會ニ在リテハ多數ノ職員ハ市ノ内外ニ互リ居住スル爲此ノ如キ際ニハ往往支障ヲ來スコトアルヲ以テ少クトモ重要地位ニ在ルモノヲ一定區域ニ居住セシムルコトトセハ此等ノ場合ニ甚便宜ニ付前記不用官舎ノ一部ヲ利用移築シ以テ有料ニテ貸付スルコトトセリ

ト謂フニ在リ然レトモ東京建設事務所ニ於テハ既ニ工事現場ニ相當ノ官舎ヲ有シ且其ノ事務所所在地タル東京ニ於テモ義務官舎ハ震災後所要ノ戸數ヲ新設セルヲ以テ更ニ本件設備ヲ加フルノ急迫ナル事實アルヲ認ムルコト能ハス固ヨリ官舎ノ數ヲ増加スルハ便宜ノ場合多カルヘシト雖今鐵道省全體ニ互リ官舎設置ノ狀況ヲ觀ルニ一面過剩ノ官舎ヲ有スルト共ニ他

面義務官舎其ノ他ニ尙不足ヲ告ケ之カ爲現ニ民家ヲ借上ケ僅ニ其ノ急ニ應セルモノアリ隨テ右ノ如ク不用ト爲リタル官舎ノ利用ヲ企畫スル場合ニ於テハ須ラク此等不足セル官舎ノ設備ニ充當スヘキコト勿論ナルニ之ヲ本件ノ如キ官舎ニ利用スルハ事ノ緩急ヲ失シタルモノト認メサルヲ得ス加之右官舎設備ノ爲千百十九坪餘ノ土地ヲ借入レ料金月額貳百圓ヲ支拂ヒ且移築請負工費ノミニテモ坪當六拾圓内外ヲ要シタルモノナルニ貸付料金算定ノ基礎ト爲シタル評價ハ坪當拾九圓餘乃至參拾壹圓餘ニシテ甚シク低廉ニ失シ料金月額合計參拾參圓餘ヲ徵セルニ過キサルノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

東京建設事務所ハ廣汎ナル工事現場ヲ有シ從テ一朝非常事突發セル場合急遽關係職員ヲ召集セムトスルモ多數ノ職員ハ市ノ内外ニ散在シ之カ爲往々支障ヲ來スコトアルヲ以テ少クトモ主要地位ニ在ル者ヲ一定ノ區域ニ居住セシムルハ應急事務ノ處理ニ關シ頗ル有利ナルヲ認メ居リシニ偶新庄建設事務所ノ閉鎖ニ伴ヒ同所々屬官舎ニ不用ノモノヲ生シタルニ依リ之ヲ本件官舎ニ利用移築シタルモノニシテ尙當所ニハ市ノ内外ニ互リ義務官舎ノ設置セルモノアリト雖右ハ二三ノ所員及工事現場擔當者ヲ居住セシムルニ過キス又省全設ヨリ觀ルトキハ元ヨリ一部不使用ノ官舎ヲ有シ一方ニハ民家ヲ借上ケ充當シ居レルカ如キ事實アルモ右ハ極メテ僅少ナル戸數ニシテ各所ニ散在シ且所管事務ノ關係上直ニ之ヲ轉用セシムルコト能ハス而シテ本件ノ如キ永久のナラサル官舎ノ敷地ニ對シテハ相當代金ヲ以テ賃借スル方却テ利益ナルノミナラス貸付料ニ付テモ當省所定ノ規定ニ依リ算出徵收シ居リ特ニ低廉ニ評價シタルモノニ非ス依テ本件ハ不當ニ非ス

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

【報告】

(六八) 本項ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

一一、二二九、三三〇

第二項改良費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

三、一六五、八三〇

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一八八、五〇〇、二二〇

ハ鐵道省事務官池井某外十七名ニ支給シタル外國出張旅費、俸給其ノ他ノ經費ナリ右ハ孰モ鐵道省主管事項ニ關シ須要ノ學術技藝ヲ研究セシムル爲外國ニ派遣セラレタルモノニ係リ大正十一年一月勅令第六號ニ規定セル在外研究員ナルヲ以テ之ニ支給スヘキ學資金、手當、旅費及俸給等ハ勅令ノ定ムル所ニ據ルヘキハ當然ノコトナルニ故ラニ外國出張ノ名義ヲ用井多額ノ旅費及俸給等ヲ支給セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ從來海外ニ派遣スル職員ハ之ヲ

出張員ト研究員トニ區分シテ詮衡セシカ十四年度ニ於テハ邦貨ノ爲替相場甚シク下落シ且各種ノ不利不便ヲ伴フ海外ニ在リテ十分ノ調査研究ヲ遂クル爲ニハ在來ノ研究員規程ニ依ル待遇ヲ以テシテハ萬全ヲ期スルコト困難ナルノ情況ナリシヲ以テ特ニ全員ヲ出張員トシ生活上ノ不安ヲ除去スルト共ニ調査研究ノ徹底ヲ企圖シタルニ因ルモノナリト謂フニ在リ然レトモ爲替相場ノ變動ニ基ク特別ノ事情ニ對シテハ十四年三月勅令第四十五號ヲ以テ臨時増給ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ規定シ同省職員中前年來在外研究員トシテ派遣セラレ居ルモノハ本年度ニ於テモ依然トシテ同規程ニ基キ臨時増給ヲ受クルノ程度ニ止レルノミナラス他省ノ事例ニ徵スルモ孰モ該規程ニ基キ之カ支給ヲ爲セルノ狀況ナリ然ルニ本件派遣者ニ限リ全部在外研究員トシテ一旦詮衡ヲ了シタルニ拘ラス特ニ其ノ待遇ヲ異ニシ外國出張ノ名義ヲ用井多額ノ支給ヲ爲スカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【詳告】

【辨明】

本件給與ハ當時邦貨ノ爲替相場著シク下落シ爲ニ勅令ヲ以テ之カ救済方公布セラレタルモ尙生活及調査研究費ニ不足ヲ生スルノ虞アリ然ルニ海外ニ於テ之等ノ不安ヲ顧慮セシムルトキハ勢ヒ其ノ目的ヲシテ充分貫徹スルコト能ハサルニ至ルヘク故ニ寧ろ之ヲ出張員ト爲シ所期ノ調査研究ヲ遺憾ナク遂行セシムルノ得策ナルヲ認メ臨機ノ措置ヲ爲シタルモノナルカ尙將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(六九) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一一二八 八六〇

ハ人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實東京建設事務所備上人夫瀨下某カ上越南線清水隧道詰所ニ於テ實働傳票ノ整理ニ當リ大正十四年十一月中關係書類ヲ偽造シ實際使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如ク裝ヒ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通但シ損害金ハ全部徴收済ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○在外研究員規程(大正十一年一月二十三日)

第一條 主管大臣ハ其ノ主管事項ニ關シ須要ノ學術技藝ヲ研究セシムル爲ニ在外研究員ヲ外國ニ派遣スルコトヲ得

第四條第一項 在外研究員ニハ本令ノ定ムル所ニ依リ學資金、巡歴手當及旅費ヲ支給ス

(別表)

區分	學資金			巡歴手當		
	甲地方	乙地方	丙地方	甲地方	乙地方	丙地方
高等官	五千五百圓以内	四千五百圓以内	三千圓以内	千二百圓以内	九百圓以内	九百圓以内
判任官	四千五百圓以内	三千七百圓以内	二千四百圓以内	九百圓以内	七百圓以内	七百圓以内

備考

【詳告】

(七〇) 鐵道省ノ支出ニ係ル

○外國在勤者等ニ支給スル給與ノ臨時増給ニ關スル件(大正十四年三月三十一日)抄録

外國ニ在勤、駐劄、駐在、派遣若ハ留學中ノ者又ハ外國ヲ旅行スル者ニハ爲替相場ノ變動ニ基ク特別ノ事情ノ存スル間所管大臣大藏大臣ト協議シテ在勤俸、在勤加俸、加俸、手當、在勤手當、加給手當、學資金、巡歴手當、駐在手當、派遣手當、馬飼料又ハ旅費ニ付其ノ定額ノ四分ノ一以内ノ金額ヲ臨時増給スルコトヲ得

【報告】

(七〇) 鐵道省ノ支出ニ係ル

【辨明】

ハ手宮海上棧橋改良工事費拾六萬六千四百拾貳圓六拾八錢ノ内ニシテ參萬六千六百貳拾五圓貳拾貳錢ハ大正十三年度ニ屬シ外ニ材料價格六百圓ヲ使用セリ右ハ既存物件ノ維持修理ニ屬スルヲ以テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ作業費支辨ニ屬スル修繕ハ建造物ノ腐朽又ハ破損等ニ對シ單ニ補修ヲ加ヘ現狀ヲ維持スルニ外ナラス然ルニ本件ノ根卷工事ハ棧橋自體ノ性質上簡單ナル補修困難ナルヲ以テ其ノ工法ヲ全然在來ト異

大正十四年度 帝國鐵道 (七〇)

四三七

一一二九 五一七 四六〇

ニスル棧橋自體ノ改築ヲ目的トシタルモノナルヲ以テ改良費支辨ト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ十五年八月之カ實地ヲ検査スルニ本件工事ハ棧橋橋脚基礎杭ノ腐朽ヲ防止スル目的ヲ以テ在來基礎杭ヲ鐵筋混凝土筒ニテ包ミ筒ト杭木トノ間隙ニ砂ヲ投入スルノ外繫材振止ノ取替ヲ爲シタルニ止リ基礎杭ニ補修ヲ加ヘ現狀ヲ維持スルニ外ナラサルニ依リ棧橋自體ノ改築ヲ目的トシタルモノト認メ難ク隨テ之カ工費ハ收益勘定鐵道作業費ヨリ支出スルヲ相當トス要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件手宮海上棧橋改良工事ハ海邊ノ害ヲ被リ腐朽シタル橋脚基礎杭ノ改造ヲ目的トシ鐵筋混凝土筒ヲ以テ在來ノ木杭ヲ包ミ其ノ間隙ニ砂ヲ填充シタルモノニシテ該木杭ハ畢竟其ノ柱心ニ利用シタルニ止マリ全然別種ノ工法ヲ施行シタルモノナルニ依リ單ニ在來建造物ニ對スル維持修理ヲ爲シタルモノニ非ス從テ之カ工事施行ノ結果ハ財産價格ヲ増加スヘキモノナルヲ以テ本件ハ豫算目的外ノ支出ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

(參照) ○會計法第十四條第二項(二六九頁參看)

【報告】

(七一) 鐵道省ノ支出ニ係ル

三七、一〇七一五〇

ハ東京市街高架線建設ニ伴ヒ鶯谷日暮里間増用地トシテ買收シタル八千六坪餘ノ内長谷某外四名ヨリ買收シタル下谷區上野櫻木町所在土地千三百六十五坪餘ノ代價及移轉補償料トシテ支拂ヒタル四拾六萬六千七百六拾參圓六拾參錢ノ内ニシテ四拾貳萬九千六百五拾六圓四拾八錢ハ大正十三年度ニ屬スルモノナリ右ハ大正十三年度検査報告ニ詳悉セシ如ク其ノ買收價格ハ日本勸業銀行ノ評價ニ鑑ミ高價ニ失セルノミナラス借地權及移轉補償料ノ算定ニ關シテモ著シク其ノ當ヲ失セリ之ニ對シ當局者辯明ノ要旨ハ

本件土地ノ買收ニ當リテハ民間ノ實例及現場ノ狀況等ヲ斟酌シ決定シタルモノニシテ金融業者ノ評定價格ハ貸金回收ノ安全ヲ確保スルカ爲概ネ低價ニ失スルノ傾向アルヲ免レサルヲ以テ直ニ之ト比較シ難ク又借地權ニ在リテハ永年間繼續シテ借入中ノモノナルヲ以テ之カ料金ハ著シク低廉ナリシ結果其ノ附近ニ於テ舊借地ト同等ナルモノヲ借入レムトセハ當省交付ノ補償額ニ匹敵スル金額ヲ支拂ハサルヘカラサルノ實狀ナリ尙營業其ノ他ノ補償ニ關シテハ協議紛糾シ延イ

テ豫定ノ工事ヲ進捗セシムルコト能ハサルノ虞アルヲ以テ嚴密ナル調査ヲ遂ケ決定シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ日本勸業銀行ノ評價ハ前年度検査報告ニ詳悉セシ如ク單ニ貸金回收ノ安全ヲ確保セムトスル場合ノ評價ニ非ス然ルニ本件買收坪當價格ハ表地百六拾圓乃至貳百參拾八圓裏地百拾圓餘乃至百拾四圓餘ナルノ外借地權ノ補償トシテ坪當表地六拾六圓乃至百拾貳圓裏地參拾貳圓餘ヲ交付セルカ如キハ本件土地ノ現況ニ鑑ミ適當ノ評價ト認メサルヲ得ス其ノ他營業等ノ補償ニ關シテモ協議ノ紛糾ヲ避ケムトスルノ趣旨ハ之ヲ諒トスヘキモノナキニ非スト雖稅務官署ノ調査ニ比シ格段ノ差異ヲ存セルノ事實ニ徴シ高價ニ失セルコト明ナリ要スルニ本件ハ土地買收ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス(大正十三年度五)三二五頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度検査報告ニ對シ辯明セシカ如ク買收及移轉補償ニ當リテ其ノ價格ノ算定適當ナラサルトキハ當事者一方ノ被ル損失夥カラサルニ依リ周到ナル注意ト慎重ナル調査トヲ遂ケ附近ニ於ケル實買實例ハ勿論其ノ他確實ナル資料ニ基クト共ニ現場ノ實況ヲ斟酌シ最公平ニ決定シタルモノナルヲ以テ毫モ高價ト認メ難シ從テ單ニ之ヲ銀行又ハ稅務署ノ調査ニ比較シテ其ノ高低ヲ論スル甚タ早計ニ失スルモノト謂ハサルヘカラス依テ本件ハ不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(七二) 鐵道省ノ支出ニ係ル

三四、五八八二二三〇

ハ鐵道省教習所其ノ他ニ充當ノ目的ヲ以テ買收セル東京府池袋附近成蹊學園跡敷地九千四百四十四坪餘並地上建物延千七百九十九坪餘ノ代價及同構内ニ施設セル寄宿舎新築其ノ他ノ工事費百四拾四萬千貳百七拾五圓四拾五錢七厘ノ内ニシテ百四拾萬六千六百八拾七圓貳拾貳錢七厘ハ大正十三年度ニ屬シ外ニ材料價格六千五百五拾五圓ヲ使用セリ右ハ大正十三年度検査報告ニ詳悉セシ如ク買收當時ニ於ケル省教習所生徒定員等ノ現狀ニ鑑ミ震災復舊復興等ノ施設急ヲ要スルノ時ニ當リ前記ノ如ク多額ノ經費ヲ投スルカ如キハ事ノ輕重緩急ヲ失シタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス(大正十三年度(四九)三三頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度検査報告ニ對シ辯明セシカ如ク東京驛構内所在ノ鐵道省教習所ハ震災ノ際全燒シ又東京市芝區所在ノ被服工場モ此ノ災厄ニ遭遇シ現業員ニ供給スル被服ノ調製ニ多大ノ支障ヲ來シタルニ依リ應急處置トシテ被害ヲ免レタル品川所在ノ東京鐵道局教習所ヲ之ニ

充當セリ然ルニ省教習所ノ敷地ハ狹隘ナルノミナラス東京驛擴張用ニ供スル爲其ノ跡ニ再築スルコト不可能ナルト尙此ノ機會ニ省局兩教習所ヲ同一場所ニ併設スルトキハ經費其ノ他各般ニ互リ頗ル便益ナルニ依リ之カ敷地ノ選定中偶成學園ノ移轉ニ依リ該敷地及建物ノ不用ト爲レルモノアリタルヲ以テ右ハ四圍ノ狀態教習上ニ最適當ナルノミナラス將來益地價昂騰スルヲ豫想セラレタルニ依リ之ヲ買收シ其ノ必要ノ限度ニ於テ之カ施設ヲ爲シタルモノナリ依テ本件ハ不當ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (七三) 本項ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

一一九三八〇

用品勘定歳出第一款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

五三二二四〇

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

二八八四二八〇

至ル間ニ於テ職員中ノ轉勤、退職者ヲ引續キ在勤セルモノノ如ク裝ヒ又缺勤或ハ召集ノ爲俸給、給料ノ減額支給又ハ停止ヲ爲スヘキモノニ對シ全額支給スヘキモノノ如ク裝ヒ仕譯書及支拂要求書等ニ虚偽ノ記入ヲ爲シ支拂ヲ爲サシメタル總額八千五百七拾九圓參拾六錢ノ内ニシテ五千四百貳拾貳圓四拾六錢ハ十三年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通但シ損害金ハ本人ノ保證人ヨリ分納方願出テタルヲ以テ之ヲ承認シ既ニ貳千四百七拾參圓拾五錢ヲ徴收セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

用品勘定

歳出

第一款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】 (七四) 鐵道省ノ支出ニ係ル

四八一〇〇一八〇〇

ハ株式會社住友製鋼所及株式會社神戸製鋼所ニ對シ製作ヲ請負ハシメタル坂田式自動連結器一萬百四十箇此ノ代價七拾八

萬五百六拾壹圓八拾錢ノ内ニシテ貳拾九萬九千五百六拾圓ハ大正十三年度ニ屬スルモノナリ右ハ車輛ニ取附ケ使用シタルニ連結正確ナラス列車編成運轉中屢車輛分離ノ事故ヲ生シ改造ヲ要スルニ至リシモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

自動連結器ハ從來主トシテ其ノ供給ヲ外國ニ仰キシカ國產獎勵ノ意味ヨリ内地製作品ノ出現ヲ希望セシ際偶十二年坂田式自動連結器ノ考案アリ依テ相當考査ノ結果使用ニ堪ヘ得ルコトヲ認メタルヲ以テ數箇ヲ試作シ長期ニ互リ試用シタルニ成績良好ナリシニ依リ機關車ノ大部及貨車ノ一部ニ使用シタリ然ルニ其ノ後該連結器中分離事故ヲ惹起シタルモノアリ之カ原因ヲ研究スルニ從來ノ設計ニテハ嚴格ナル公差ヲ付スルニ非サレハ動作確實ナラサル等設計上ノ不備ト製作上ノ不馴トノ點アルコトヲ發見シ改善ヲ加ヘタルモノニシテ爾後別ニ故障ヲ認メス

ト謂フニ在リ然レトモ本件自動連結器ハ多數ノ車輛相互間自由且正確ナル連結ヲ要件トシ殊ニ新規ノ考案ニ屬スルヲ以テ其ノ間極メテ慎重ノ調査ヲ要スヘキモノナルニ拘ラス答辯ニ謂フカ如ク僅ニ數箇ノ試作試用ニ依リ之ヲ以テ直ニ多數車輛ニ適用シ得ルモノト爲シ前掲ノ如ク多數ヲ製作シ其ノ取附後列車編成運轉ニ際シ初テ設計上ノ不備ト製作上ノ不馴ノ點アリシヲ發見スルニ至リタルカ如キハ注意ノ周到ヲ缺キタルモノト認メサルヲ得ス而シテ其ノ改造ヲ要スルモノハ車輛取附後ノモノ六千十箇車輛取附前ノモノ二千百六十餘箇ニシテ其ノ費額合計五萬九百六拾餘圓ニ及ブノ計算ナリ要スルニ本件ハ物品ノ製作ニ關シ措置其ノ當ヲ失シ國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 自動連結器ハ從來主トシテ其ノ供給ヲ外國ヨリ仰キ居タルニ偶札幌鐵道局ニ於テ坂田式自動連結器ノ考案アリ右ハ國產品獎勵上之ヲ使スルノ得策ナルヲ認メ數箇ヲ試作シ約一箇年ニ互リ試用シタルニ其ノ成績良好ナリシヲ以テ之ヲ製作セシメ連結器取換ノ際使用セリ然ルニ其ノ後該連結器中分離事故ヲ惹起シタルモノアリタルニ依リ之カ原因ヲ精査シタルニ右ハ一般鑄造品ニ在リテハ製作上其ノ圖面記載ノ寸法ニ對シ微細ノ差異ヲ生スルハ勢ヒ免レサル所ナリシニ斯ノ如キ差異モ本器ニ在リテハ作用上支障ヲ來ス場合アルヲ發見セシヲ以テ之ニ適應スヘク改造ヲ爲シタルモノナリ要スルニ本器ハ鐵道界未曾有ノ事業タリシ連結器取換工事施行ノ爲初メテ鑄造セシメタルモノニ係リ從テ之カ設計及製作上ニ於テ多少不備ノ點アリタルハ洵ニ已ムヲ得サル次第ナリトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

【報告】 (七五) 本項ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

三二、二八〇^円一七〇

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

五七、四一七^円七九八

ハ孰モ豫算額ニ超過シ支出セル俸給額ニシテ其ノ流用増額ニ關シ會計規則第三十九條及大正十二年六月勅令第三百五號ニ依リ大藏大臣ノ承認ヲ經サルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ本件俸給決算額ノ豫算額ニ超過セルモノニ對シテハ他ノ各目中俸給剩餘額中ヨリ之ヲ流用セルモノニシテ同一名稱ノ費途ニ屬シ會計規則第三十九條ニ所謂他ノ費途ニ非サルヲ以テ大藏大臣ノ承認ヲ經ルノ限ニ非ス但シ用品勘定所屬俸給決算額ノ豫算超過額千五百參拾餘圓ハ休職俸給ノ超過ニシテ已ムヲ得ス他ヨリ流用シタルモノ所定ノ手續ヲ經サリシハ遺憾トスル所ナリト謂フニ在リ然レトモ本件各目流用ノ蹟ヲ見ルニ用品勘定ニ於ケル前掲豫算超過額參萬千貳百餘圓ハ用品費ノ目ニシテ工作、電氣兩目中ノ俸給ハ豫算ニ剩餘アルモ用品費ノ目ニ對シテハ流用ノ蹟ナク又收益勘定ニ於ケル總係費並病院及治療所費俸給豫算超過額ハ拾壹萬九千餘圓ニシテ汽車費ヨリ兩目ニ對シテ流用ヲ爲シタルモノ同費ノ俸給豫算殘額ハ僅ニ九萬九千參百餘圓ニ止リ又保存費俸給豫算超過額壹萬七千四百餘圓ハ補充費ヨリ流用シタルモノナルモ補充費ニハ俸給豫算ノ積算ナク其ノ他車輛修繕費俸給豫算超過額ハ貳萬貳百餘圓ナルモ本費ニ對シテハ他ヨリ流用ヲ爲シタルモノナキノ状態ニシテ本件超過額ハ孰モ他ノ各目中俸給剩餘額中ヨリ流用シタリトノ辯明ハ之ヲ事實ト認メ難シ抑俸給ハ官吏定員ノ制ト相伴ヒ豫算上一定ノ標準ヲ以テ積算シ他ノ費途ヨリ溢ニ流用増加ヲ許ササルヲ原則トシ已ムヲ得サルモノニ付テハ會計規則第三十九條及十二年勅令第三百五號ノ定アルニ拘ラス任意他ノ費途ヨリ流用シ豫算超過ノ支出ヲ爲スカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ會計規則第三十九條ニ違背シ豫算ヲ超過シテ俸給ノ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件各項ノ金額中用品勘定所屬ノ用品及工作費ニ於テ千五百餘圓ノ豫算超過ヲ爲シタルハ取扱者ノ錯誤ニ依リ所定ノ手續ヲ經サリシモノニシテ甚タ遺憾ノ次第ナルモ其ノ他ノ金額ニ付テハ豫算超過ノ事實ナク即検査院ノ指摘セル用品勘定所屬用品費ノ超過額ハ工作、電氣ノ

兩目ヨリ流用シ又收益勘定所屬總係費並病院及治療所費ノ超過額ハ汽車、運輸ノ兩目ヨリ保存費及車輛修繕費ノ超過額ハ運輸費ヨリ各其ノ俸給ヲ流用シタルモノニシテ而モ之等各自ノ俸給豫算額ヲ合算スルトキハ千六百九拾八萬四千餘圓ト爲リ本項決算額千五百五拾萬餘圓ニ比シ尙百四拾七萬七千餘圓ノ殘餘ヲ生シタルノ計算ナリ要スルニ右ハ何レモ各自ニ於ケル同一費途タル俸給豫算額ノ流用増減ニ止マルモノニシテ豫算超過ノ支出ヲ爲シタルモノニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス(用品勘定ノ分)異議ナシ(收益勘定ノ分) 【衆決】 承認

(參照) ○會計規則(大正十一年一月九日勅令第一號)

第三十九條第一項 勅令ヲ以テ指定シタル費途ニ對シテハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ之ニ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

トヲ得ス

○大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得サル費途ノ件(大正十二年六月十三日勅令第三百五號)

左ノ名稱ノ費途ニハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

- 一 俸給
- 二 機密費
- 三 交際費
- 四 宴會費
- 五 接待費
- 六 渡切費
- 七 新營費
- 八 補助費

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第一項 運輸收入

四二八^円六五〇

【報告】

(七六) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

アリ右ノ内參百八拾參圓五錢ハ札幌鐵道局管内手宮驛雇中村某カ貨物事務擔任中大正十四年十一月ヨリ十五年五月ニ至ル間ニ於テ専用線料金ヲ擅ニ領收費消シタル總額九百九拾七圓貳拾五錢ノ内ニシテ六百拾四圓貳拾錢ハ翌年度ニ屬シ又四拾五圓六拾錢ハ門司鐵道局管内廣島驛手野面某カ小荷物事務擔任中十四年七月ヨリ十五年四月ニ至ル間ニ於テ小荷物保管料金ヲ横領費消シタル總額六拾四圓貳拾錢ノ内ニシテ拾八圓六拾錢ハ翌年度ニ屬スルモノナリ右ハ孰モ監督其ノ宜シキヲ

得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通但シ損害金中手宮驛ノ分ハ本人ヨリ九拾圓拾九錢ヲ辨償シタルモ其ノ殘額ハ本人ノ保證人ヨリ分納方願出テタルヲ以テ之ヲ承認シ既ニ百七圓六錢ヲ徴收シ又廣島驛ノ分ハ全部徴收済ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

【報告】 (七七) 本項決算額ノ外鐵道省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

第三項假收入及立替金受入決算額ノ外同省ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

八二五八〇
一二、一九六二一〇

アリ右ハ仙臺鐵道局管内大館驛荷扱手工藤某カ貨物事務擔任中大正十四年十一月ヨリ十五年三月ニ至ル間ニ於テ關係書類ヲ隱匿シ荷物引換代金及著拂運賃等ヲ横領シタル總額四千五拾五圓四拾壹錢ノ内ニシテ千六百七拾六圓六拾貳錢ハ年度内差繰補填シタルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通但シ損害金ハ會計法上ノ責任者タル出納員清野某外二名ヨリ分納方願出テタルヲ以テ之ヲ承認シ既ニ貳拾四圓ヲ徴收セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

一般會計及特別會計歳出ニ共通スル事項

一般、特別兩會計ヲ通シ官吏ニ對シ賞與又ハ慰勞手當トシテ給與シタルモノノ内豫算ノ使用其ノ當ヲ得スト認ムルモノノ數カラス即チ左ノ如シ

一般會計
外務省所管一件(七八) 九一、〇五五〇〇
内務省所管二件(七九)(八〇) 五二七、八六六〇〇

大藏省所管一件(八一) 一三三、四八二〇〇
海軍省所管一件(八二) 三六、九六六七六〇
文部省所管一件(八三) 三一、六六七〇〇〇
農林省所管二件(八四)(八五) 五〇三、八七五六一〇
商工省所管一件(八六) 六四、七六四〇〇〇
遞信省所管一件(八七) 一六九、一六〇〇〇〇
合計十件 一、五五八、八三六三七〇

特別會計

大藏省所管
造幣局一件(八八) 一一三、五四九〇六〇
印刷局一件(八九) 四四二、一三二五〇〇
專賣局一件(九〇) 一、三二七、五二二七〇〇
大藏省預金部一件(九一) 一三、八五〇〇〇〇
國債整理基金一件(九二) 六七、四一七〇〇〇
賠償金一件(九三) 一三三、〇七二〇〇〇
文部省所管
帝國大學一件(九四) 四六四五〇〇〇
學校及圖書館一件(九五) 八、二三〇〇〇〇
農林省所管

大正十四年度 外務省 (七八)

四四六

米穀需給調節一件(九六)

四七,三二〇〇〇

商工省所管

製鐵所一件(九七)

一四,九〇〇〇〇

遞信省所管

簡易生命保險一件(九八)

一七四,七二一五〇

鐵道省所管

帝國鐵道一件(九九)

二四,一五七,三九四四五

合計十二件

二六,三九四,七五四二二〇

總計二十二件

二七九,五三,五九〇五九〇

一 般 會 計

外務省所管

【報告】

(七八) 歲出經常部第二款在外公館第六項在外國居留民取締費ニ於テ外務省ノ支出ニ係ル

一〇,〇八〇〇〇

歲出臨時部第四款在外國居留民臨時保護取締費第二項事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

六,六九二〇〇〇

第五款講和條約實施費第一項講和條約實施費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

三五,八六九〇〇〇

第七款移民保護獎勵費第一項移民保護獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

五,一六四〇〇〇

第十一款國際會議參列費第一項國際勞動會議參列費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

五,四九九〇〇〇

第五項武器取引取締條約制定國際會議參列費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

七,〇七九〇〇〇

第六項國際工業所有權保護同盟會議參列費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一,九二〇〇〇〇

第七項國際聯盟總會參列費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一八,七五二〇〇〇

計九萬千五百圓ハ外務本省及在外公館勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル慰勞金ナリ右ハ豫算ニ積算ナキモノナルニ偶其ノ職責上當然關與スヘキ臨時ノ事務ニ執掌シタルヲ事由トシ之カ支出ヲ爲スカ如キハ豫算ノ目的ニ反スルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス

【辨明】

本件ハ何レモ支那ニ於ケル罷工、動亂其他國際會議事務等ニ關シ異常ノ勤勞アリタルモノニ對シ慰勞ノ意味ニ於テ各當該事務ニ關スル豫算額中ヨリ夫々支出シタル金額ニシテ既往年度ニ於テモ同様ノ實例アリ已ムヲ得サルノ處置ニシテ豫算ノ目的ニ反スルモノト認メ難シ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

內務省所管

【報告】

(七九) 歲出經常部第四款社會局第二項事務費ニ於テ社會局ノ支出ニ係ル

一一,三〇〇〇〇

第十款職業紹介事務局第二項事務費ニ於テ中央職業紹介事務局ノ支出ニ係ル

四一〇〇〇〇

歲出臨時部第十八款社會事業調查及獎勵諸費第一項社會事業調查及獎勵諸費ニ於テ社會局ノ支出ニ係ル

二,〇一五〇〇〇

第二十一款工場災害豫防竝工場及鑛業衛生調查費第一項工場災害豫防竝工場及鑛業衛生調查費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一,九二四〇〇〇

第二十三款健康保險法實施準備費第一項健康保險法實施準備費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一四六〇〇〇

第二十四款勤儉獎勵費第一項勤儉獎勵費ニ於テ社會局及東京府ノ支出ニ係ル

五,八五六〇〇〇

計壹萬貳千六百五拾壹圓ハ社會局勤務其ノ他ノ官吏ニ對シ支給シタル手當又ハ慰勞金ニシテ參考資料ノ蒐集調査編纂竝頒布、講習、講演會援助等ノ爲勤勞尠カラサルヲ事由トシ支給セルモノナリト雖此等各種ノ事務ハ職責上當然ノ事務ナルノミナラス前掲各項豫算中ニハ此ノ如キ給與ヲ包含セサルヲ以テ豫算ノ目的ニ反スルモノト謂ハサルヲ得ス

大正十四年度 內務省 (七九)

四四七

【辨明】 歳出經常部第四款社會局外四款ニ於テ社會局其ノ他ノ官吏ニ對シ若干ノ手當又ハ慰勞金ヲ支給シタルハ豫算ノ目的ニ反スルモノナリト謂フニアレトモ是等豫算ハ事業ノ性質上廣ク民間識者ノ參與ヲ求メ或ハ在職官吏ニシテ此種事業ニ造詣深キモノヲシテ繁劇ナル本務ノ外諸種ノ調査研究ヲナサシムルノ必要アリ

右ト同様ナル場合ニハ從前ヨリ豫算ノ範圍内ニ於テ手當ヲ支給シ來リシモノニシテ必シモ豫算ノ目的ニ反スルモノト認メ難シ且右ノ給與ハ最モ衡平ニ行ヒ濫費ヲ慎ムヘキ趣旨ヲ以テ特ニ閣議ニ依リ一定ノ基準ヲ決定シ濫費濫賞ニ陥ルノ弊ナカラシムル等慎重ノ手續ヲ採レルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

【報告】

- (八〇) 歳出臨時部第二款治水事業費第一項事務費ニ於テ内務省外六箇所ノ支出ニ係ル 八三、九五八^円〇〇〇
- 第三款港灣改良費第一項關門海峽改良費ニ於テ下關土木出張所ノ支出ニ係ル 二、五五〇〇〇〇
- 第二項神戸港修築費ニ於テ内務省及神戸土木出張所ノ支出ニ係ル 九、四八三〇〇〇
- 第三項門司港修築費ニ於テ下關土木出張所ノ支出ニ係ル 一、六四〇〇〇〇
- 第十項鹽釜港修築費ニ於テ仙臺土木出張所ノ支出ニ係ル 一、九四〇〇〇〇
- 第十五項新潟港修築費ニ於テ新潟土木出張所ノ支出ニ係ル 六九六〇〇〇
- 第四款道路改良費第一項道路改修及助成費ニ於テ内務省外一箇所ノ支出ニ係ル 九、八六五〇〇〇
- 第五款道路港灣調査費第一項道路港灣調査費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 二、三四〇〇〇〇
- 第六款都市計畫調査費第一項都市計畫調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 五、三三二〇〇〇
- 第七款北海道拓殖費第一項殖民費ニ於テ北海道廳外十四箇所ノ支出ニ係ル 四七、八五六〇〇〇
- 第二項森林費ニ於テ北海道廳外四箇所ノ支出ニ係ル 七、四八〇三〇〇〇
- 第四項土地改良費ニ於テ北海道廳ノ支出ニ係ル 一、四五六〇〇〇〇
- 第五項道路橋梁費ニ於テ北海道廳外八箇所ノ支出ニ係ル 六二、四六二〇〇〇〇

第六項河川費ニ於テ同上ノ支出ニ係ル 一、一六四八〇〇〇

第七項治水費ニ於テ北海道廳外二箇所ノ支出ニ係ル 一七、四一九〇〇〇

第八項港灣費ニ於テ北海道廳外十一箇所ノ支出ニ係ル 二四、八八二〇〇〇

第十款明治神宮外苑工事施行費第一項明治神宮外苑工事施行費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 七、五八七〇〇〇

第十一款臨時神社費第四項吉野神宮修築竝境內整理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、四二二〇〇〇

第五項長田神社社殿火災復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二〇六〇〇〇〇

第十三款傳染病豫防費第一項傳染病豫防費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 九、四八八〇〇〇

第十四款衛生事業調査及獎勵諸費第二項醫藥品製造及藥用植物試驗費ニ於テ東京衛生試驗所ノ支出ニ係ル 五、八〇〇^円〇〇〇

第三項保健衛生調査及獎勵諸費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 四、八三一〇〇〇

第十五款小笠原島及伊豆七島水産經營費第二項伊豆七島水産經營費ニ於テ東京府ノ支出ニ係ル 四五〇〇〇〇

第十六款開墾監督費第一項開墾監督費ニ於テ東京府外四十四箇所ノ支出ニ係ル 一一、五六九〇〇〇

第十七款地方制度及財政調査費第一項地方制度及財政調査費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 二、九〇一〇〇〇

第二十一款工場災害豫防竝工場及鑛業衛生調査費第一項工場災害豫防竝工場及鑛業衛生調査費ニ於テ社會局ノ支出ニ係ル 三、三二四^円〇〇〇

第二十三款健康保險法實施準備費第一項健康保險法實施準備費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一、八二二〇〇〇

第二十六款警察特別施設費第一項警察特別施設費ニ於テ内務省外二十五箇所ノ支出ニ係ル 一一、六九〇〇〇〇

第二十八款特殊財産管理費第一項特殊財産管理費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 一、七五五〇〇〇

第三十五款震災復舊諸費第一項内務本省其他復舊事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 五、七三〇〇〇〇

- 第三項橫濱港復舊及修築費ニ於テ内務省及橫濱土木出張所ノ支出ニ係ル 三三、四九〇 〇〇〇
- 第四項官國幣社復舊費ニ於テ内務省ノ支出ニ係ル 一、四〇〇 〇〇〇
- 第三十九款臨時警察費第一項臨時警察費ニ於テ警視廳外三箇所ノ支出ニ係ル 一四、四一〇 〇〇〇
- 第四十款震災地住宅事務處辨費第一項震災地住宅事務處辨費ニ於テ社會局外二箇所ノ支出ニ係ル 一、八九三 〇〇〇
- 第四十一款震災地市街地建築物法施行費第一項震災地市街地建築物法施行費ニ於テ警視廳及神奈川縣ノ支出ニ係ル 二〇、〇二三 〇〇〇

計五拾壹萬五千二百拾五圓八前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ支給シタルモノナルモ右支出總額中俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタルモノ貳拾五萬九千餘圓ニ止リ其ノ他ハ事業費事務費等ヲ流用シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シ

【辨明】

歳出臨時部第二款治水事業費外二十款中ニ於テ事務費事業費ヨリ賞與ニ充當シタル金貳拾五萬五千餘圓ハ多額ノ流用ニシテ妥當ノ措置ト認メ難シト謂フニアレトモ賞與ハ其ノ性質上俸給豫算中ヨリ支辨スルノ方針ナルモ勤勞者ニ對シ相當行賞ノ途ヲ講スルノ外給與ノ均衡ヲ計ルノ必要上俸給豫算不足ノ場合不得已同一項内ノ事務費等ヨリ賞與ニ流用セルハ從來ヨリ踏襲シ來レル慣例ニシテ本年度ニ於テ事務費等ヨリ賞與ニ充當シタル金貳拾五萬餘圓ハ賞與總額金百七拾九萬五千餘圓ノ壹割四分、俸給總額金壹千貳百九拾七萬餘圓ニ對シテハ僅ニ壹分九厘ニ過キササルヲ以テ必シモ穩當ヲ缺クモノト認メ難シ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

大藏省所管

- 【報告】 (八一) 歳出經常部第一款大藏本省第二項事務費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル 七一五 〇〇〇
- 第二款内閣第二項事務費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 三、〇一〇 〇〇〇
- 歳出臨時部第一款營繕費第一項議院建築費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 三、三五五 〇〇〇
- 第二款神戶稅關陸上設備費ニ於テ營繕管財局及同局神戶出張所ノ支出ニ係ル 四、三二五 〇〇〇

- 第三項門司稅關陸上設備費ニ於テ營繕管財局門司出張所ノ支出ニ係ル 一、四三八 〇〇〇
- 第七項帝國學士院新營費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 三六七 〇〇〇
- 第八項新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 六九六 〇〇〇
- 第二款調查費第一項臨時秩祿處分調查費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル 三二〇 〇〇〇
- 第四項文政審議會諸費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 一、一三〇 〇〇〇
- 第六項簡易國勢調查費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 五、三九〇 〇〇〇
- 第七項失業統計調查費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 三、四一五 〇〇〇
- 第八項寺院境内地讓與審査會諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 七七五 〇〇〇
- 第九項臨時稅制調查費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル 一、一八五 〇〇〇
- 第十項行政調查會諸費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 四、六七〇 〇〇〇
- 第十一項中央諸官衙建築準備調查諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 二、四七四 〇〇〇
- 第八款國有財産整理費第一項國有財産整理費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 四、九七三 〇〇〇
- 第十款震災復舊諸費第一項橫濱稅關上屋其他復舊費ニ於テ營繕管財局及同局橫濱出張所ノ支出ニ係ル 五、九一九 〇〇〇
- 第三項貴族院及衆議院廳舍其他復舊費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 一、二四〇 〇〇〇
- 第四項印刷局廳舍及工場其他復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 八、九五〇 〇〇〇
- 第五項專賣局所屬工場其他復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一、一〇九 〇〇〇
- 第七項神奈川縣爆彈發物貯庫其他復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 四五〇 〇〇〇
- 第八項陸軍各部隊建造物復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 八八五 〇〇〇
- 第十項海軍學校其他建造物復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 四〇〇 〇〇〇

- 第十一項裁判所復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 三、三、四〇〇〇
- 第十二項水産講習所其他復舊費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 一、七、五五〇〇〇
- 第十三項土地臺帳其他簿書及器具類復舊費ニ於テ大藏省及内閣ノ支出ニ係ル 六、七、七一一〇〇〇
- 第十四項地震復舊及新營費第一項生絲検査所新營費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 一、七、〇〇〇〇〇
- 第十五項通信官署其他新營費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル 六、〇、七〇〇〇〇〇
- 第十六項内閣敍動者名簿整理費第一項内閣敍動者名簿整理費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 二、〇〇〇〇〇〇
- 第十七項災害費第七項貴族院及衆議院建造物火災復舊並應急諸費ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル 三、二、二八五〇〇〇
- 第十八項恩給更正諸費第一項恩給更正諸費ニ於テ内閣ノ支出ニ係ル 一、〇〇〇〇〇〇
- 第十九項内閣恩赦事務取扱費第一項内閣恩赦事務取扱費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル 七〇〇〇〇〇
- 第二十項前掲諸經費中經常部ニ於ケル内閣臨時部ニ於ケル營繕費、震災復舊諸費、震災復舊及新營費、災害費、調査費中寺院境内地讓與審査會諸費ニ在リテハ豫算上官吏ニ對スル慰勞金ヲ包含セサルニ拘ラス各費目ヲ通シテ九萬千餘圓ノ多額ヲ支出シ震災復舊諸費中土地臺帳其他簿書及器具類復舊費及恩給更正諸費ハ前年度豫算ノ繰越ニ係リ又調査費中中央諸官衙建築準備調査諸費ハ慰勞金ノ區分判明セサルヲ以テ暫ク之ヲ擱キ其ノ他ノ經費ニ在リテハ慰勞金ノ積算額通シテ僅ニ壹萬四千六百餘圓ナルニ對シ總額七萬六千參百餘圓ヲ支出シ内官吏ニ給與セルモノ參萬參千餘圓ニ達セルカ如キハ豫算使用上孰モ妥當ノ措置ト認メ難シ

【辨明】

豫算中慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス之カ支出ヲナシタリトアルモノニ付キテハ各目明細書中ニ掲記ナキノ故ヲ以テ慰勞金ノ積算ナシト爲シタルカ如キモ各目明細書ニ明記ナキモノト雖豫算額算定ノ基礎ニ於テハ官吏以下慰勞金ヲモ包含セルモノナルヲ以テ各目明細書ニ掲記ナキノ理由ヲ以テ直ニ慰勞金ノ積算ナシト謂フヲ得ス又内閣ニ於テ支出シタルモノハ統計職員養成所、恩給審査會及中央統計委員會ノ關係

者ニ對スルモノニシテ手當ニ屬スルモノナリ而シテ慰勞金ノ支出額ハ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スト雖實際ノ經理ニ當リ支出額カ豫算額ニ對シ過不足ヲ生スルハ免ルルヲ得サル所ニシテ豫算上目以下ニ屬スルモノニ付キテ其ノ過不足額ヲ彼此流用處辨シ實際ノ所要ニ適合セシムルハ通例ノ事態ニ屬シ却テ豫算上經費ニ餘裕ヲ見積ル如キ弊ノ生スルヲ防止スルノ効アルモノトス依テ實際支出額カ豫算額ニ比較シ増加スルコトアルハ免ルルヲ得サル所ナリ其ノ慰勞金ノ支出ヲ必要トシタル事由ニ就テハ大藏本省内閣及營繕管財局ニ於テ各其ノ複雑廣汎ナル事務ノ支障ナキ進捗ヲ圖ルニ於テ當務者ノ勞苦ノ多大ナルモノアルハ勿論事務ノ進行上當務者以外ノ職員ヲシテ其ノ一部ニ補助セシメタルコト多ク其ノ盡力モ亦看過スルヲ得サルモノアルヲ以テ之ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノナリ而シテ支出額カ比較的多額トナリシモノアルハ給與ヲ要スル人員ノ多カリシニ依ルモノニシテ給與ノ公平ヲ期スルニ於テ已ムヲ得サル事情アリシニ外ナラス要スルニ本件支出ハ豫算ノ目的ニ反セス且其ノ給與額ハ關與シタル事務ノ實情ニ稽ヘ相當ト認ムル程度ニ止メ特ニ多額ヲ支給シタルモノニアラサルヲ以テ不當ナリトナスヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

海軍省所管

【報告】

(八一) 歳出經常部第二款軍事費第一項俸給ニ於テ海軍省經理局ノ支出ニ係ル 三六、九六六、七六〇

ハ海軍本省勤務ノ職員ニ支給シタル賞與ナリ右ハ本費ヨリ俸給ヲ受ケサル職員ニ對シ軍事費事務ニ從事セシメ勤勞著シキモノアリタルヲ事由トシ支給シタルモノナルモ右官吏カ此等ノ所管事務ニ關與スルハ職務上當然ナルノミナラス海軍本省俸給豫算ヨリ全ク賞與ノ支出ナキニ依テ之ヲ觀レハ本費豫算ノ餘裕ヲ以テ所屬俸給豫算ノ不足ヲ補充シタルモノト認メサルヲ得ス尙右ノ外航海加俸ニ於テ多額ノ剩餘ヲ生シ賞與ニ流用支出セルモノ七拾貳萬參千餘圓ニ及ヘルモノアリ

【辨明】

本俸ト賞與トハ必ス豫算科目ヲ同シクセサル可カラサルモノトハ認メス軍事費關係事務ニ從事シテ勤勞アリシモノニ軍事費俸給豫算ノ剩額ヲ以テ賞與ヲ行フハ何等不當ナシト信ス

尙航海加俸ハ其ノ年度ニ於ケル艦船行動ノ多少ニ依テ支出ニ増減アルハ免レサル處ナルカ航海加俸ハ俸給ノ一部ナルヲ以テ之ヲ賞與ニ充當スルモ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

文部省所管

- 【報告】 (八三) 歳出臨時部第一款營繕費第六項新營費ニ於テ文部省ノ支出ニ係ル 二、四二〇、〇〇〇
- 第二款高等諸學校創設及擴張費第一項事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一七、九〇五、〇〇〇
- 第十款災害費第一項東京高等師範學校火災復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 八六六、〇〇〇
- 第七項京都高等蠶業學校蠶室其他火災復舊費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 七六六、〇〇〇
- 第十一款震災復舊諸費第二項東京帝國大學復舊諸費ニ於テ文部省及東京帝國大學ノ支出ニ係ル 六、九五〇、〇〇〇
- 第三項東京商科大学其他復舊諸費ニ於テ文部省ノ支出ニ係ル 一、四二二、〇〇〇
- 第四項東京高等工業學校其他復興諸費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、三三八、〇〇〇

計參萬千六百六拾七圓ハ文部本省等勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル事務勉勵手當又ハ賞與ナルモ本件手當等ヲ支出セル雜給及雜費並事務費豫算ハ孰モ直接其ノ事務ニ從事スル雇員、囑託員以下ノ給料、手當、旅費、雜費等ヲ計上シタルニ過キサルニ本務上當然ニ關與シタル官吏ニ對シ所屬俸給豫算中ヨリ全然賞與ヲ支給セス又ハ所屬俸給以外ノ者ニシテ兼務者ナラサル者ニ本費ヲ以テ前掲ノ如キ支出ヲ爲スハ畢竟所屬俸給豫算ノ不足ヲ補フモノニシテ其ノ措置當ヲ得タルモノニ非ス

【辨明】 歳出臨時部第一款營繕費第六項新營費ニ於テ文部省ノ支出ニ係ル 二、四二〇、〇〇〇

外六件ハ文部本省等勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル事務勉勵手當又ハ賞與ニシテ所屬俸給豫算ノ不足ヲ補フモノニシテ其ノ措置當ヲ得タルモノニアラストノ批難ナルモ高等諸學校創設擴張及震災復舊事業其他災害費、營繕費ニ關スル施設ノ完全ナル遂行ヲ期スルハ多大ノ努力ヲ要スルカ故ニ是等ノ諸計畫ニ關スル事務事業ニ關與シタル職員ニ對シ其ノ勉勵手當又ハ賞與ヲ該費目ヨリ支出シタルモノニシテ右費目中ノ事務費並雜給及雜費豫算ハ必スシモ官吏以下ノ慰勞金手當等ヲ包含セサルモノニアラサルヲ以テ當該手當ヲ是等豫算ヨリ支出スルハ支障ナキモノト認メタルモノニシテ俸給豫算ノ不足ヲ補フヲ目的ト爲シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

農林省所管

- 【報告】 (八四) 歳出經常部第二款森林費第三項事業費ニ於テ農林省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル 二七七、八三一、〇〇〇
- 歳出臨時部第一款産業獎勵費第一項農事改良獎勵費ニ於テ農林省及農事試驗場ノ支出ニ係ル 三、〇〇三、〇〇〇
- 第二項開墾及土地改良費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 三、三五二、〇〇〇
- 第三項蠶絲業改良獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二七五、〇〇〇
- 第四項畜産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 九〇〇、〇〇〇
- 第五項緬羊飼育獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一三、八〇八、〇〇〇
- 第七項遠洋漁業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、五三〇、〇〇〇
- 第九項漁業組合事業改良獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 九三〇、〇〇〇
- 第十項水産冷蔵獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 八七五、〇〇〇
- 第二款農村振興費第二項事務費ニ於テ農林省及農事試驗場ノ支出ニ係ル 二〇、八七二、〇〇〇
- 第三款調査費第二項事業費ニ於テ農林省、生絲検査所及林業試驗場ノ支出ニ係ル 一三、五二四、〇〇〇
- 第四款營繕費第一項新營費ニ於テ日高外一種馬牧場種馬育成所長萬部外五種馬所ノ支出ニ係ル 一、二二一、〇〇〇
- 第五款家畜傳染病及害蟲豫防費第一項家畜傳染病費ニ於テ鹿兒島、宮城、熊本三縣ノ支出ニ係ル 二、三五二、六一〇
- 第二項害蟲費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 一五〇、〇〇〇
- 第六款治水事業費第一項調査及監督費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、三二五、〇〇〇
- 第七款公有林野官行造林費第一項公有林野官行造林費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一三〇、〇〇〇
- 第八款臘豚獸保護費第一項臘豚獸保護費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一三〇、〇〇〇
- 第十款臨時整理費第一項沿岸漁場整理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 二、六〇〇、〇〇〇

第十三款震災地産業其他復舊及復興助成費第二項荒廢林地復舊助成費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

四〇〇〇〇〇

第十四款青島牛及獸肉検査費第一項青島牛及獸肉検査費ニ於テ獸疫調査所ノ支出ニ係ル

四、一三〇〇〇

計參拾五萬千五百貳拾壹圓六拾壹錢(前掲各廳所屬官吏ニ對シ年末又ハ退官等ニ際シ給與シタル慰勞金ナルモ此等費目中ニハ殆ト官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナク即チ前掲諸經費中臨時部ニ於ケル産業獎勵費、農村振興費、調査費、營繕費、家畜傳染病及害蟲豫防費、治水事業費、臘豚獸保護費、臨時整理費、震災地産業其他復舊及復興助成費、青島牛及獸肉検査費ニ在リテハ豫算上官吏ニ對スル慰勞金ヲ包含セサルニ拘ラス各費目ヲ通シテ七萬貳千餘圓ヲ支出シ又經常部森林費及臨時部公有林野官行造林費ニ在リテハ直接施業ニ從事セサル農林本省ノ官吏等ニ對シ之ヲ支給シ殊ニ其ノ俸給豫算中ヨリ全然賞與ヲ支出セサリシモノアル等畢竟所屬係給豫算ノ不足ヲ補フモノニシテ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】

臨時部豫算中ニハ夫々職員俸給ヲ計上シアリト雖官廳事務執行ニ付テハ其ノ性質上其ノ僅少職員ノミニテ獨立シテ臨時部豫算ノ目的ヲ達成スルコト困難ニシテ經常部所屬職員中其ノ位地及擔任事務ノ如何ニ依リテハ當然臨時部所屬ノ事務ニモ從事セシムルノ要アリ從テ臨時部ヨリ其ノ勤勞多大ナル者ニ對シ年末又ハ退官ノ際手當金ヲ支給スルハ蓋已ムヲ得サルノ措置ナリ又經常部森林費及臨時部公有林野官行造林費ニ在リテハ營林局署職員ノミ單獨ニ施業ニ從事スルヲ以テ足ルモノニ非ラス農林本省職員ノ努力ニ依リ施業ノ完成ヲ期スルモノニシテ直接施業ニ從事セサル農林本省ノ官吏ニ支給シタルモノニアラサルヲ以テ失當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

【報告】

(八五) 歲出臨時部第一款産業獎勵費第一項農事改良獎勵費ニ於テ農林省及農事試驗場ノ支出ニ係ル 四、六五一〇〇〇

第二項開墾及土地改良費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 三五、〇〇三〇〇〇

第三項蠶絲業改良獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、八五五〇〇〇

第四項畜産増殖獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一、〇五六〇〇〇

第五項綿羊飼育獎勵費ニ於テ農林省及瀧川外一種羊場ノ支出ニ係ル 一〇、五五九〇〇〇

第七項遠洋漁業獎勵費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 四、六一〇〇〇〇

第八項漁港修築獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 一一、一〇〇〇〇〇

第十項水産冷蔵獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、三二五〇〇〇

第四款營繕費第一項新營繕費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 六五〇〇〇〇

第六款治水事業費第一項調査及監督費ニ於テ農林省、林業試驗場及東京府外二府四十三縣ノ支出ニ係ル 二四、〇六一〇〇〇

第七款公有林野官行造林費第一項公有林野官行造林費ニ於テ農林省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル 四九、六九二〇〇〇

第八款臘豚獸保護費第一項臘豚獸保護費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル 四、六三〇〇〇〇

第十款臨時整理費第一項沿岸漁場整理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 三、九八五〇〇〇

第十二款震災復舊及新營繕費第一項農林本省其他復舊費ニ於テ東京營林局ノ支出ニ係ル 八九一〇〇〇

第十三款震災地産業其他復舊及復興助成費第二項荒廢林地復舊助成費ニ於テ農林省及東京府外四縣ノ支出ニ係ル 二、九〇八〇〇〇

第十四款青島牛及獸肉検査費第一項青島牛及獸肉検査費ニ於テ獸疫調査所ノ支出ニ係ル 二、三六八〇〇〇

計拾五萬貳千參百五拾四圓(前掲各廳所屬官吏ニ對シ賞與トシテ給與シタルモノナルモ廳費、旅費、雜給及雜費並土木費等ヨリ前掲給與額ノ約七割ニ當ル拾萬千五百餘圓ヲ流用シ之カ支出ヲ爲シタルモノニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シ各廳所屬官吏ニ賞與トシテ廳費、旅費、雜給及雜費等ヨリ流用シ之カ支出ヲ爲シタルハ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シトノ批難ナルモ同一科目内ノ廳費、雜給及雜費ノ如キ經費ヲ節約シ得タル場合ニ同一項内ニ於テ之ヲ賞與ニ流用支辨シタルモノニシテ豫算運用上失當ト認メ難シ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

商工省所管

【報告】

(八六) 歳出經常部第一款商工本省第二項事務費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

第四項度量衡費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第二款特許局第二項事務費ニ於テ特許局ノ支出ニ係ル

歳出臨時部第一款産業獎勵費第一項貿易獎勵費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

第三項工業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第五項重要輸出品検査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第六項製鐵業獎勵費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第三款調査及試験費第二項事業費ニ於テ商工省、絹業試験所及福岡鑛山監督局ノ支出ニ係ル

第六款臨時整理費第一項鑛區圖整理費ニ於テ札幌鑛山監督局ノ支出ニ係ル

第八款震災復舊及新營費第一項商工本省其他復舊費ニ於テ商工省及東京鑛山監督局ノ支出ニ係ル

第九款震災地産業復興助成費第一項工業復興助成費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

第十一款萬國裝飾美術工藝博覽會參同費第一項萬國裝飾美術工藝博覽會參同費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル 九、七四五〇〇〇

第十六款米國獨立百五十年記念萬國博覽會參同費第一項米國獨立百五十年記念萬國博覽會參同費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

計六萬四千七百六拾四圓八前掲各廳所屬官吏ニ對シ年末手當トシテ給與シタルモノナルモ前記諸費中第六款、第十一款及第十六款ノ豫算ニハ慰勞金ノ見積ナク其ノ他ノ諸費ニ於テハ豫算中積算シタル慰勞金ノ豫算額通シテ六千六百餘圓ニ過キサルニ官吏ニ對シ四萬九千餘圓ヲ官吏以外ニ對シ八萬七千餘圓ヲ支出セルノ狀況ナルノミナラス右慰勞金ノ豫算額ハ官吏ノ支出ニ係ル 一、五三三〇〇〇

ニ對スルモノト認メ難ク又全然慰勞金ノ見積ナキ豫算中ヨリ之カ支出ヲ爲スカ如キハ畢竟豫算ノ餘裕アリシカ爲之カ支給ヲ爲シタルモノニシテ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス

【辨明】 本件ハ軍需工業ノ統轄、度量衡講習講師、特許權存續期間延長審査、海外經濟事情ノ調査其他貿易獎勵ニ關スル事項、染料製造其他工業ノ獎勵、重要輸出品ノ検査監督、製鐵業ノ獎勵工業用品規格ノ統一調査、度量衡原器其他工業用ゲージノ調査、鑛害調査試験、溫度計檢定方法ノ調査、生絲格付ノ調査、炭坑爆發豫防調査鑛區圖整理、鑛區原圖復舊、中央度量衡檢定所建物其他附屬設備復舊工事ノ設計監督、震災地ニ於ケル工業ノ復興助成、巴里並費府博覽會參同事務等ニ關シ盡力不撓即チ克ク豫算ノ目的ヲ達成スルニ寄與セル官吏ニ對シ其ノ勞ヲ稱フノ意味ニ於テ給セル手當ナリ右ニ對スル會計檢査院批難ノ要旨ハ前記各項豫算中ニハ官吏ニ對スル慰勞金ノ見積リアリト認メ難キニ拘ラズ多額ノ手當ノ支出ヲ爲セルハ畢竟スルニ豫算ノ餘裕アリシニ因ルモノニシテ措置妥當ナラスト謂フニ在リ然レトモ本件慰勞金ハ曩ニ詳述セル如ク各種ノ調査試験等ニ關シ豫算究極ノ目的ヲ達成ニ盡力渺カラサル官吏ニ對シ勞ヲ慰スルノ意味ニ於ケル給與ニシテ目節ノ内容ニ照シ之カ運用上多少ノ異動アリト雖當該款項豫算ノ目的ニ反スルモノト認メ難ク勞從來ノ慣例ヲモ參酌シ之カ實行ヲ爲シタルモノニシテ措置妥當ヲ缺クモノトハ認メス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

遞信省所管

【報告】

(八七) 歳出臨時部第五款電話交換擴張費第二項事業費ニ於テ遞信省ノ支出ニ係ル

第六款電信擴張及改良費第二項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第七款無線電信施設費第二項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第九款造船鐵材調査費第一項造船鐵材調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第十四款震災復舊及新營費第一項電信電話施設費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第二項郵便局舍其他新營費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

第四項貯金原簿其他復舊及整理費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

大正十四年度 遞信省 (八七)

四五九

八三、二二〇〇〇

二一、五六五〇〇

七〇〇〇〇

四、六五五〇〇

五〇、九七〇〇〇

三、四五〇〇〇

四、六〇〇〇〇

計拾六萬九千六百拾圓ハ遞信本省勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル賞與ニシテ雜給及雜費若ハ事務費ヨリ支出セルモノナリ右ニ對シ當局者ノ事由トスル所ハ賞與ハ本官所屬ノ俸給豫算ヨリ支辨スルヲ通例トスルモ豫算中特ニ各款所屬外ノ官吏ニ支給スヘキ慰勞手當ヲ掲上シタルモノアルヲ以テ此等事務ニ從事シ勤勞アリタルモノニ對シ賞與ヲ支給シタルモノナリト謂フニ在ルモ本省職員カ其ノ所管ニ屬スル此等各種ノ事務ニ關與スルハ當然ノ事ニ屬スルノミナラス右雜事手當等ノ豫算ニ積算セル官吏ニ對スル慰勞手當ノ範圍明確ナラサルモノアリト雖此等廣汎ナル本省勤務ノ官吏ニ對スル給與ヲ包含スルモノト認メ難ク且郵便局舎其他新營費及造船鐵材調査費ニ於テハ雜事手當ノ見積ナキモノナルニ拘ラス此等ノ慰勞手當ヲ支出スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス尙本省及各支部局ヲ通シ所屬俸給以外ノ官吏ニ對シ當該俸給豫算ヨリ賞與ヲ支出セルモノノ遞信本省外六款ニ於テ總額九萬八千餘圓アリ

【辨明】

本件本省職員ニ對シ其ノ本官所屬俸給豫算以外ニ前掲各費目雜給及雜費若ハ事務費豫算ヨリ賞與ノ一部ヲ支給セルハ左ノ事由ニ依ルモノトス

- (1) 雜給及雜費若ハ事務費豫算ニ積算セル他費目所屬官吏ニ給與スヘキ慰勞手當ヲ本省官吏ニ支給スルハ不當ナリト謂フニアレトモ臨時ノ事業ヲ施行スルニ際シテハ經費節減ノ爲可成從來ノ定員ニ依リ之ヲ實行セシムル趣旨ヲ以テ豫算ヲ編成セルモノニシテ是等事務ノ執行ハ事實在來配置ニ係ル本省官吏ノ手ニ依リ行ハルル所甚タ多シ依テ是等ノ事務ニ關與セル官吏ニ對シ從來ニ比シ擔務增加ニ伴フ勞ヲ稿フ爲當該豫算ヨリ之ニ慰勞手當ノ一部ヲ支給スルハ已ムヲ得サルコトニ屬シ前掲各款ノ豫算中ニハ此ノ目的ノ爲ニ當該豫算ノ雜給及雜費又ハ事務費ニ他費目所屬官吏ニモ支給スヘキ慰勞金ヲ計上セルモノニシテ本省勤務官吏モ亦之ニ包含セシムルノ趣旨ナリトス故ニ本件ハ右豫算ノ趣旨ニ基キ前記費目ヨリ慰勞金ヲ支給シタルニ過キスシテ豫算使用上失當ノ措置ニ非ス
- (2) 郵便局舎其他新營費並造船鐵材調査費ノ事務費又ハ雜給及雜費ニハ他款所屬官吏ニ對スル慰勞金ノ明示ナキニ不拘之ヨリ賞與ヲ支出セルハ不當ナリト謂フモ本費亦前記諸經費ト同一趣旨ニ基キ編成セラレタルモノニシテ當該豫算積算ノ根據ニ於テ他費目所屬官吏ニ支給スヘキ賞與ヲ相當計上シタルハ(1)ト異ナル所ナク失當ノ措置ト認メ難シ
- (3) 本省及各支部局ヲ通シ所屬俸給以外ノ官吏ニ對シ當該俸給豫算ヨリ賞與ヲ支出セルハ孰モ兼任者ニ對スル慰勞手當ニシテ即チ兼任者ハ常時兼任事務ヲ執行シ居レルモ兼任者トシテハ別ニ俸給ヲ支給セサルカ故ニ兼任事務ノ屬スル俸給豫算ヨリ賞與ヲ支出シ其ノ勞ヲ稿

ヒタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

特別會計

大藏省所管

造幣局

【報告】

(八八) 歳出第一款造幣局作業費第二項事業費ニ於テ造幣局ノ支出ニ係ル

一一三、五四九、〇六〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナリ右ハ豫算ニ比シ著シク其ノ額ヲ超過セルモノニシテ即チ本項豫算中職員、職工等ニ對スル皆勤賞與慰勞金勤勉手當等ヲ含ム給與ノ豫算額九萬貳千餘圓ニ對シ支出額拾五萬參千六百餘圓ニ上リ内慰勞金ハ前掲ノ如ク拾壹萬參千五百餘圓ニシテ單ニ之ヲ以テ給與ノ豫算總額ニ對比スルモ既ニ超過ヲ示シ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シ而シテ右慰勞金ノ内官吏ニ對シ支給セルハ貳萬八千五百餘圓ニシテ俸給豫算ノ殘餘ヲ以テ支給セル賞與貳千四百餘圓ヲ併算スルトキハ參萬九百餘圓ト爲リ俸給決算額六萬貳千餘圓ニ比シ四割九分ニ當ルノ計算ナリ尙右慰勞金中千九百餘圓ハ大藏本省ノ官吏ニ對シ給與セシモノニ係リ縱ヒ此等官吏カ偶造幣事務ノ一端ニ關與セリトスルモ之ヲ事由トシ本費ヲ以テ慰勞金ヲ給與スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス

【辨明】

慰勞金ノ支出額カ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スハ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ記述セルカ如ク其ノ支出額カ豫算額ニ比シ超過スルコトアルハ免ルルヲ得サル所ニシテ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ不當ナリト云フヲ得ス又其ノ給與額カ多額ナリト言フモ作業廳ニ於テ其ノ從業員ニ對スル給與率ノ如何ハ直ニ作業能率ニ影響ヲ及ホスコト甚大ナルモノアリ造幣局ノ如キ多數ノ職員職工ヲ擁スル作業廳ニ於テハ其ノ作業能率ノ増進上及工場經營上相當ノ給與ヲナスハ極メテ緊要ナルヲ以テ已ムヲ得サルコトニ屬ス又大藏省職員ニ支出セシ慰勞金ハ造幣局事務取扱者ニ對スル分トシテ既ニ豫算額算出ノ基礎ニ於テ見込計上セル所ニシテ煩雜ナル事務ニ從事シ又ハ法規ノ改正ニ關與スル等其ノ勤勞多大ナリト認メタルモノニ對シ相當ノ程度ニ於テ慰勞金ノ支給ヲナシタルモノニシテ之ヲ以テ不當ナリトナスヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

印刷局

【報告】 (八九) 歳出第一款印刷局作業費第二項事業費ニ於テ印刷局ノ支出ニ係ル

四四二、一三二、五〇〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナリ右ハ豫算ニ比シ著シク多額ニシテ慰勞金ハ勤勉手當ヲモ包含セル豫算貳拾貳萬九千餘圓ナルニ前掲ノ如ク其ノ約二倍ニ達スルノ支出ヲ爲セルカ如キハ妥當ノ措置ニ非ス而シテ右ノ内官吏ニ對スル慰勞金支出額ハ六萬貳千五百餘圓ニシテ俸給豫算ノ殘餘ヲ以テ支給セル賞與參千七百餘圓ヲ併セ六萬六千參百餘圓ト爲リ俸給決算額拾貳萬四千餘圓ニ對比スルトキハ五割ヲ超ユルノ狀況ナリ

【辨明】 慰勞金ノ支出額カ其ノ豫算額ニ比シ超過ヲ示スハ一般會計ノ慰勞金ニ關スル辯明ニ於テ記述セルカ如ク其ノ支出額カ豫算額ニ比シ超過スルコトアルハ免ル、ヲ得サル所ニシテ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍ニ於テ實行シタルモノナルヲ以テ不當ナリト云フヲ得ス又其ノ給與額カ多額ナリト言フモ給與ヲ受ケタル者ノ大多數ハ工場ニ勤務スル者ニシテ是等ノ者ハ普通官廳ニ比シ居殘廢休等ノ爲其ノ勤務時間遙カニ多ク之ヲ月數ニ換算スレハ約七箇月餘ニ達スルモノアリ又作業ニ依リテハ性質上晝夜連續勤務ヲ要スル場合勸カラス殊ニ要急ノ製品並議會關係ノ諸印刷物及速記録等ノ製成ニ當リテハ不眠、不休、能力、體力ノ總テヲ之ニ傾注スル場合モ稀ナラサルヲ以テ是等多大ノ勤務ニ對シ相當ナル程度ニ於テ慰勞金ノ給與ヲナスハ必要ナリト認メタルニ依ルモノニシテ不當ナリトナスヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

專賣局

【報告】 (九〇) 歳出第一款專賣局作業費第二項事業費ニ於テ專賣局及東京外十六地方專賣局ノ支出ニ係ル

一、三二七、五二二、七〇〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナリ右ハ豫算ニ比シ著シク其ノ額ヲ超過セルモノニシテ即チ本項中慰勞金ノ豫算額ハ六拾五萬九千餘圓ニシテ支出額ハ其ノ約二倍ニ當リ内官吏ニ對スル給與額ハ八拾貳萬千餘圓ニ上リ此ノ金額ノミヲ以テスルモ尙豫算總額ヲ超過スルノ狀況ニシテ豫算使用上妥當ノ措置ニ非ス而シテ本件慰勞金ノ外俸給豫算ノ殘餘ヲ以

テ支給セル賞與拾壹萬六千餘圓ヲ併セ九拾參萬七千餘圓ト爲リ俸給決算額貳百六拾貳萬餘圓ニ對比スルトキハ三割五分ニ

當ルノ計算ナリ尙右慰勞金中五千四百餘圓ハ大藏本省ノ官吏ニ對シ給與セルモノニ係リ此等ノ官吏カ偶專賣事務ノ一端ニ關與シタリトスルモ之ヲ事由トシ本費ヲ以テ慰勞金ヲ給與スルカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】 官吏以下慰勞金ノ豫算ハ從來平均給額ノ約二箇月分ヲ計上スルヲ例トセリ隨テ之カ施行ニ當リテハ常ニ不足ヲ生スルヲ免レサルモ豫算増額ノ方法ニ依ラス同一科目内ノ經費又ハ他ノ人件費ヲ節約シ其ノ不足ニ充當スルノ方針ニ據リタルモノニシテ敢テ失當ノ措置ニアラス又大藏本省官吏ニ對スル慰勞金ハ專賣事業ニ關シ盡力勵カラサリシ者ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給スルハ當然ナリト認メタルニ依ルモノニシテ失當ナリト謂フヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

大藏省預金部

【報告】 (九一) 歳出第一款大藏省預金部支出第一項事務費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

一三、八五〇、〇〇〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナリ右ハ豫算ニ比シ著シク其ノ額ヲ超過セルモノニシテ即チ本項豫算中慰勞金トシテ積算セルハ僅ニ千八百餘圓ニ過キサレニ前掲ノ如ク多額ノ支出ヲ爲セルノミナラス右ノ内官吏ニ對スル給與額ハ九千百餘圓ニ及ヒ之カ支給ノ實際ヲ觀ルモ本會計俸給所屬ノ官吏ニ對シテハ俸給豫算ノ殘額ヲ以テ賞與シ本件慰勞金ハ大部分大藏本省内他部局官吏ノ一般ニ互リ給與セルノ狀況ニシテ畢竟本項豫算ノ餘裕ヲ以テ一般官吏ニ對スル賞與ノ資源ニ供セルモノト認メサルヲ得ス

【辨明】 官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セル額カ豫算ニ比シ多額トナリシハ預金部ニ於テハ同特別會計歳出其ノ他ノ經理事務並運用上必要ナル各般ノ調査ニ關シ預金部所屬以外ノ職員ノ助力ヲ必要トシ若ハ便宜トスル場合尠カラサルノミナラス十四年度ハ從來ノ運用資金中整理ヲ要スル案件相當多數ニ上リ是等ノ事務ノ遺憾ナキ進行ヲ圖ルニ付テハ他ノ關係部局官吏ノ助力ニ俟チタルコト多大ナルモノアリシヲ以テ之ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ給與スルハ當然ナリト認メタルニ依ルモノニシテ敢テ關係ナキ一般官吏ノ賞與ノ資源ニ供シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

大正十四年度 大藏省預金部 (九一)

國債整理基金

【報告】(九二) 歳出第一款國債整理基金支出第一項國債整理基金支出ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル 六七、四一七、〇〇〇
ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナリ右ハ慰勞金等給與ノ豫算額貳萬參千圓ニ比シ數倍ノ多額ニ上リ大正九年
度及十三年度検査報告ニ詳悉セシ如ク豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ今尙之ヲ改ムルニ至ラサルノミナラス右
ノ内貳萬千七百餘圓ハ大藏省所屬官吏ニ對シ給與セル實況ニ照シ畢竟本項豫算ノ餘裕ヲ以テ一般賞與ノ資源ニ供セルモノ
ニシテ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス(大正九年度(五二)及十三年度(三四)三〇九頁參看)

【辨明】 慰勞金ノ支出額カ豫算額ニ比シテ多額ニ上リタルハ主トシテ郵便局賣出公債ノ賣出事務取扱ニ關シ盡力シタル逓信官署職員ニ給與シタル
慰勞金ヲ包含セルニ依ルモノナリ而シテ國債整理基金ニ於テハ國債ノ發行償還並之カ事務取扱者ニ對シ給與スヘキ慰勞金及諸謝金トシテ
使用スル目的ヲ以テ國債雜費ノ目内ニ之カ給與金額ヲ積算シアルヲ以テ國債ノ發行ニ關シ給與スル慰勞金ヲ本項ヨリ支出スルハ當然ニシ
テ單ニ支出金額カ豫算額ニ比シ超過スルノ故ヲ以テ不當ナリトナスヲ得サルハ既ニ大正九年度及十三年度検査報告ニ對スル辨明ニ於テ詳
述セシ處ノ如シ但シ昭和二年度ヨリ郵便局賣出公債ノ賣出事務取扱ニ關シ逓信官署ノ職員ニ對シ給與スヘキ慰勞金ハ別途ニ積算シ慰勞金
豫算ヲ増加セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

賠償金

【報告】(九三) 歳出第一款賠償金支出第一項事務費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

一三、〇七二、〇〇〇

ハ官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナリ右ハ慰勞金豫算額四千百餘圓ニ比シ多額ナルノミナラス内官吏ニ對スル
給與額貳萬餘圓ハ大藏本省各局部ニ互リテ支給セルモノニシテ豫算使用上失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】 官吏以下ニ對シ慰勞金トシテ支給セル額カ豫算ニ比シ多額トナリシハ大正十四年九月所謂「ドース」案ノ成立ヲ見タル結果我國ノ取得スヘ
キ賠償物件ノ種類並金額ハ從前ニ比較シ著シク増加シ從テ賠償關係事務亦複雑化ヲ加ヘタル爲其ノ遺憾ナキ進行ヲ圖ルニ付テハ多數關
係者ノ盡力ヲ必要トナシタルヲ以テ之ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メ之カ支出ヲナシタルモノニシテ豫算使用上
失當ナリト言フヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

文部省所管

帝國大學

【報告】(九四) 歳出經常部第一款東京帝國大學第二項校費ニ於テ東京帝國大學ノ支出ニ係ル

四二、二一五、〇〇〇

歳出臨時部第一款東京帝國大學第十項震災臨時施設費ニ於テ同大學ノ支出ニ係ル

四三、〇〇〇

ハ文部本省及帝國大學勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル事務勉勵手当等ナルモ前記各項豫算中ニハ官吏ニ對スル賞與等ノ經費
ヲ積算セサルモノナルヲ以テ本件ノ如キ事務勉勵手当等ノ名義ヲ以テ之カ支給ヲ爲シ殊ニ一般會計所屬ノ官吏ニ對シ此ノ
如キ支出ヲ爲スハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

四二、一五〇、〇〇〇

【辨明】 歳出經常部第一款東京帝國大學第二項校費ニ於テ東京帝國大學ノ支出ニ係ル

四三、〇〇〇

歳出臨時部第一款東京帝國大學第十項震災臨時施設費ニ於テ同大學ノ支出ニ係ル
ハ文部本省及帝國大學勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル事務勉勵手当等ナルモ前記各項豫算中ニハ官吏ニ對スル賞與等ノ經費ヲ積算セサル
モノナルヲ以テ本件ノ如キ事務勉勵手当等ノ名義ヲ以テ之カ支給ヲ爲シ殊ニ一般會計所屬ノ官吏ニ對シ此ノ如キ支出ヲ爲スハ失當ノ措置
ナリトノ批難ナルモ經常部支出ノ内部内職員ニ關スルモノハ何レモ常務外臨時特別ノ事務若ハ調査ニ從事シタルモノナルニ依リ又部外者
ニ關スルモノハ地震研究所創設ノ際其ノ司掌事項業務遂行ノ根本方針等既存ノ震災豫防調査會務縮小ニ關聯シテ斯學ノ權威者並ニ關係者
ノ會合審議ヲ要スルモノアリ其ノ他海外寄贈ノ圖書復興等ニ關シ盡力勸カラルモノアリシニ依リ手當ヲ校費給與ノ目ヨリ支出シタルモ
ノナリ尙又臨時部支出ノ内臨時圖書蒐集並ニ學生假宿舍管理等ノ所要經費ハ震災臨時施設費トシテ豫定セラルル所ニシテ是等臨時事務ニ
從事シタル本學職員ハ何レモ本務以外ノ職務ニ特ニ從事セシメタルモノナルニ依リ之ニ對スル手當又ハ急病者診療ノ手當トシテ本費支辨
トナシタルモノニシテ何等不當ノ措置ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

學校及圖書館

【報告】(九五) 歳出經常部第一款學校及圖書館第一項俸給ニ於テ東京高等師範學校外二校ノ支出ニ係ル

八、二三〇、〇〇〇

大正十四年度 帝國大學 (九四) 學校及圖書館 (九五)

四六五

ハ文部本省勤務ノ官吏ニ對シ支給セル年末賞與ナリ右ハ一般會計所屬俸給支辨ノ官吏ニ對シ支給シタルモノニシテ本件賞與支給ニ關シテハ文部省ヨリ特ニ賞與額ヲ指定シテ發令方ヲ通牒シ支給額ニ相當スル豫算ヲ増額配賦ノ上支給ヲ爲サシメタルノ狀況ニシテ總額八千貳百餘圓ニ上レルニ各所屬俸給豫算ヨリ支給セルモノ僅ニ五百餘圓ニ過キサレノ事實ニ徴シ右ハ全ク一般會計所屬經費ヲ補足シタルモノニシテ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】 歳出經常部第一款學校及圖書館第一項俸給ニ於テ東京高等師範學校外二校ノ支出ニ係ル八二三〇圓〇〇〇ハ文部本省勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル年末賞與ニシテ一般會計所屬經費ヲ補足シタルモノニシテ失當ノ措置ナリトノ批難ナルモ本件ハ東京高等師範學校外二校ノ兼任教授兼任助教兼任書記並講師等ノ職ニアルモノニシテ此等ノ職員ハ本務以外各特別ナル教務並事務ニ關スル種々ノ調査及本省トノ連絡協議等ノ事項ニ從事シタルモノナルヲ以テ兼務者トシテノ賞與ヲ當該學校ヨリ支給シタル次第ナリ

尙本省ニ於テ賞與額ヲ指定シ支給額相當ノ豫算増額ヲナシタルハ直轄諸學校ニ於ケル判任官以上ノ賞與額ハ當該學校長ノ上申ニ依リ本省ニ於テ之ヲ決定シ是等賞與ニ要スル豫算ノ増額モ亦學校經理ノ狀況ヲ斟酌シテ配賦スルノ取扱ナルニ據リタルニ過キス又一一般會計所屬經費ヨリ支給シタル賞與額ノ僅少ナリシハ他ノ本省職員トノ權衡上夫レ以上支給ノ必要ヲ認メサリシ爲メニシテ特ニ一般會計所屬經費ノ補足ヲ目的トナシタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

農林省所管

米穀需給調節

【報告】

(九六) 歳出第一款米穀需給調節費第二項事務費ニ於テ農林省農務局ノ支出ニ係ル

一三、〇一〇〇〇

第三項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一〇、九四四〇〇

第五項營業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

一三、三六六〇〇

計四萬七千參百貳拾圓ハ年末又ハ退官等ニ際シ官吏ニ對シ慰勞金トシテ支給セルモノナリ然ルニ本特別會計ニ在リテハ豫算上官吏ノ手當ヲ見積リアルルハ事務費ノ項ニ止リ其ノ他ノ各項ニハ之ヲ掲上セサルノミナラス本費所屬ニ非サル官吏ニ慰

勞金ヲ給セルモノ多額ニ上リ即チ事務費ニ在リテハ豫算額九千四百餘圓ナルニ官吏ニ對シ壹萬參千餘圓官吏以外ニ對シ千餘圓ヲ支出シ又營業費ニ於テハ慰勞金ノ豫算ナキニ拘ラス官吏ニ對シ壹萬參千餘圓官吏以外ニ對シ壹萬七千貳百餘圓ヲ支出シ事業費ニ在リテハ官吏ニ對スル慰勞金ノ豫算ナキニ拘ラス貳萬九百餘圓ヲ支給セルノ外官吏以外ノ者ニ對シ貳萬千餘圓ヲ支出セルヲ以テ之ヲ加算スレハ四萬貳千餘圓ノ多額ニ上リ慰勞金豫算額五千餘圓ニ比シ八倍餘ニ達セルノ狀況ニシテ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シ

【辨明】 年末又ハ退官等ニ際シ多額ノ慰勞金ヲ給セルハ豫算使用上妥當ノ措置ト認メ難シトノ批難ナルモ米穀法ノ運用及米穀需給調節特別會計ノ事務ニ關シ關係官吏トシテ又ハ米穀委員會委員トシテ若ハ委員タラサルモ委員ト同様其ノ勤務尠カラサル者ニ對シ各當該費目ヨリ夫々相當ノ手當ヲ支出シタルハ失當ノ措置ト認メ難シ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

商工省所管

製鐵所

【報告】

(九七) 歳出第一款製鐵所作業費第二項事業費ニ於テ製鐵所ノ支出ニ係ル

一四、九〇〇〇〇

ハ商工本省勤務ノ官吏ニ對シ支給シタル年末手當ニシテ豫算人事會計其ノ他調査又ハ處理事項ニ關シ盡力尠カラサルヲ事由トシ給與シタルモノナリト雖商工本省職員カ其ノ所管ニ屬スル製鐵所ノ事務ニ關與スルハ當然ノコトナルニ一般會計ニ屬スル俸給所屬豫算其ノ他ヨリ六千八百餘圓ヲ支出セシニ止リ製鐵所職員職工其ノ他ニ給スル手當ヲ積算セル本費給與豫算中ヨリ前掲多額ノ年末手當ヲ支給スルカ如キハ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ畢竟一般會計所屬經費ヲ補足シタルモノト認メサルヲ得ス

【辨明】 本件ハ製鐵所ノ事務ニ關シ特ニ盡力シタル商工省ノ官吏ニ手當ヲ支給シタルモノニシテ一般會計所屬經費ヲ補足シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

逓信省所管

大正十四年度 製鐵所 (九七)

簡易生命保險

【報告】

(九八) 歳出第一款簡易生命保險費第二項事業費ニ於テ簡易保險局及東京外六遞信局ノ支出ニ係ル 一七四、七二一、五一〇
ハ官吏以下ニ對シ慰勞手當等トシテ支給セルモノナルモ右慰勞手當等ヲ積算セル雜給豫算額ハ壹萬八千八百圓ニ過キサ
ニ前掲ノ如ク多額ノ支出ヲ爲シタルノミナラス遞信本省勤務ノ官吏及關東廳遞信局員等本務上當然之ニ關與シタルモノニ
對シ支給シタルモノアルカ如キハ一般會計遞信省所管ニ詳悉セルト等シク失當ノ措置ト認メサルヲ得ス

【辨明】

本件検査報告ニハ拾七萬四千七百貳拾壹圓五拾壹錢ハ全部官吏以下ニ支給セル年末慰勞手當ノ如ク記載シアルモ事實ハ然ラス右ノ内(1)拾
四萬九千參百八拾壹圓五拾壹錢ハ大正九年勅令第五百四十五號勸勉手當給與令ニ基キ部内一般會計所屬現業員ニ支給セル勸勉手當ニシテ
(2)壹萬貳千參百九拾圓ハ現業局ノ局長、特定三等郵便局長等ニ支給セル年末慰勞手當ナリ從テ(3)本省勤務ノ官吏及關東廳遞信局職員等
ニ支給セル年末慰勞手當ハ殘額約壹萬參千圓ニ過キス以上(1)乃至(3)ノ給與ヲ必要トシタル事由及豫算ニ比シ支出額ノ多額トナレル事由ヲ
述フレハ即チ左ノ如シ

- (1) 政府カ簡易生命保險事業ヲ經營スルニ方リテハ本事業カ社會政策的施設タル性質ニ鑑ミ其ノ普及發達ヲ庶幾シ事業本來ノ使命ヲ完ウス
ル爲能フ限リ經營費ノ節約即チ附加保險料ノ低下ヲ圖リ因テ保險料率ヲ低減スル目的ノ下ニ已ムヲ得サルモノ、外ハ既設遞信機關ヲ利
用スル計算ニテ本事業ヲ創始セルモノナリ從テ本事業ノ執行ハ創業當初ヨリ一般會計所屬職員ノ援助ニ依リ遂行セラル、コトハ素ヨリ
豫期シタル所ナルカ故ニ一般會計所屬職員ニシテ本事業ニ關與シ勸勵シタル者ハ地方職員タルト本省職員タルトヲ問ハス又其ノ直接タ
ルト間接タルトヲ論セス之ニ勸勉手當又ハ年末慰勞手當ヲ給與シ報勞ノ方法ヲ講スルハ已ムヲ得サルノ措置ニシテ本費豫算中ニ特ニ一
般會計所屬官吏ニ支給スヘキ慰勞金ヲ見積リ其ノ成立ヲ見タル所以亦實ニ茲ニ存スサレハ本省官吏ニ對シ本費ヨリ年末慰勞手當ヲ支出
セルハ失當ノモノニアラス
- (2) 關東廳遞信局職員ニ年末慰勞手當ヲ支給セルハ關東廳管内ニ於ケル本事業ノ普及カ同局關係職員ノ努力ニ因リ著シク良好ナル成績ヲ舉
ケ其ノ勞誠ニ多トスヘキモノアルニヨリ相當報勞ノ必要ヲ認メタルニ依ルモノニシテ之ヲ以テ豫算ノ使用宜シキヲ得ストハ認ムルコト
能ハス
- (3) 豫算額ニ比シ支出額ノ多額ニ上レルハ主トシテ現業員ニ支給セル勸勉手當ノ増加ニ依ルモノニシテ其ノ増加シタル事由ハ從來勸勉手當
支給方針トシテ新規ノ加入者數ヲモ斟酌シ來レル處本年度ハ從業員ノ異常ノ努力ニ依リ新規加入者數豫期以上ニ増加シ從テ勸勉手當ノ

支給額亦増加シタルヲ以テ同一項内他費目ヨリ之ニ流用シテ其ノ財源ニ充當セルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

(參照) ○勸勉手當給與令(大正九年十一月二十二日勅令第五百四十五號)

第一條 官吏、官吏ノ待遇ヲ受クル者、囑託員、雇員、傭人又ハ職工ニシテ左ニ掲グル現業ニ從事スルモノニハ勸勉手當ヲ給スル
コトヲ得

六 貯金局、簡易保險局、臨時電信電話建設局、遞信局及通信官署ニ於ケル現業

鐵道省所管

帝國鐵道

【報告】

(九九) 資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

第二項改良費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

用品勘定歳出第一款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル	四八〇、七一〇、六二〇 ^円
收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル	九一八、五五四、六一〇
	一一〇、六六〇、二八〇、〇三〇

計貳千四百拾五萬七千參百九拾四圓四拾五錢ハ官吏以下一般從事員ニ對シ支給シタル定期賞與並退職特別賜金及同手當等
ナリ右ハ著シク其ノ豫算額ニ超過シ即チ鐵道作業費ニ在リテハ豫算額千四百參拾九萬餘圓ニ對シ前掲貳千六拾六萬餘圓用
品及工作費ニ在リテハ豫算額百拾六萬餘圓ニ對シ前掲貳百九萬餘圓ヲ支出シ建設費改良費ニ在リテハ豫算上雜事手當ノ積
算額明記ナキモ前記兩費目ト大體同一ナリト認メラルルヲ以テ之カ事由ヲ鐵道大臣ニ質問セシニ其ノ辯明ノ要旨ハ

當省ニ於ケル定期賞與ハ現在ノ俸給、給料ヲ標準トシ一定ノ率ニ依リ支給額ヲ算出シ從來實行シ來リタルモノニシテ豫
算計上ノ率ニ比シ幾分高率ナルハ從業員優遇ノ趣旨ニ因ル然ルニ當會計ニ於テ多額ノ人件費ヲ要スル收益勘定歳出豫算
ハ常ニ緊縮方針ヲ採リ之ヲ編成シ居ル爲豫算上人員ト現在人員トノ間殆ト差異ナク且豫算ニ於ケル俸給、給料ノ標準給
額モ九年度改正以來大體之ヲ襲踏シ來リシモノニシテ實際ノ平均給額ハ之ヲ超過シ居ル狀態ナルヲ以テ定期賞與ノミニ

於テモ既ニ雜事手當ノ豫算ヲ超過シ且退職特別賜金及同手當ハ特ニ之カ豫算ヲ計上セサルヲ以テ著シク豫算ヲ超過セル
モ他ノ一般經費ヲ節約シテ充當スルヲ例トセリ尙建設及改良費豫算中總係費ハ各細節毎ニ長期ニ互ル金額ヲ算出スルコ
ト困難ナルニ依リ從來工事費ノ割合ニ依リ其ノ金額ヲ算定スルコトトシ雜事手當ノ豫算額ヲ明記セサル次第ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ豫算上ノ手當積算率ハ俸給、給料年額ニ對シ官吏ノ分二割五厘、分一割五分、分四厘乃至一割
二分ナルニ拘ラス實際定期賞與ノ各費目平均給與率ハ支給當時ノ給額ニ對シ勅任官五割五分、奏任官二割九分、判任官二割四
分、鐵道手以下雇傭人一割四分ニシテ賞與總額鐵道作業所屬ノ分千六百八拾餘萬圓用品及工作費所屬ノ分百貳拾餘萬圓建
設費及改良費所屬ノ分百拾餘萬圓合計千九百貳拾餘萬圓ニ及ヒ著シク豫算額ヲ超過セルノ狀況ナルニ更ニ該豫算ヨリ退職
特別賜金及同手當ヲ支出セルモノ鐵道作業費參百七拾七萬餘圓用品及工作費八拾壹萬餘圓建設費及改良費貳拾七萬餘圓合
計四百八拾六萬餘圓ニ及ヘリ而シテ退職特別賜金及同手當ハ當局者辯明ノ如ク特ニ其ノ豫算ヲ要求セサルモノナルニ之カ
給與内規ヲ設ケ退官、退職又ハ死亡ノ際其ノ俸給、給料ニ對シ勤続年數ニ依ル一定率ヲ乘シ算出シタル額ヲ支給スルコトト
爲セルカ如キハ豫算使用上妥當ナラサルノミナラス元來官吏ノ退官、退職又ハ死亡ニ伴フ賜金等ニ關シテハ恩給法其ノ他
特別ナル法規ノ存スルニ拘ラス獨リ鐵道省ニ於テハ此等法規ニ依ルノ外更ニ之カ支給ヲ爲スハ縱ヒ辯明ノ如ク從業員優遇
ノ趣旨ニ出テタルモノアリトスルモ官吏ノ給與待遇ニ關スル制度ヲ紊レルモノニシテ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス

【辨明】

雜事手當ノ支給額ハ豫算額ニ比シ多少超過シ居レトモ元來雜事手當ナル科目ハ細節ナルヲ以テ之カ不足額ヲ他ヨリ流用スルモ臨機ノ處置
トシテ必スシモ不當ニ非ス
殊ニ鐵道從業員ニ對スル雜事手當ノ如キハ事業ノ性質上其ノ年度ノ營業狀態ニ依リ之ヲ斟酌シ相當之カ増額ヲ爲スハ洵ニ已ムヲ得サル處
置ナリ退職賜金並支給制度ニ關シテハ既ニ鐵道作業局時代ヨリ認メラレタルモノニシテ爾來引續キ實施セラレタルカ大正十一年政府
ハ一般的ニ行政整理ヲ爲シタルモ鐵道事業ニ就テハ一時ニ集團の整理ヲ爲スハ事業經營上不便ニシテ寧ろ繼續的ニ絶ヘス整理ヲ行ヒ能率
ヲ擧グル必要アリトシ特ニ之カ例外トシテ豫算ノ範圍内ニ於テ從來ノ内規ヲ認メラレタルモノナリ是一ニ事業ノ性質ヨリ來レル機宜ノ措
置ニシテ何等違法不當ノ處置ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

抑官吏ニ對スル賞與ハ從來其ノ所屬俸給豫算ノ殘餘ヲ以テ之ニ充ツルノ慣例ニシテ爾後現業ニ從事スル者ニ對シ勤勉手當
ヲ給與スルノ制ヲ設ケ其ノ他調査委員會等ノ委員ニ對シ手當ヲ給與スルニ至レル等ノ爲其ノ所屬俸給豫算以外手當ノ名義
ヲ以テ之カ豫算ヲ積算セシモノアリシニ過キス然ルニ近時各種ノ臨時費途又ハ特別會計等ニ於テ漸次其ノ範圍ヲ擴張シ此
等特別ノ給與規程及ハ職制ヲ存セサルニ拘ラス官吏ニ對スル慰勞手當ノ名義ヲ以テ往往別途ニ其ノ豫算ヲ積算スルモノヲ
生スルニ至レリ而シテ之カ豫算ノ要求ハ概ネ豫定經費要求書各目明細書中細微ノ點ニ之ヲ附記スルニ過キサルヲ以テ給與
ヲ爲スヘキ範圍及其ノ積算ノ基礎等明確ナラサルモノ頗ル多ク隨テ本院ニ於テ之カ決算ノ檢査ニ際シ其ノ當否ニ付疑義ヲ
生スルモノ尠カラサルノミナラス此ノ如ク各省便宜ノ手段ニ依リ官吏ニ對スル給與ヲ執行スルニ於テハ其ノ待遇上厚薄ノ
別ヲ生シ均衡ヲ失スルコト甚シキモノアルヘキヲ願慮シ嘗テ内閣總理大臣ニ對シ其ノ意見ヲ質ス等之カ匡正ヲ促シタリト
雖今尙其ノ改善ヲ見ルニ至ラサルハ頗ル遺憾トスル所ナリ而シテ本年度ニ於ケル豫算施行ノ續ヲ通觀スルニ事務費、事業
費等ニ於テ官吏ニ對スル賞與ノ見積ナキニ拘ラス之カ支出ヲ爲シ或ハ僅少ノ豫算ヲ積算シアルヲ事由トシ事業費等ヨリ多
額ノ流用ヲ爲シ以テ數倍乃至十數倍ノ支出ヲ爲シ若ハ特別會計ノ費途ヲ以テ所管本省勤務ノ官吏ニ給與ヲ爲シタルモノ頗
ル多キノミナラス各款項俸給豫算ノ殘額ハ他ノ費途ヨリ俸給ヲ支辨スル官吏ノ賞與ニモ使用セラルル等殆ト其ノ省ニ於ケ
ル一般官吏ニ共通スル賞與ノ資源ニ充當スルノ傾向ヲ生シ殊ニ豫定經費要求書各目明細書中慰勞金ノ豫算ニ對シ所屬俸給
支辨以外ノ官吏ニ對スルモノヲ含ムコトヲ附記シアルヲ事由トシ其ノ給與ヲ増加セムカ爲支出ヲ爲スモノ尠カラズ之ニ對
シ當局者ノ事由トスル所ハ官吏ニ對スル賞與ハ俸給豫算ノ殘額ヲ以テ支辨スル方針ナルモ近來ノ傾向ニ鑑ミ支給率ノ均衡
ヲ得セシムルハ最必要ノコトニシテ豫算不足ナルノ故ヲ以テ之ヲ給セス又ハ僅少ノ額ニ止ムルハ洵ニ忍ビサル所ナルニ依リ餘
儀ナク他ノ費途ヨリ之ヲ補充シ以テ他トノ均衡ヲ保タムトスルモノニシテ已ムヲ得サル經理方法ニ屬シ其ノ他臨時部又ハ
特別會計ノ經費ヲ以テ一般會計所屬ノ官吏ニ對シ給與セルノ類ハ孰モ當該事業ニ關與シ其ノ勤勞尠カラサルニ因ルト爲ス

モノノ如ク事情ノ諒トスヘキモノナキニ非スト雖此ノ如キハ別途ノ方法ヲ講シ以テ給與ノ衡平ヲ保持セシムヘキモノニシテ此等豫算ノ目的ニ違背シ又ハ他費目ヨリ多額ノ流用ヲ爲ス等種種ノ手段ニ依リ其ノ目的ヲ達セムトスルカ如キハ豫算ノ制ヲ紊リ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス今本年度ニ於ケル賞與ノ支給ニ關シ其ノ資源ヲ所屬俸給豫算ニ依ラス他ノ科目ニ求メタルモノヲ見ルニ一般會計經常部ニ在リテハ五拾餘萬圓臨時部ニ在リテハ百萬圓ヲ超ユルノ計算ト爲リ主トシテ臨時的事業費ヲ管理スル各廳ニ於テ之ヲ流用スルノ弊甚シキモノアリ即チ所屬俸給決算年額ニ對スル賞與及手當ノ割合ヲ觀ルニ外務省ニ於テハ概ネ臨時部豫算中ニハ俸給ヲ積算セサルヲ以テ暫ク之ヲ擱キ大藏省ノ七割ニ當ルヲ最高トシ商工省ノ四割八分逓信省ノ三割八分及文部省ノ三割七分等之ニ亞キ海軍省一割二分陸軍省一割五分及司法省ノ二割ヲ最低トシ特別會計ニ在リテハ概ネ豫算上別途ニ慰勞手當ヲ積算シ事業費ヨリ流用支出ヲ爲シタルモノ甚多ク即チ米穀需給調節ノ八割五分製鐵所ノ四割六分ニ上レルモノアルノ外主トシテ大藏省所管ニ於テ高率ヲ示シ賠償金ハ二十三割八分大藏省預金部七割九分印刷局五割三分造幣局四割九分專賣局三割五分ニ當リ其ノ他俸給豫算ナキ國債整理基金ニ於テ多額ノ支出ヲ爲シタルモノアリ又他ノ特別會計ニ在リテハ臺灣總督府及關東廳等ノ臨時部ニ於テ三割對支文化事業二割六分並帝國鐵道二割五分内外ニ當ルモノアリト雖他ハ概シテ低率ニシテ樺太廳經常部ハ一割學校及圖書館ハ一割一分ナリ而シテ此等一般特別兩會計ヲ通シ高率ノ支出ヲ爲シタルモノノ多クハ一般會計經常部ヨリ俸給ヲ支辨スル官吏ニ給與セルモノニシテ相互ノ間甚シキ不均衡ヲ示セルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ官吏ニ對スル給與ニ關シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 官吏ニ對スル俸給其ノ他ノ給與ニ關シテハ時勢ノ變遷ニ應ジテ相當之ヲ定ムルノ必要アリ然レトモ國費ノ膨脹ト國民負擔ノ增加トヲ來ササラシムル爲他ノ種ノ經費ト共ニ常ニ緊縮ニ努ムルノ已ヲ得サルモノアリテ現狀ニ於テ必シモ充分ナリト云フ能ハス而シテ近年數回ノ行政財政ノ整理ニ依ル人員ノ淘汰ト時勢ノ進運ニ伴フ官廳事務ノ繁劇トハ益官吏ニ對スル勤勞ノ負擔ヲ重カラシムル狀況ニアリ故ニ政府ハ豫算ノ許ス範圍内ニ於テ年末賞與或ハ慰勞金ヲ支給シ之等ノ勤勞ニ對シ適宜酬ユル所アラントスルモノニシテ之カ支給ニ關スル豫算ノ經理ニ付キテハ常ニ失當ノ措置ナカラントニ努メツ、アリ

各官廳ノ間ニ於テ之等ノ給與ニ付必シモ一率ナラサルハ其ノ用務ノ性質又ハ繁閑ノ程度ニ依リ自ラ之カ多寡ヲ生スヘキ筋合ナリ又臨時部

ニ屬スル經費及特別會計ニ於テ其ノ俸給豫算額ニ比較シ賞與又ハ慰勞金ノ支出高率ニ上ルモノアルハ之等臨時部或ハ特別會計ノ事務ニアリテハ可成專任官吏ヲ任命セス本省其ノ他ノ經常部ニ屬スル職員ヲ以テ其ノ事務ヲ處辨セントスルニ出ツルモノアリ之等ノ用務ニ關係セル官吏ニ對シテ特ニ多額ノ賞與等ヲ支給スルモノニアラサルナリ

然レトモ元來給與ニ關シテハ相互ノ間權衡ヲ失ハシメサルコト極メテ肝要ナルヲ以テ政府ハ年末賞與等ノ支給方法ニ關シテハ現狀ニ於テ満足スルコトナク數年來研究中ニシテ現ニ行政調查會ニ附議シ其ノ攻究ニ努メツ、アリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

官 有 物

【報告】 (一〇〇) 司法省ニ於テ市谷刑務所附屬用地八百四十五坪ヲ財團法人刑務協會ニ對シ其ノ經營ニ係ル刑務官練習所ノ講師並職員舍宅用トシテ大正八、九及十年度中無償ヲ以テ使用ヲ許可シ右ノ内三百七十七坪ニ對シテハ十二年七月ヨリ五年間爾餘ノ五百二十八坪ニ對シテハ十四年十月ヨリ三年間更ニ繼續使用ヲ許可シタルモノアリ右ハ大正九年度檢査報告官有物ニ於テ詳悉セシ如ク刑務協會ニ於テハ該敷地ニ協會職員並協會ニ於テ開催スル刑務官練習所講師ノ住宅ヲ建設セルモノニシテ當局者ノ事由トスル所ハ練習所講師ハ練習生ノ間斷ナキ教習ヲ爲スノ必要上練習生ノ寄宿舎ニ接近シ居住スルノ要アルヲ以テ該寄宿舎ノ存在スル市谷刑務所ノ敷地ノ一部ヲ使用セシメタルモノニシテ雜種財産トシテ整理シアルモ目下本所ハ擴張改築ノ計畫中ニ屬シ該敷地ニ官舎建築ノ豫定ナルヲ以テ大藏省ニ引繼ヲ爲サス其ノ計畫實現ノ時期迄使用ヲ許可シタルモノナリト謂フニ在ルモ該寄宿舎員ハ協會幹事タル刑務所典獄之ヲ指揮監督スルコトニ定メアルヲ以テ特ニ練習所講師其ノ他職員ノ住宅ノ寄宿舎附近ニ建設スルノ要ナカルヘク隨テ此等住宅ヲ提供スルハ公益法人タル刑務協會ノ直接ノ事業ト認メ難キモノナルヲ以テ契約ノ期間滿了ニ當リテハ該土地ヲ返還セシムルカ然ラサレハ相當料金を徴收シテ之カ貸付ヲ爲ス等適當ノ措置ヲ採ルヘキモノナルニ更ニ數箇年ニ互リ無償ヲ以テ之カ使用ヲ許可スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ刑務協會職員等ノ住宅敷地トシテ刑務所敷地ノ一部ヲ無償貸付ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリト

ス〔大正九年度(九〇)參書〕

【辨明】

本件土地ハ刑務協會ノ事業タル刑務官ノ練習上講師其ノ他ノ職員ヲ練習所寄宿舎ニ接近居住セシメ間斷ナキ教習ヲ爲スノ必要ヲ認メ之カ敷地トシテ無償使用ヲ許シタルモノニシテ該寄宿舎幹事ニハ市谷刑務所長之ニ當リ居ルモ單ニ物資ノ需給寄宿舎ノ取締ニ止マルヲ以テ教養ノ完全ヲ期センニハ之ニ關係スル職員ヲ寄宿舎附近ニ居住セシムルコトハ切ニ必要トスル所ナリ隨テ此等舎宅ヲ建設スルコトハ刑務協會ノ直接事業ト謂フヲ妨ケス而シテ本貸付土地ハ既ニ分割整理スヘキコトニ決シ居ルヲ以テ之カ實現ノ時期迄繼續使用ヲ許可シタル次第ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】

(101) 司法省ニ於テ巢鴨刑務所附屬用地二百五十五坪ヲ自立會ニ大正十年六月以降三年間無償ヲ以テ使用ヲ許可シ現ニ使用繼續中ノモノアリ抑本件ハ釋放者ノ保護ヲ目的トスル自立會ニ對シ之カ事業ノ一助トシテ被保護者ニ簡易ナル市場經營ヲ爲サシムルヲ條件トシ使用ヲ許可シタルモノナルモ爾來同會カ該土地上ニ建設セル木造「バラック」四十一戸ノ内被保護者ノ居住スル者十一年八月現在十一戸ニシテ其ノ他ハ被保護者以外ノ者ニ貸與シ居ルノミナラス十五年八月實地検査當時ニ在リテハ被保護者ノ數更ニ減少シ僅ニ五戸ニ過キサレバ狀況ニシテ許可條件ニ反スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ同會カ該土地ニ「バラック」建設後釋放者ノミヲ以テ之ヲ充タス能ハサリシ爲被保護者以外ノ者ニ對シテモ居住ヲ爲サシムルノ已ムナキ結果ト爲リ同會ノ計畫ハ豫期ノ如ク進行ヲ見ルニ至ラサリシヲ以テ使用期間經過當時ヨリ頻ニ土地ノ返還ヲ交渉シタルモ同會ニ於テハ居住者退去セサル爲之ヲ履行スルヲ得ス茲再今日ニ及ヘルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件土地ハ自立會ニ對シ釋放者保護ノ爲市場經營ヲ條件トシ無償ヲ以テ使用許可ヲ爲シタルモノナルニ同會ハ木造「バラック」四十餘戸ヲ建設シ之カ大部分ヲ被保護者以外ノ者ニ貸與居住セシメ家賃ヲ徵收シ居レルノ實況ニシテ全ク當初ノ使用許可條件ニ副ハサルモノナルヲ以テ速ニ使用許可ヲ取消シ該土地ノ返還ヲ爲サシムヘキモノナルニ此等ノ手續ヲ爲サス期間經過後ニ於テモ尙繼續使用セシメ居レルカ如キハ措置其ノ當ヲ得タルモノト謂フヲ得ス要スルニ本件ハ國有財産ノ管理其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ全ク當初ノ使用許可條件ニ副ハサルモノナルヲ以テ使用期間經過後ハ繼續使用ヲ許サス嚴重ニ該土地返還方督促中ナリ自立會ニ於

テモ目下種種方法ヲ講シ極力明渡ニ努メ居レハ近ク之カ解決ヲ見ルコトト信ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

既
往
年
度

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	四七七
大正十年度	四七七
一般會計	四七八
歲出	四七八
遞信省所管	四七八
特別會計	四七八
陸軍省所管	四七八
陸軍營繕費補充資金	四七八
歲入	四七九
大正十一年度	四七九
一般會計	四七九
歲出	四七九
遞信省所管	四七九
大正十二年度	四八〇
一般會計	四八〇
歲入	四八〇